

# 第 1 章

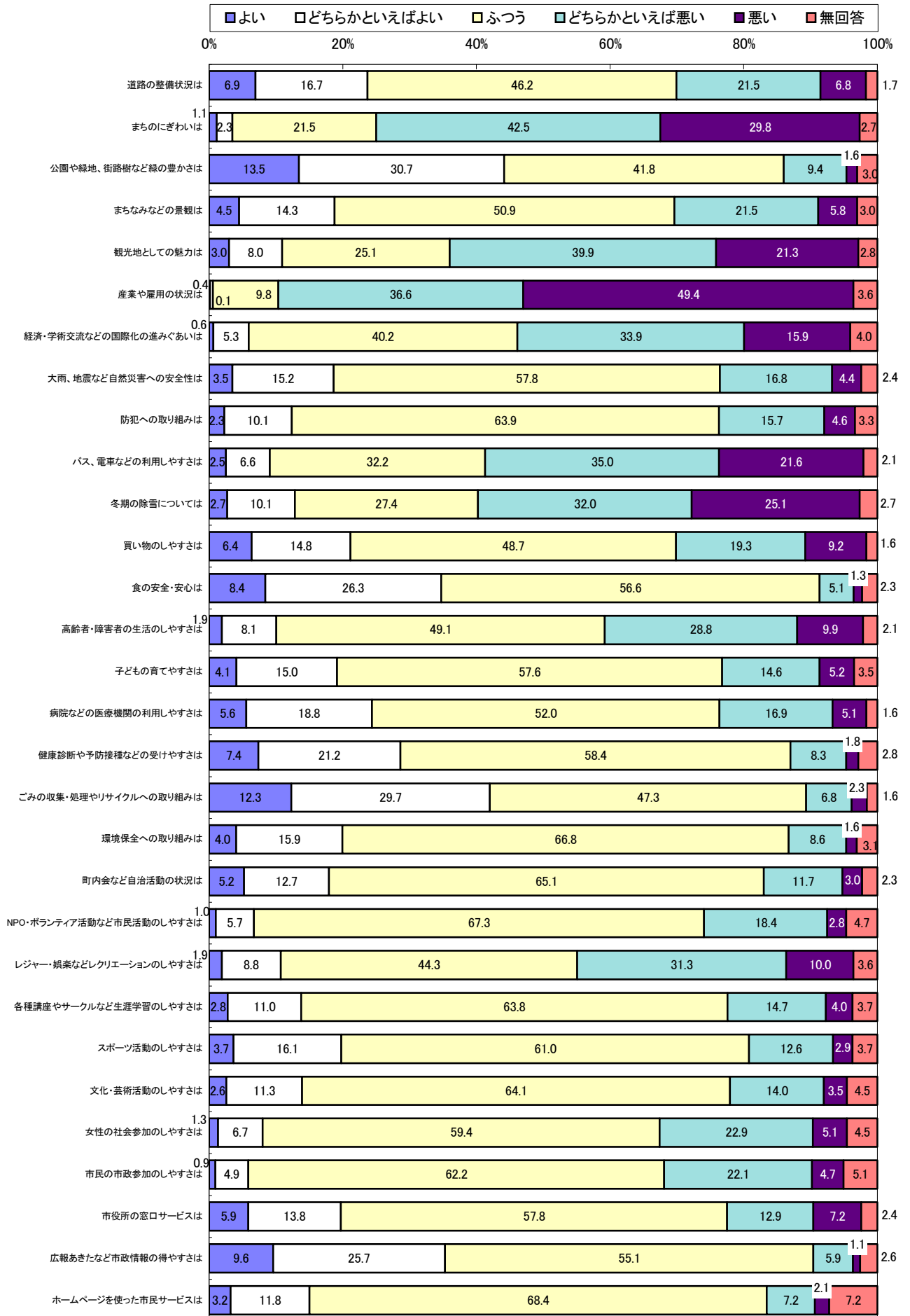
## 調査結果の概要



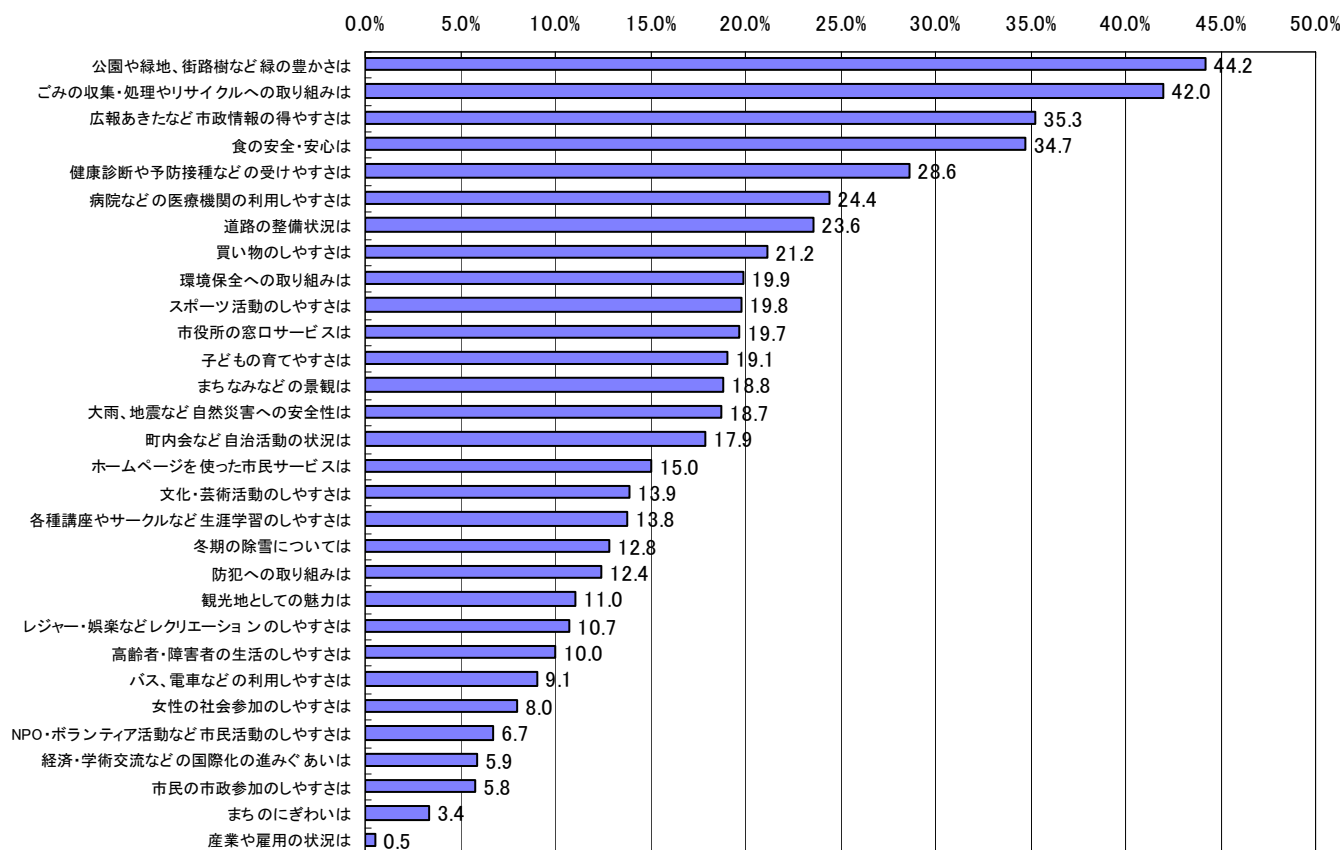




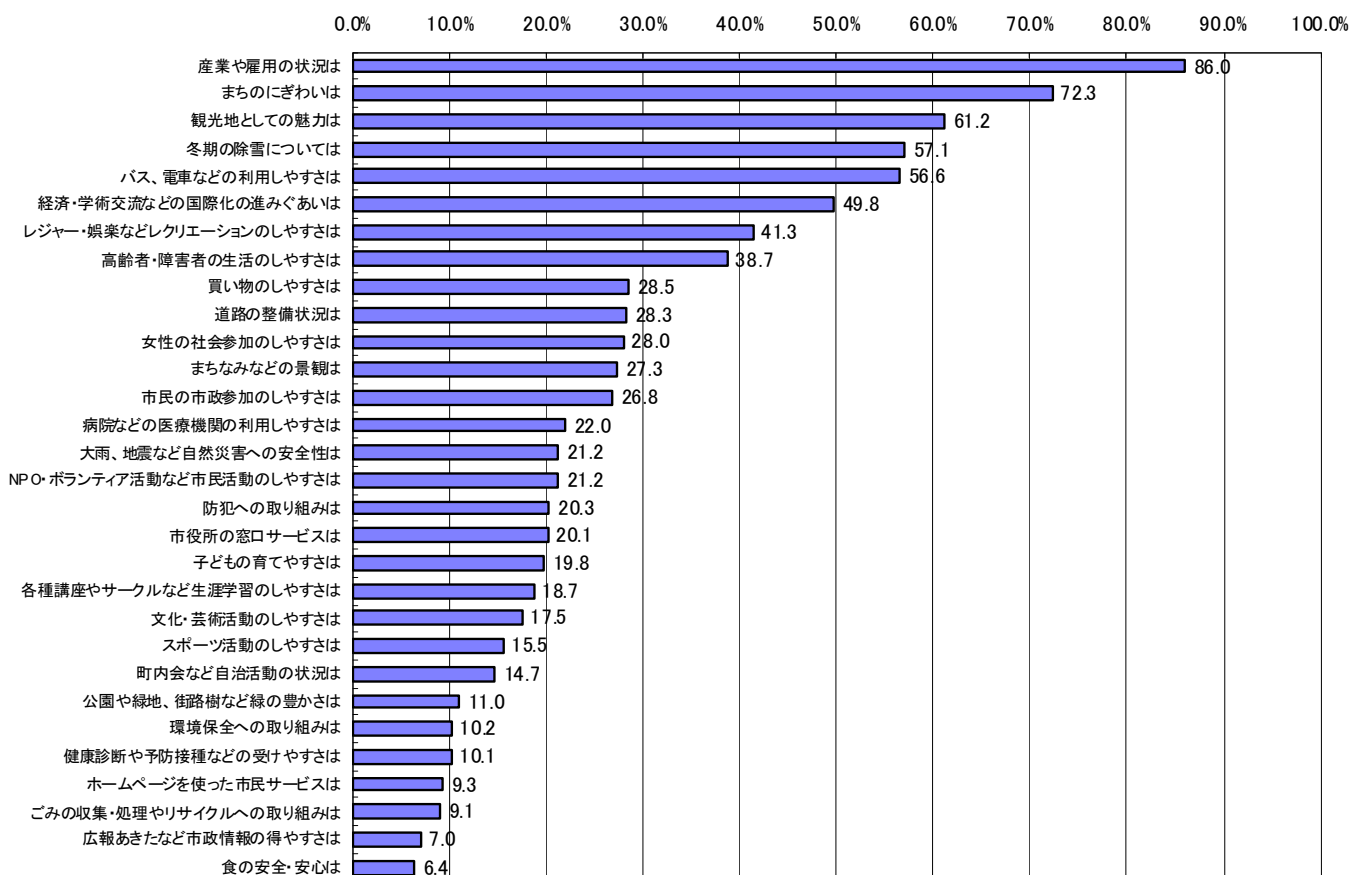
## 問2 秋田市の分野別評価 全体集計グラフ



## 問2 秋田市の分野別の評価 「よい」「どちらかといえばよい」の回答合計グラフ



## 問2 秋田市の分野別の評価 「悪い」「どちらかといえば悪い」の回答合計グラフ























**問2-10 (バス、電車などの利用しやすさは)**

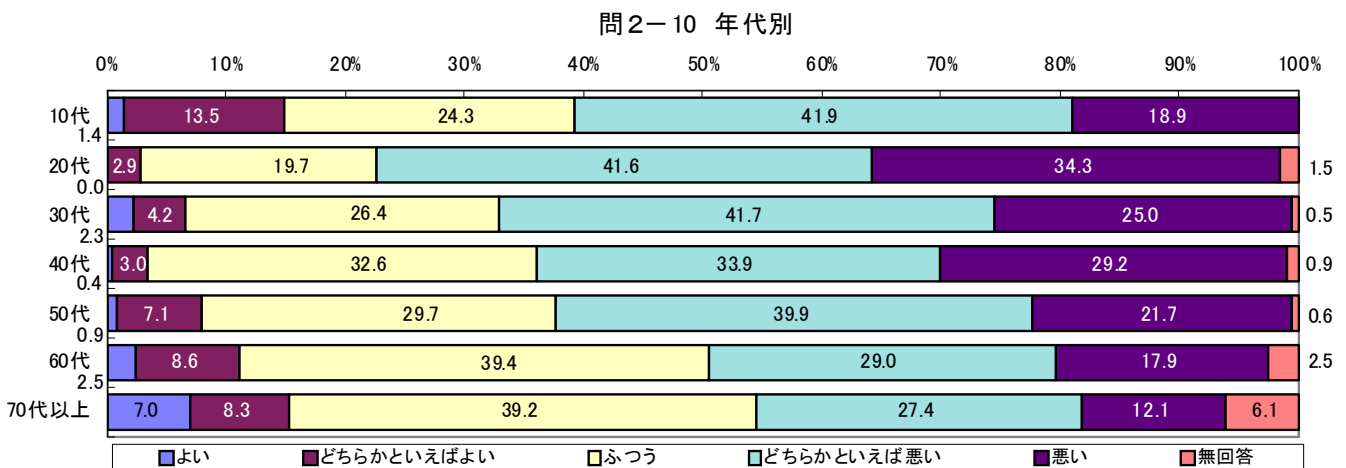
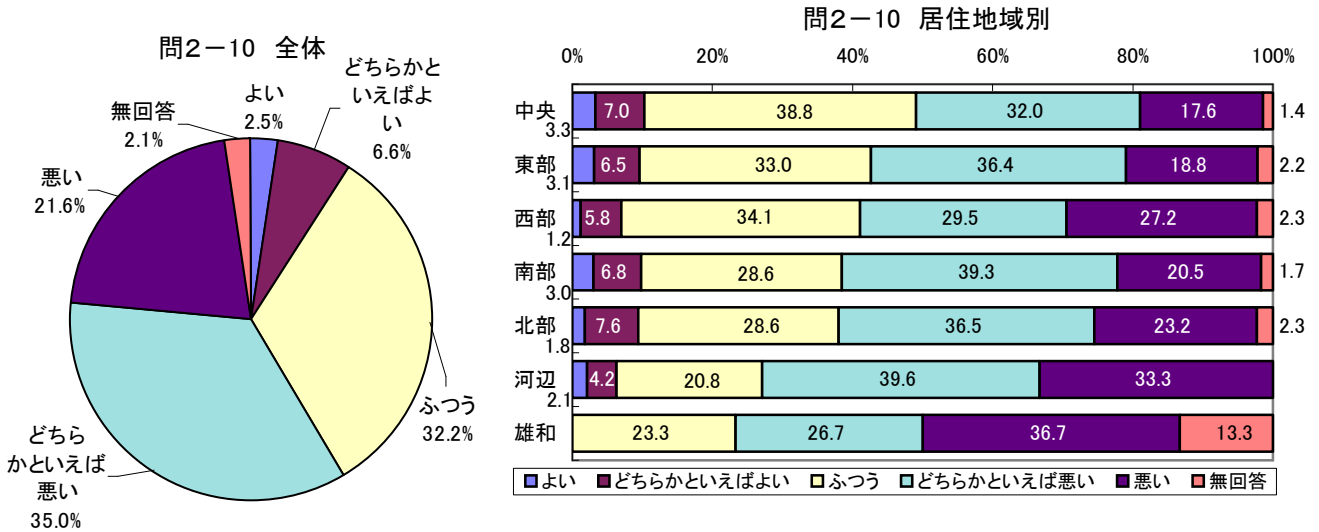
あなたは、秋田市に住んでいて次のこと(バス、電車などの利用しやすさは)をどのように感じていますか。

- 1 よい
- 2 どちらかといえばよい
- 3 ふつう
- 4 どちらかといえば悪い
- 5 悪い

この設問では、バス、電車などの利用のしやすさに対する評価を聞いている。(集計表 P160 参照)  
 全体集計では、「よい」2.5%(3.9%)、「どちらかといえばよい」6.6%(9.7%)、「ふつう」32.2%(36.4%)、「どちらかといえば悪い」35.0%(31.0%)、「悪い」21.6%(17.9%)となった。良い評価9.1%(13.6%)に対し、悪い評価56.6%(48.9%)であり、バス、電車の利用のしやすさについては非常に評価が低くなっている。

年代別集計では、良い評価が「20代」2.9%(8.3%)、「30代」6.5%(7.8%)、「40代」3.4%(5.6%)と低くなっている。また、悪い評価については「20代」75.9%(63.9%)が他の年代に比べ高くなっている。

居住地域別集計では、悪い評価が「河辺」72.9%(55.9%)、「雄和」63.4%(65.6%)と高くなっている。



























**問2-21 (NPO・ボランティア活動など市民活動のしやすさは)**

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと（NPO・ボランティア活動など市民活動のしやすさは）をどのように感じていますか。

- 1 よい
- 2 どちらかといえばよい
- 3 ふつう
- 4 どちらかといえば悪い
- 5 悪い

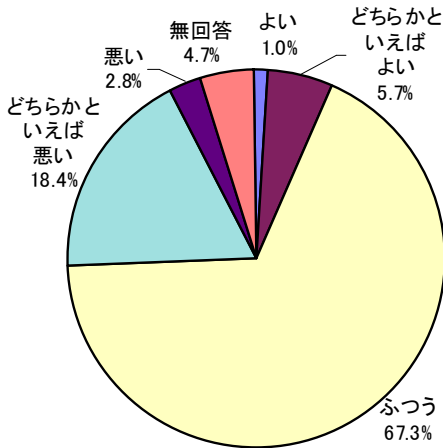
この設問では、NPO・ボランティア活動など市民活動のしやすさに対する評価を聞いている。（集計表P165参照）

全体集計では、「よい」1.0%（1.1%）、「どちらかといえばよい」5.7%（6.0%）、「ふつう」67.3%（66.7%）、「どちらかといえば悪い」18.4%（19.4%）、「悪い」2.8%（3.4%）となった。良い評価6.7%（7.1%）に対し、悪い評価21.2%（22.8%）であり、NPO・ボランティア活動など市民活動のしやすさについては、悪い評価が上回っている。

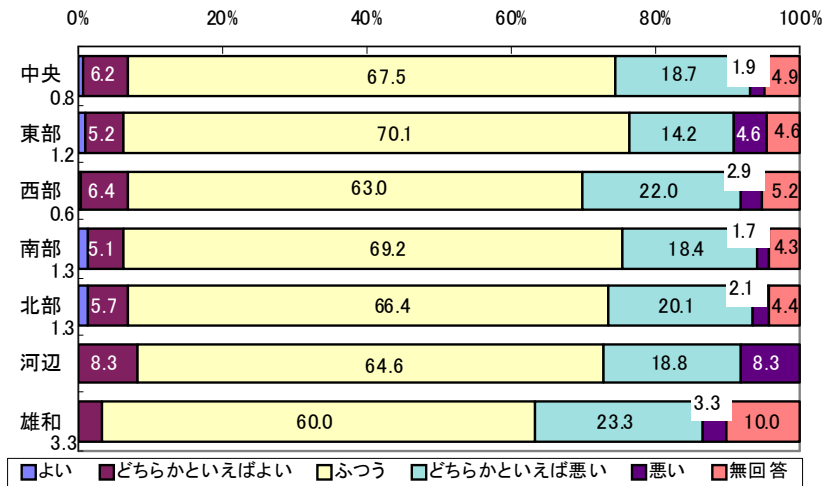
年代別集計では、悪い評価が「20代」22.6%（24.1%）、「50代」25.4%（25.1%）、「60代」21.9%（20.4%）と高くなっている。

居住地域別集計では、悪い評価が「河辺」27.1%（34.9%）、「雄和」26.6%（27.3%）と高くなっている。

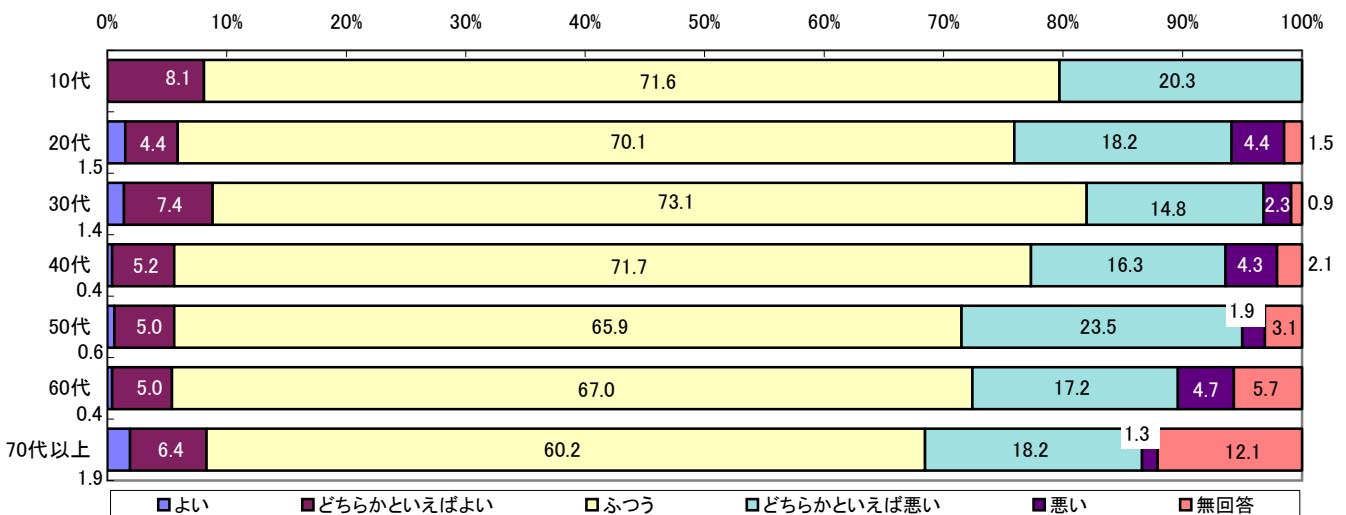
問2-21 全体



問2-21 居住地域別



問2-21 年代別





**問2-23 (各種講座やサークルなど生涯学習のしやすさは)**

あなたは、秋田市に住んでいて次のこと（各種講座やサークルなど生涯学習のしやすさは）をどのように感じていますか。

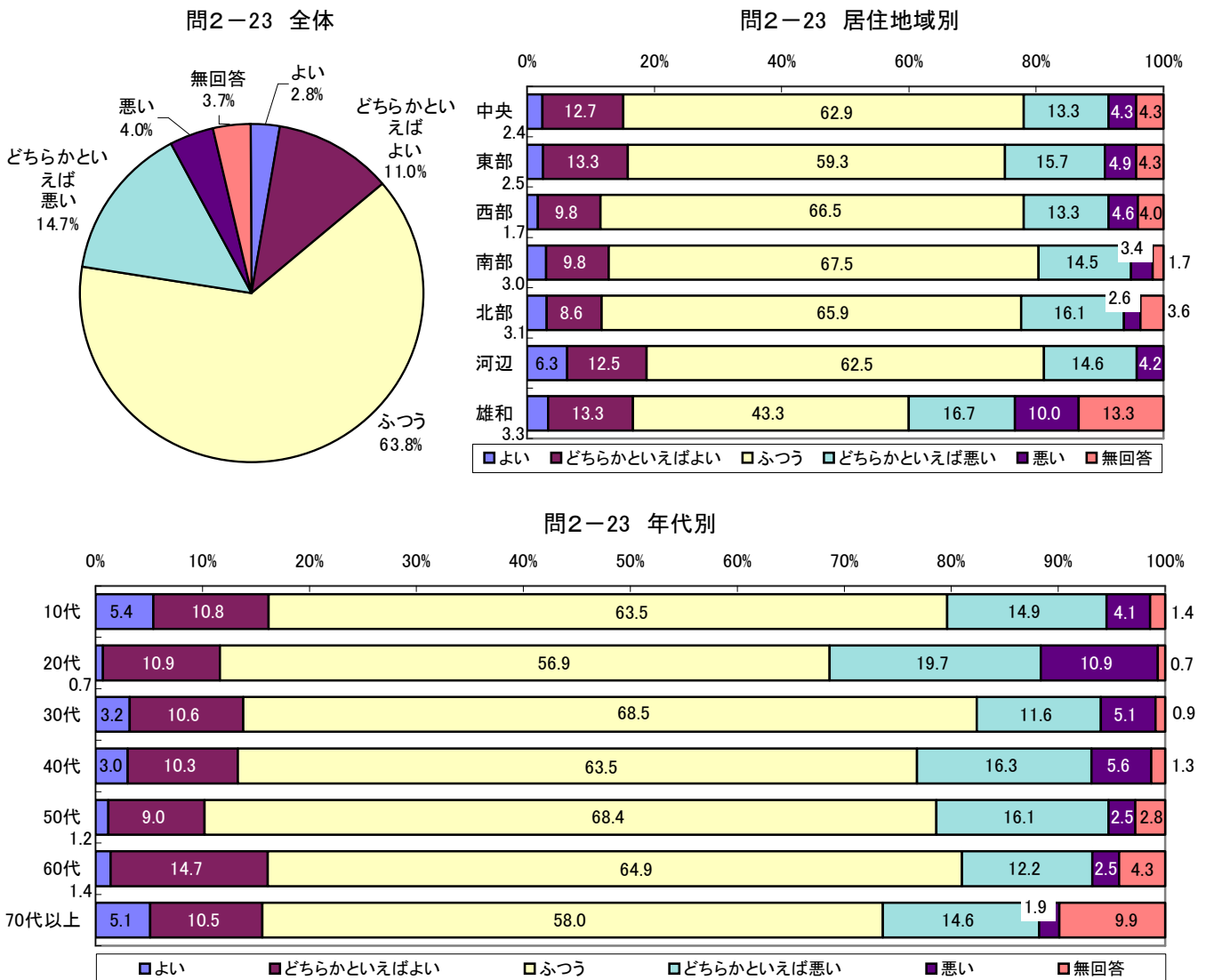
- 1 よい
- 2 どちらかといえばよい
- 3 ふつう
- 4 どちらかといえば悪い
- 5 悪い

この設問では、各種講座やサークルなど生涯学習のしやすさに対する評価を聞いている。（集計表 P 166 参照）

全体集計では、「よい」2.8% (3.2%)、「どちらかといえばよい」11.0% (15.0%)、「ふつう」63.8% (60.6%)、「どちらかといえば悪い」14.7% (15.5%)、「悪い」4.0% (3.5%) となった。良い評価13.8% (18.2%) に対し、悪い評価18.7% (19.0%) であり、各種講座やサークルなど生涯学習のしやすさについては、悪い評価が上回っている。

年代別集計では、良い評価が「10代」16.2% (14.1%)、「60代」16.1% (22.3%)、「70代以上」15.6% (20.4%) で高くなっている。一方、悪い評価では「20代」30.6% (27.3%) と高くなっている。

居住地域別集計では、顕著な差がなかった。



















## 第2節 秋田市の施策について

### 1 力を入れて欲しい施策（問3①）

※（ ）内は前回の数値

#### 問3①（力を入れてほしい施策）

秋田市が行っていることの中で、あなたはどのような分野に力を入れて欲しいと思いますか。次の中から5つまで選んで下さい。

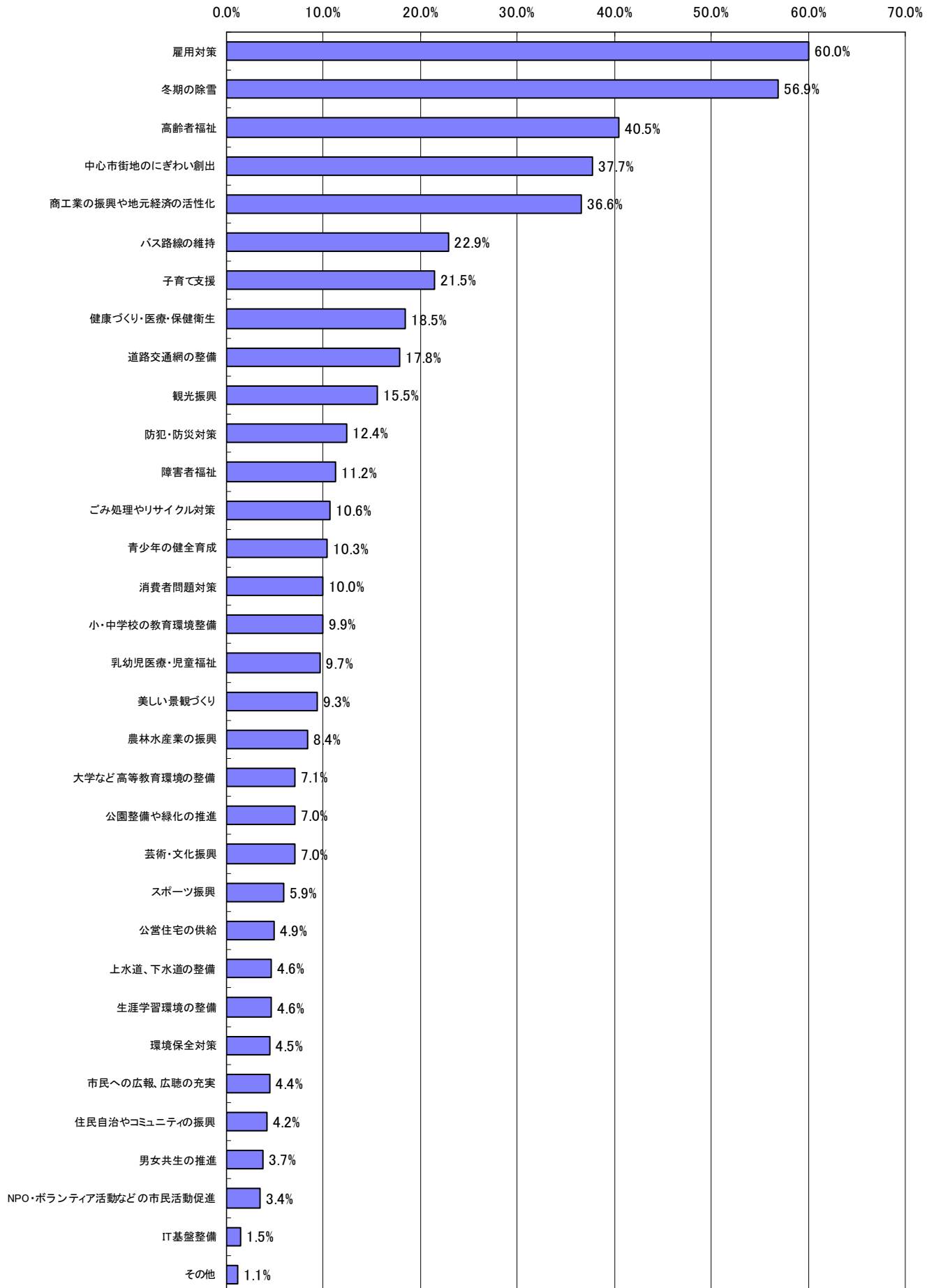
- |                          |                   |                    |
|--------------------------|-------------------|--------------------|
| 1 道路交通網の整備               | 2 バス路線の維持         | 3 冬期の除雪            |
| 4 中心市街地のにぎわい創出           | 5 公営住宅の供給         | 6 上水道、下水道の整備       |
| 7 美しい景観づくり               | 8 公園整備や緑化の推進      | 9 環境保全対策           |
| 10 ごみ処理やリサイクル対策          | 11 I T基盤整備        | 12 商工業の振興や地元経済の活性化 |
| 13 雇用対策                  | 14 観光振興           | 15 農林水産業の振興        |
| 16 高齢者福祉                 | 17 障害者福祉          | 18 子育て支援           |
| 19 乳幼児医療・児童福祉            | 20 健康づくり・医療・保健衛生  | 21 防犯・防災対策         |
| 22 消費者問題対策               | 23 小・中学校の教育環境整備   | 24 大学など高等教育環境の整備   |
| 25 生涯学習環境の整備             | 26 青少年の健全育成       | 27 スポーツ振興          |
| 28 芸術・文化振興               | 29 住民自治やコミュニティの振興 |                    |
| 30 NPO・ボランティア活動などの市民活動促進 |                   | 31 男女共生の推進         |
| 32 市民への広報、広聴の充実          | 33 その他            |                    |

この設問では、力を入れて欲しい施策を5つ聞いている。（集計表 P171～172 参照）

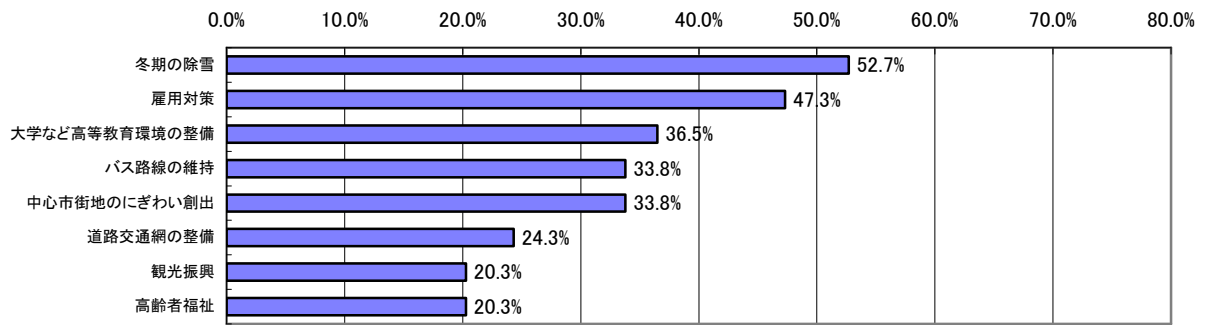
全体集計では、最も多かったのは「雇用対策」60.0%（47.4%）であった。以下、「冬期の除雪」56.9%（60.4%）、「高齢者福祉」40.5%（39.4%）、「中心市街地のにぎわい創出」37.7%（38.4%）、「商工業の振興や地元経済の活性化」36.6%（30.2%）、「バス路線の維持」22.9%（20.2%）と続いている。（P44 グラフ参照）

なお、年代別、居住地域別の集計結果については、P45 からP48 のグラフで示している。（表記の条件として、20%以上の回答があったものを記している）

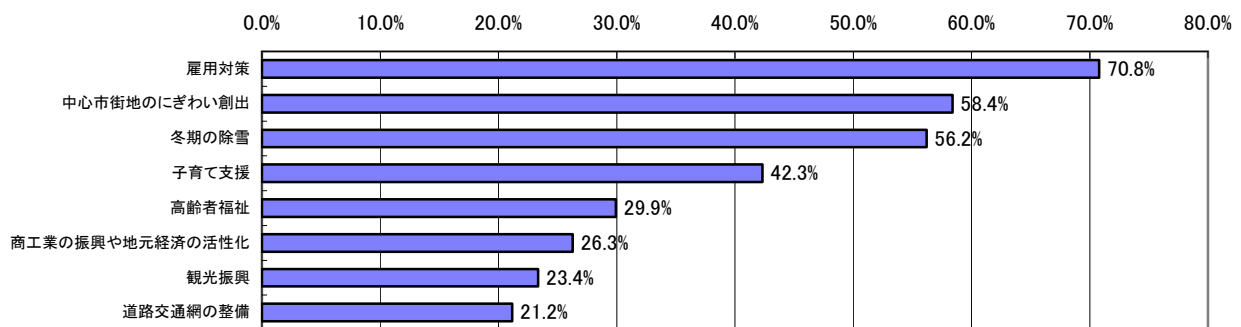
問3① 秋田市の施策について（力を入れて欲しい施策）全体



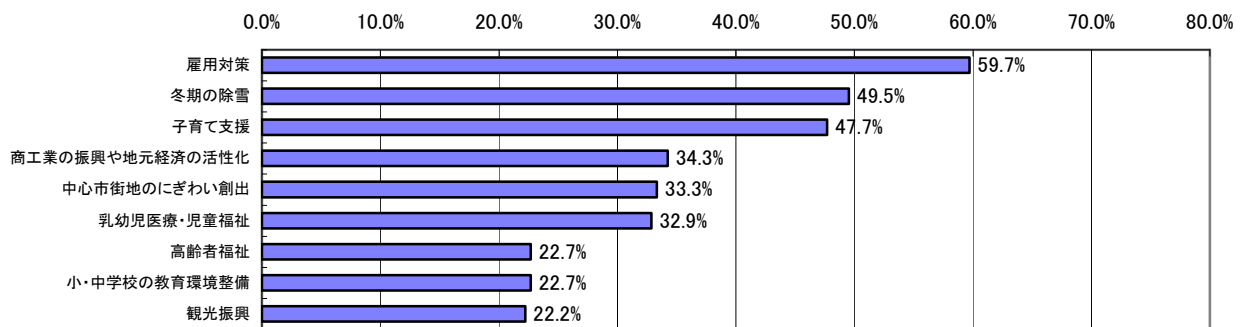
問3① 秋田市の施策について（力を入れて欲しい施策）「10代」



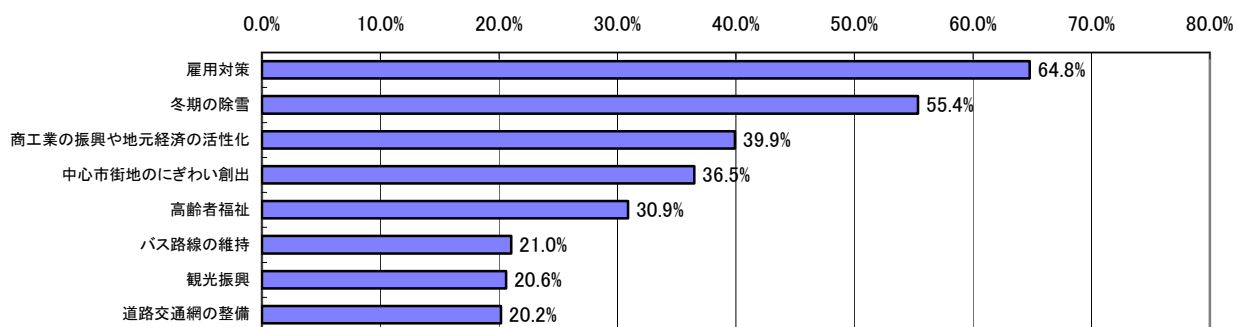
問3① 秋田市の施策について（力を入れて欲しい施策）「20代」



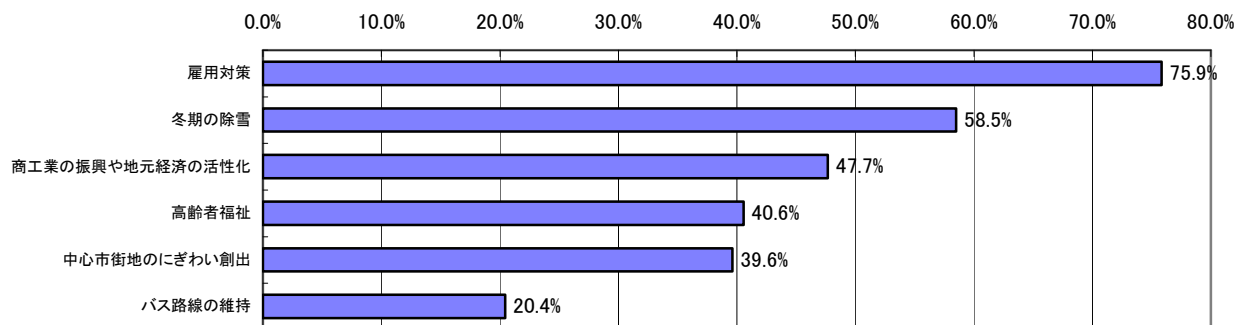
問3① 秋田市の施策について（力を入れて欲しい施策）「30代」



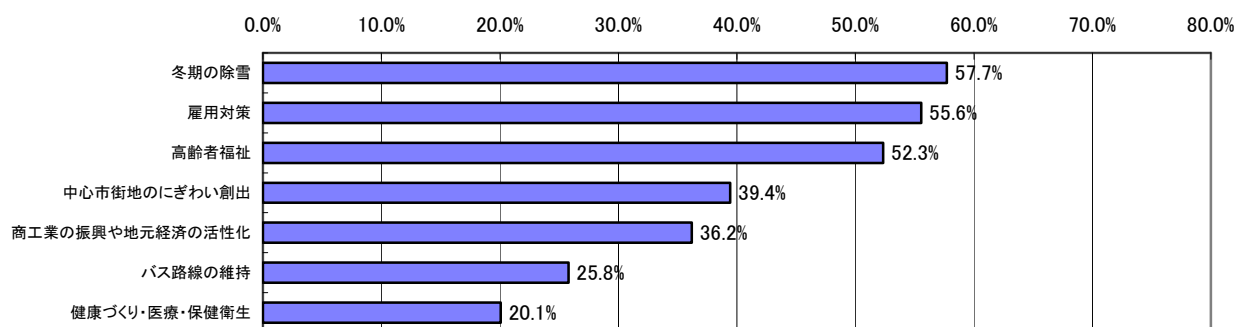
問3① 秋田市の施策について（力を入れて欲しい施策）「40代」



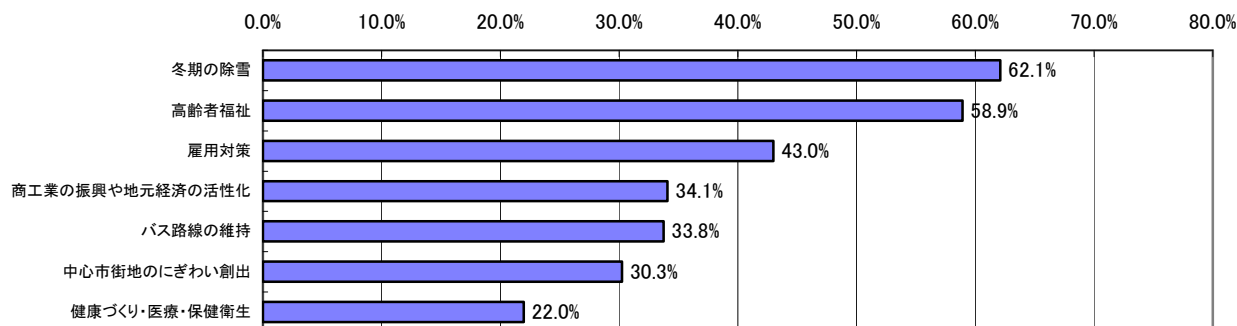
問3① 秋田市の施策について（力を入れて欲しい施策）「50代」



問3① 秋田市の施策について（力を入れて欲しい施策）「60代」

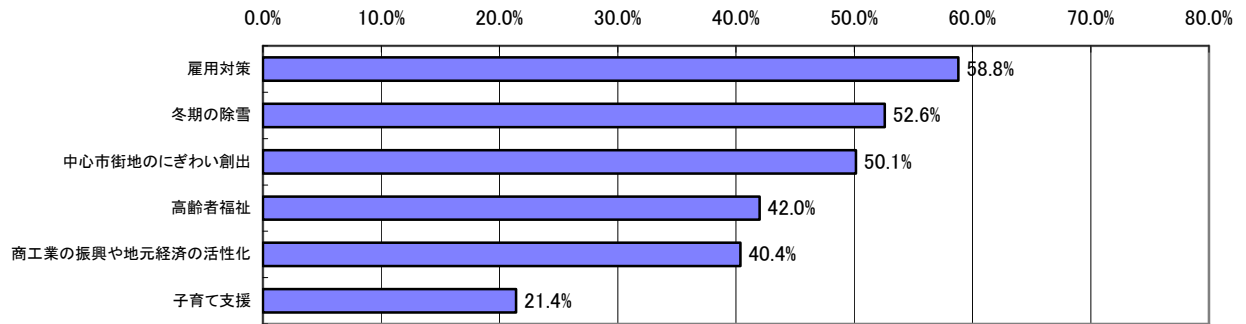


問3① 秋田市の施策について（力を入れて欲しい施策）「70代以上」

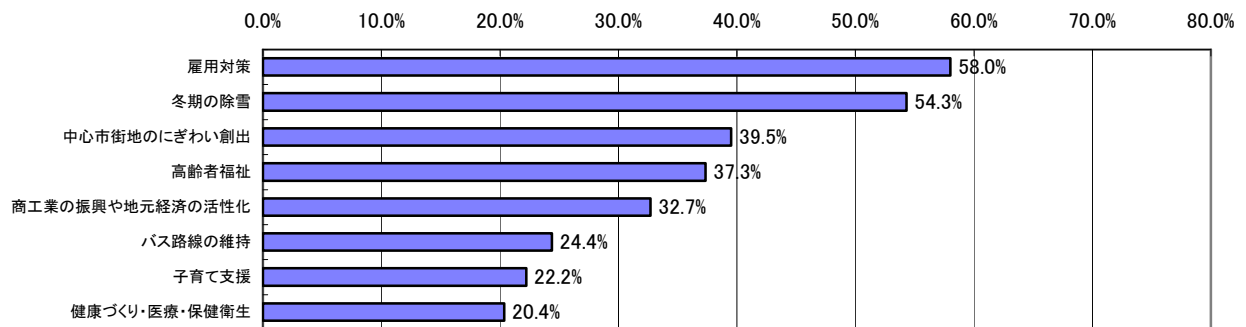




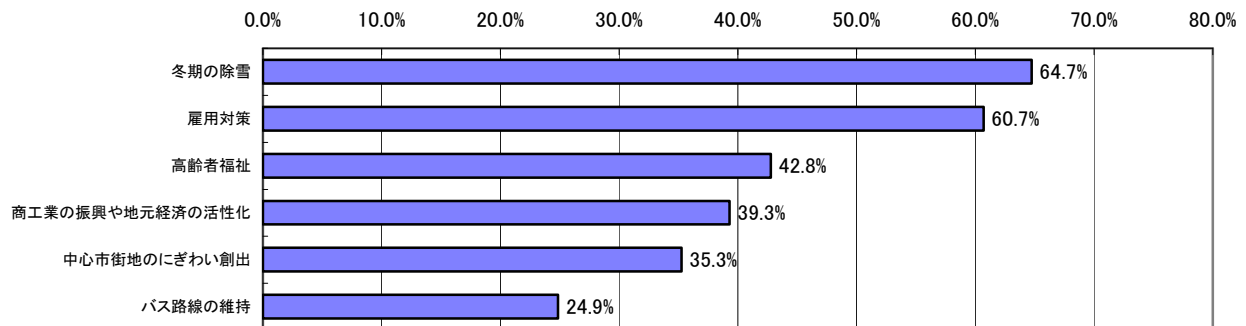
問3① 秋田市の施策について（力を入れて欲しい施策）「中央」



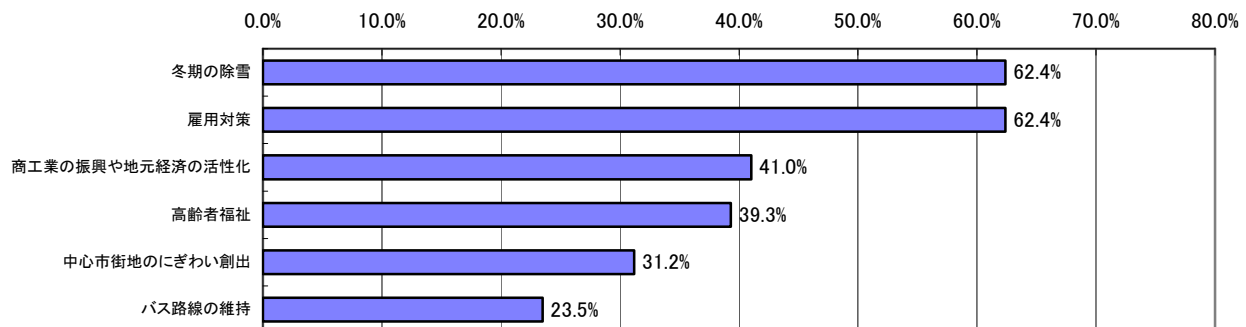
問3① 秋田市の施策について（力を入れて欲しい施策）「東部」



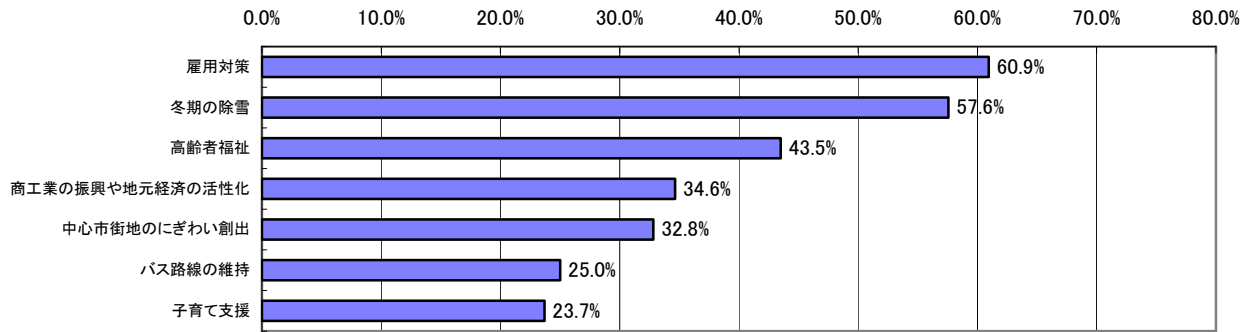
問3① 秋田市の施策について（力を入れて欲しい施策）「西部」



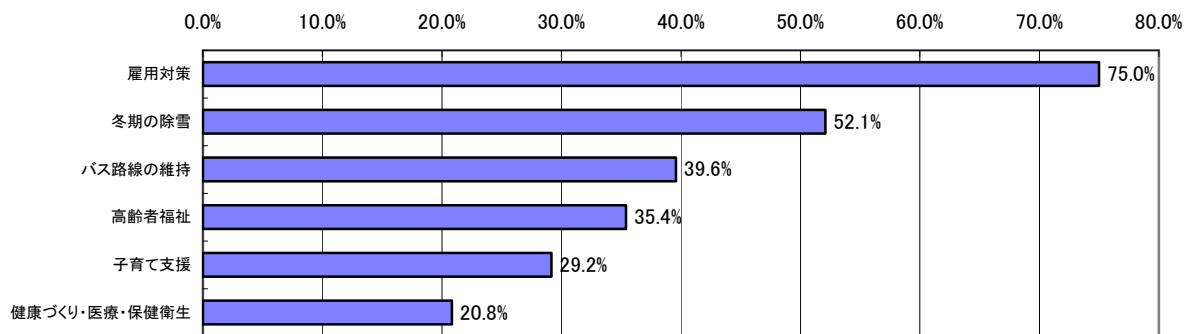
問3① 秋田市の施策について（力を入れて欲しい施策）「南部」



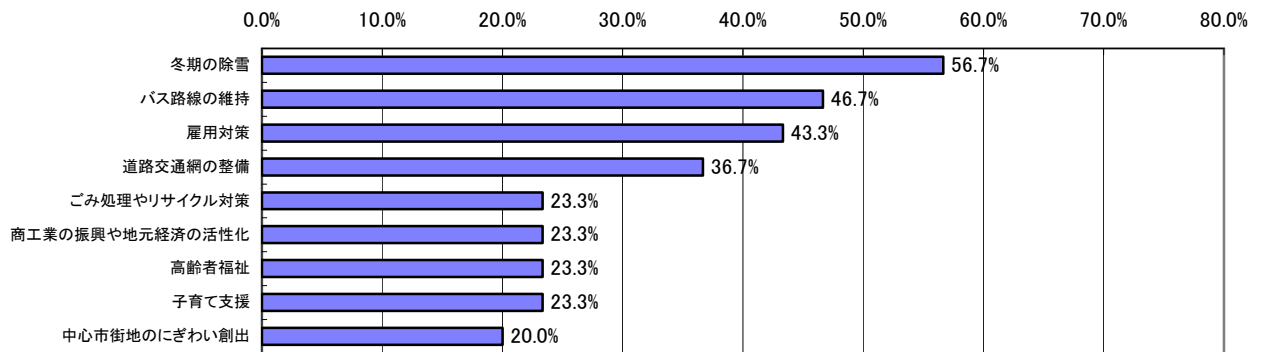
問3① 秋田市の施策について（力を入れて欲しい施策）「北部」



問3① 秋田市の施策について（力を入れて欲しい施策）「河辺」



問3① 秋田市の施策について（力を入れて欲しい施策）「雄和」



## 2 最も力を入れて欲しい施策（問3②）

※（ ）内は前回の数値

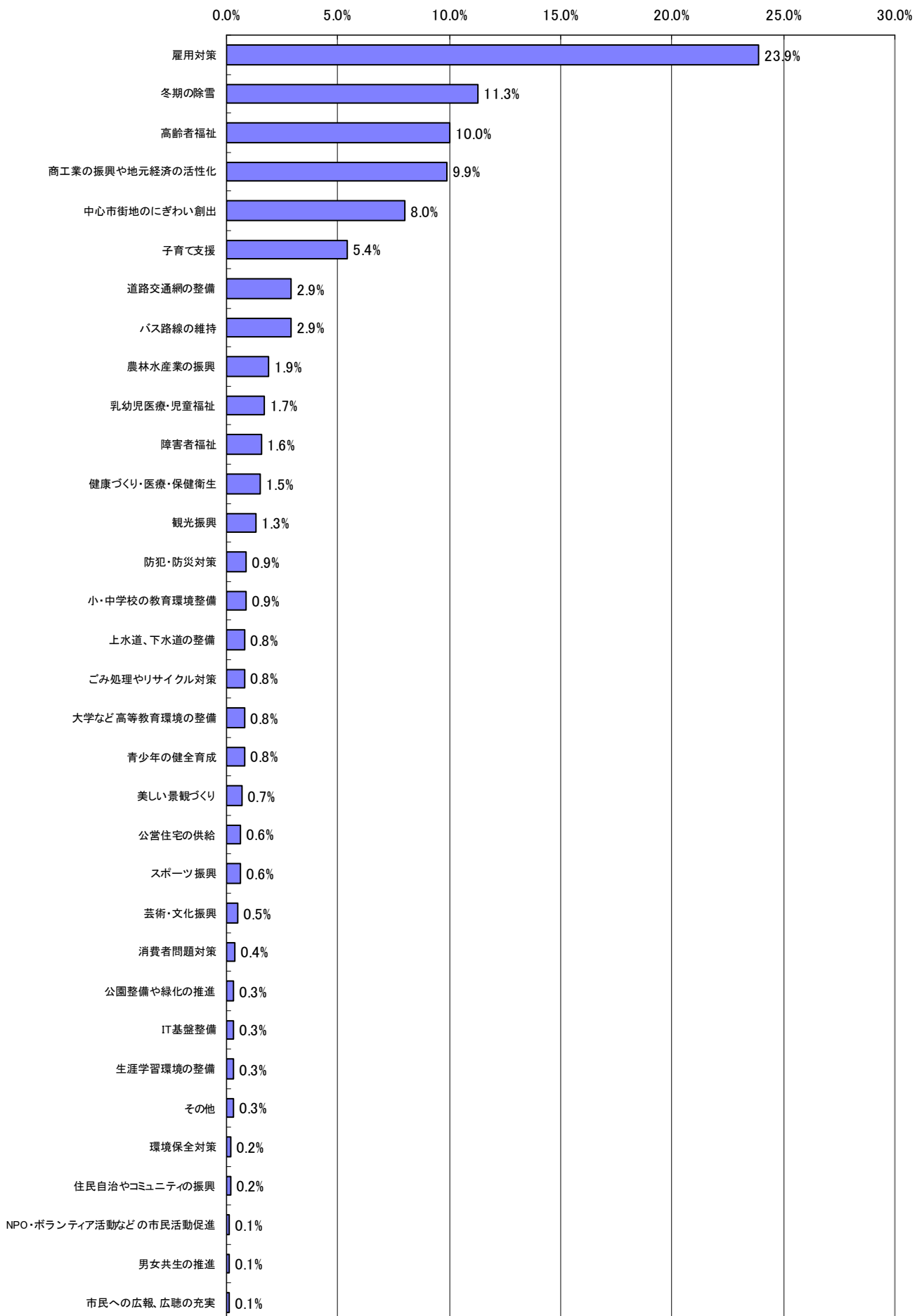
### 問3②（最も力を入れて欲しい施策）

（問3①の質問を受け）①中で選んだ中で、あなたが、一番、力を入れて欲しいと思うものはどれですか。1つ選んでください。

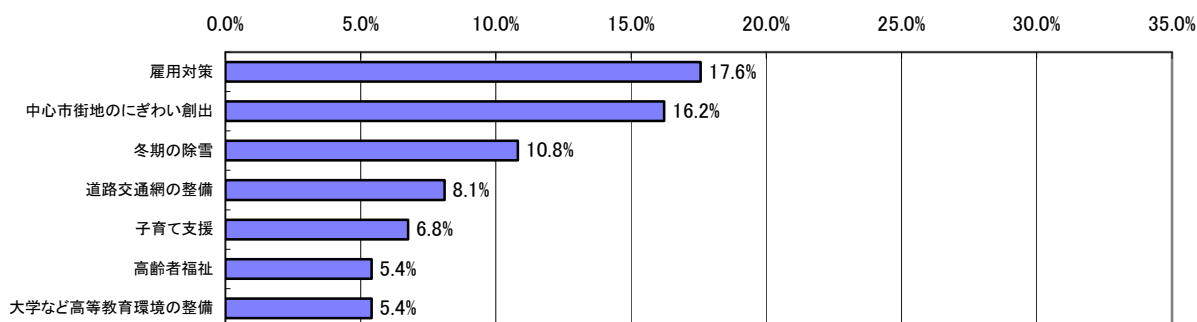
- |                          |                   |                    |
|--------------------------|-------------------|--------------------|
| 1 道路交通網の整備               | 2 バス路線の維持         | 3 冬期の除雪            |
| 4 中心市街地のにぎわい創出           | 5 公営住宅の供給         | 6 上水道、下水道の整備       |
| 7 美しい景観づくり               | 8 公園整備や緑化の推進      | 9 環境保全対策           |
| 10 ごみ処理やリサイクル対策          | 11 I T基盤整備        | 12 商工業の振興や地元経済の活性化 |
| 13 雇用対策                  | 14 観光振興           | 15 農林水産業の振興        |
| 16 高齢者福祉                 | 17 障害者福祉          | 18 子育て支援           |
| 19 乳幼児医療・児童福祉            | 20 健康づくり・医療・保健衛生  | 21 防犯・防災対策         |
| 22 消費者問題対策               | 23 小・中学校の教育環境整備   | 24 大学など高等教育環境の整備   |
| 25 生涯学習環境の整備             | 26 青少年の健全育成       | 27 スポーツ振興          |
| 28 芸術・文化振興               | 29 住民自治やコミュニティの振興 |                    |
| 30 NPO・ボランティア活動などの市民活動促進 | 31 男女共生の推進        |                    |
| 32 市民への広報、広聴の充実          | 33 その他            |                    |

この設問では、最も力を入れてほしい施策を1つ聞いている。（集計表 P173～174 参照）  
全体集計では、「雇用対策」23.9%（15.0%）、「冬期の除雪」11.3%（13.7%）、「高齢者福祉」10.0%（11.7%）、「商工業の振興や地元経済の活性化」9.9%（8.2%）という結果となった。  
問3①と比べると、ほぼ同じ順になっているが、子育て支援が5.4%と高くなっている。  
なお、年代別、居住地域別の集計結果については、P51 からP54 のグラフで示している。  
（※表記の条件として、5.0%以上の回答があったものを記している。）

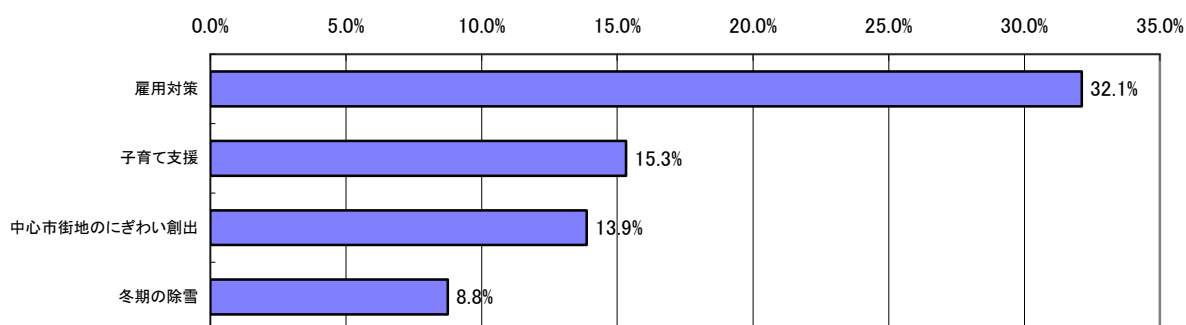
問3② 秋田市の施策について（最も力を入れて欲しい施策）全体



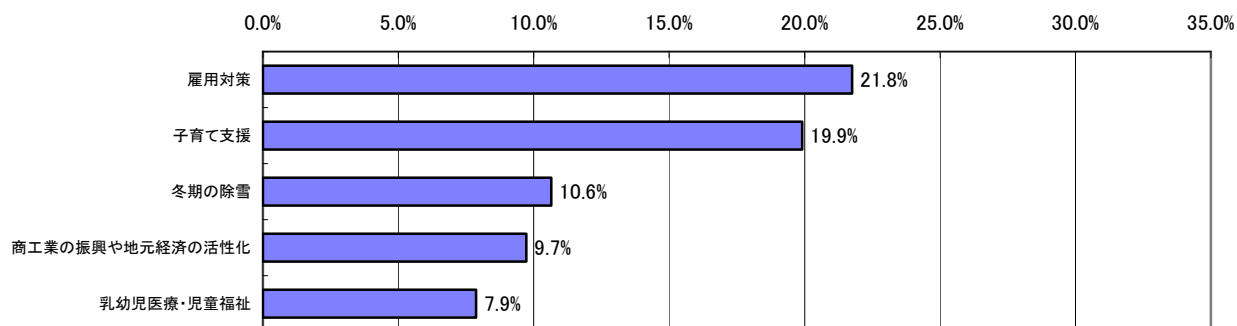
問3② 秋田市の施策について（最も力を入れて欲しい施策）「10代」



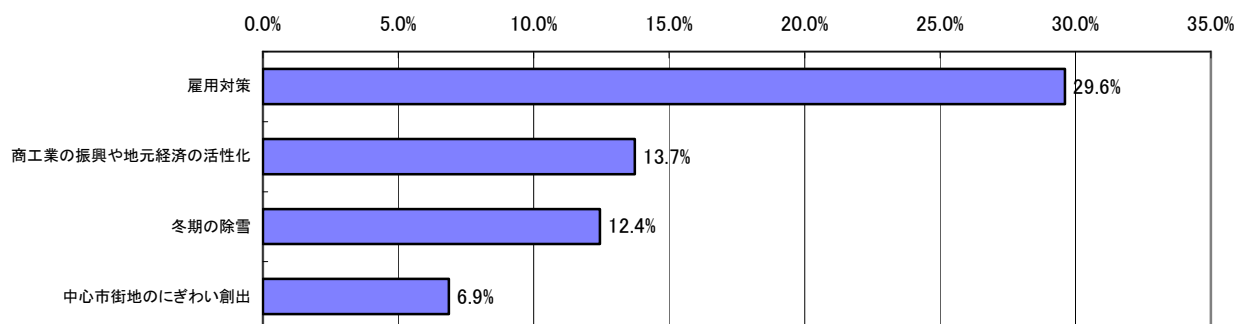
問3② 秋田市の施策について（最も力を入れて欲しい施策）「20代」



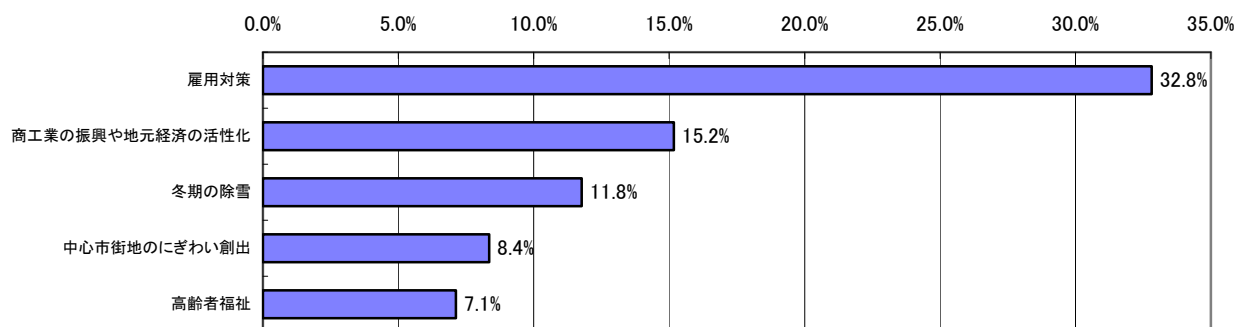
問3② 秋田市の施策について（最も力を入れて欲しい施策）「30代」



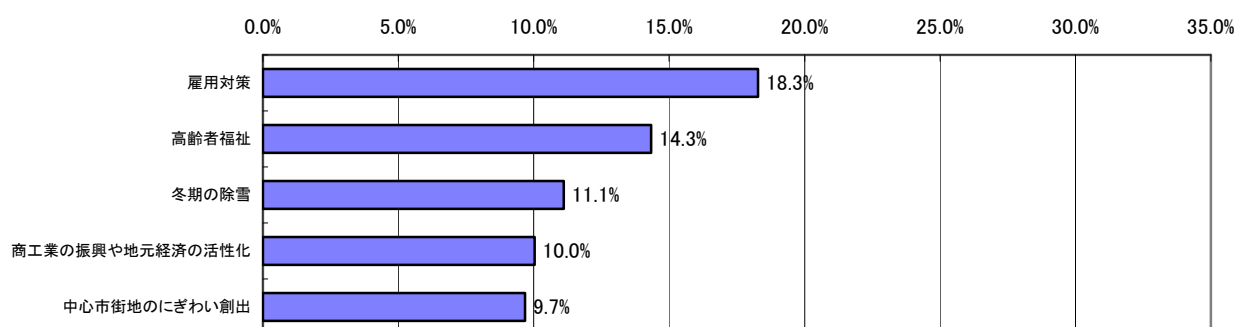
問3② 秋田市の施策について（最も力を入れて欲しい施策）「40代」



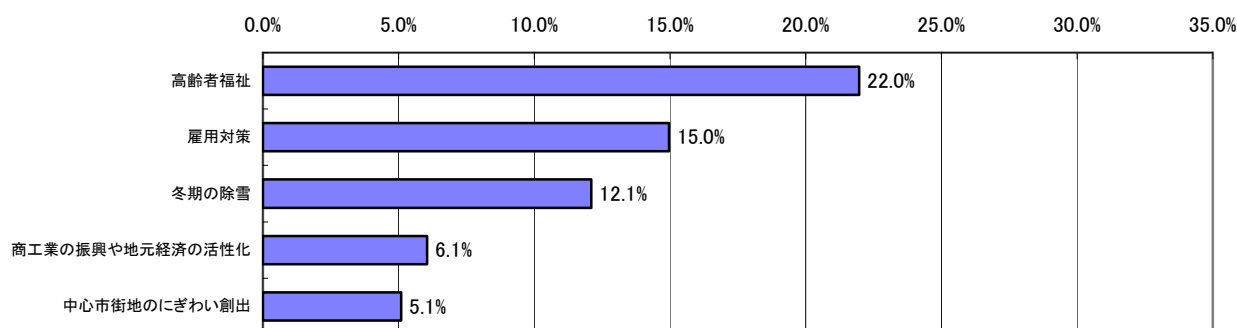
問3② 秋田市の施策について（最も力を入れて欲しい施策）「50代」



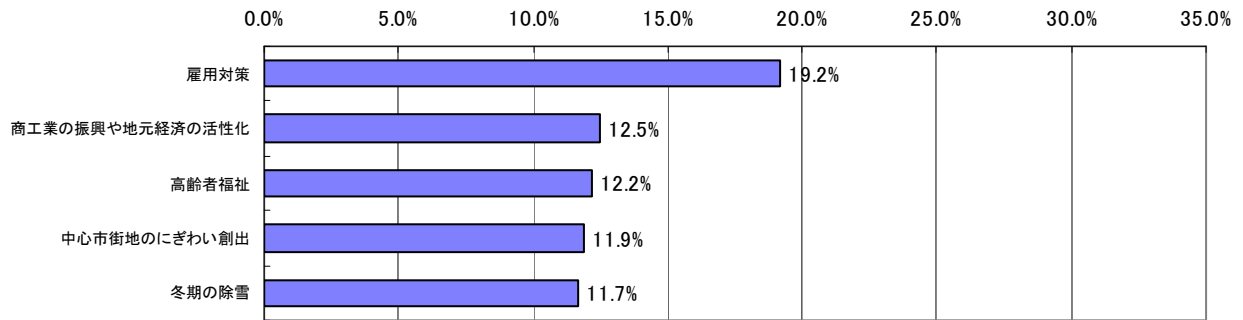
問3② 秋田市の施策について（最も力を入れて欲しい施策）「60代」



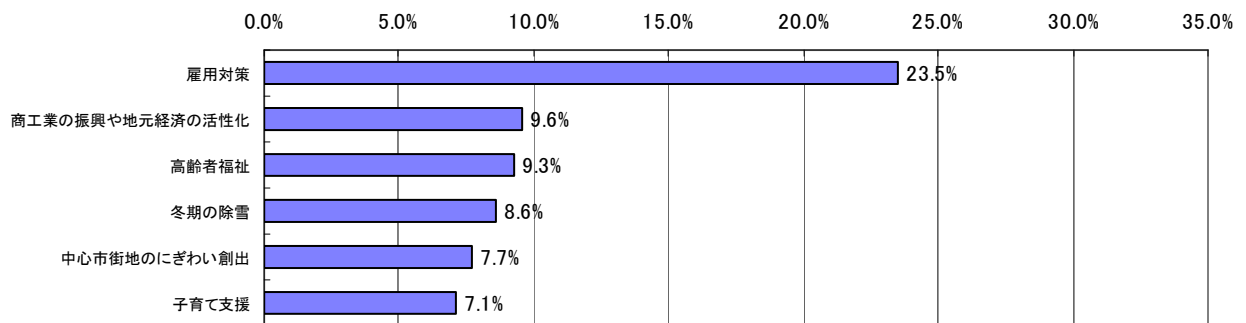
問3② 秋田市の施策について（最も力を入れて欲しい施策）「70代以上」



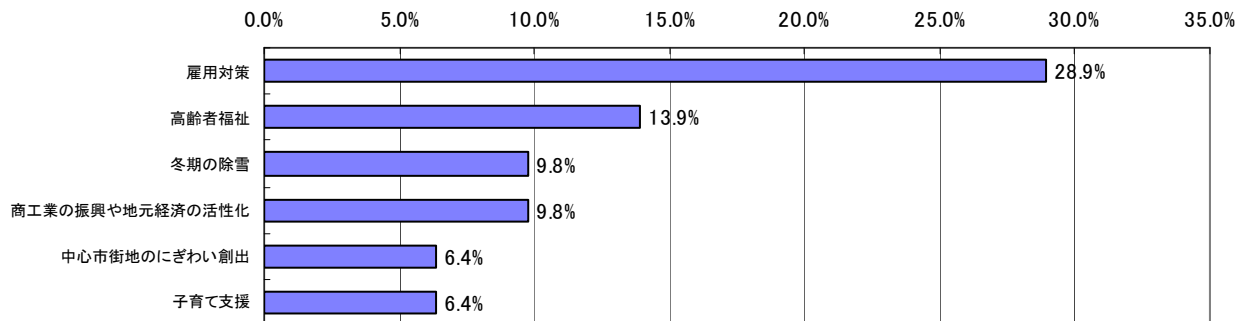
問3② 秋田市の施策について（最も力を入れて欲しい施策）「中央」



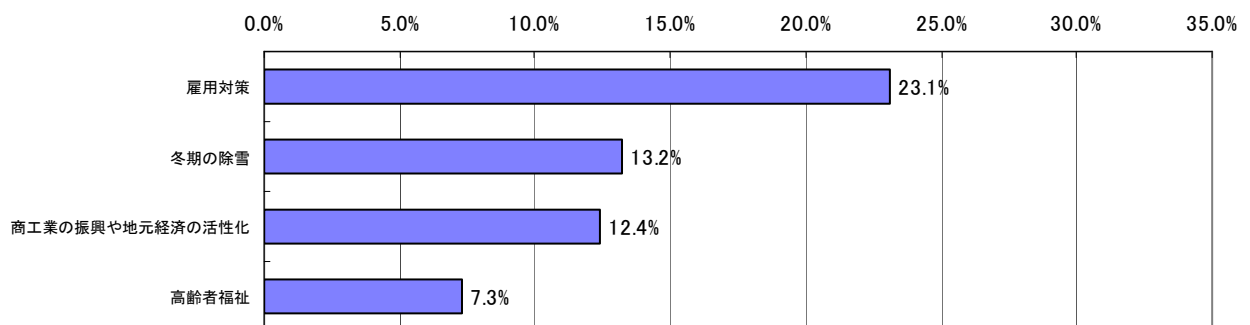
問3② 秋田市の施策について（最も力を入れて欲しい施策）「東部」



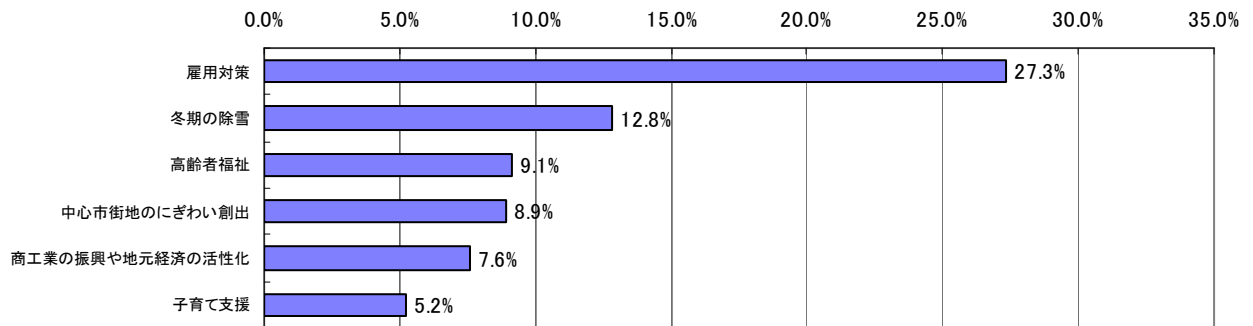
問3② 秋田市の施策について（最も力を入れて欲しい施策）「西部」



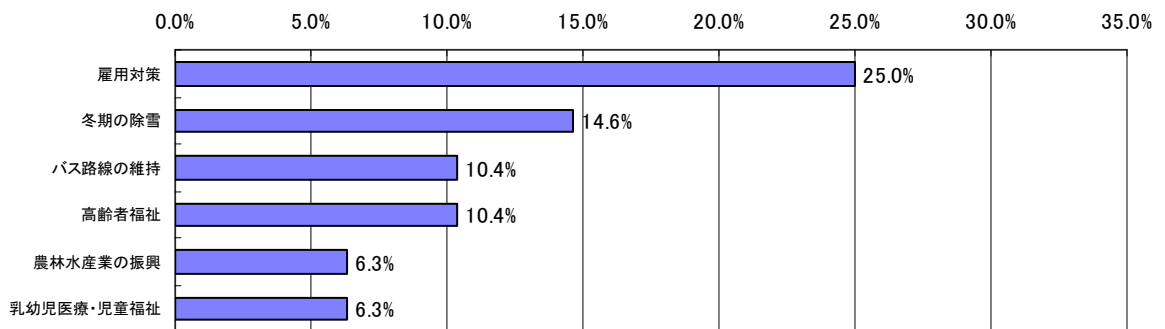
問3② 秋田市の施策について（最も力を入れて欲しい施策）「南部」



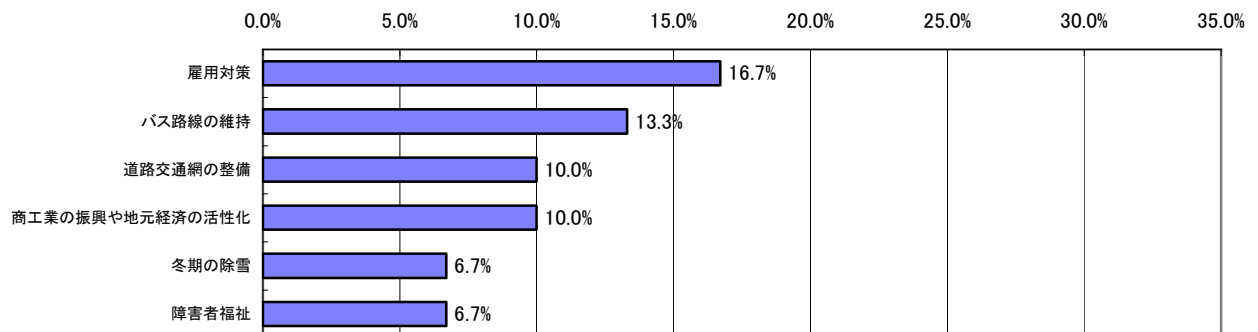
問3② 秋田市の施策について（最も力を入れて欲しい施策）「北部」



問3② 秋田市の施策について（最も力を入れて欲しい施策）「河辺」



問3② 秋田市の施策について（最も力を入れて欲しい施策）「雄和」





### 第3節 市民協働について

#### 1 市と市民の役割分担（問4）

##### 問4（市と市民の役割分担）

秋田市では、市民協働による様々な取り組みを進めていますが、次のような市と市民の役割分担についてどう思いますか。次の中から1つ選んでください。

【選択肢】

- 1 役割分担として適切である    2 市の役割が重すぎる    3 市の役割が軽すぎる    4 わからない

取組事例	役割の事例	
地域内道路の整備と維持管理	<b>【市】</b> ・舗装や側溝などの道路施設の補修・改良 ・幹線道路の定期的なパトロールによる安全確保	<b>【市民】</b> ・生活道路の側溝清掃や草刈りなどの軽易な維持管理 ・地域道路の危険箇所などの情報提供
ごみ減量活動の促進	<b>【市】</b> ・ごみの減量に関する情報を提供 ・効果的な仕組みづくりや減量施策の実施	<b>【市民】</b> ・ごみをできるだけ出さない生活を意識・実践
高齢者の健康維持の促進（介護予防サービスの充実）	<b>【市】</b> ・総合的な介護予防体制（システム）の確立	<b>【市民】</b> ・利用者の状態にあった良質なサービスの提供（サービス提供事業者） ・介護予防の必要性への理解と地域や家族ぐるみでの介護予防の実践
子育て支援のネットワークづくり	<b>【市】</b> ・地域の子育て支援者への研修などの実施 ・子育て支援者の組織づくりや連携の支援	<b>【市民】</b> ・地域全体での子育て支援への理解と子育て支援活動への参加
災害ボランティアの受入体制の確保	<b>【市】</b> ・ボランティア関係団体との相互理解 ・災害時のボランティア活動の体制づくり	<b>【市民】</b> ・災害ボランティア活動への理解 ・災害発生時の救護活動への参加

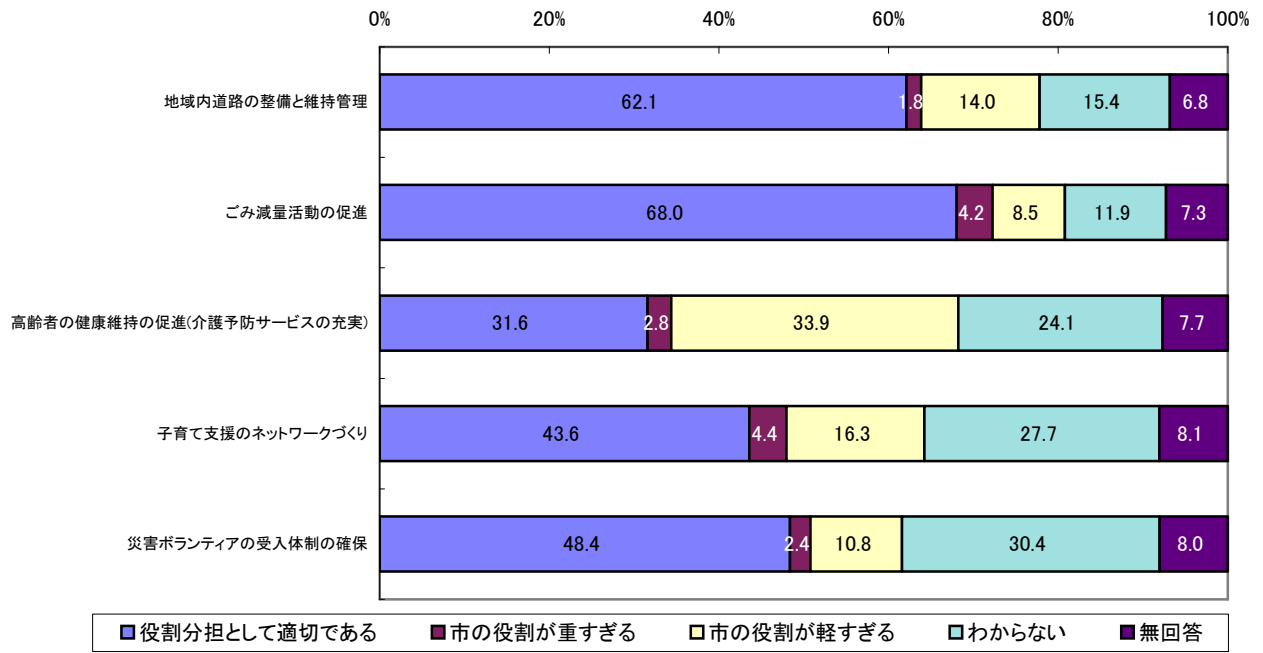
この設問では、市民協働による様々な取り組みについて市民の意識を把握するため、5の取組事例について、市と市民の役割分担への意見を聞いている。（集計表 P175～177 参照）

全体集計では、「地域内道路の整備と維持管理」と、「ごみ減量活動の促進」の2項目で「役割分担として適切である」が、50%以上と高い割合を占めた。

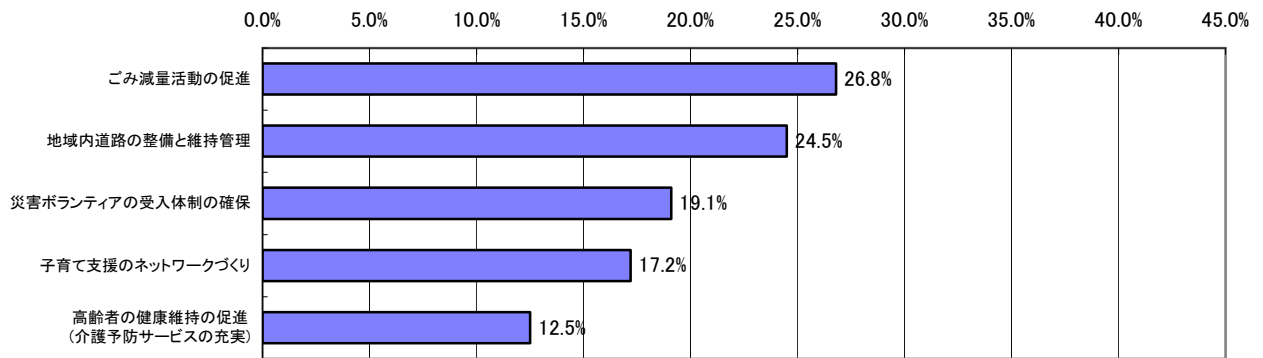
「高齢者の健康維持の促進（介護予防サービスの充実）」に関しては、「市の役割が軽すぎる」が33.9%と他の項目に比べ高い割合を占めた。

「子育て支援のネットワークづくり」と「災害ボランティアの受入体制の確保」の2項目では、「役割分担として適切である」が4割以上となったものの、「わからない」という回答が他の項目に比べ高い割合を占めた。

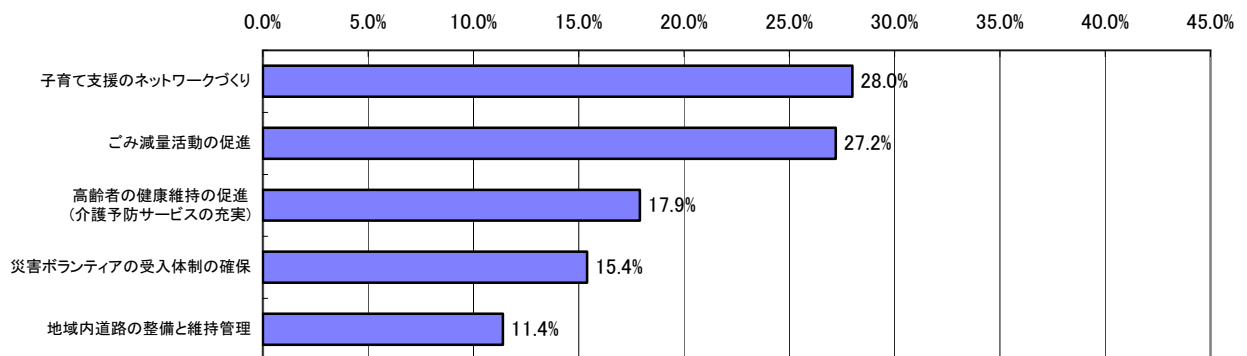
問4① 市と市民の役割分担 全体



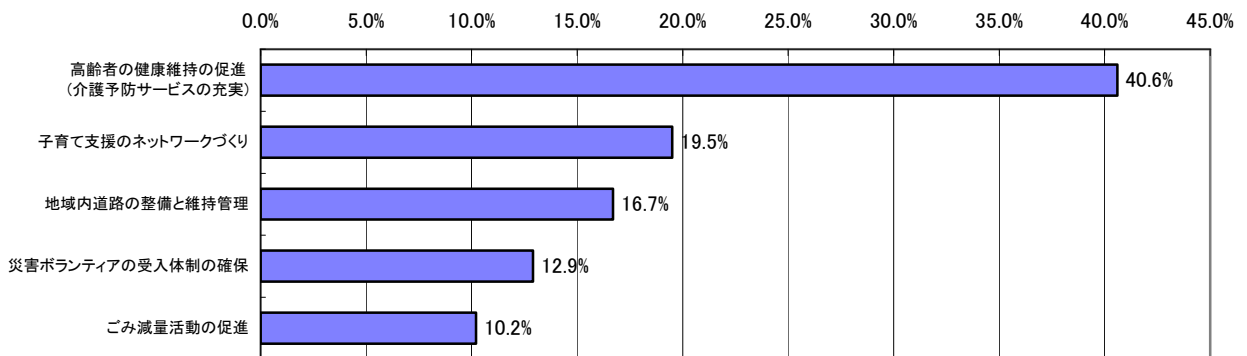
問4① 市民協働について 市と市民の役割分担 「役割分担として適切である」のグラフ



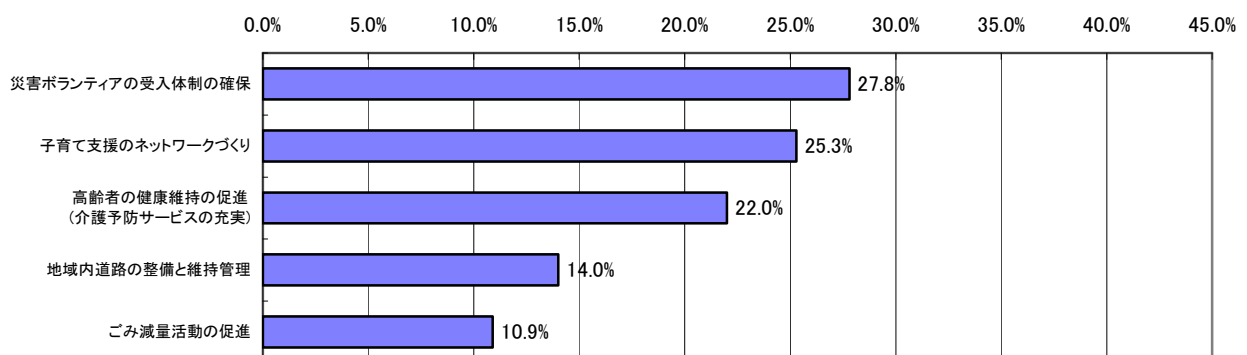
問4① 市民協働について 市と市民の役割分担 「市の役割が重すぎる」のグラフ



問4① 市民協働について 市と市民の役割分担 「市の役割が軽すぎる」のグラフ



問4① 市民協働について 市と市民の役割分担 「わからない」のグラフ



**問4①-1 (地域内道路の整備と維持管理)**

秋田市では、市民協働による様々な取り組みを進めていますが、次のような市と市民の役割分担についてどう思いますか。次の中から1つ選んでください。

**【選択肢】**

- 1 役割分担として適切である 2 市の役割が重すぎる 3 市の役割が軽すぎる 4 わからない

**【取組事例】** 地域内道路の整備と維持管理

**【市】**

- ・舗装や側溝などの道路施設の補修・改良
- ・幹線道路の定期的なパトロールによる安全確保

**【市民】**

- ・生活道路の側溝清掃や草刈りなどの軽易な維持管理
- ・地域道路の危険箇所などの情報提供

この設問では、地域内道路の整備と維持管理に対する役割分担への意見を聞いている。(集計表 P175 参照)

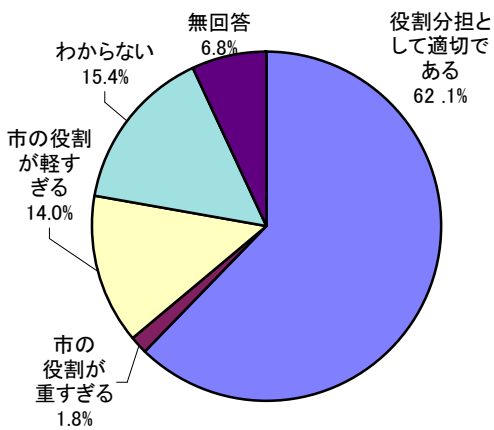
全体集計では、「役割分担として適切である」62.1%、「市の役割が重すぎる」1.8%、「市の役割が軽すぎる」14.0%、「わからない」15.4%、となり、6割以上が「役割分担として適切である」と答えている。

男女別集計では、「市の役割が軽すぎる」が「男性」18.9%、「女性」10.3%と男性の方が市の役割が軽いと答えている割合が高い。

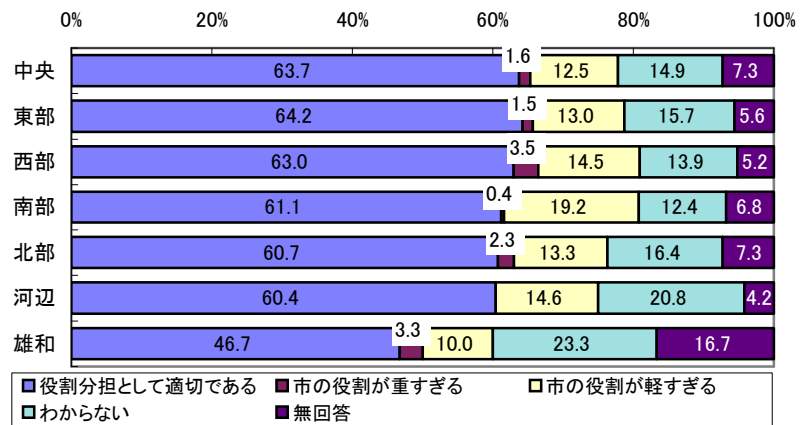
年代別集計では、「10代」から「60代」で「役割分担として適切である」が60%を超えている。

居住地域別集計では、他の地域が概ね60%以上が「役割分担として適切である」と評価をしているのに比べ、「雄和」46.7%と低くなっている。

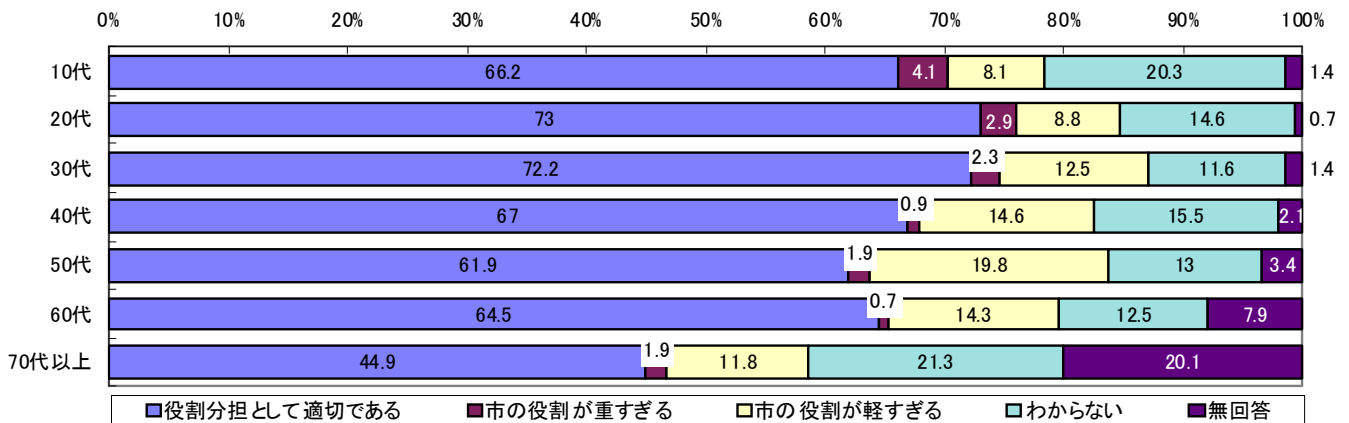
問4①-1 全体



問4①-1 居住地域別



問4①-1 年齢別



### 問4①-2 (ごみ減量活動の促進)

秋田市では、市民協働による様々な取り組みを進めています。次のような市と市民の役割分担についてどう思いますか。次の中から1つ選んでください。

**【選択肢】**

- 1 役割分担として適切である    2 市の役割が重すぎる    3 市の役割が軽すぎる    4 わからない

**【取組事例】**    ごみ減量活動の促進

**【市】**

- ・ごみの減量に関する情報を提供
- ・効果的な仕組みづくりや減量施策の実施

**【市民】**

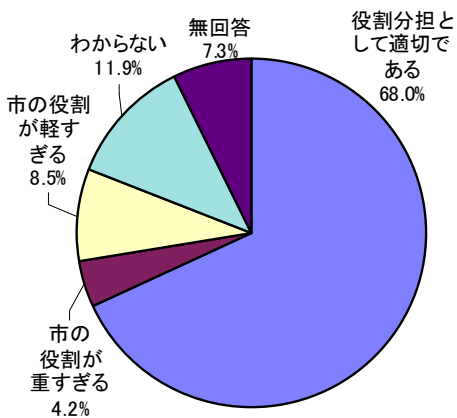
- ・ごみをできるだけ出さない生活を意識・実践

この設問では、ごみ減量活動の促進に対する役割分担への意見を聞いている。(集計表 P175 参照)  
 全体集計では、「役割分担として適切である」68.0%、「市の役割が重すぎる」4.2%、「市の役割が軽すぎる」8.5%、「わからない」11.9%、となり、6割以上が「役割分担として適切である」と答えている。

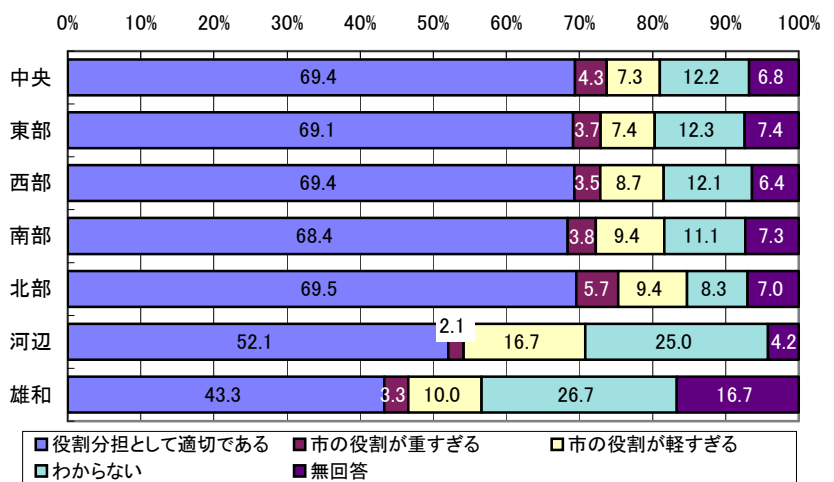
年代別集計では、どの年代も概ね「役割分担として適切である」が60%を超えているが、「70代以上」52.9%と他の年代より低くなっている。

居住地域別集計では、他の地域が概ね70%弱が「役割分担として適切である」と評価をしているのに比べ、「河辺」52.1%、「雄和」43.3%と低くなっている。

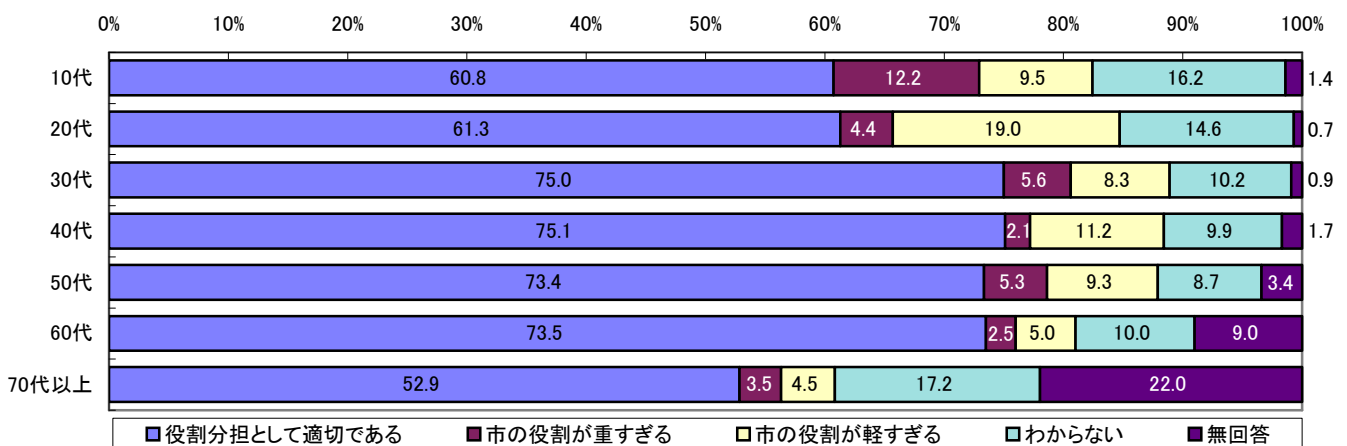
問4①-2 全体



問4①-2 居住地域別



問4①-2 年齢別



### 問4①-3 (高齢者の健康維持の促進)

秋田市では、市民協働による様々な取り組みを進めています。次のような市と市民の役割分担についてどう思いますか。次の中から1つ選んでください。

**【選択肢】**

- 1 役割分担として適切である    2 市の役割が重すぎる    3 市の役割が軽すぎる    4 わからない

**【取組事例】** 高齢者の健康維持の促進(介護予防サービスの充実)

**【市】**

- ・総合的な介護予防体制（システム）の確立

**【市民】**

- ・利用者の状態にあった良質なサービスの提供（サービス提供事業者）
- ・介護予防の必要性への理解と地域や家族ぐるみでの介護予防の実践

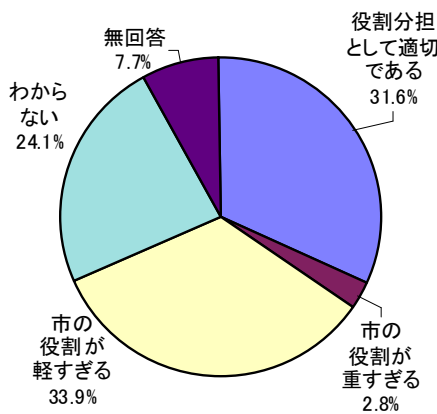
この設問では、高齢者の健康維持の促進に対する役割分担への意見を聞いている。(集計表 P176 参照) 全体集計では、「役割分担として適切である」31.6%、「市の役割が重すぎる」2.8%、「市の役割が軽すぎる」33.9%、「わからない」24.1%、となり、「市の役割が軽すぎる」と「役割分担として適切である」が3割を超えている。

男女別集計では、「市の役割が軽すぎる」が「男性」37.9%、「女性」31.0%と男性の方が市の役割が軽いと答えている割合が高い。

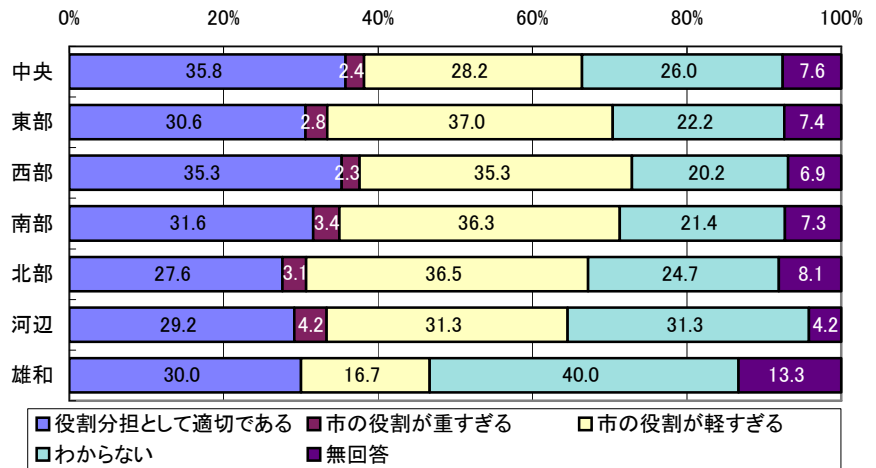
年代別集計では、「20代」から「50代」までが40%前後が「市の役割が軽すぎる」と答えている。

居住地域別集計では、顕著な差はない。

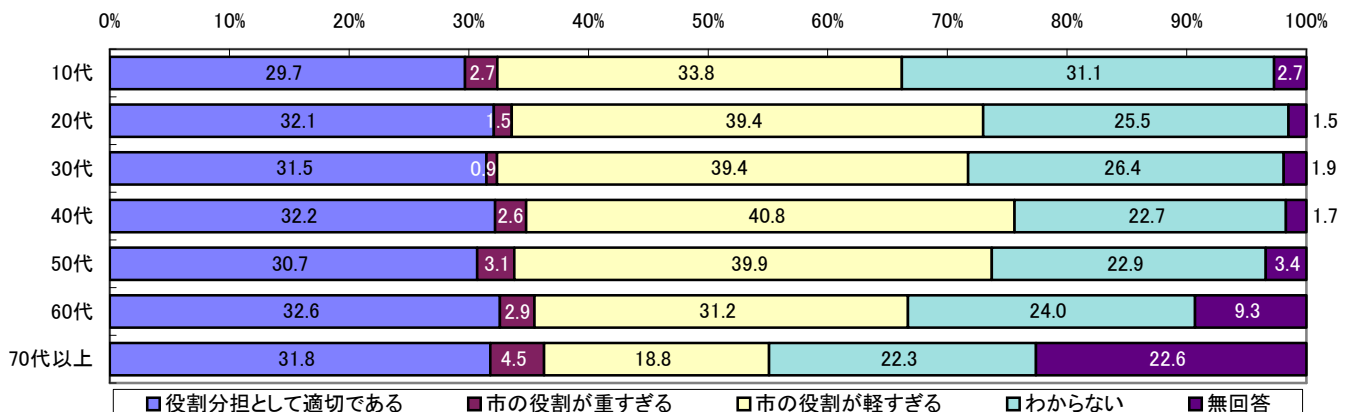
問4①-3 全体



問4①-3 居住地域別



問4①-3 年齢別



### 問4①-4 (子育て支援のネットワークづくり)

秋田市では、市民協働による様々な取り組みを進めていますが、次のような市と市民の役割分担についてどう思いますか。次の中から1つ選んでください。

**【選択肢】**

- 1 役割分担として適切である    2 市の役割が重すぎる    3 市の役割が軽すぎる    4 わからない

**【取組事例】** 子育て支援のネットワークづくり

**【市】**

- ・地域の子育て支援者への研修などの実施
- ・子育て支援者の組織づくりや連携の支援

**【市民】**

- ・地域全体での子育て支援への理解と子育て支援活動への参加

この設問では、子育て支援のネットワークづくりに対する役割分担への意見を聞いている。(集計表 P 176 参照)

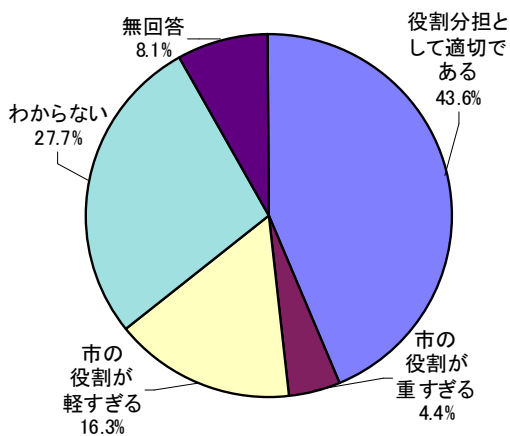
全体集計では、「役割分担として適切である」43.6%、「市の役割が重すぎる」4.4%、「市の役割が軽すぎる」16.3%、「わからない」27.7%、となり、「役割分担として適切である」が全体の40%以上を占めるものの、「わからない」が他の質問項目よりも若干高くなっている。

男女別集計では「市の役割が重すぎる」が「男性」7.8%、「女性」1.8%と女性の方が市が担う役割が重いと答えている割合が低い。

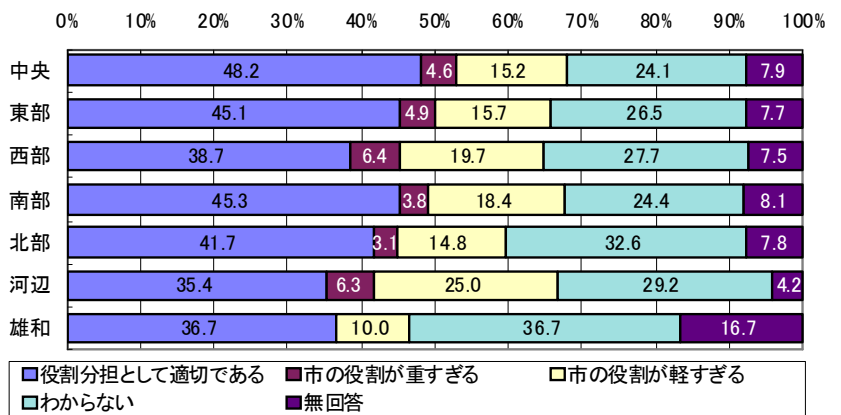
年代別集計では、「市の役割が軽すぎる」が「20代」21.9%、「30代」25.9%と他の年代より若干高くなっている。

居住地域別集計では、「役割分担として適切である」が、「中央」48.2%、「東部」45.1%、「南部」45.3%で45%以上となっている。

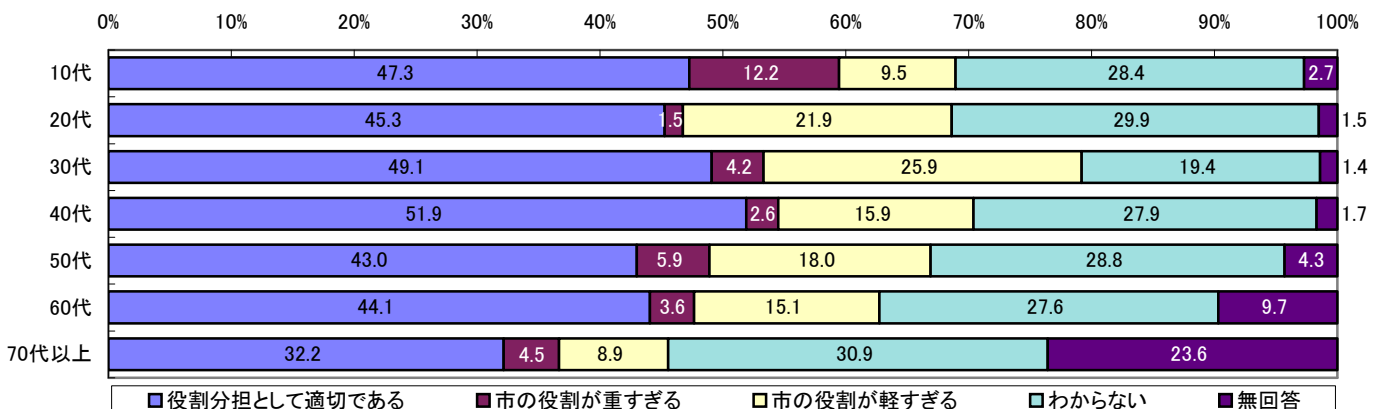
問4①-4 全体



問4①-4 居住地域別



問4①-4 年齢別



### 問4①-5（災害ボランティアの受入体制の確保）

秋田市では、市民協働による様々な取り組みを進めていますが、次のような市と市民の役割分担についてどう思いますか。次の中から1つ選んでください。

**【選択肢】**

- 1 役割分担として適切である    2 市の役割が重すぎる    3 市の役割が軽すぎる    4 わからない

**【取組事例】** 災害ボランティアの受入体制の確保

**【市】**

- ・ボランティア関係団体との相互理解
- ・災害時のボランティア活動の体制づくり

**【市民】**

- ・災害ボランティア活動への理解
- ・災害発生時の救護活動への参加

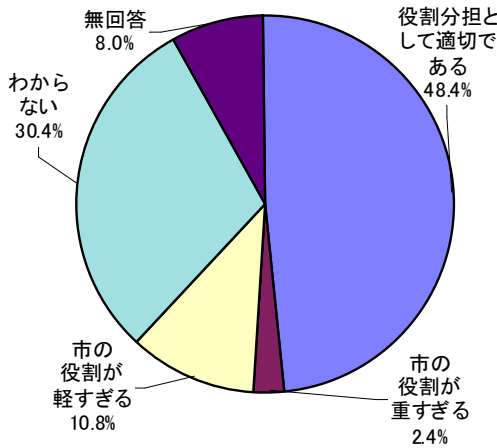
この設問では、災害ボランティアの受入体制の確保に対する役割分担への意見を聞いている。（集計表 P177 参照）

全体集計では、「役割分担として適切である」48.4%、「市の役割が重すぎる」2.4%、「市の役割が軽すぎる」10.8%、「わからない」30.4%、となり、「役割分担として適切である」が全体の約半数を占めるものの、「わからない」が他の質問項目よりも若干高くなっている。

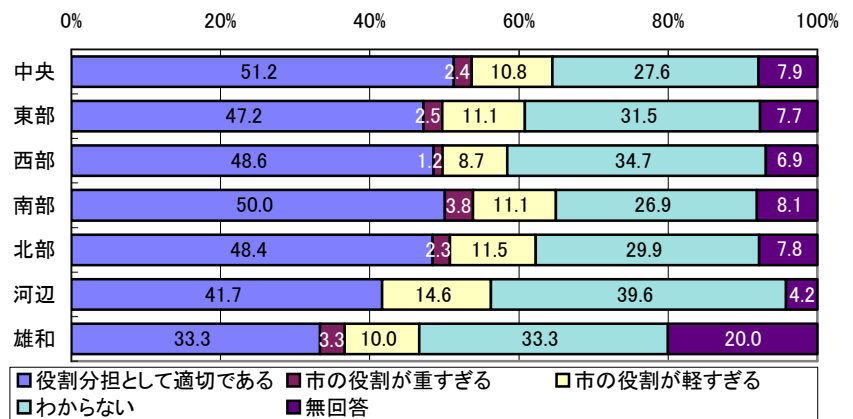
年代別集計では、どの年代も概ね50%以上が「役割分担として適切である」と答えているが、「50代」45.8%、「70代以上」34.4%と他の年代より低くなっている。

居住地域別集計では、「役割分担として適切である」の割合が「雄和」33.3%で他地域に比べて低くなっている。

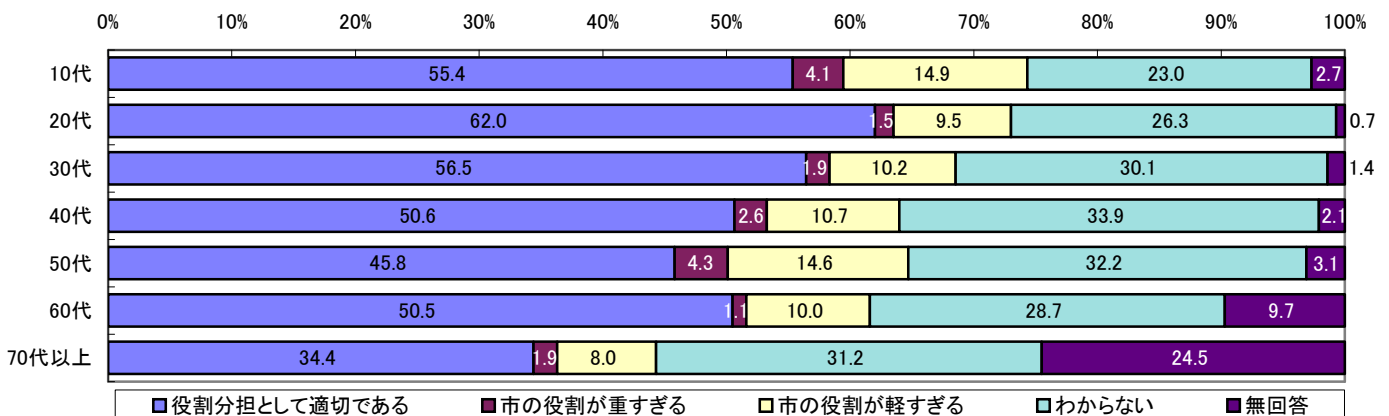
問4①-5 全体



問4①-5 居住地域別



問4①-5 年齢別





## 2 NPO・ボランティア活動の話題や情報を耳にする機会（問5①）

### 問5①（NPO・ボランティア活動の話題や情報を耳にする機会）

NPO・ボランティア活動の話題や情報を耳にする機会について、次の中から1つ選んでください。

- 1 話題や情報を耳にする機会が多い
- 2 話題や情報を時折耳にする機会がある
- 3 話題や情報をあまり耳にしない
- 4 話題や情報を耳にすることはない

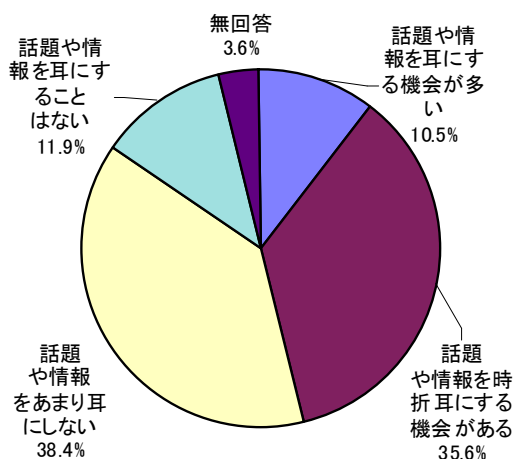
この設問では、NPO・ボランティア活動の話題や情報を耳にする機会について聞いている。（集計表 P178 参照）

全体集計では、「話題や情報を耳にする機会が多い」が10.5%、「話題や情報を時折耳にする機会がある」が35.6%であり、「時折」も含めて耳にする機会があるという回答の合計が、46.1%となった。一方、「話題や情報をあまり耳にしない」が38.4%、「話題や情報を耳にすることはない」が11.9%であり、「あまり」も含めて耳にしないという回答の合計が50.3%であり、耳にしないという回答の方が若干上回った。

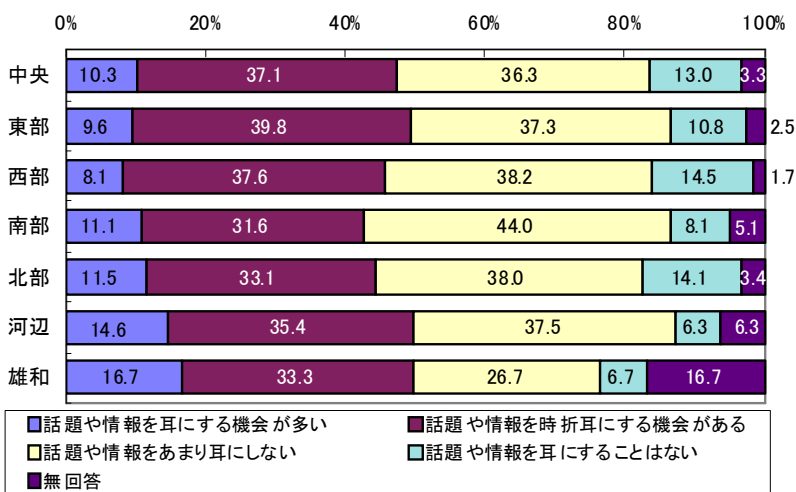
年代別集計では、「あまり耳にしない」「耳にすることはない」の合計が、「20代」74.4%と高くなっている。

居住地域別集計では、顕著な差がなかった。

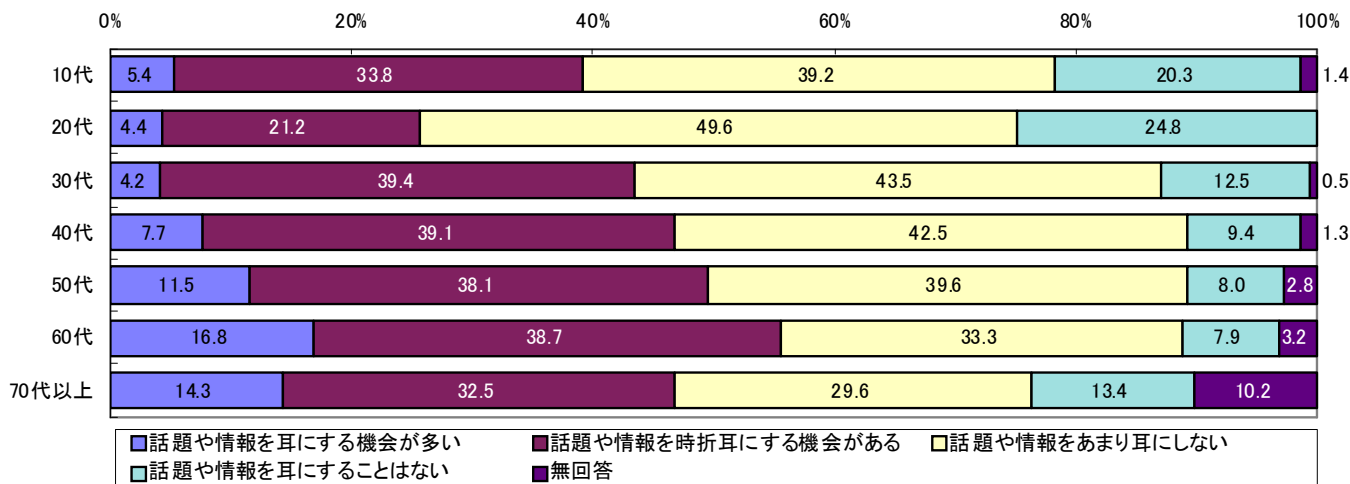
問5① 全体



問5① 居住地域別



問5① 年代別



### 3 どのようにしてNPO・ボランティア活動の話題を知ることが多いか（問5②）

#### 問5②（どのようにしてNPO・ボランティア活動の話題を知ることが多いか）

①で1または2を選んだ方にお聞きします。どのようにしてNPO・ボランティア活動の話題を知ることが多いですか。次の中から3つまで選んでください。

- |                         |         |              |
|-------------------------|---------|--------------|
| 1 テレビ、新聞などマスメディア        | 2 広報あきた | 3 行政のパンフレット等 |
| 4 NPO・ボランティア団体等のパンフレット等 | 5 職場、学校 |              |
| 6 町内会など地域               | 7 友人    | 8 家族         |
| 9 市のホームページなどインターネット     | 10 その他  |              |

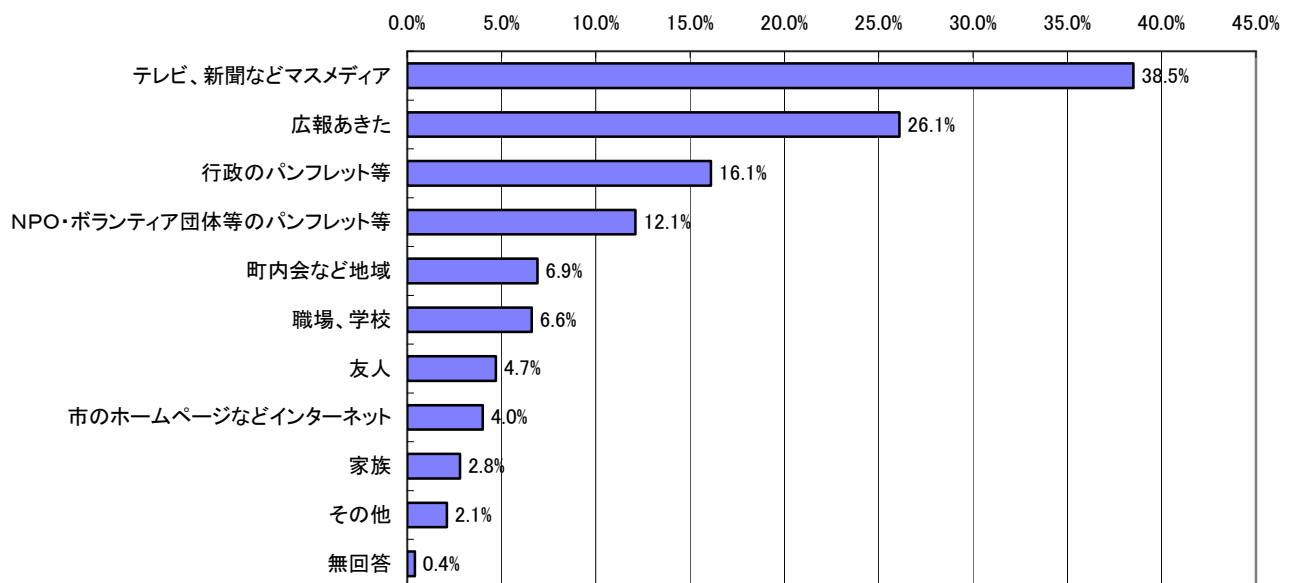
この設問では、どのようにしてNPO・ボランティア活動の話題を知ることが多いか聞いている。（集計表 P178 参照）

全体集計では、「テレビ、新聞などマスメディア」が38.5%、「広報あきた」が26.1%、「行政のパンフレット等」が16.1%、「NPO・ボランティア団体等のパンフレット等」が12.1%となった。

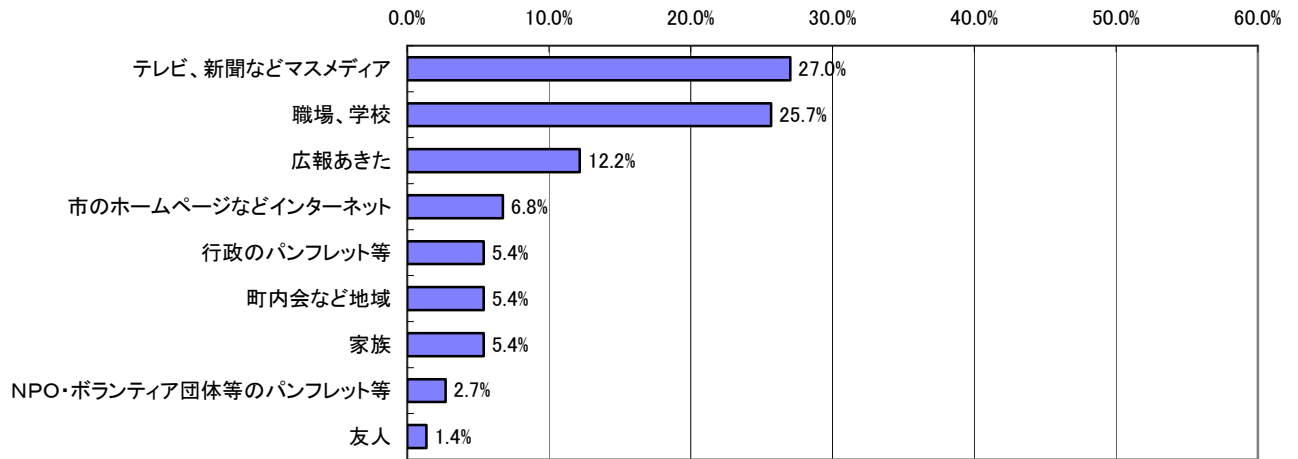
年代別集計では、「10代」だけで「職場、学校」が25.7%と高くなっている。

居住地域別集計では、顕著な差がなかった。

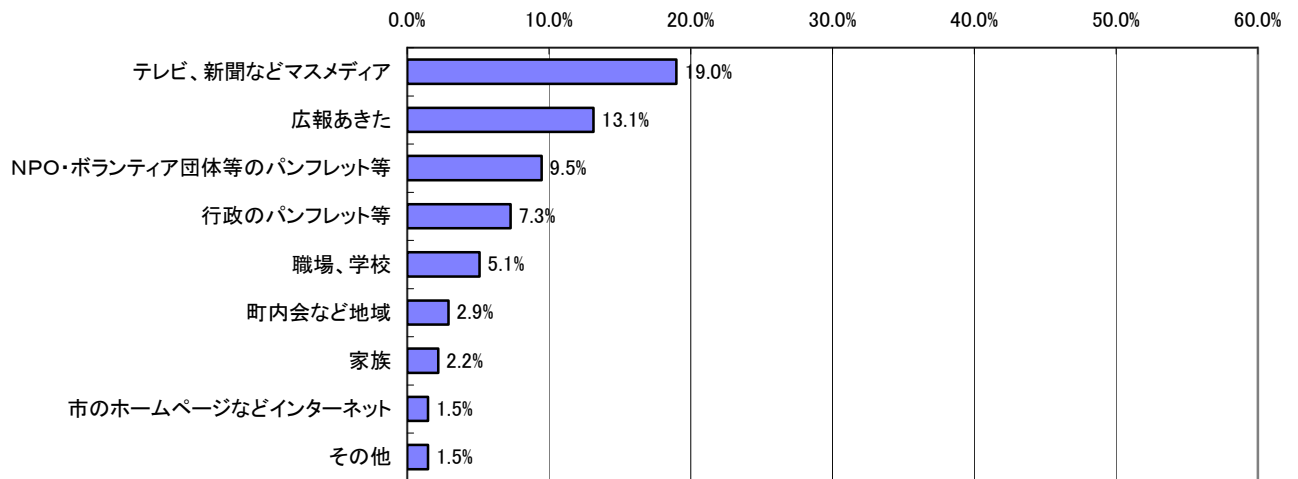
問5② どのようにしてNPO・ボランティア活動の情報を知るか 全体



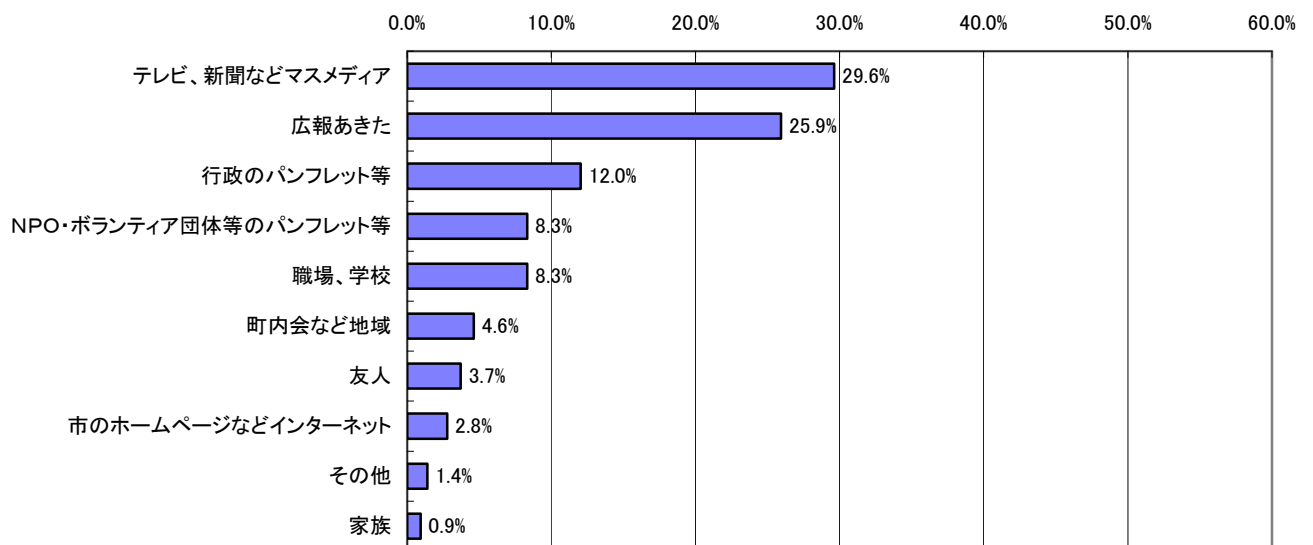
問5② どのようにしてNPO・ボランティア活動の情報を知るか 「10代」



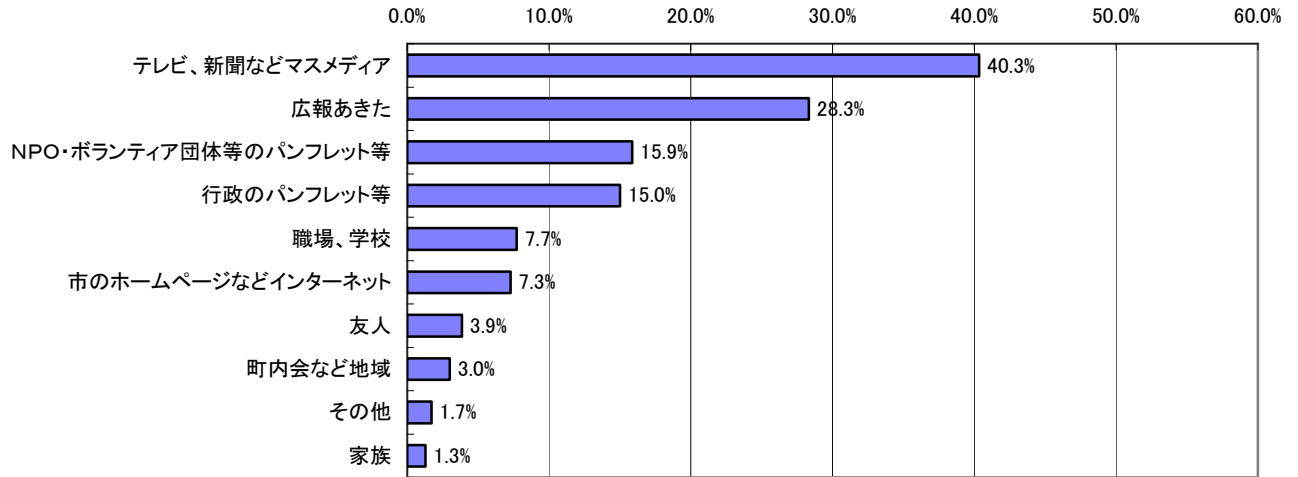
問5② どのようにしてNPO・ボランティア活動の情報を知るか 「20代」



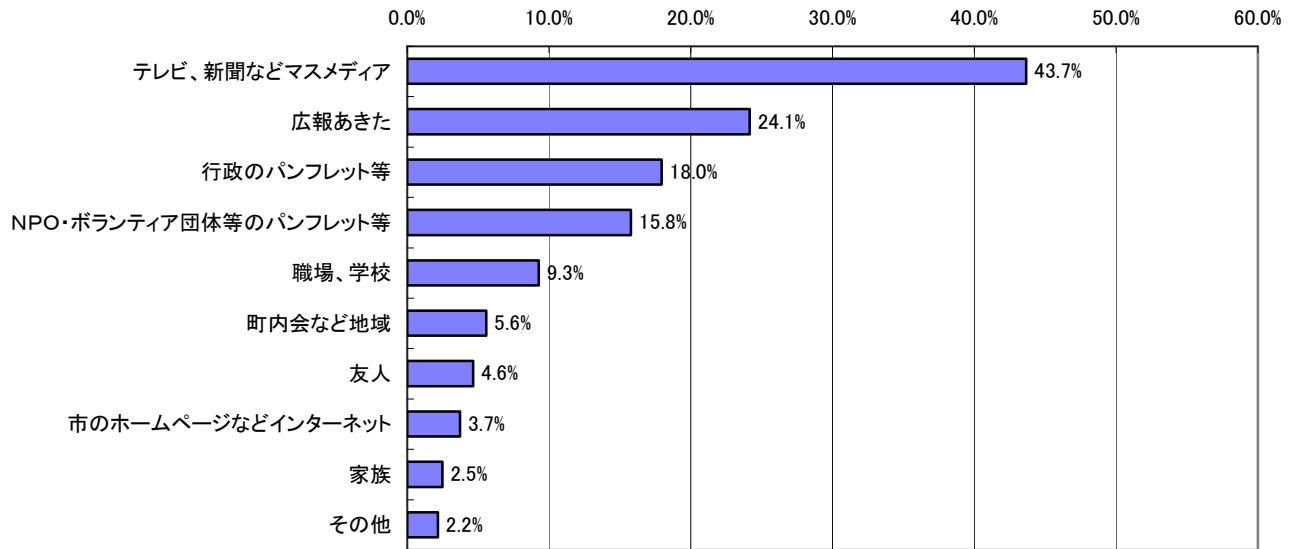
問5② どのようにしてNPO・ボランティア活動の情報を知るか 「30代」



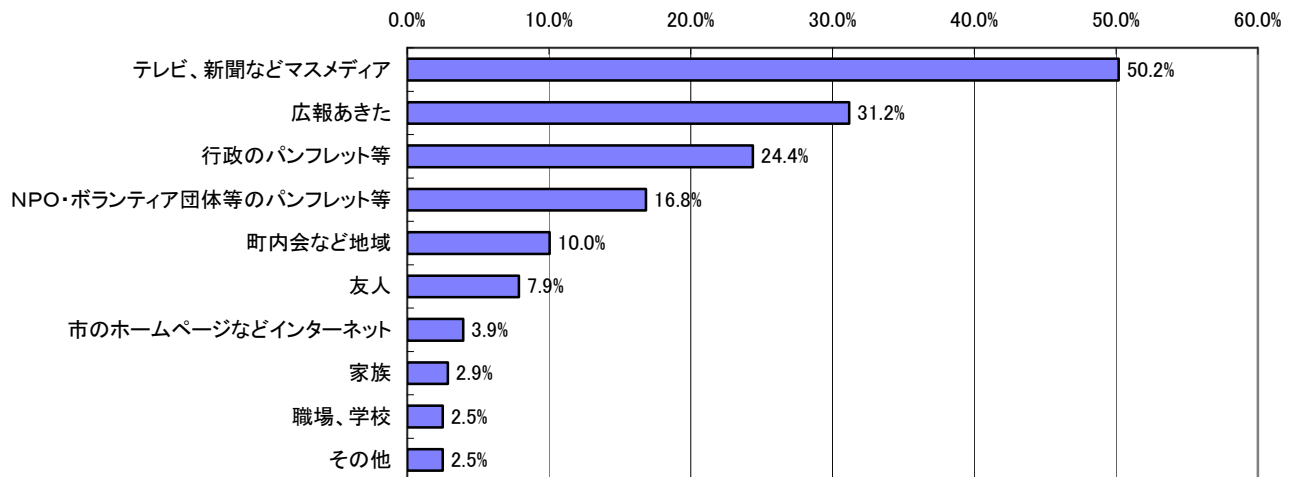
問5② どのようにしてNPO・ボランティア活動の情報を知るか「40代」



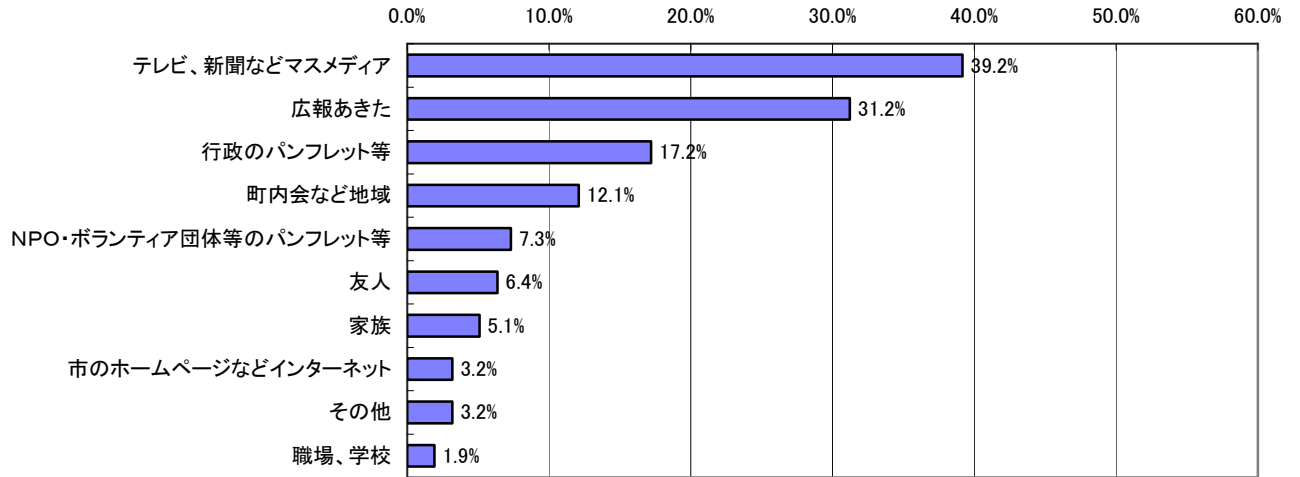
問5② どのようにしてNPO・ボランティア活動の情報を知るか「50代」



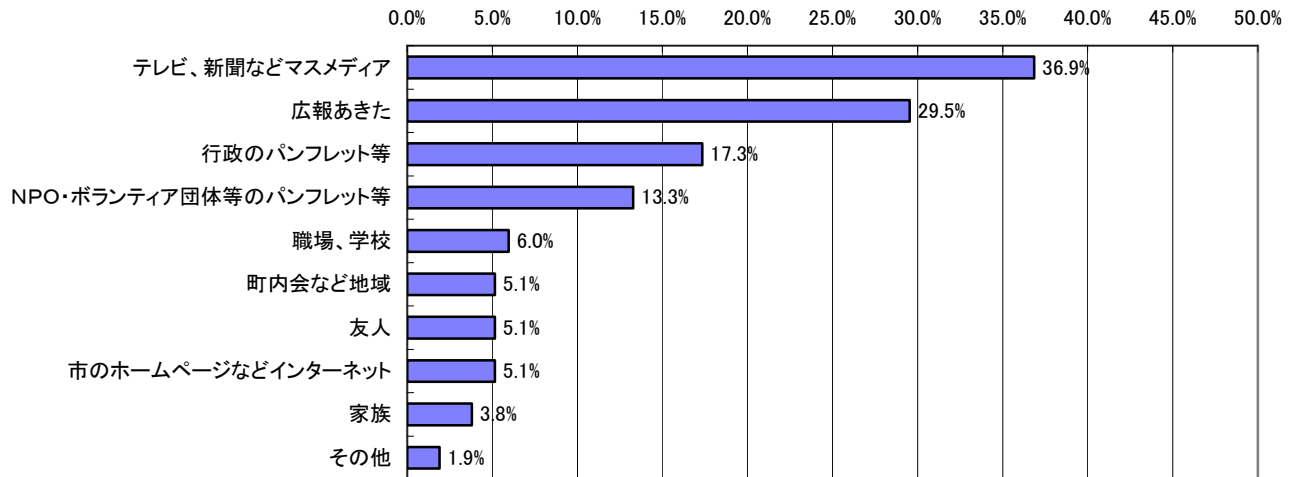
問5② どのようにしてNPO・ボランティア活動の情報を知るか「60代」



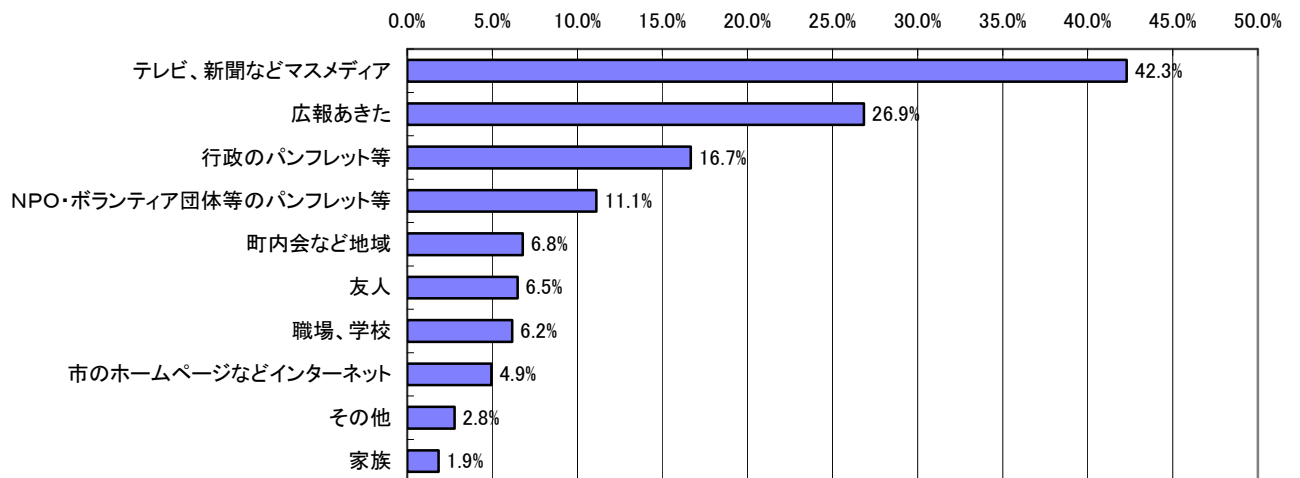
問5② どのようにしてNPO・ボランティア活動の情報を知るか 「70代以上」



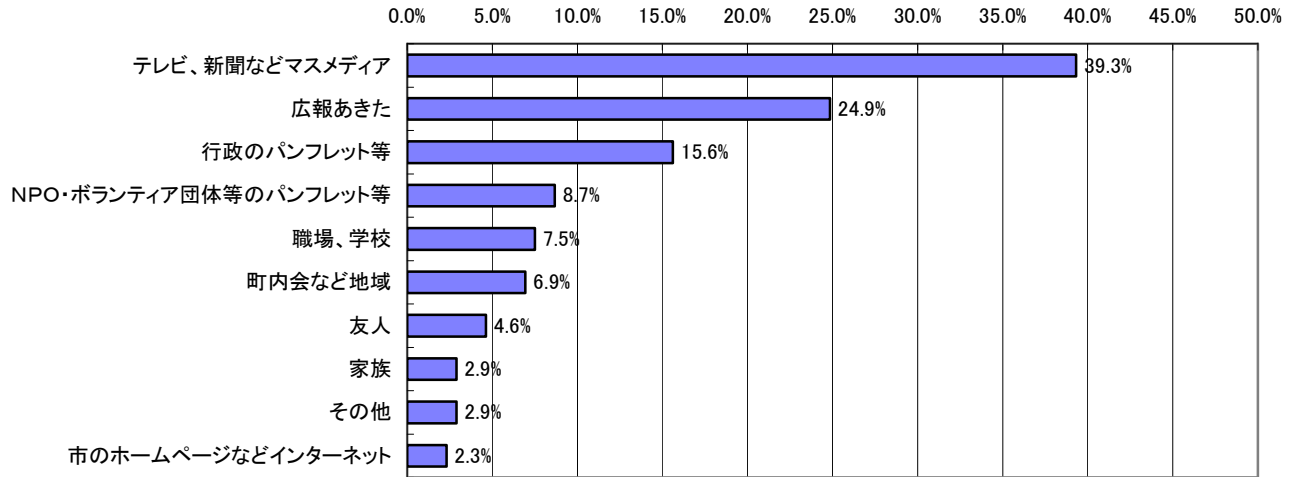
問5② どのようにしてNPO・ボランティア活動の情報を知るか 「中央」



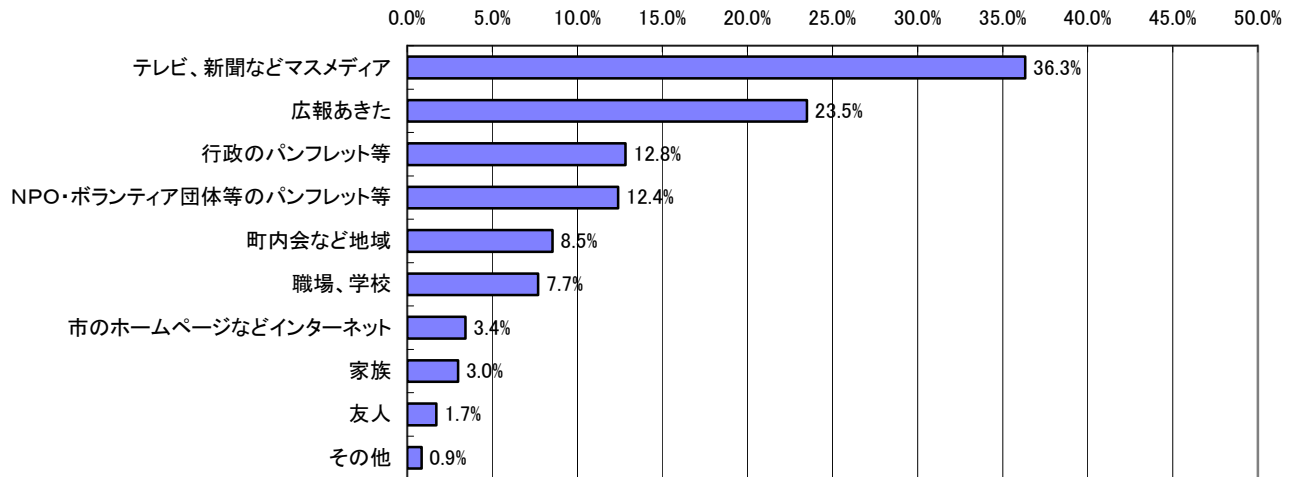
問5② どのようにしてNPO・ボランティア活動の情報を知るか 「東部」



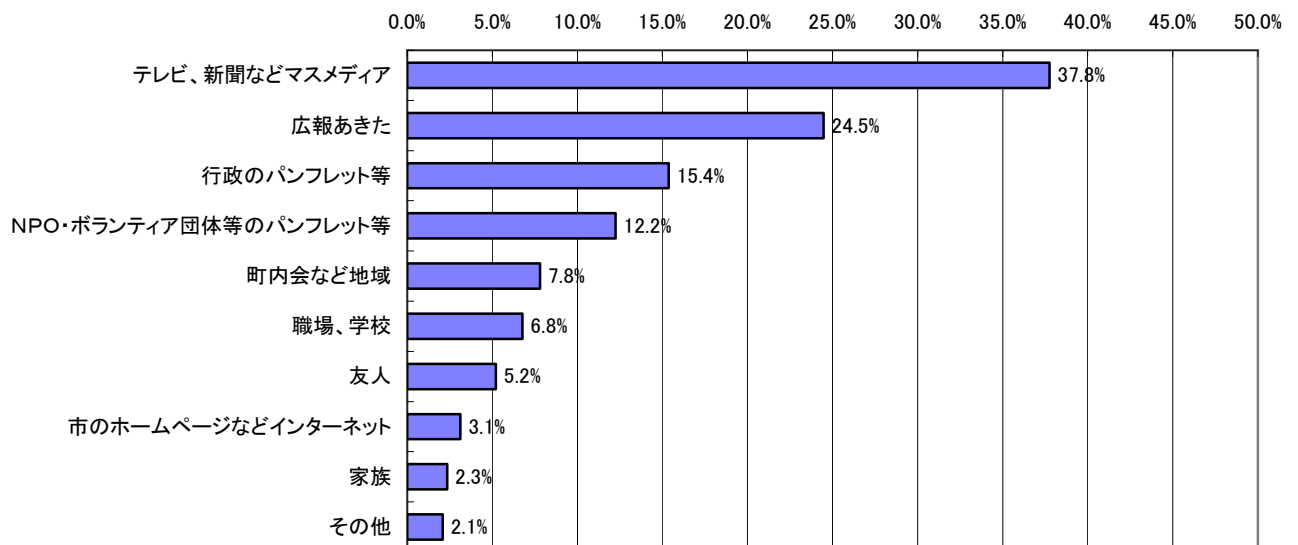
問5② どのようにしてNPO・ボランティア活動の情報を知るか「西部」



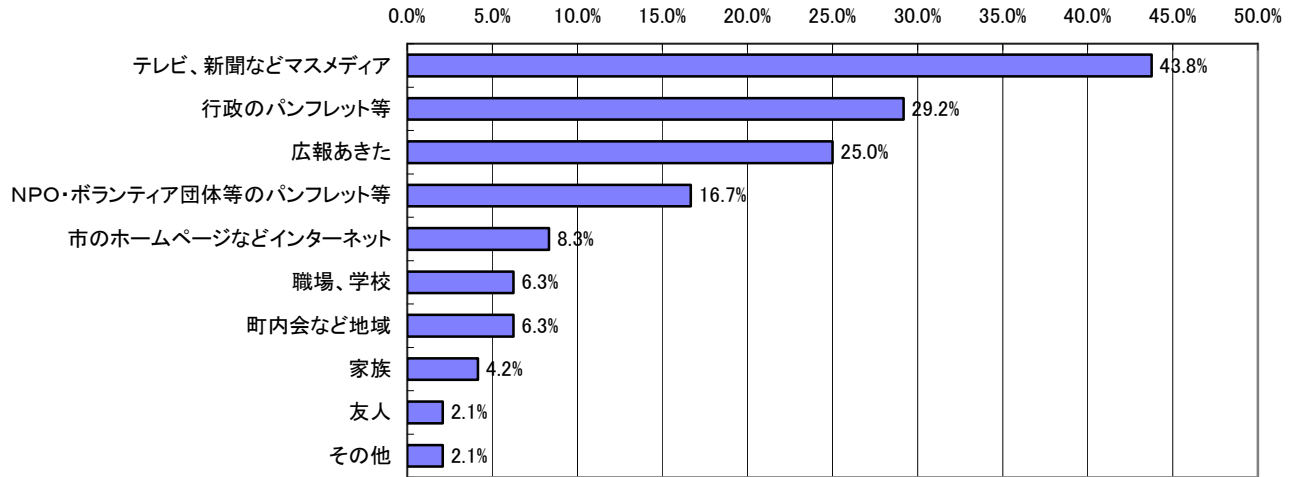
問5② どのようにしてNPO・ボランティア活動の情報を知るか「南部」



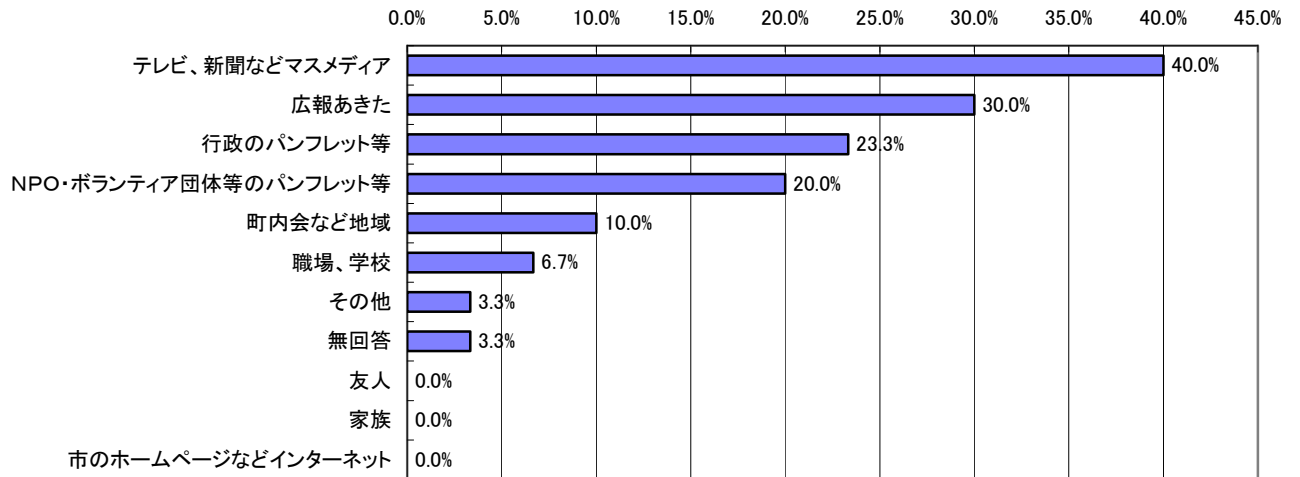
問5② どのようにしてNPO・ボランティア活動の情報を知るか「北部」



問5② どのようにしてNPO・ボランティア活動の情報を知るか「河辺」



問5② どのようにしてNPO・ボランティア活動の情報を知るか「雄和」



#### 4 市民活動への関心 (問5③)

※ ( ) 内は前回の数値

##### 問5③ (NPO・ボランティア活動などの市民活動への関心)

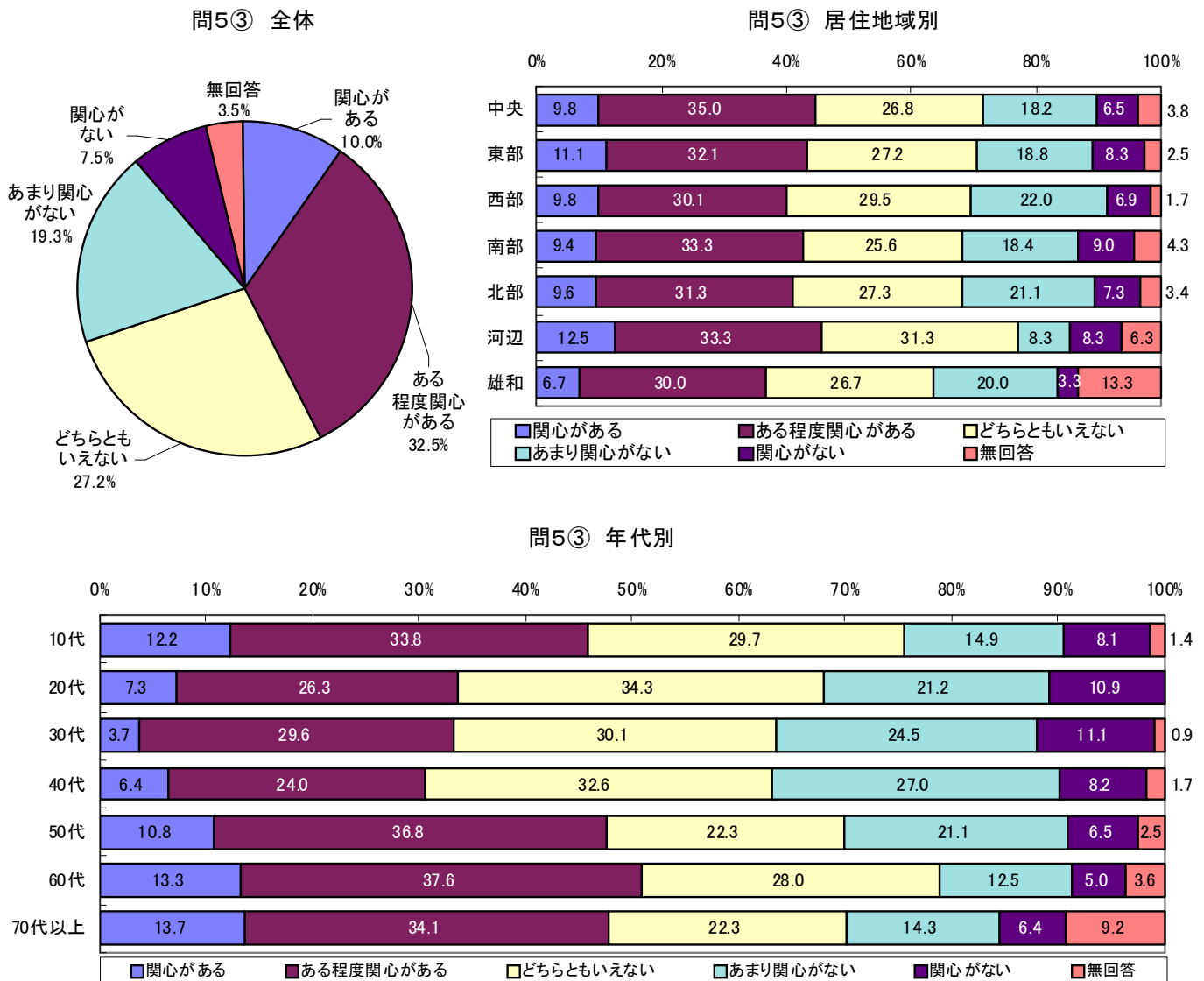
あなたは、NPO・ボランティア活動などの市民活動に関心がありますか。次の中から1つ選んでください。

- 1 関心がある      2 ある程度関心がある      3 どちらともいえない  
4 あまり関心がない      5 関心がない

この設問では、ボランティア活動などの市民活動への関心を聞いている。(集計表 P179 参照)  
 全体集計では、「関心がある」が10.0% (12.1%)、「ある程度関心がある」が32.5% (36.6%) であり、「関心がある」「ある程度関心がある」という回答の合計が、42.5% (48.7%) と約4割を占めた。一方、「関心がない」が7.5% (19.4%)、「あまり関心がない」が19.3% (16.5%) であり、「関心がない」「あまり関心がない」という回答の合計が、26.8% (25.9%) であった。「どちらともいえない」は27.2% (23.2%) であった。

年代別集計では、「関心がない」「あまり関心がない」の合計が、「20代」から「40代」で30%以上となる傾向が認められた。

居住地域別集計では、顕著な差がなかった。





## 5 市民活動への参加 (問5④)

※ ( ) 内は前回の数値

### 問5④ (NPO・ボランティア活動などの市民活動への参加)

あなたは、NPO・ボランティア活動などの市民活動に参加していますか。次の中から1つ選んでください。

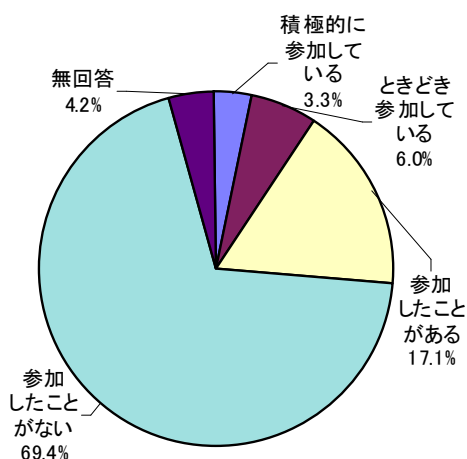
- 1 積極的に参加している
- 2 ときどき参加している
- 3 参加したことがある
- 4 参加したことがない

この設問では、ボランティア活動などの市民活動への参加経験を聞いている。(集計表 P179 参照)  
 全体集計では、「積極的に参加している」が3.3% (2.4%)、「ときどき参加している」が6.0% (7.8%)、「参加したことがある」が17.1% (18.5%)であり、一度でも参加経験があるという回答の合計が、26.4% (28.7%)となった。一方、「参加したことがない」が69.4% (68.8%)であり、約7割が参加経験が無いという回答となった。

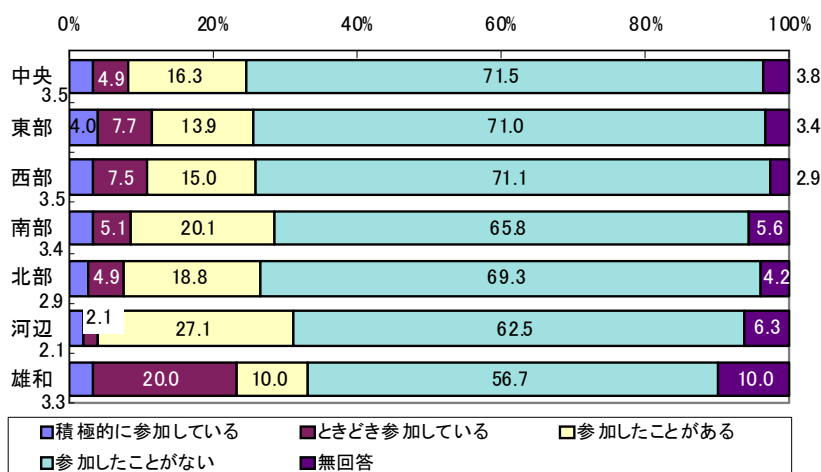
年代別集計では、参加経験があるという回答の合計が、「10代」40.6% (40.9%)で他の年代に比べると高くなっている。

居住地域別集計では、顕著な差がなかった。

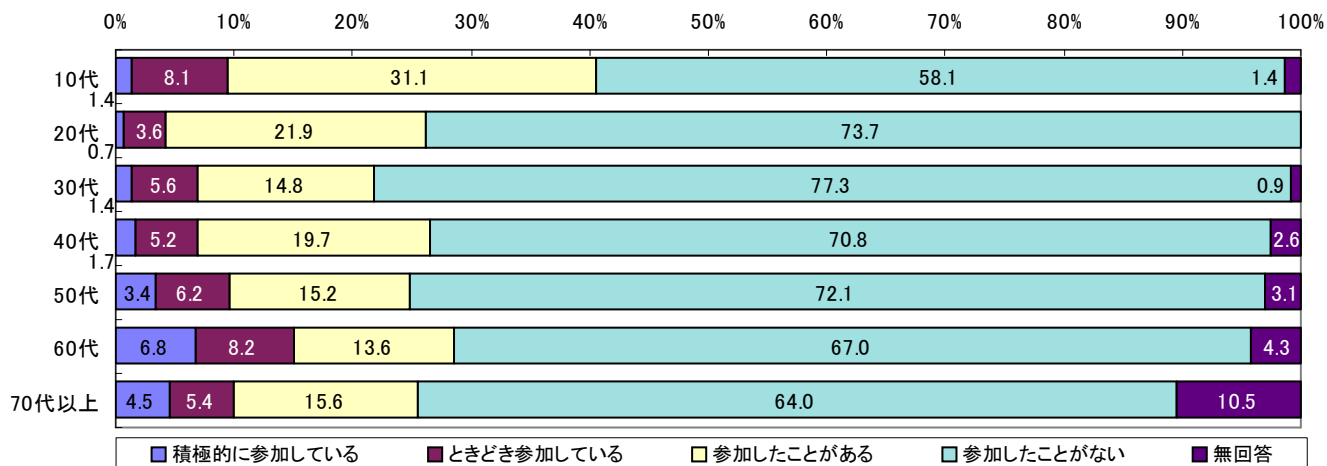
問5④ 全体



問5④ 居住地域別



問5④ 年代別



## 6 実際にやっている、または、関心があるNPO・ボランティア活動の分野（問5⑤）

※（ ）内は前回の数値

### 問5⑤（実際にやっている、または、関心があるNPO・ボランティア活動の分野）

③で1から4を選んだ方におたずねします。あなたが実際にやっている、または、関心があるNPO・ボランティア活動の分野はどれですか。次の中から3つまで選んでください。

- |                      |              |             |
|----------------------|--------------|-------------|
| 1 保健・医療・福祉の増進        | 2 社会教育の推進    | 3 まちづくりの推進  |
| 4 学術・文化・芸術・スポーツの振興   | 5 環境の保全      | 6 災害救援      |
| 7 地域安全               | 8 人権擁護、平和の推進 | 9 国際協力      |
| 10 男女共生社会の形成促進       | 11 子どもの健全育成  | 12 情報化社会の発展 |
| 13 科学技術の振興           | 14 経済活動の活性化  |             |
| 15 職業能力の開発、雇用機会の拡充支援 | 16 消費者の保護    | 17 その他      |

この設問では、実際にやっている、または、関心があるNPO・ボランティア活動の分野を聞いている。  
(集計表 P180 参照)

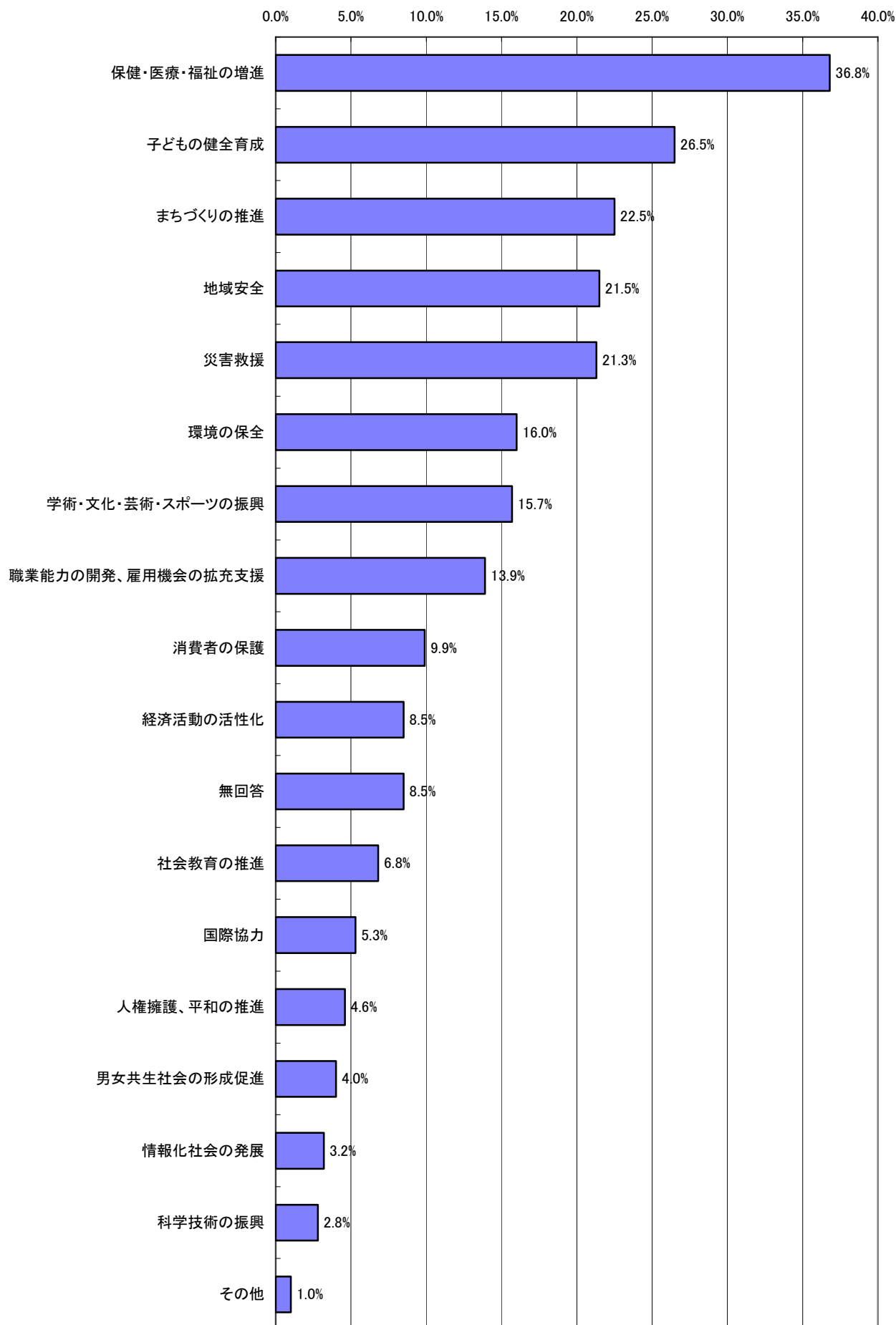
全体集計で回答が多かった市民活動の分野は、「保健・医療・福祉の増進」が36.8% (39.4%)、「子どもの健全育成」が26.5% (37.2%)、「まちづくりの推進」が22.5% (23.1%)、「地域安全」が21.5% (25.9%)、「災害救援」が21.3% (26.2%)であった。(P73 グラフ参照)

男女別集計では、「保健・医療・福祉の増進」で13.5% (13.0%)、「子どもの健全育成」で4.8% (7.4%)「女性」が「男性」を上回り、「環境の保全」で5.1% (9.9%)、「まちづくりの推進」で4.2% (6.7%)「男性」が「女性」を上回った。

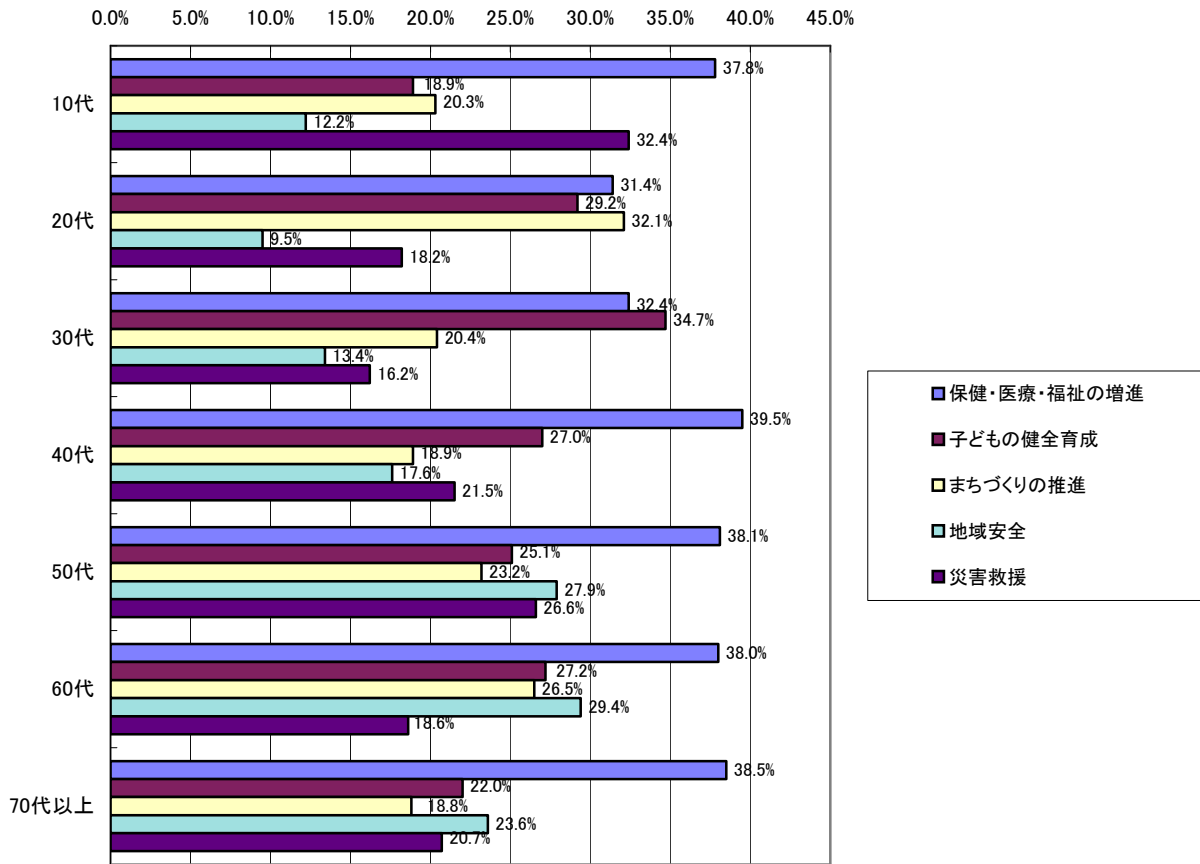
全体集計で上位を占めた5つの項目について、年代別にみると、「保健・医療・福祉の増進」が「20代」「30代」で低くなっている。「子どもの健全育成」は、「20代」「30代」で高くなっている。「まちづくりの推進」は、「20代」だけが30%を超えている。「地域の安全」は、年代が上がるにつれて高くなる傾向がある。(P74 上段グラフ参照)

全体集計で上位を占めた5つの項目について、居住地域別にみると、どの地域でも「保健・医療・福祉の増進」と「子どもの健全育成」が高い割合を占めた。(P74 下段グラフ参照)

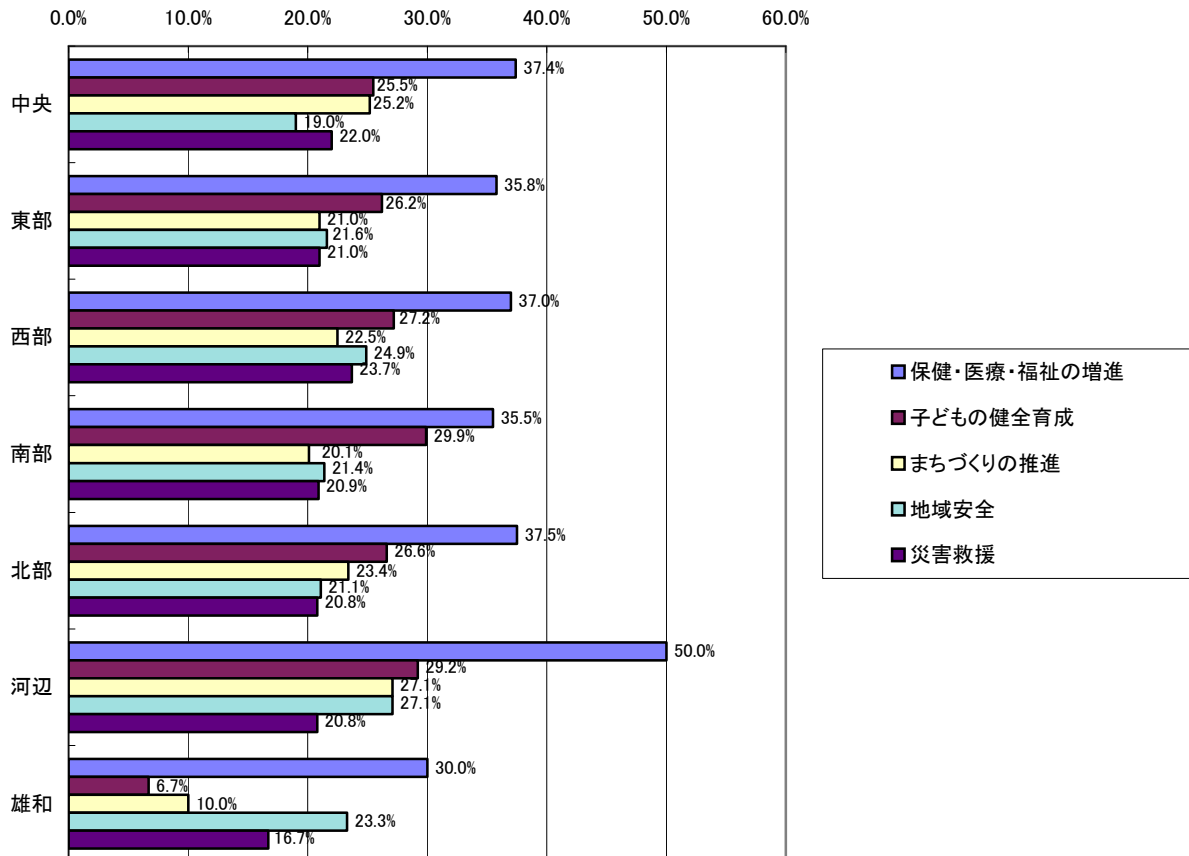
問5⑤ 関心があるNPO・ボランティア活動の分野 全体集計グラフ



問5⑤ 関心があるNPO・ボランティア活動の分野 年代別



問5⑤ 関心があるNPO・ボランティア活動の分野 居住地域別



## 第4節 都市内地域分権について

### 1 都市内地域分権の認知度（問6①）

※（ ）内は前回の数値

#### 【秋田市の目指す都市内地域分権】

秋田市の目指す都市内地域分権とは、東・西・南・北・中央・河辺・雄和の市内7地域に設置する（仮称）市民サービスセンターを拠点とし、市民に身近な行政サービスを身近な場所で提供することや、地域の課題は一定程度地域で解決できる体制づくりを行うことです。

#### 問6①（都市内地域分権の認知度）

秋田市は、上記のような都市内地域分権の実現に取り組んでいます。このことをあなたは知っていましたか。次の中から1つ選んでください。

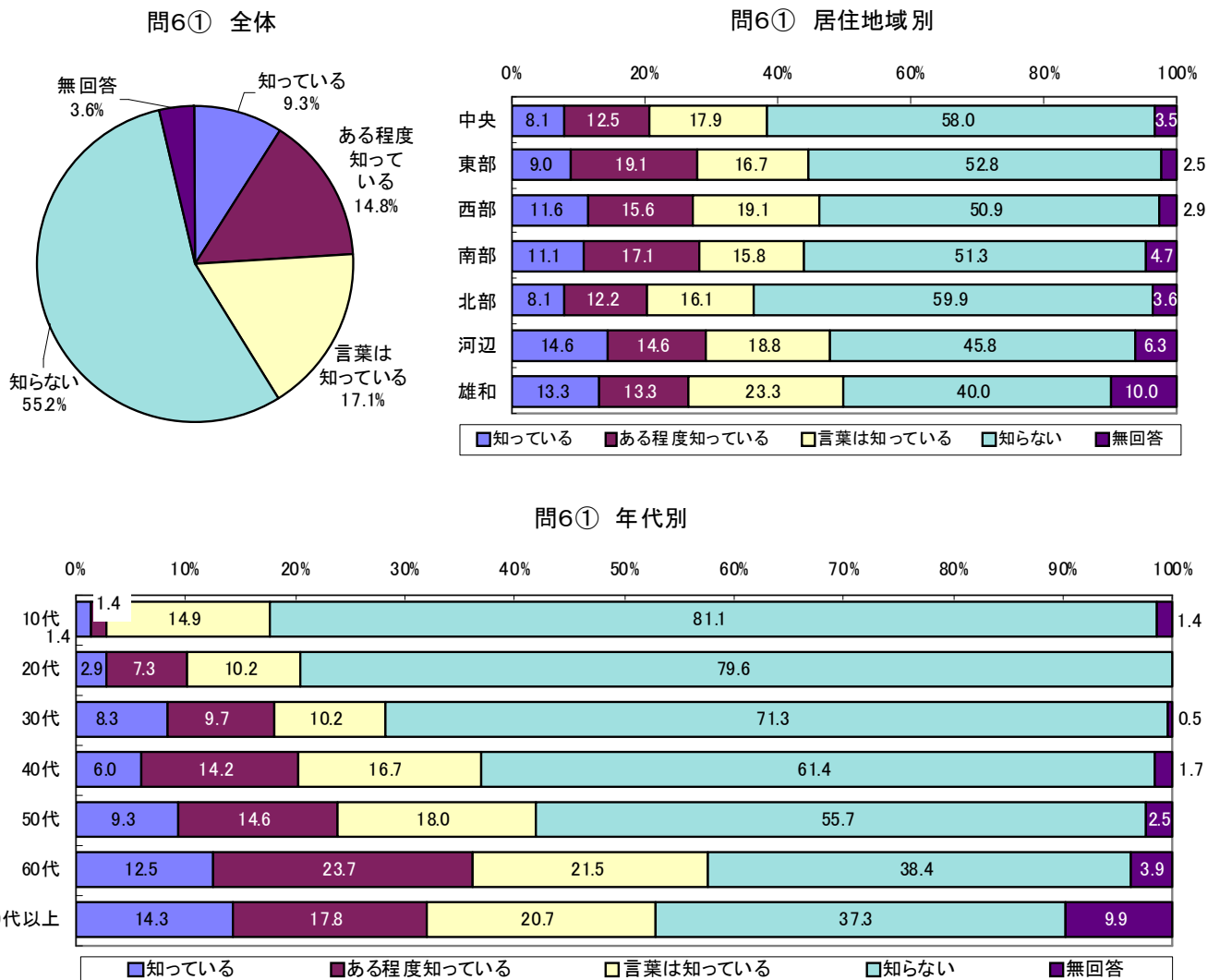
- 1 知っている 2 ある程度知っている 3 言葉は知っている 4 知らない

この設問では、都市内地域分権の認知度を聞いている。（集計表 P181 参照）

全体集計では、「知っている」が9.3%（11.0%）、「ある程度知っている」が14.8%（20.0%）、「言葉は知っている」が17.1%（16.9%）、「知らない」が55.2%（49.0%）である。「知っている」「ある程度知っている」「言葉は知っている」の合計が、41.2%（47.9%）である。

年代別集計では、年代が上がるにつれて認知度が高くなる傾向がある。

居住地域別集計では、「中央」「北部」で他地域に比べ認知度が低くなっている。



## 2 どのようにして都市内地域分権を知ったか（問6②）

### 問6②（どのようにして都市内地域分権を知ったか）

①で1～3と答えた方にお聞きします。どのようにして都市内地域分権を知りましたか。次の中から3つまで選んでください。

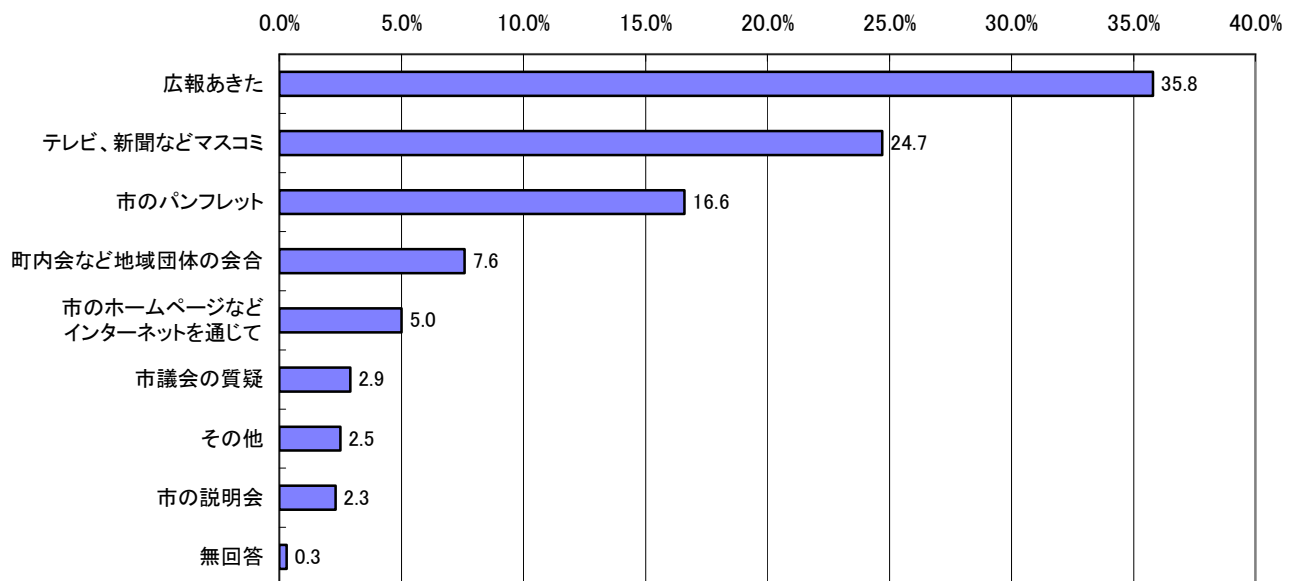
- |                         |                |            |
|-------------------------|----------------|------------|
| 1 市の説明会                 | 2 町内会など地域団体の会合 | 3 広報あきた    |
| 4 市議会の質疑                | 5 テレビ、新聞などマスコミ | 6 市のパンフレット |
| 7 市のホームページなどインターネットを通じて | 8 その他          |            |

この設問では、どのようにして都市内地域分権を知ったのかを聞いている。（集計表 P181 参照）  
 全体集計では、「広報あきた」35.8%、「テレビ、新聞などマスコミ」24.7%、「市のパンフレット」16.6%  
 が、高くなっている。

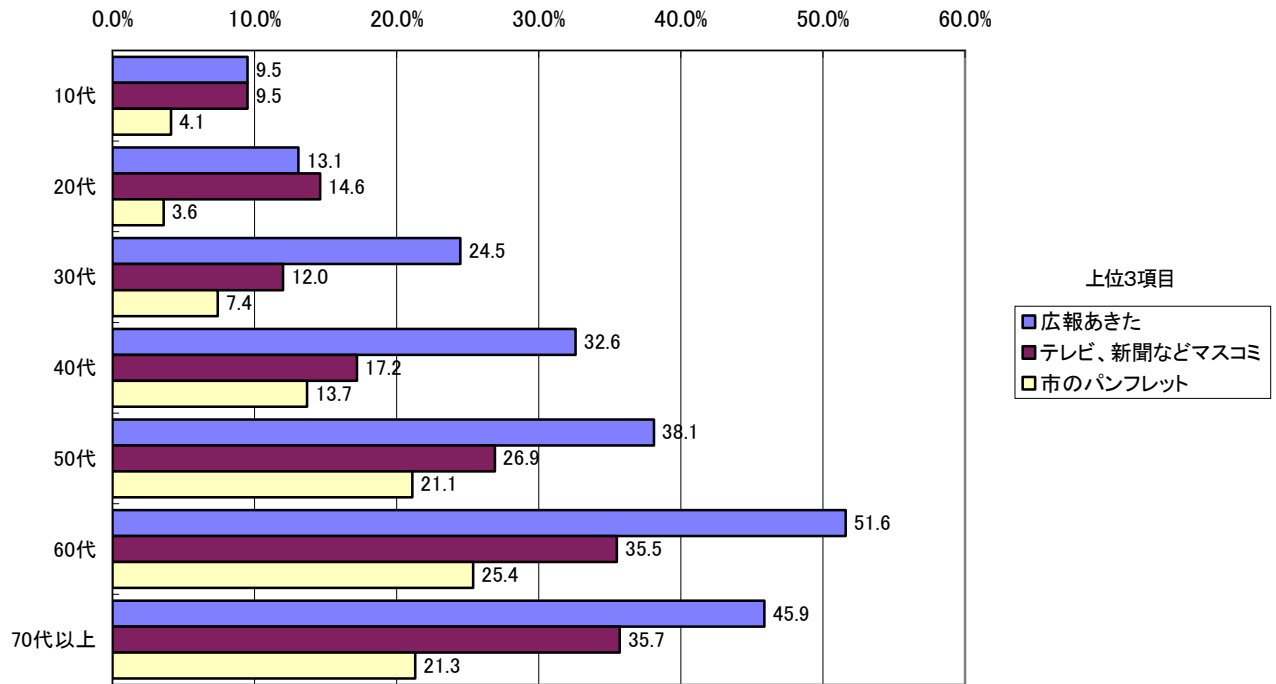
年代別集計では、「10代」「20代」で「テレビ、新聞などマスコミ」が最も高くなったほか、「市のホームページなどインターネットを通じて」が高くなっている。その他の年代では、全体集計と同じ傾向となっている。

居住地域別集計では、顕著な差がなかった。

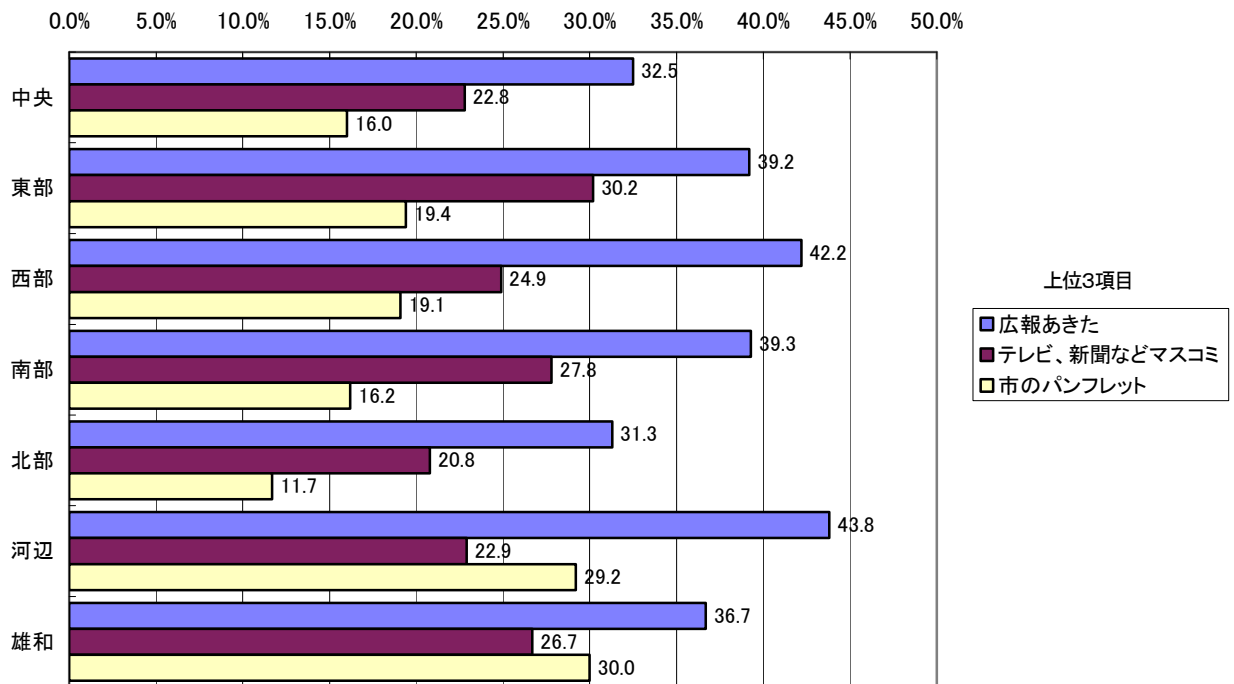
問6② どのようにして都市内地域分権を知ったか 全体



問6② どのようにして都市内地域分権を知ったか 年代別



問6② どのようにして都市内地域分権を知ったか 居住地域別



### 3 秋田市における都市内地域分権の推進について（問6㉓） ※（ ）内は前回の数値

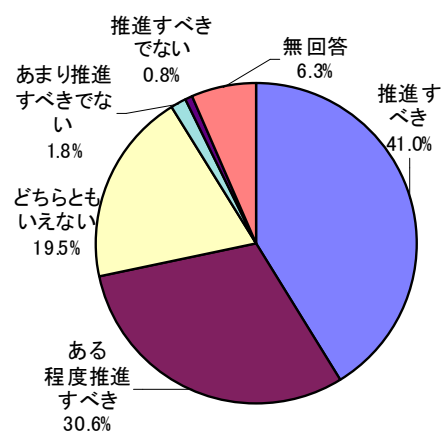
#### 問6㉓（秋田市における都市内地域分権の推進について）

このような秋田市の取り組みをあなたはどのように思いますか。次の中から1つ選んでください。

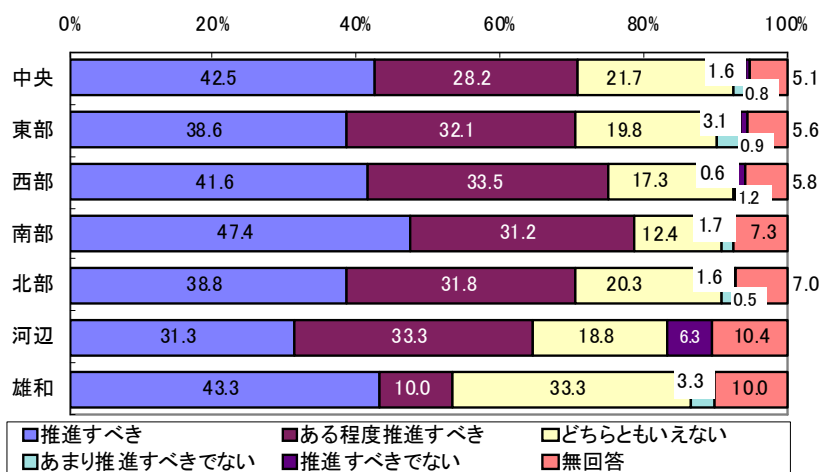
- 1 推進すべき                      2 ある程度推進すべき                      3 どちらともいえない  
4 あまり推進すべきでない                      5 推進すべきでない

この設問では、都市内地域分権の推進について市民の意識を聞いている。（集計表 P182 参照）  
 全体集計では、「推進すべき」が41.0%（47.3%）、「ある程度推進すべき」が30.6%（31.7%）、「どちらともいえない」が19.5%（15.5%）、「あまり推進すべきでない」が1.8%（1.1%）、「推進すべきでない」が0.8%（0.8%）である。「推進すべき」「ある程度推進すべき」の合計が71.6%（79.0%）である。  
 年代別集計では、「推進すべき」の回答が、「10代」48.6%（32.9%）、「60代」47.7%（54.1%）で他の年代よりも高くなっている。  
 居住地域別集計では、「推進すべき」「ある程度推進すべき」の合計が、「西部」75.1%（80.3%）、「南部」78.6%（80.3%）が高い。

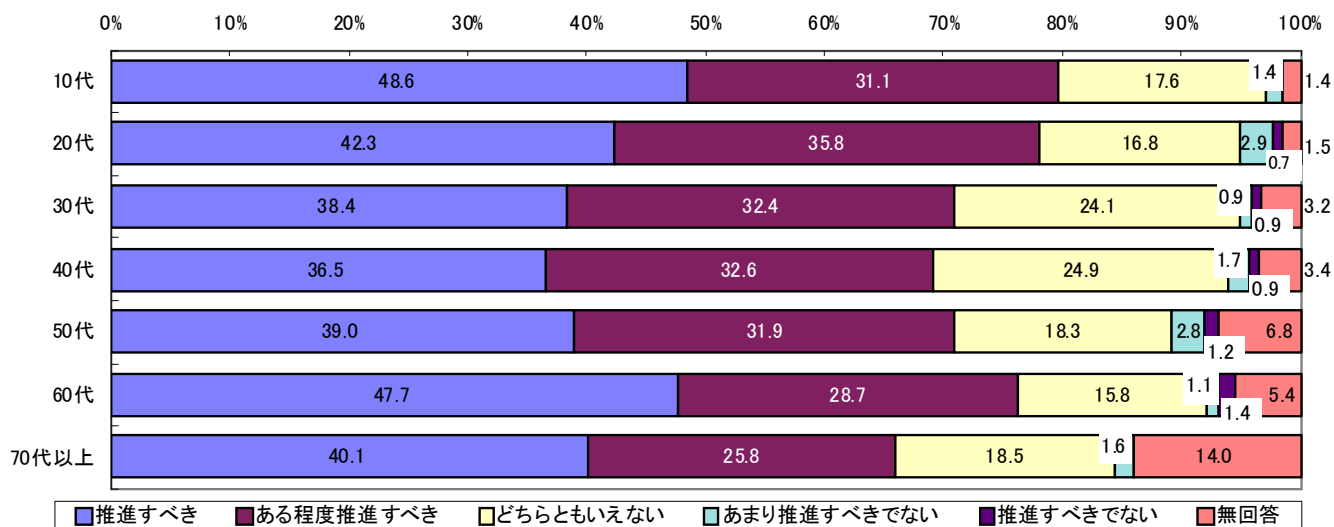
問6㉓ 全体



問6㉓ 居住地域別



問6㉓ 年代別





## 第5節 行政サービスについて

### 1 公共施設の利用頻度について（問7①）

公共施設の維持管理費用には、市が負担する部分と利用料などの形で利用者が負担する部分があります。市が負担するという事は、その施設を利用する・しないにかかわらず、税金という形ですべての市民が、費用を負担しているということです。

#### 問7①（公共施設の利用頻度について）

秋田市には、様々な公共施設がありますが、あなたは、この1年間に市の公共施設を利用しましたか。次の1～14の各施設について、あなたの利用頻度に近いものに○をつけてください。

##### 【選択肢】

- 1 1度も利用しなかった      2 数回利用した      3 月に1、2回程度利用した  
4 週に1回以上利用した

##### 【施設】

- 1 温泉などの保養施設      2 キャンプ場      3 体育館      4 グラウンド  
5 テニスコート      6 プール      7 会議室や和室などの集会施設  
8 調理室、工作室などの実習・研修施設      9 ホールなどのステージ施設  
10 音楽などの練習室      11 美術館、博物館      12 動物園  
13 駐車場、駐輪場      14 市民農園

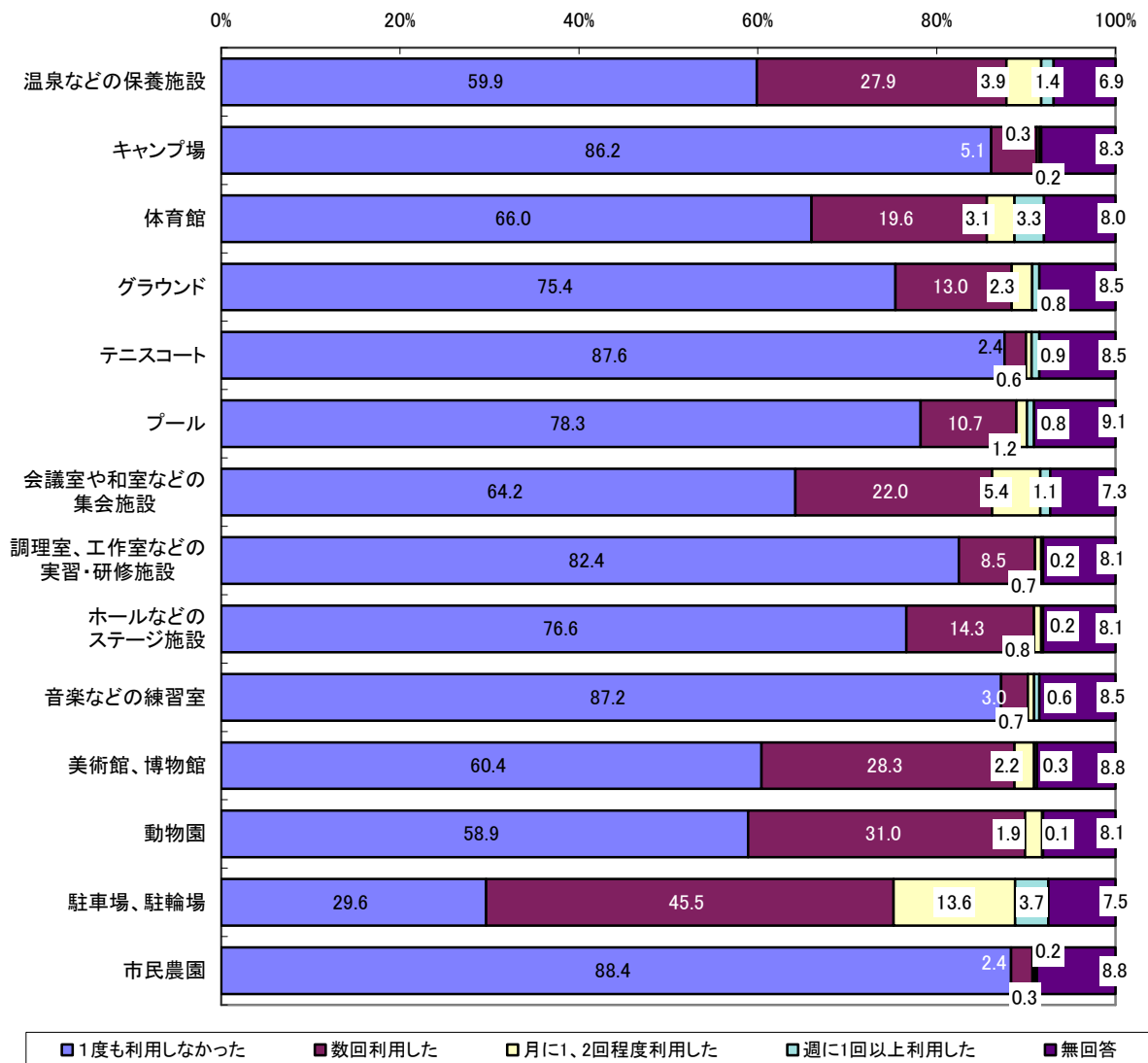
この設問では、市民の行政サービスに対する受益と負担の考え方を把握するため、14の公共施設の利用頻度を聞いている。（集計表 P182～189 参照）

全体集計では、施設により回答結果に大きな差が生じている（P80 グラフ参照）。

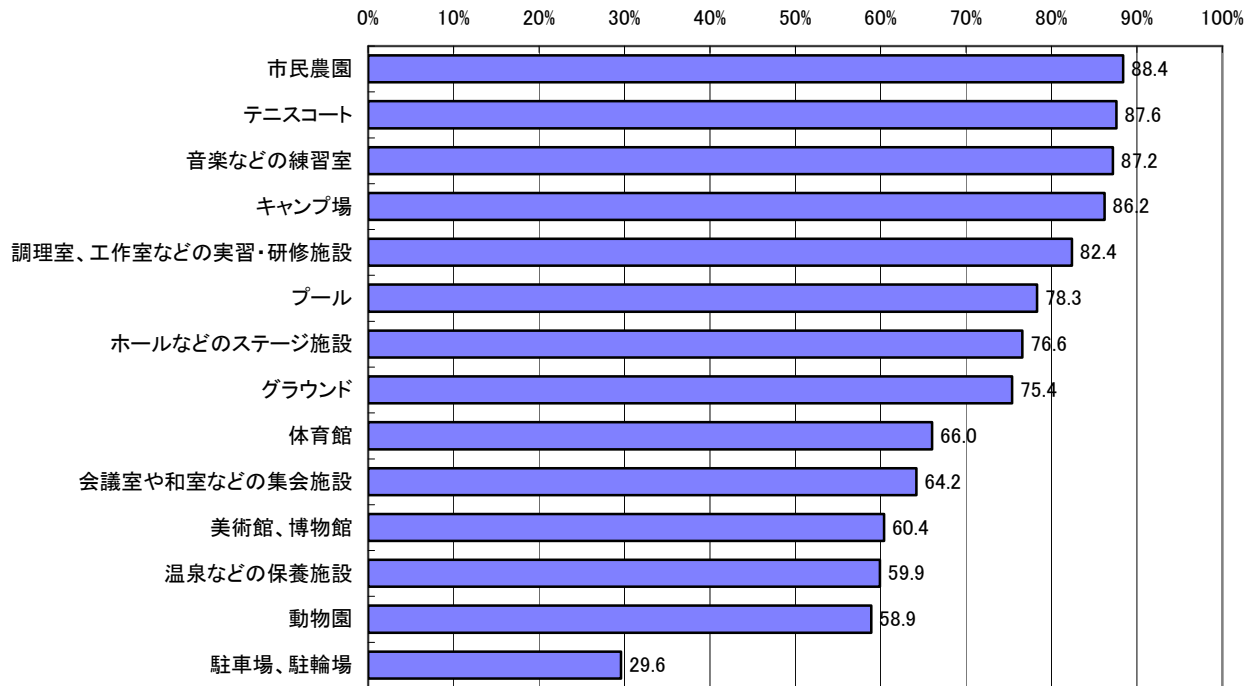
回答結果を「1度も利用しなかった」、「数回利用した」、「月に1、2回程度利用した」および「週に1回以上利用した」の4つに分けて集計した（P81～82 グラフ参照）。

男女別、年代別、居住地域別では、顕著な差はない。

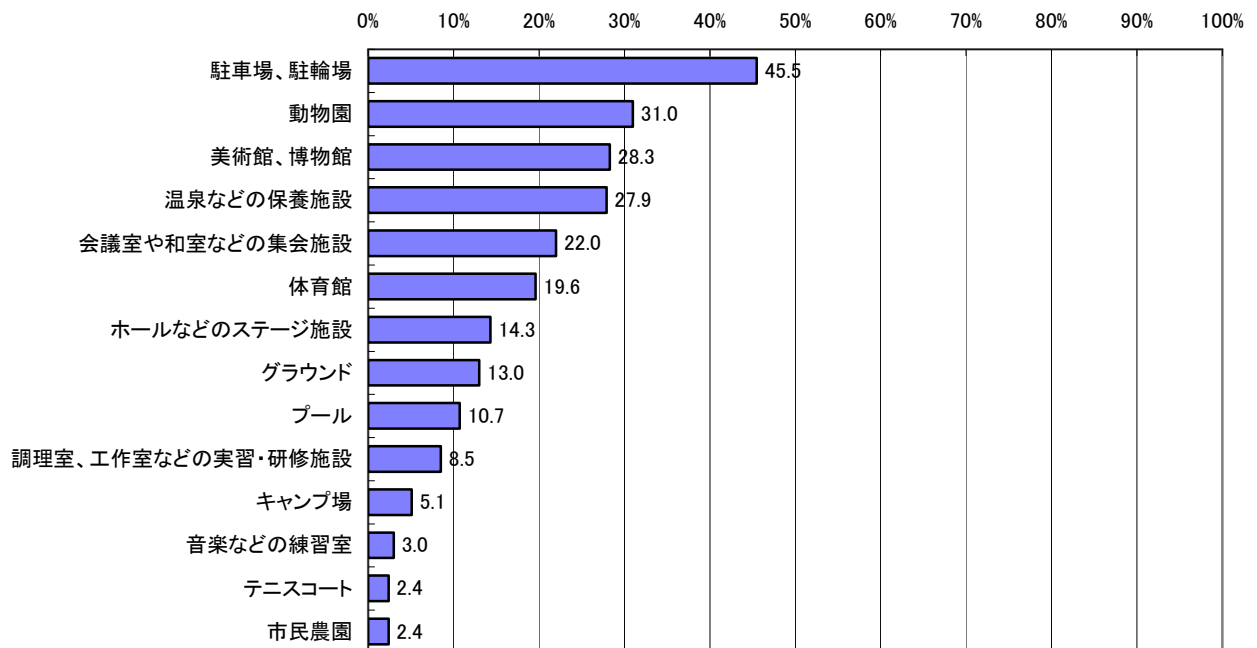
問7① 公共施設の利用頻度について 全体集計グラフ



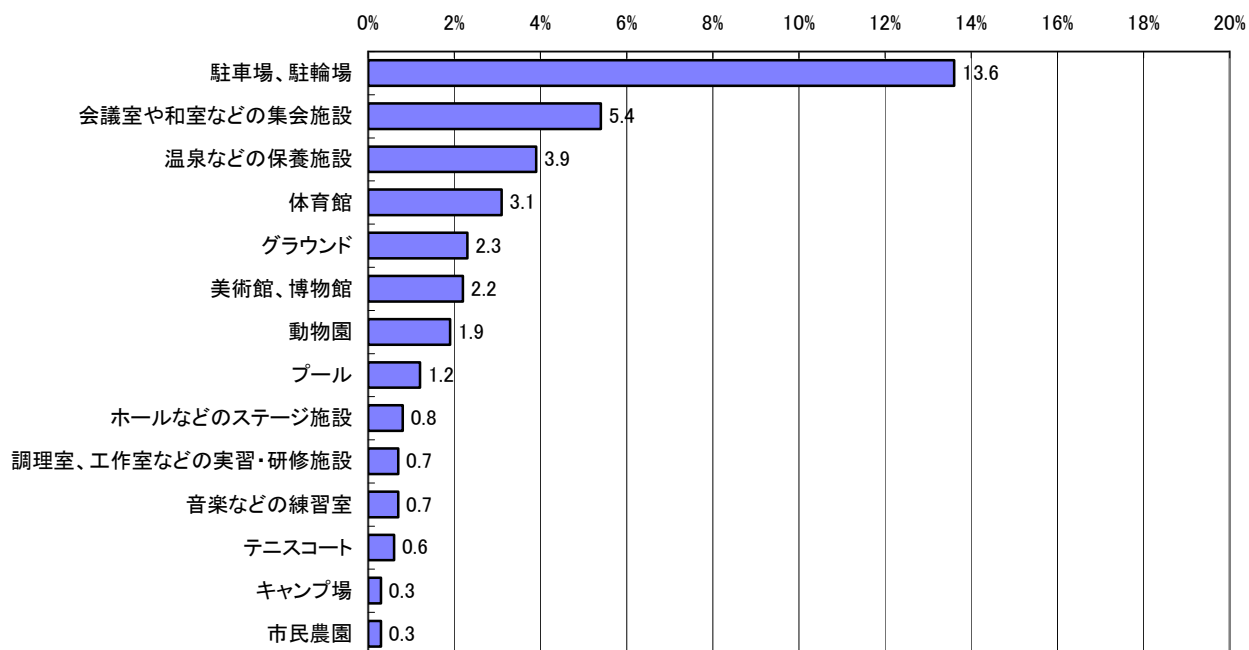
問7① 公共施設の利用頻度について「1度も利用しなかった」のグラフ



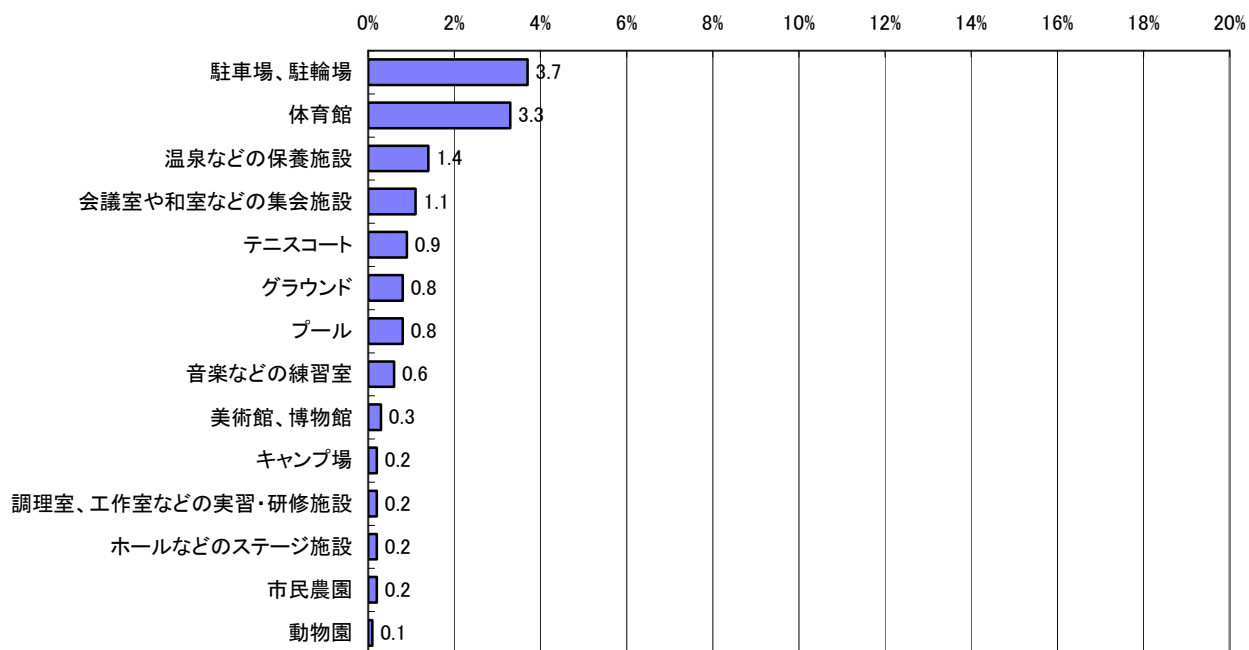
問7① 公共施設の利用頻度について「数回利用した」のグラフ



問7① 公共施設の利用頻度について「月に1、2回程度利用した」のグラフ



問7① 公共施設の利用頻度について「週に1回以上利用した」のグラフ



## 2 公共施設の利用料について（問7②）

※（ ）内は前回の数値

### 問7②（公共施設の利用料について）

秋田市の負担と利用者の負担のありかたは、施設の性格や利用内容により異なるものと思いますが、あなたは次の施設の場合、維持管理費用についてどう考えますか。次の1～15の各施設について、あなたの考えに近いものに○をつけてください。

#### 【選択肢】

- |            |            |               |
|------------|------------|---------------|
| 1 市が全額負担   | 2 市が多く負担   | 3 市と利用者が均等に負担 |
| 4 利用者が多く負担 | 5 利用者が全額負担 |               |

#### 【施設】

- |                     |            |                 |         |
|---------------------|------------|-----------------|---------|
| 1 温泉などの保養施設         | 2 キャンプ場    | 3 体育館           | 4 グラウンド |
| 5 テニスコート            | 6 プール      | 7 会議室や和室などの集会施設 |         |
| 8 調理室、工作室などの実習・研修施設 |            | 9 ホールなどのステージ施設  |         |
| 10 音楽などの練習室         | 11 美術館、博物館 | 12 動物園          |         |
| 13 駐車場、駐輪場          | 14 市民農園    | 15 斎場           |         |

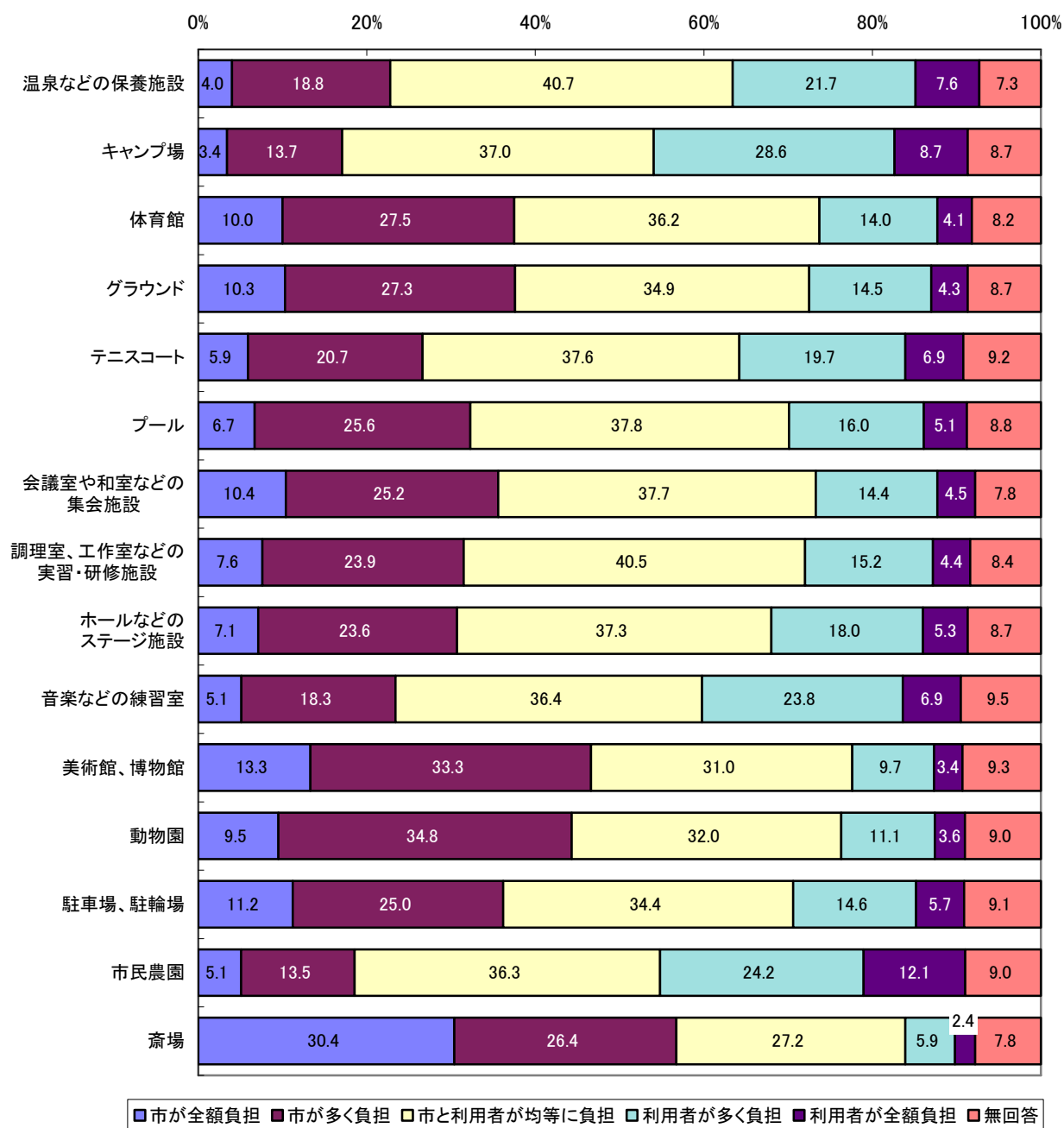
この設問では、市民の公共サービスに対する受益と負担の考え方を把握するため、15の公共施設の維持管理費について負担のありかたを聞いている。（集計表 P189～196 参照）

全体集計では、施設により回答結果に大きな差が生じている（P84 グラフ参照）。

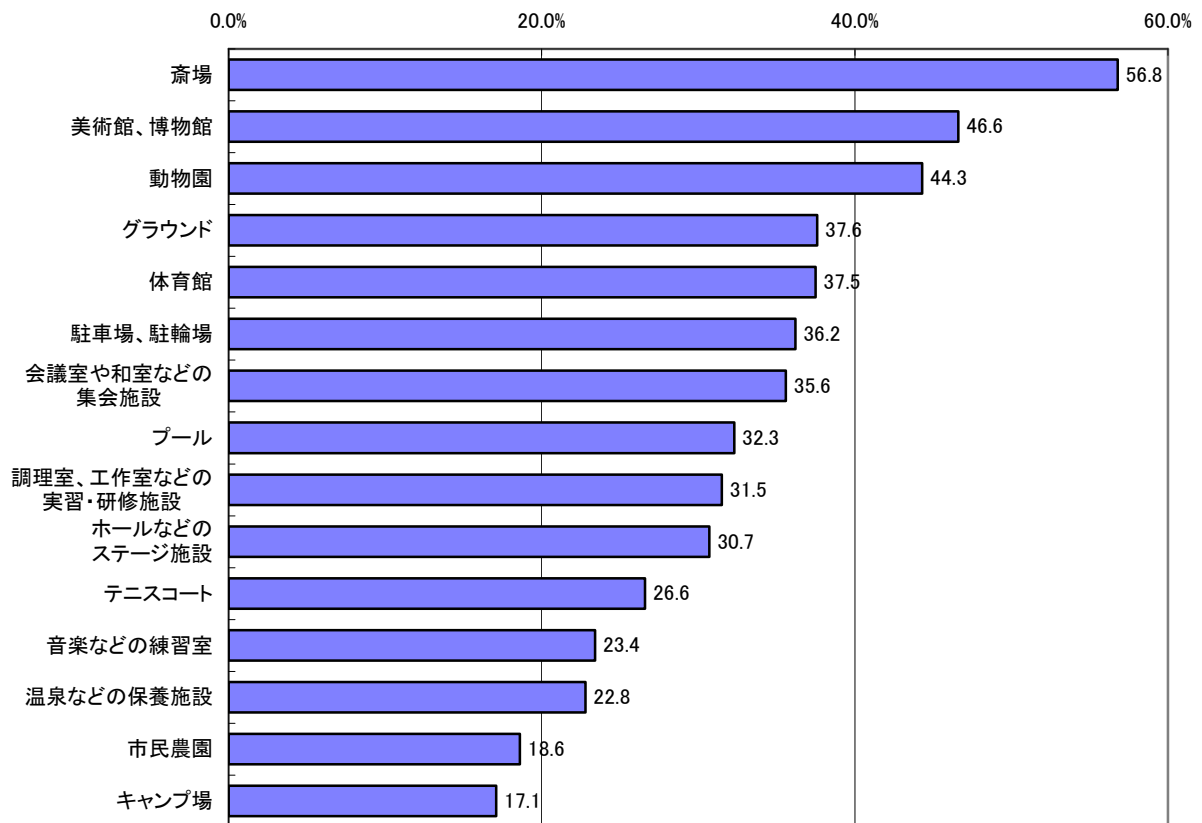
回答結果を「市が全額負担」「市が多く負担」の合計、「市と利用者が均等に負担」および「利用者が全額負担」「利用者が多く負担」の合計の3つに分けて集計した（P85～86 グラフ参照）。

男女別、年代別、居住地域別では、顕著な差はない。

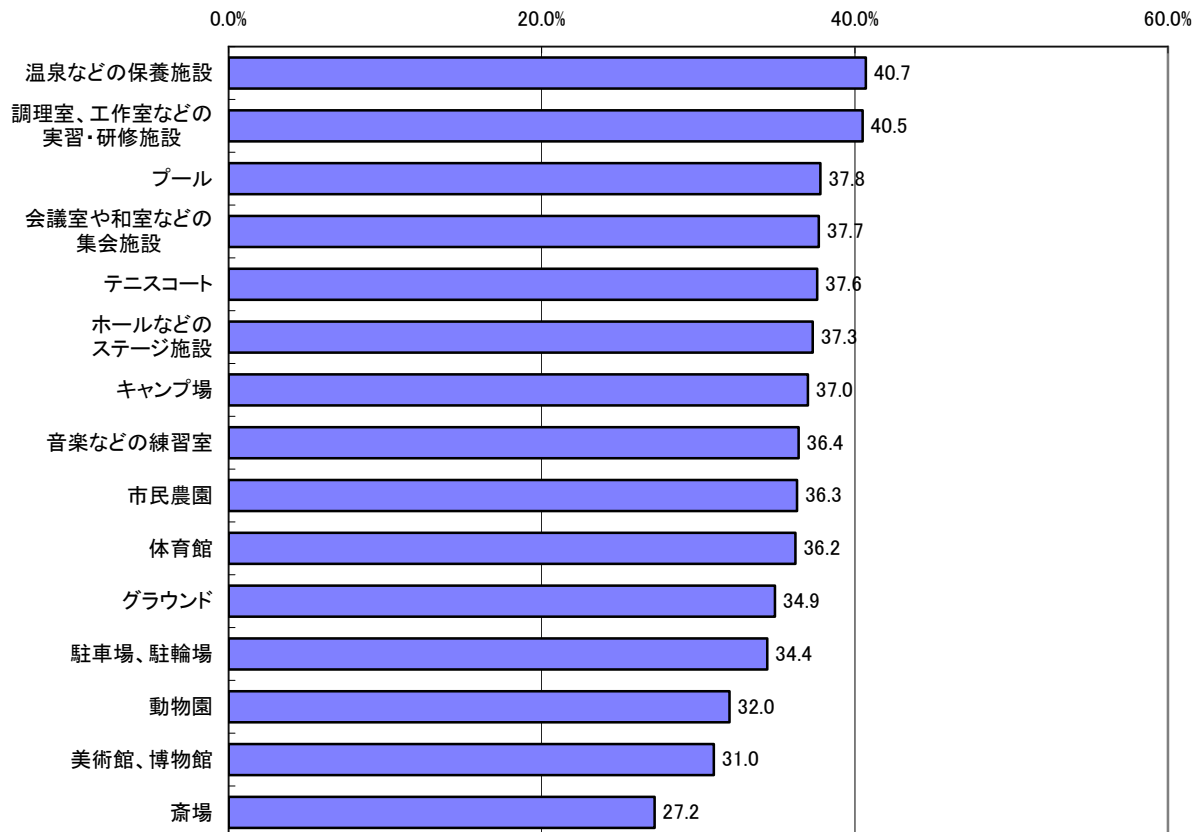
問7② 公共施設の利用料について 全体グラフ



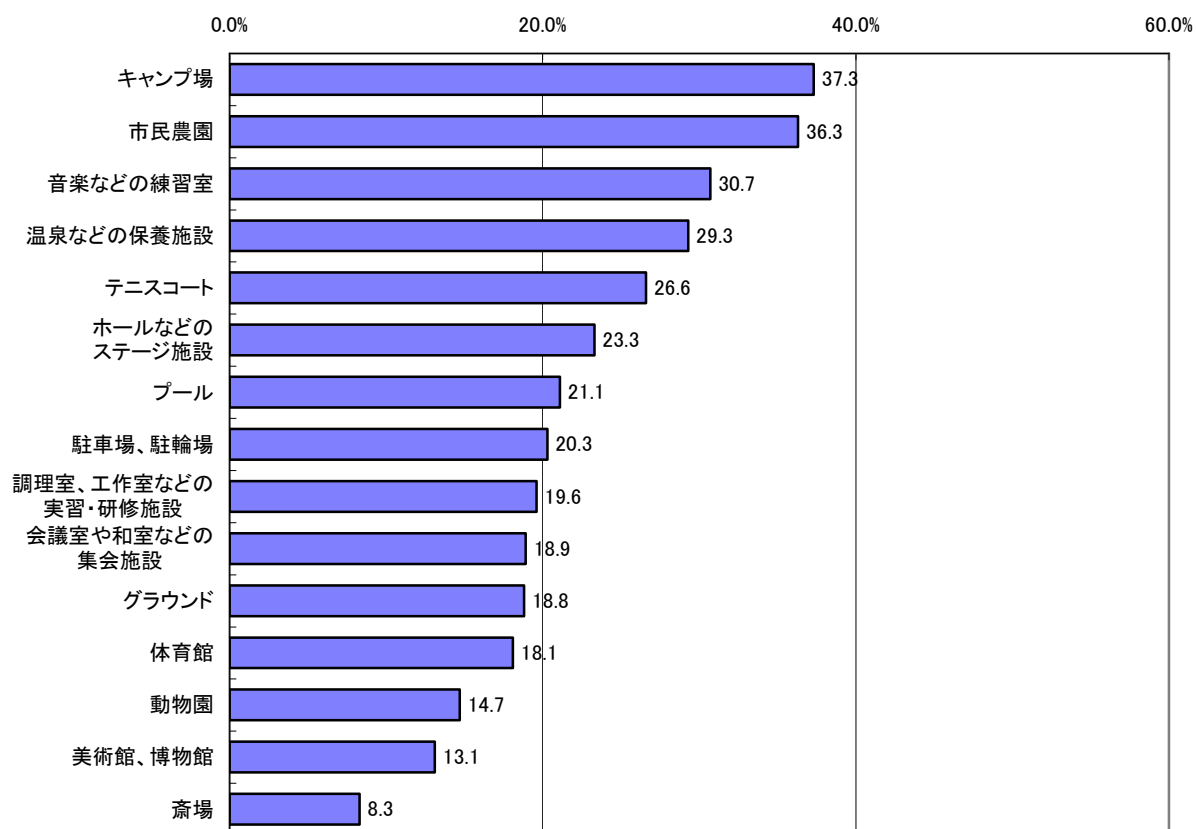
問7② 公共施設の利用料について  
「市が全額負担」「市が多く負担」の回答合計グラフ



問7② 公共施設の利用料について  
「市と利用者が均等に負担」のグラフ



問7② 公共施設の利用料について  
「利用者が多く負担」「利用者が全額負担」の回答合計グラフ





**問7②-1 (温泉などの保養施設)**

秋田市の負担と利用者の負担のありかたは、施設の性格や利用内容により異なるものと思いますが、あなたは次の施設（温泉などの保養施設）の場合、維持管理費用についてどう考えますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

- 1 市が全額負担      2 市が多く負担      3 市と利用者が均等に負担  
 4 利用者が多く負担      5 利用者が全額負担

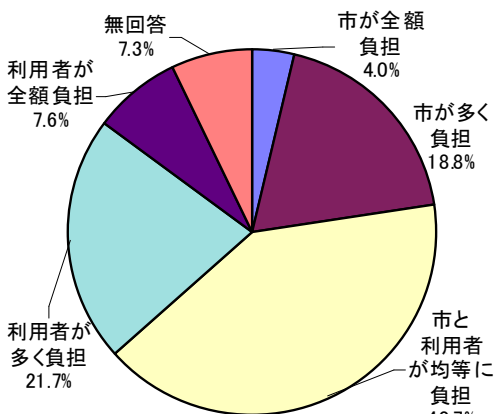
この設問では、市民の公共サービスに対する受益と負担の考え方を把握するため、温泉などの保養施設の維持管理費について負担のありかたを聞いている。(集計表 P189 参照)

全体集計では、「市が全額負担」が4.0% (3.9%)、「市が多く負担」が18.8% (18.0%)、「市と利用者が均等に負担」が40.7% (36.5%)、「利用者が多く負担」が21.7% (28.3%)、「利用者が全額負担」が7.6% (10.4%)である。

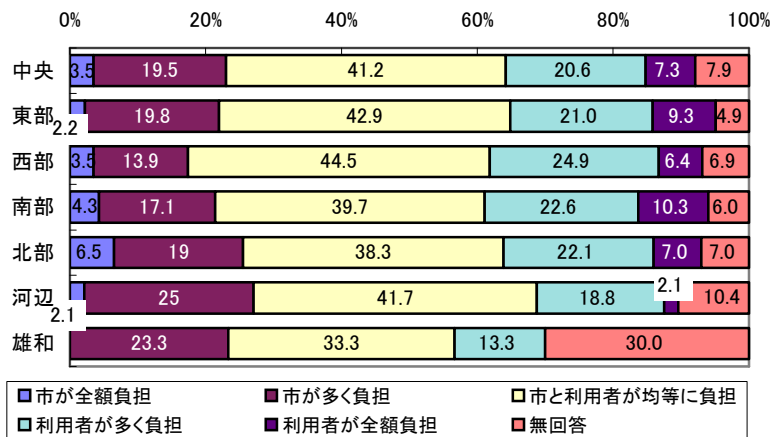
年代別集計では、「市が全額負担」「市が多く負担」の合計が、「40代」17.6% (18.7%)、「70代以上」17.2% (21.7%)で低くなっている。

居住地域別集計では、「市が全額負担」「市が多く負担」の合計が「西部」17.4% (19.6%)で他地域に比べ低い。

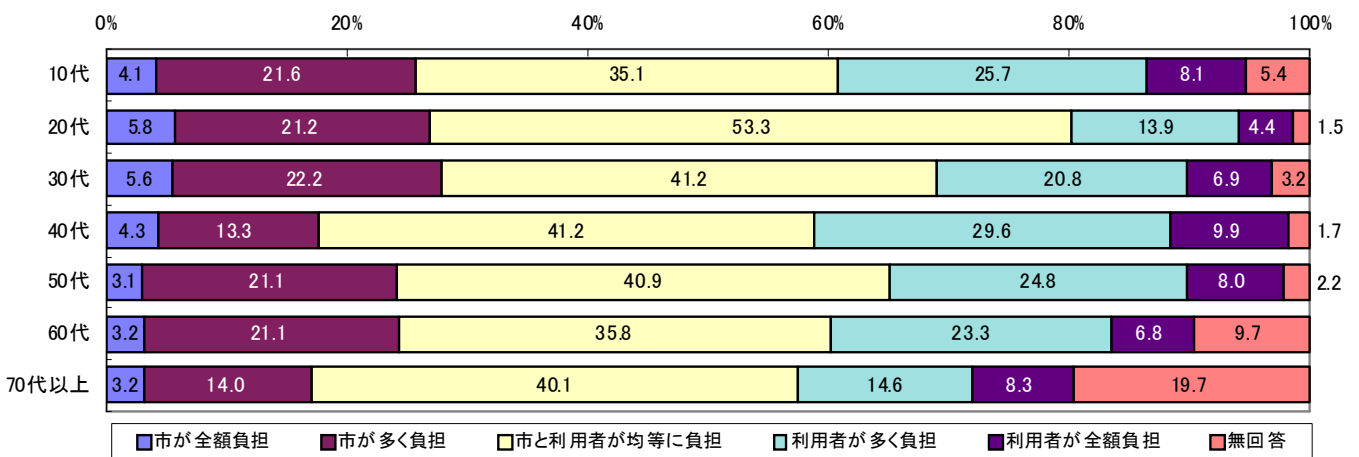
問7②-1 全体



問7②-1 居住地域別



問7②-1 年代別



### 問7②-2 (キャンプ場)

秋田市の負担と利用者の負担のありかたは、施設の性格や利用内容により異なるものと思いますが、あなたは次の施設（キャンプ場）の場合、維持管理費用についてどう考えますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

- 1 市が全額負担      2 市が多く負担      3 市と利用者が均等に負担  
4 利用者が多く負担      5 利用者が全額負担

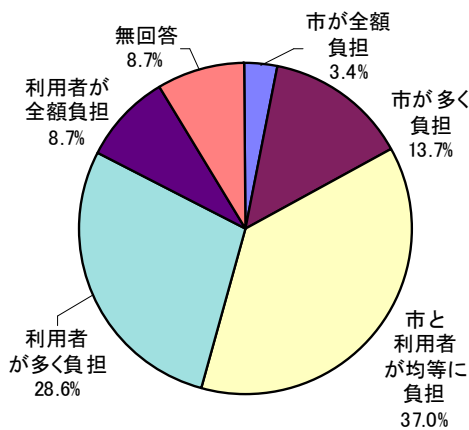
この設問では、市民の公共サービスに対する受益と負担の考え方を把握するため、キャンプ場の維持管理費について負担のありかたを聞いている。(集計表 P190 参照)

全体集計では、「市が全額負担」が3.4% (3.2%)、「市が多く負担」が13.7% (13.0%)、「市と利用者が均等に負担」が37.0% (30.1%)、「利用者が多く負担」が28.6% (36.7%)、「利用者が全額負担」が8.7% (13.5%)である。

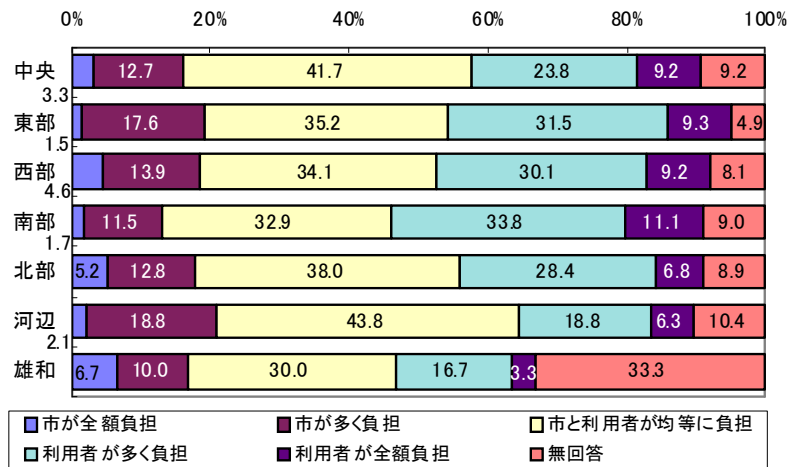
年代別集計では、「市が全額負担」「市が多く負担」の合計が、「20代」25.5% (20.1%)と他の年代と比較して高くなっている。

居住地域別集計では、「市が全額負担」と「市が多く負担」の回答の合計が「河辺」で他の地域と比較して高くなっている。

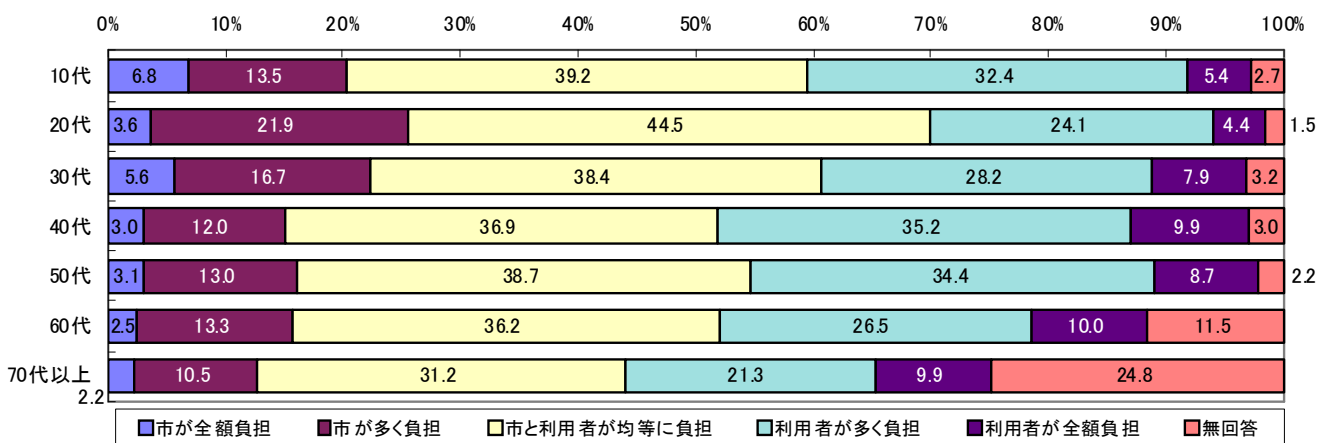
問7②-2 全体



問7②-2 居住地域別



問7②-2 年代別



**問7②-3 (体育館)**

秋田市の負担と利用者の負担のありかたは、施設の性格や利用内容により異なるものと思いますが、あなたは次の施設（体育館）の場合、維持管理費用についてどう考えますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

- 1 市が全額負担      2 市が多く負担      3 市と利用者が均等に負担  
4 利用者が多く負担      5 利用者が全額負担

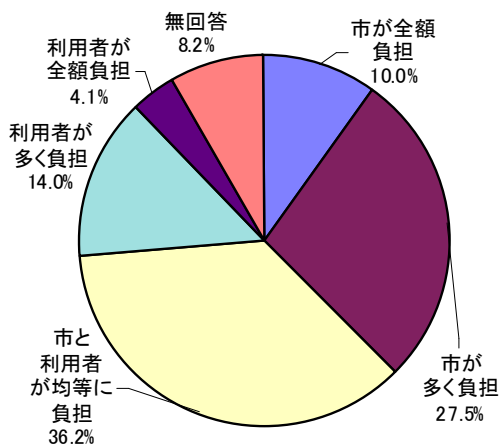
この設問では、市民の公共サービスに対する受益と負担の考え方を把握するため、体育館の維持管理費について負担のありかたを聞いている。(集計表 P190 参照)

全体集計では、「市が全額負担」が 10.0% (12.6%)、「市が多く負担」が、27.5% (26.7%)、「市と利用者が均等に負担」が 36.2% (33.8%)、「利用者が多く負担」が 14.0% (17.7%)、「利用者が全額負担」が 4.1% (5.9%) である。

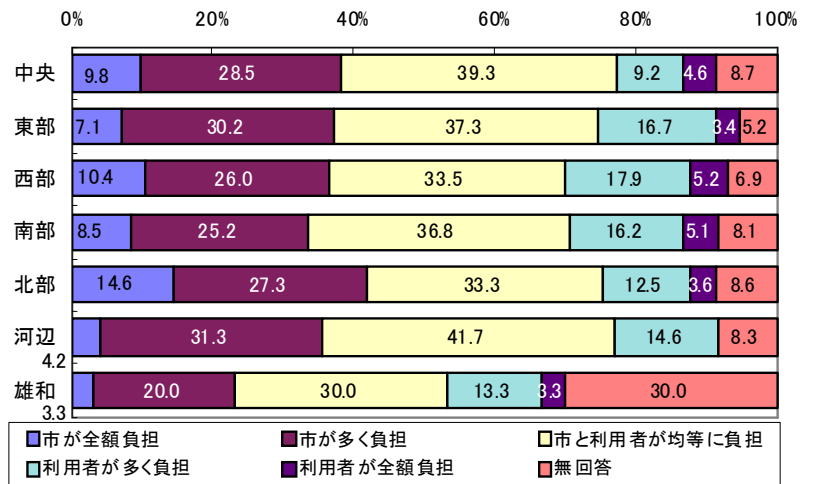
年代別集計では、「市が全額負担」「市が多く負担」の合計が、「10代」52.7% (52.4%)、「20代」43.0% (46.7%) で、他の年代に比較して高くなっている。

居住地域別集計では、「利用者が全額負担」「利用者が多く負担」の合計が「中央」13.8% (26.6%)、「河辺」14.6% (17.4%) で低くなっている。

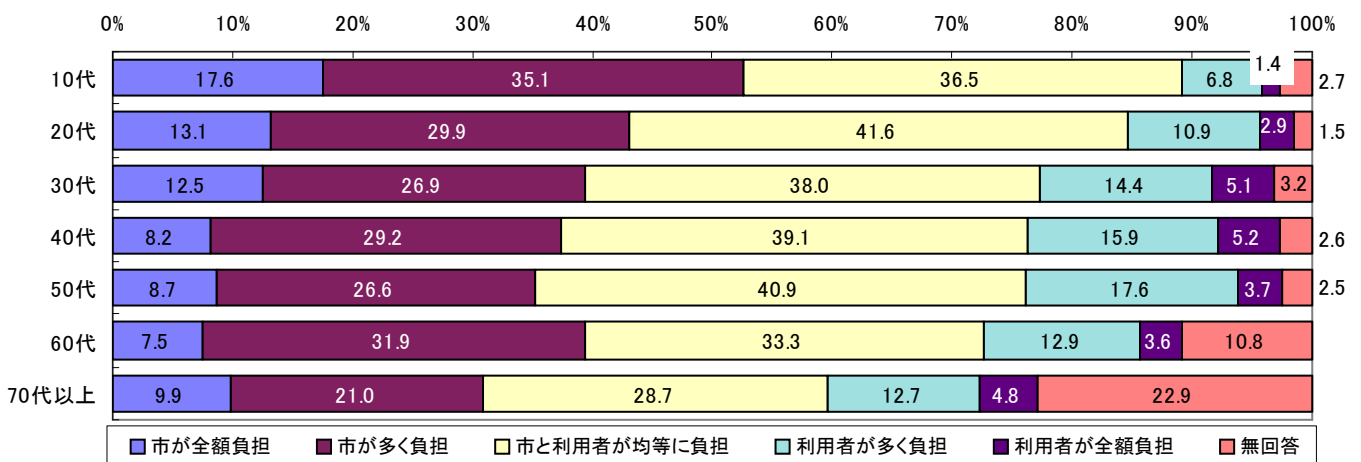
問7②-3 全体



問7②-3 居住地域別



問7②-3 年代別



### 問7②-4 (グラウンド)

秋田市の負担と利用者の負担のありかたは、施設の性格や利用内容により異なるものと思いますが、あなたは次の施設（グラウンド）の場合、維持管理費用についてどう考えますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

- 1 市が全額負担      2 市が多く負担      3 市と利用者が均等に負担  
4 利用者が多く負担      5 利用者が全額負担

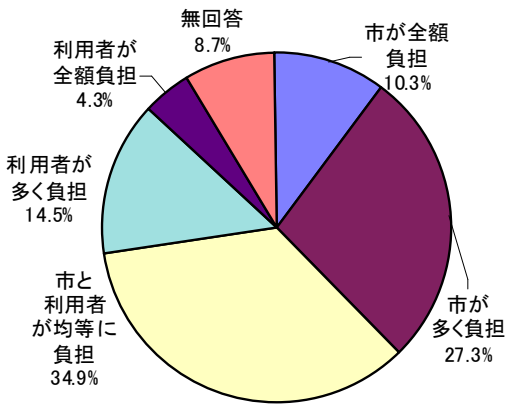
この設問では、市民の公共サービスに対する受益と負担の考え方を把握するため、グラウンドの維持管理費について負担のありかたを聞いている。(集計表 P191 参照)

全体集計では、「市が全額負担」が10.3% (12.3%)、「市が多く負担」が27.3% (26.3%)、「市と利用者が均等に負担」が34.9% (32.7%)、「利用者が多く負担」が14.5% (19.1%)、「利用者が全額負担」が4.3% (6.2%)である。

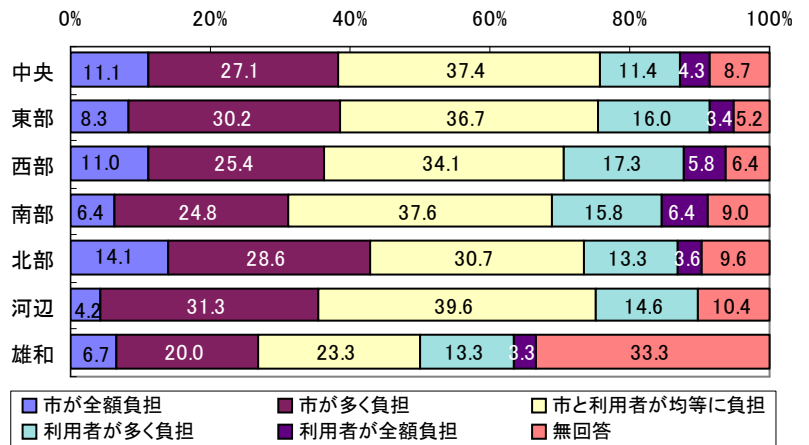
年代別集計では、「市が全額負担」「市が多く負担」の合計が、「10代」52.7% (49.0%)と他の年代に比較して高くなっている。

居住地域別集計では、「利用者が全額負担」「利用者が多く負担」の合計が、「西部」23.1% (24.3%)、「南部」22.2% (27.7%)で他の地域よりも高くなっている。

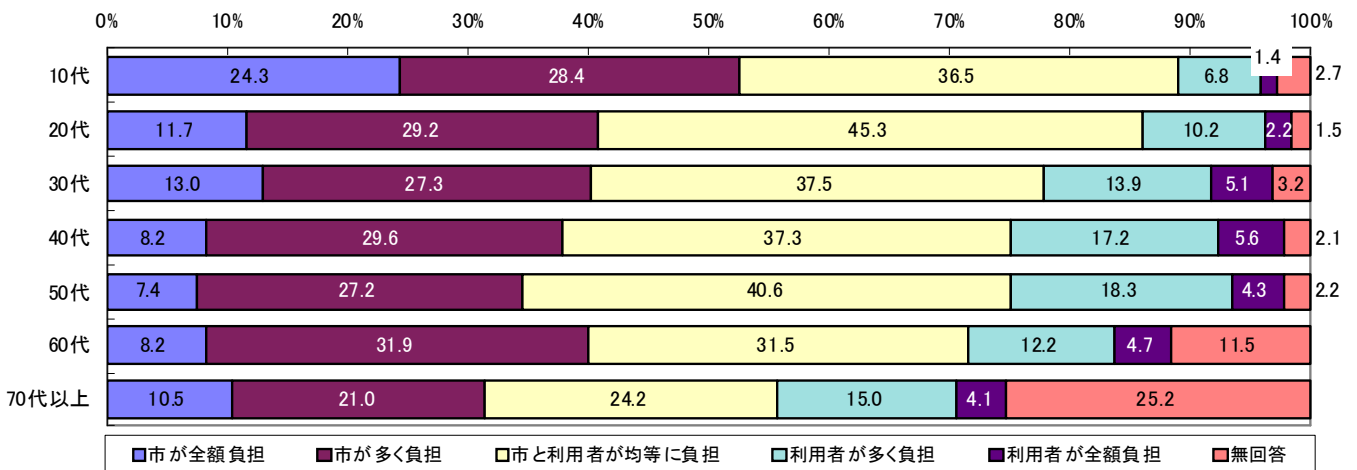
問7②-4 全体



問7②-4 居住地域別



問7②-4 年代別



### 問7②-5 (テニスコート)

秋田市の負担と利用者の負担のありかたは、施設の性格や利用内容により異なるものと思いますが、あなたは次の施設（テニスコート）の場合、維持管理費用についてどう考えますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

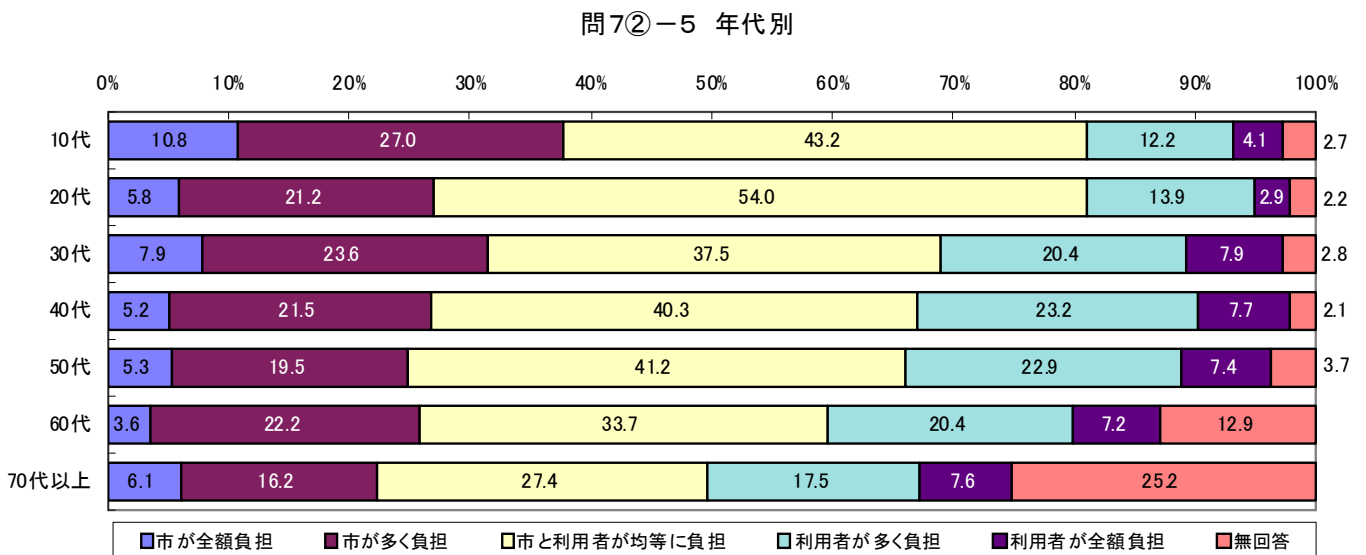
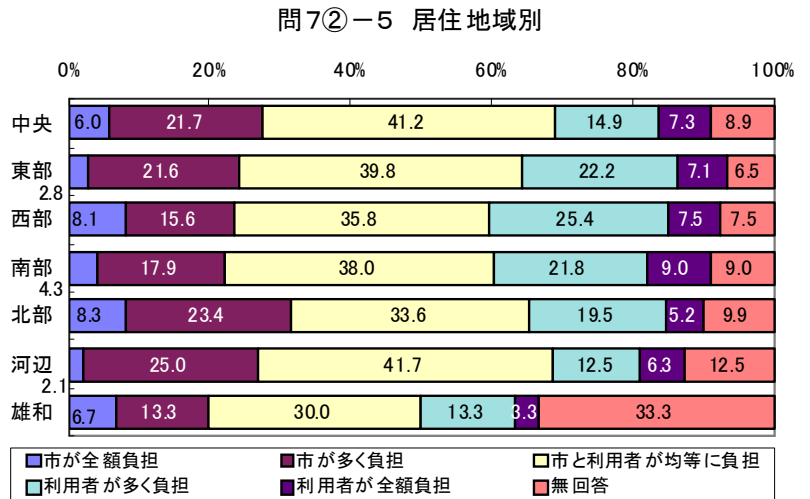
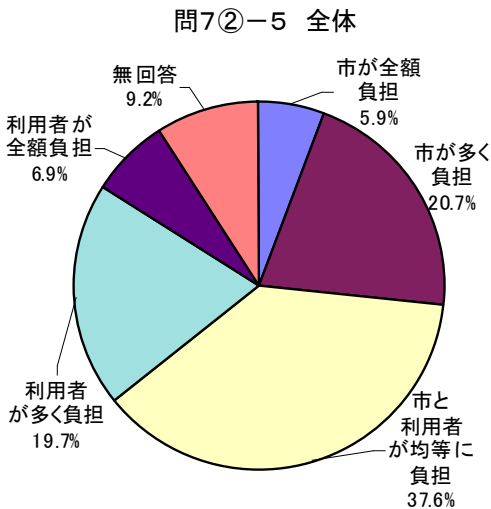
- 1 市が全額負担      2 市が多く負担      3 市と利用者が均等に負担  
4 利用者が多く負担      5 利用者が全額負担

この設問では、市民の公共サービスに対する受益と負担の考え方を把握するため、テニスコートの維持管理費について負担のありかたを聞いている。(集計表 P191 参照)

全体集計では、「市が全額負担」が、5.9% (7.1%)、「市が多く負担」が、20.7% (19.9%)、「市と利用者が均等に負担」が37.6% (32.5%)、「利用者が多く負担」が19.7% (26.7%)、「利用者が全額負担」が6.9% (10.3%)である。

年代別集計では、「市が全額負担」「市が多く負担」の合計が、「10代」37.8% (39.6%)、「30代」31.5% (26.8%)で他の年代に比較して高くなっている。

居住地域別集計では、「市が全額負担」「市が多く負担」の合計が、「北部」31.7% (29.4%)で他の地域に比較して高くなっている。



**問7②-6 (プール)**

秋田市の負担と利用者の負担のありかたは、施設の性格や利用内容により異なるものと思いますが、あなたは次の施設（プール）の場合、維持管理費用についてどう考えますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

- 1 市が全額負担                      2 市が多く負担                      3 市と利用者が均等に負担
- 4 利用者が多く負担                5 利用者が全額負担

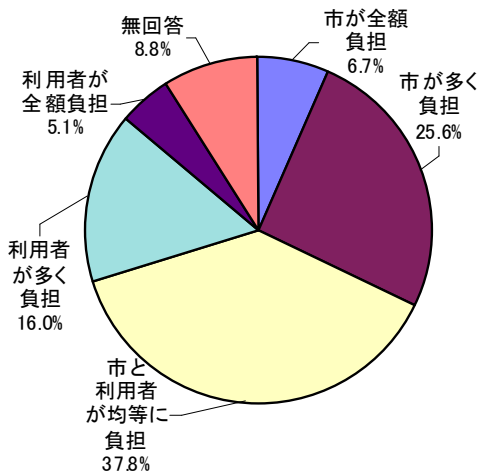
この設問では、市民の公共サービスに対する受益と負担の考え方を把握するため、プールの維持管理費について負担のありかたを聞いている。(集計表 P192 参照)

全体集計では、「市が全額負担」が 6.7% (7.9%)、「市が多く負担」が、25.6% (24.7%)、「市と利用者が均等に負担」が 37.8% (34.1%)、「利用者が多く負担」が 16.0% (22.0%)、「利用者が全額負担」が 5.1% (7.5%) である。

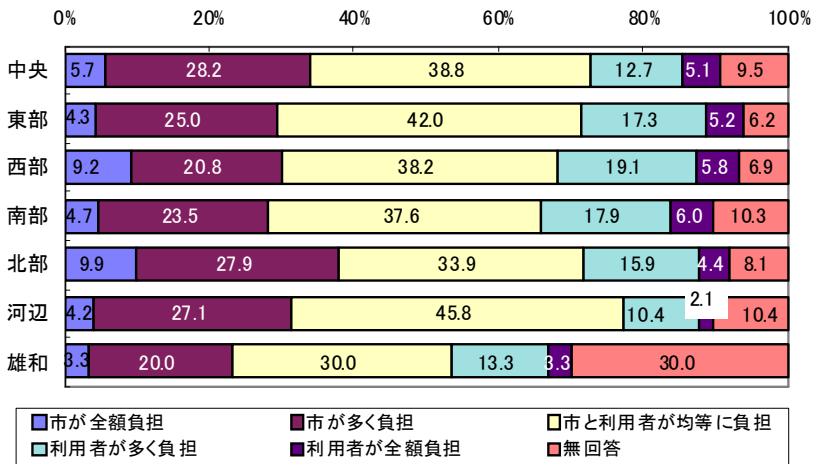
年代別集計では、「市が全額負担」「市が多く負担」の合計が、「10代」44.6% (38.9%) で他の年代に比較して高くなっている。

居住地域別集計では、「市が全額負担」「市が多く負担」の合計が、「中央」33.9% (38.9%)、「北部」37.8% (34.3%) で他の地域に比較して高くなっている。

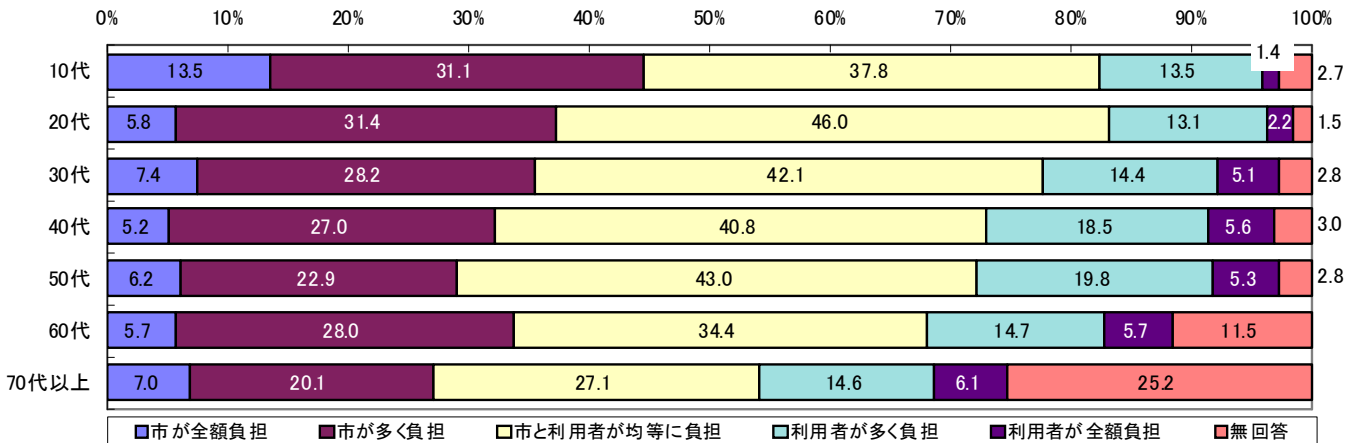
問7②-6 全体



問7②-6 居住地域別



問7②-6 年代別



### 問7②-7 (会議室や和室などの集会施設)

秋田市の負担と利用者の負担のありかたは、施設の性格や利用内容により異なるものと思いますが、あなたは次の施設（会議室や和室などの集会施設）の場合、維持管理費用についてどう考えますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

- 1 市が全額負担      2 市が多く負担      3 市と利用者が均等に負担  
4 利用者が多く負担      5 利用者が全額負担

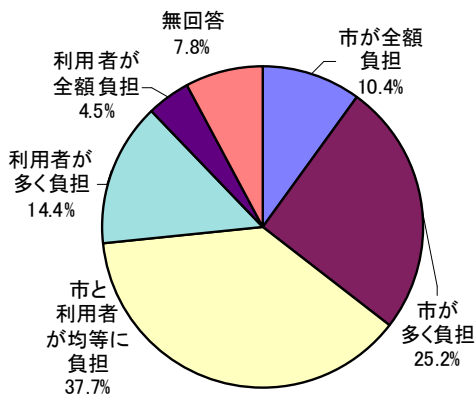
この設問では、市民の公共サービスに対する受益と負担の考え方を把握するため、会議室や和室などの集会施設の維持管理費について負担のありかたを聞いている。(集計表 P192 参照)

全体集計では、「市が全額負担」が10.4% (11.8%)、「市が多く負担」が25.2% (24.4%)、「市と利用者が均等に負担」が37.7% (36.1%)、「利用者が多く負担」が14.4% (18.4%)、「利用者が全額負担」が4.5% (5.9%)である。

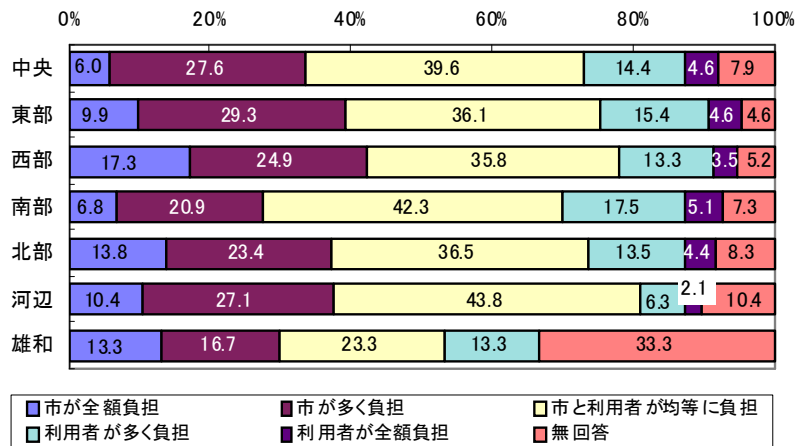
年代別集計では、「市が全額負担」「市が多く負担」の合計が、「10代」45.4% (45.6%)、「60代」39.1% (34.5%)で他の年代に比較して高くなっている。

居住地域別集計では、「利用者が全額負担」「利用者が多く負担」の合計が、「河辺」8.4% (15.6%)で他の地域に比較して低くなっている。

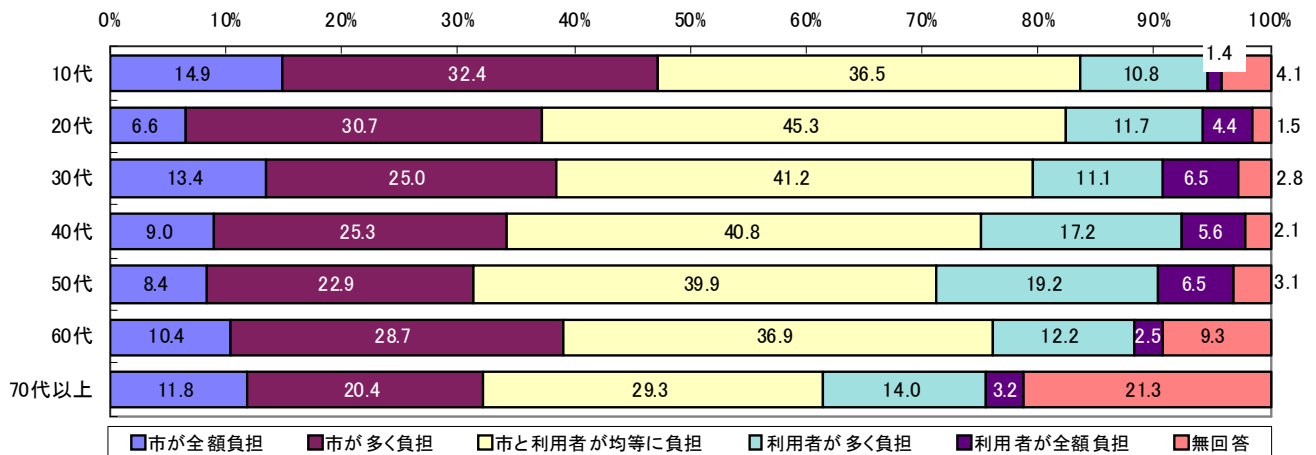
問7②-7 全体



問7②-7 居住地域別



問7②-7 年代別





**問7②-8 (調理室、工作室などの実習・研修施設)**

秋田市の負担と利用者の負担のありかたは、施設の性格や利用内容により異なるものと思いますが、あなたは次の施設（調理室、工作室などの実習・研修施設）の場合、維持管理費用についてどう考えますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

- 1 市が全額負担      2 市が多く負担      3 市と利用者が均等に負担  
 4 利用者が多く負担      5 利用者が全額負担

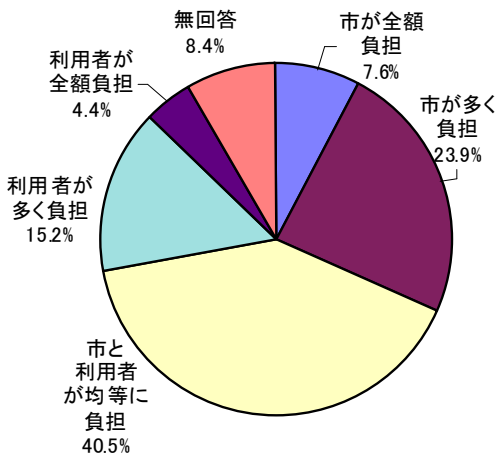
この設問では、市民の公共サービスに対する受益と負担の考え方を把握するため、調理室、工作室などの実習・研修施設の維持管理費について負担のありかたを聞いている。（集計表 P193 参照）

全体集計では、「市が全額負担」が7.6%（8.6%）、「市が多く負担」が23.9%（23.9%）、「市と利用者が均等に負担」が40.5%（37.5%）、「利用者が多く負担」が15.2%（20.0%）、「利用者が全額負担」が4.4%（6.2%）である。

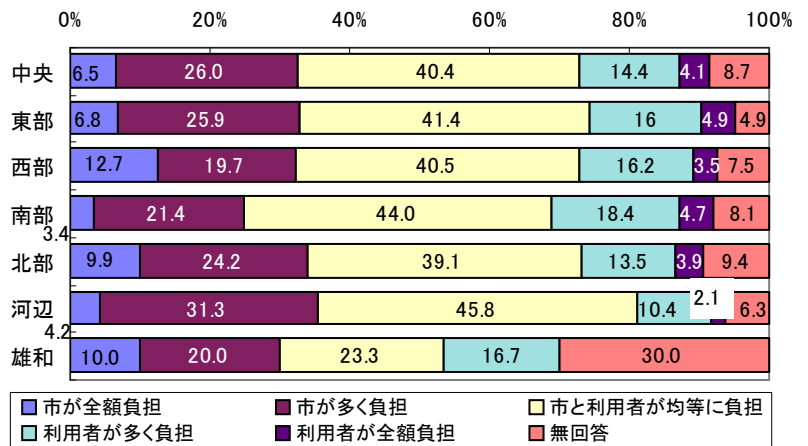
年代別集計では、「市が全額負担」「市が多く負担」の合計が、「10代」44.6%（41.6%）、「30代」37.5%（34.1%）で他の年代に比較して高くなっている。

居住地域別集計では、「利用者が全額負担」「利用者が多く負担」の合計が、「河辺」12.5%（17.5%）で他の地域に比較して低い。

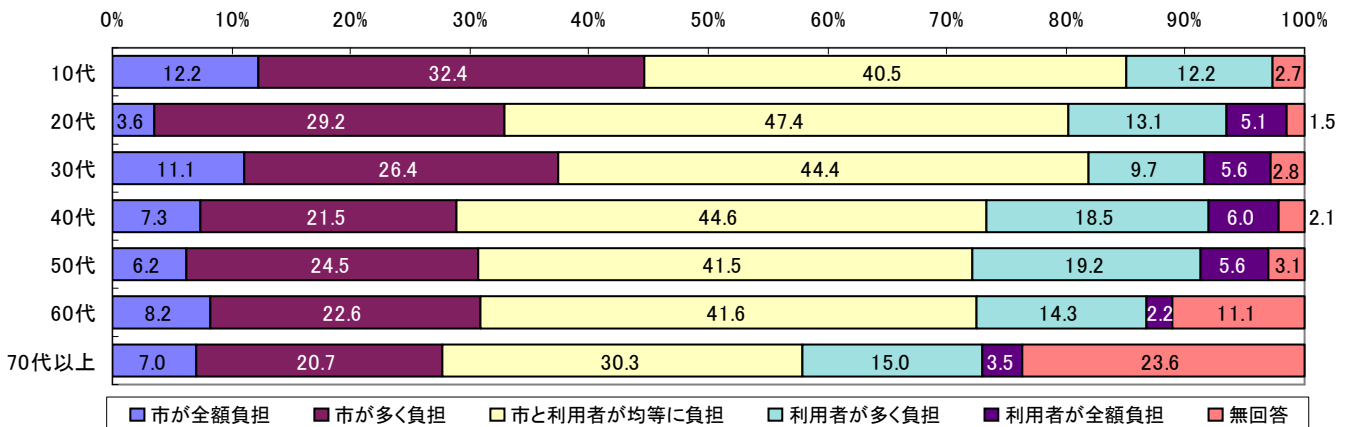
問7②-8 全体



問7②-8 居住地域別



問7②-8 年代別





**問7②-9 (ホールなどのステージ施設)**

秋田市の負担と利用者の負担のありかたは、施設の性格や利用内容により異なるものと思いますが、あなたは次の施設（ホールなどのステージ施設）の場合、維持管理費用についてどう考えますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

- 1 市が全額負担      2 市が多く負担      3 市と利用者が均等に負担  
 4 利用者が多く負担      5 利用者が全額負担

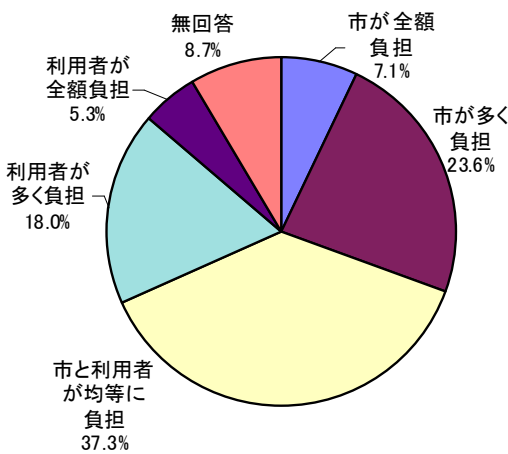
この設問では、市民の公共サービスに対する受益と負担の考え方を把握するため、ホールなどのステージ施設の維持管理費について負担のありかたを聞いている。(集計表 P193 参照)

全体集計では、「市が全額負担」が7.1% (8.9%)、「市が多く負担」が23.6% (24.8%)、「市と利用者が均等に負担」が37.3% (32.6%)、「利用者が多く負担」が18.0% (21.4%)、「利用者が全額負担」が5.3% (8.3%)である。

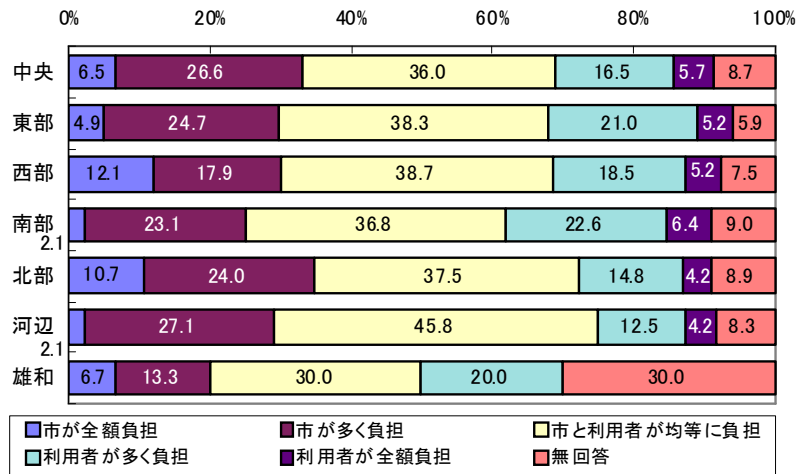
年代別集計では、「市が全額負担」「市が多く負担」の合計が、「10代」37.9% (45.7%)、「30代」34.1% (35.9%)で他の年代に比較して高く、また、年代が上がるにつれて低くなっている。

居住地域別集計では、「利用者が全額負担」「利用者が多く負担」の合計が、「河辺」16.7% (22.0%)で他の地域に比較して低い。

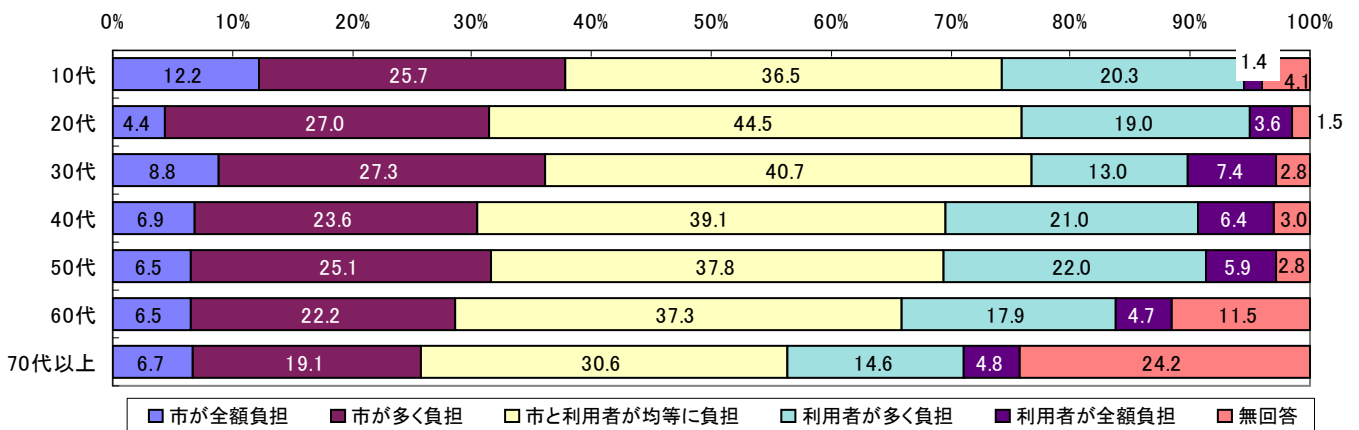
問7②-9 全体



問7②-9 居住地域別



問7②-9 年代別



**問7②-10 (音楽などの練習室)**

秋田市の負担と利用者の負担のありかたは、施設の性格や利用内容により異なるものと思いますが、あなたは次の施設（音楽などの練習室）の場合、維持管理費用についてどう考えますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

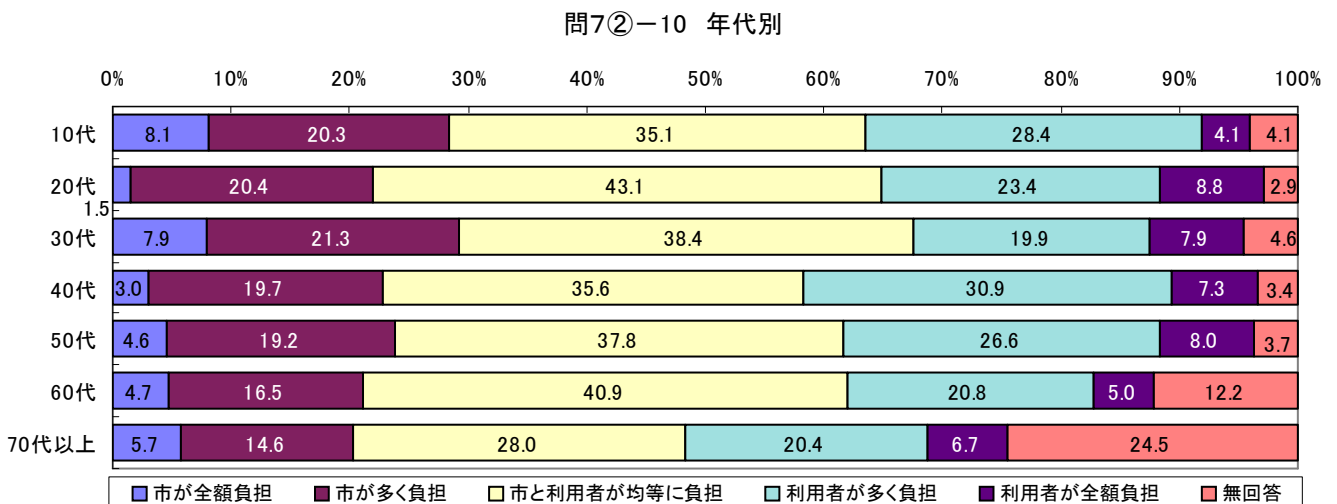
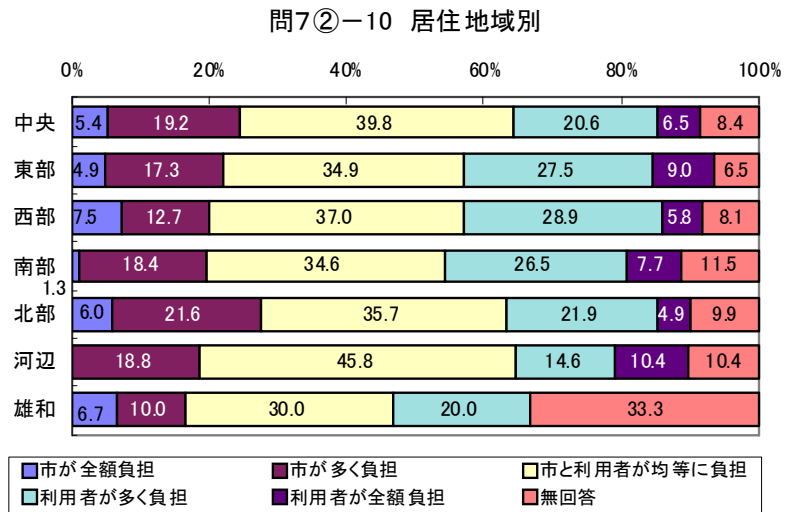
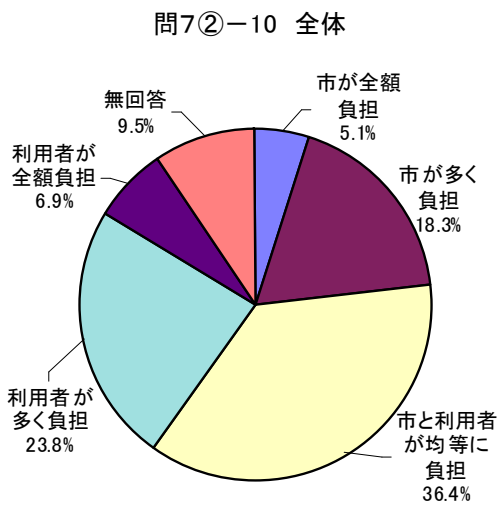
- 1 市が全額負担                      2 市が多く負担                      3 市と利用者が均等に負担
- 4 利用者が多く負担                5 利用者が全額負担

この設問では、市民の公共サービスに対する受益と負担の考え方を把握するため、音楽などの練習室の維持管理費について負担のありかたを聞いている。(集計表 P194 参照)

全体集計では、「市が全額負担」が5.1% (6.0%)、「市が多く負担」が18.3% (17.6%)、「市と利用者が均等に負担」が36.4% (33.6%)、「利用者が多く負担」が23.8% (28.7%)、「利用者が全額負担」が6.9% (10.3%)である。

年代別集計では、「市が全額負担」「市が多く負担」の合計が、「10代」28.4% (32.9%)、「30代」28.2% (24.8%)で他の年代に比較して高い。

居住地域別集計では、「市が全額負担」「市が多く負担」の合計が、「北部」27.6% (25.2%)で他の地域に比較して高い。



**問7②-11 (美術館、博物館)**

秋田市の負担と利用者の負担のありかたは、施設の性格や利用内容により異なるものと思いますが、あなたは次の施設（美術館、博物館）の場合、維持管理費用についてどう考えますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

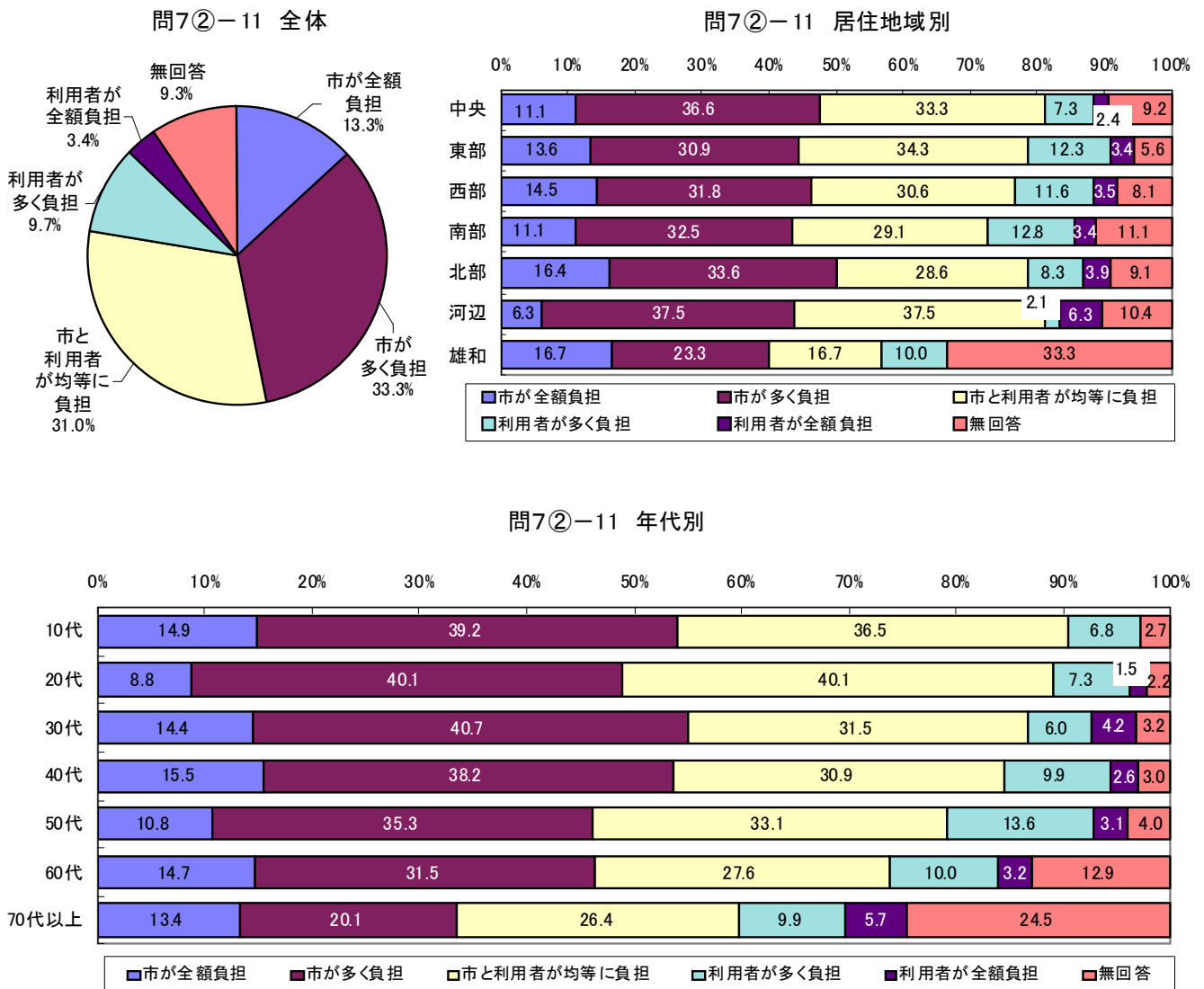
- 1 市が全額負担      2 市が多く負担      3 市と利用者が均等に負担  
4 利用者が多く負担      5 利用者が全額負担

この設問では、市民の公共サービスに対する受益と負担の考え方を把握するため、美術館、博物館の維持管理費用について負担のありかたを聞いている。(集計表 P194 参照)

全体集計では、「市が全額負担」が13.3% (19.3%)、「市が多く負担」が33.3% (33.9%)、「市と利用者が均等に負担」が31.0% (26.4%)、「利用者が多く負担」が9.7% (11.1%)、「利用者が全額負担」が3.4% (5.6%)である。

年代別集計では、「市が全額負担」「市が多く負担」の合計が、「10代」54.1% (51.1%)、「30代」55.1% (56.4%)、「40代」53.7% (56.3%) で他の年代に比較して高くなっている。

居住地域別集計では、「市が全額負担」が、「河辺」6.3% (22.0%) と他の地域に比べ低くなっている。



**問7②-12 (動物園)**

秋田市の負担と利用者の負担のありかたは、施設の性格や利用内容により異なるものと思いますが、あなたは次の施設（動物園）の場合、維持管理費用についてどう考えますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

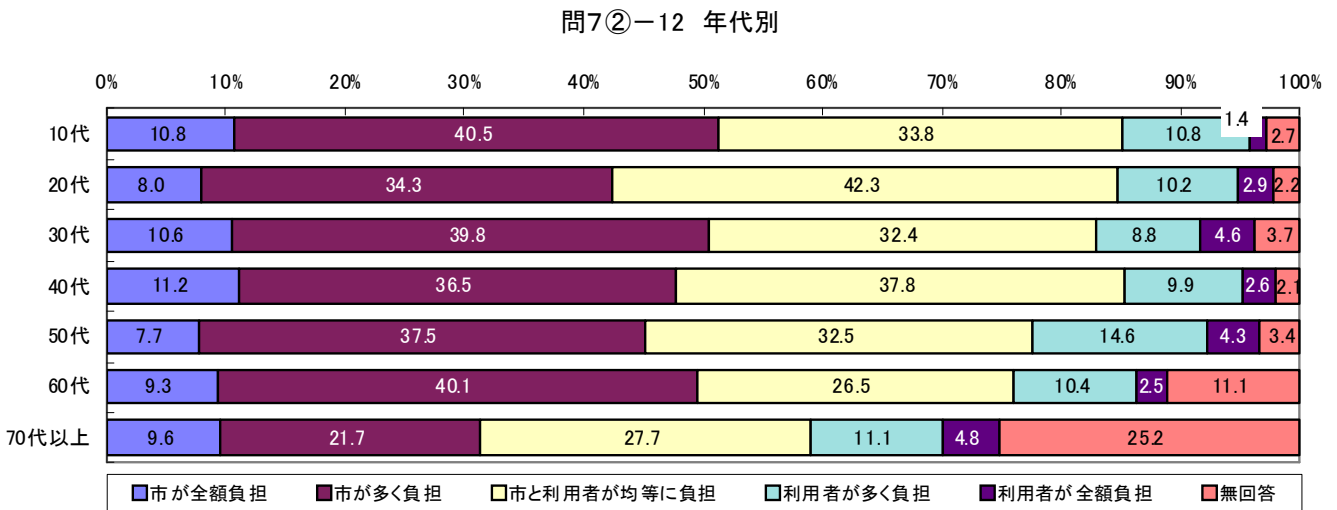
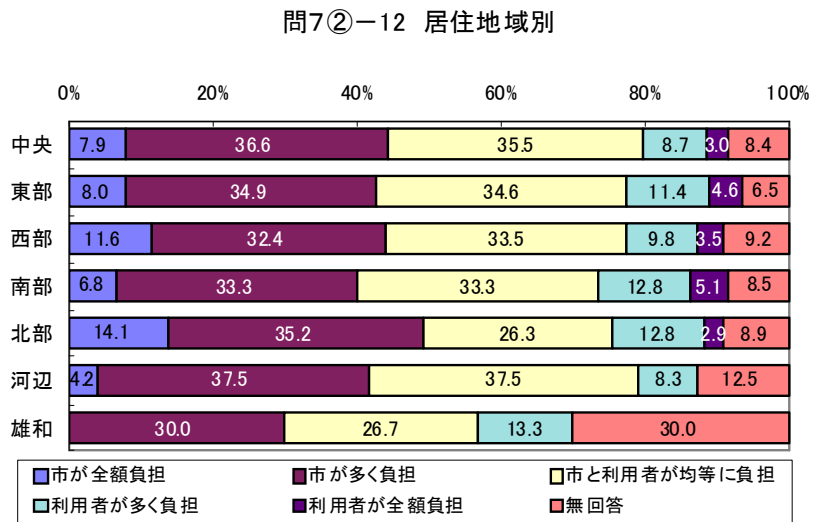
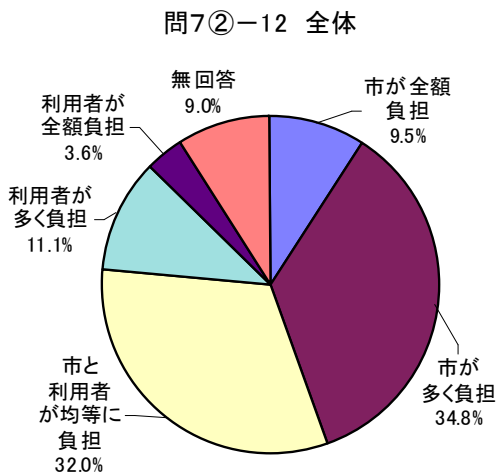
- 1 市が全額負担                      2 市が多く負担                      3 市と利用者が均等に負担
- 4 利用者が多く負担                5 利用者が全額負担

この設問では、市民の公共サービスに対する受益と負担の考え方を把握するため、動物園の維持管理費について負担のありかたを聞いている。(集計表 P195 参照)

全体集計では、「市が全額負担」が9.5% (14.9%)、「市が多く負担」が34.8% (34.3%)、「市と利用者が均等に負担」が32.0% (29.5%)、「利用者が多く負担」が11.1% (11.6%)、「利用者が全額負担」が3.6% (5.9%)である。

年代別集計では、「市が全額負担」「市が多く負担」の合計が、「70代以上」31.3% (45.0%)でもっとも低くなっている。

居住地域別集計では、「市が全額負担」「市が多く負担」の合計が、「北部」49.3% (49.0%)で他の地域に比べ高くなっている。



**問7②-13 (駐車場、駐輪場)**

秋田市の負担と利用者の負担のありかたは、施設の性格や利用内容により異なるものと思いますが、あなたは次の施設（駐車場、駐輪場）の場合、維持管理費用についてどう考えますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

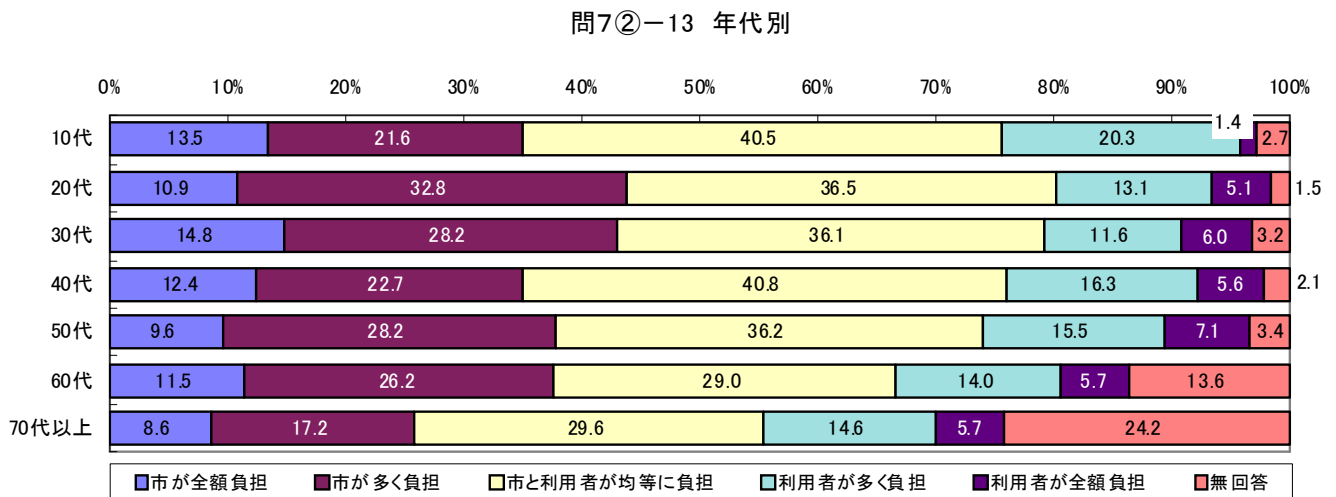
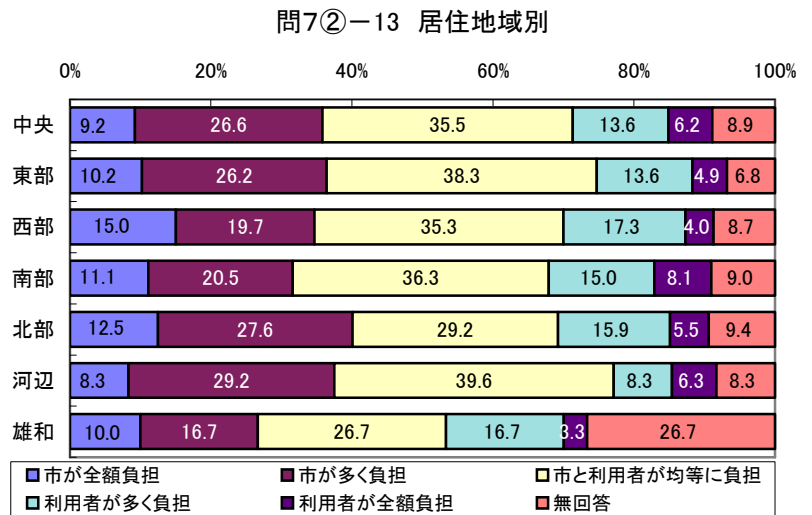
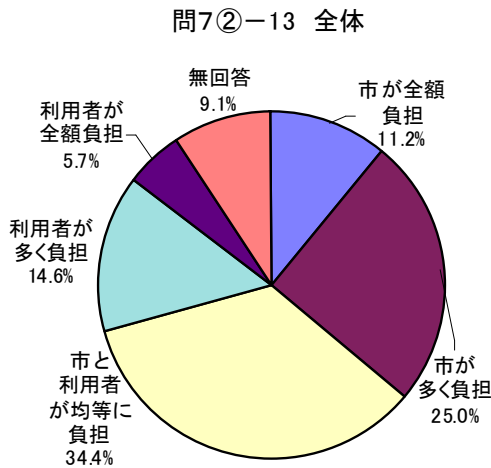
- 1 市が全額負担      2 市が多く負担      3 市と利用者が均等に負担  
 4 利用者が多く負担      5 利用者が全額負担

この設問では、市民の公共サービスに対する受益と負担の考え方を把握するため、駐車場、駐輪場の維持管理費用について負担のありかたを聞いている。(集計表 P195 参照)

全体集計では、「市が全額負担」が11.2% (13.9%)、「市が多く負担」が25.0% (23.0%)、「市と利用者が均等に負担」が34.4% (30.4%)、「利用者が多く負担」が14.6% (17.6%)、「利用者が全額負担」が5.7% (11.6%)である。

年代別集計では、「市が全額負担」「市が多く負担」の合計が、「20代」43.7% (49.0%)、「30代」43.0% (41.4%)で他の年代に比較して高くなっている。

居住地域別集計では、「市が全額負担」「市が多く負担」の合計が、「北部」40.1% (38.0%)、「河辺」37.5% (24.8%)で他の地域に比べ高くなっている。



**問7②-14 (市民農園)**

秋田市の負担と利用者の負担のありかたは、施設の性格や利用内容により異なるものと思いますが、あなたは次の施設（市民農園）の場合、維持管理費用についてどう考えますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

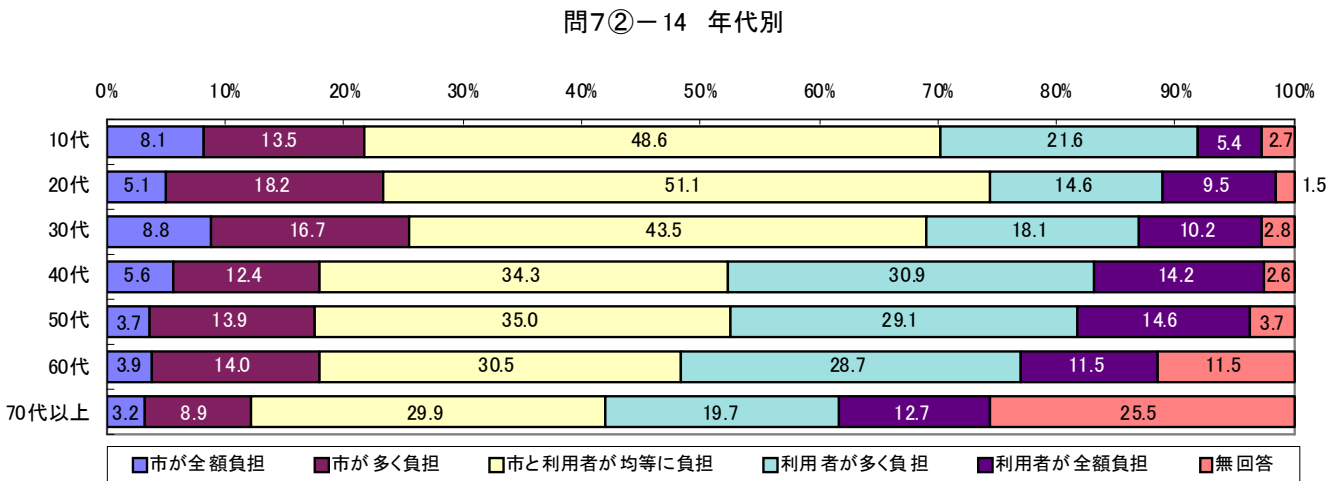
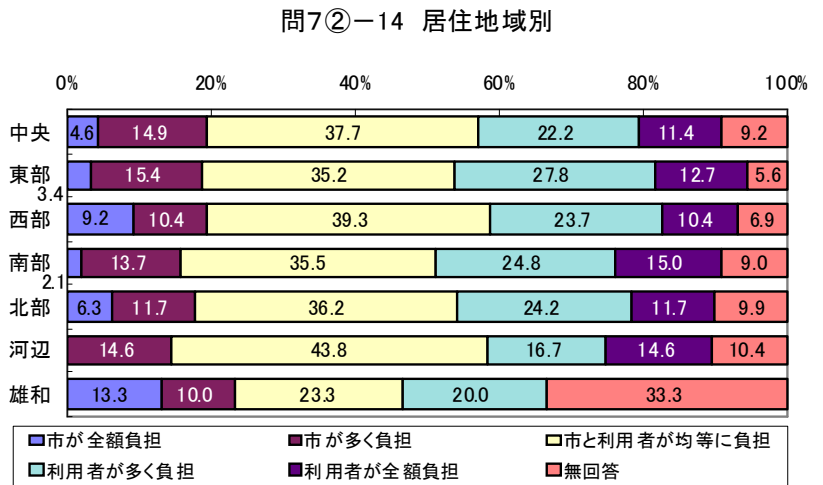
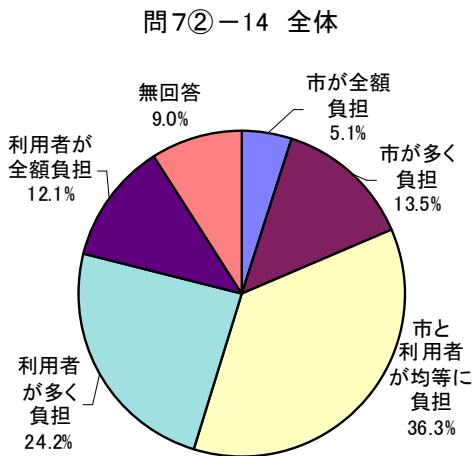
- 1 市が全額負担                      2 市が多く負担                      3 市と利用者が均等に負担
- 4 利用者が多く負担                5 利用者が全額負担

この設問では、市民の公共サービスに対する受益と負担の考え方を把握するため、市民農園の維持管理費用について負担のありかたを聞いている。(集計表 P196 参照)

全体集計では、「市が全額負担」が5.1% (4.6%)、「市が多く負担」が13.5% (12.1%)、「市と利用者が均等に負担」が36.3% (29.6%)、「利用者が多く負担」が24.2% (29.7%)、「利用者が全額負担」が12.1% (20.4%) である。

年代別集計では、「利用者が全額負担」「利用者が多く負担」の合計が、「40代」45.1% (55.0%)、「50代」43.7% (54.9%) で他の年代に比較して高い。

居住地域別集計では、「利用者が全額負担」「利用者が多く負担」の合計が、「東部」40.5% (50.7%)、「南部」39.8% (50.1%) で他の地域に比べ高くなっている。



**問7②-15 (斎場)**

秋田市の負担と利用者の負担のありかたは、施設の性格や利用内容により異なるものと思いますが、あなたは次の施設（斎場）の場合、維持管理費用についてどう考えますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

- 1 市が全額負担                      2 市が多く負担                      3 市と利用者が均等に負担
- 4 利用者が多く負担                5 利用者が全額負担

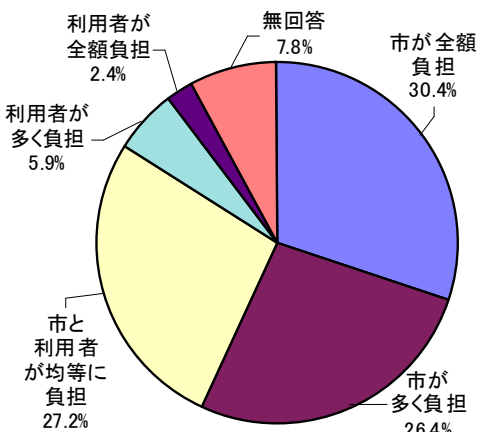
この設問では、市民の公共サービスに対する受益と負担の考え方を把握するため、斎場の維持管理費について負担のありかたを聞いている。(集計表 P196 参照)

全体集計では、「市が全額負担」が30.4% (34.8%)、「市が多く負担」が26.4% (24.0%)、「市と利用者が均等に負担」が27.2% (24.5%)、「利用者が多く負担」が5.9% (8.9%)、「利用者が全額負担」が2.4% (4.6%)である。

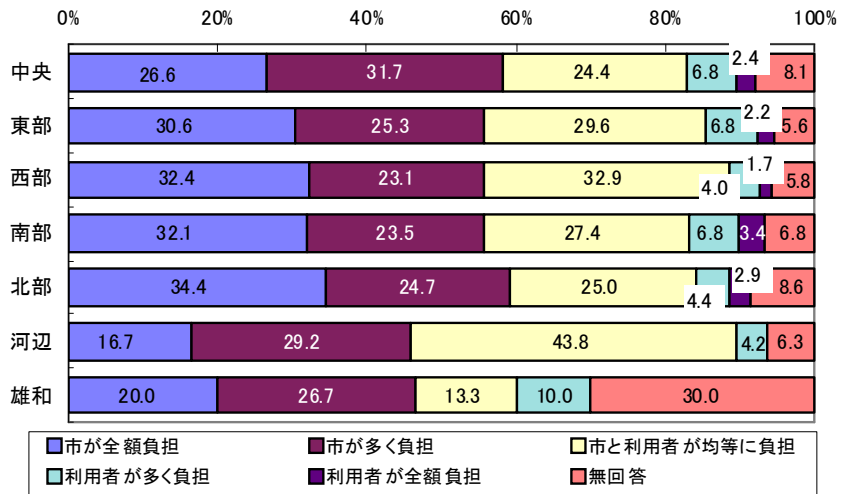
年代別集計では、「市が全額負担」が、「60代」までは年代が上がるにつれて高くなる傾向がある。

居住地域別集計では、「市が全額負担」が「河辺」16.7% (31.2%)、「雄和」20.0% (33.3%)で他の地域に比較して低くなっている。

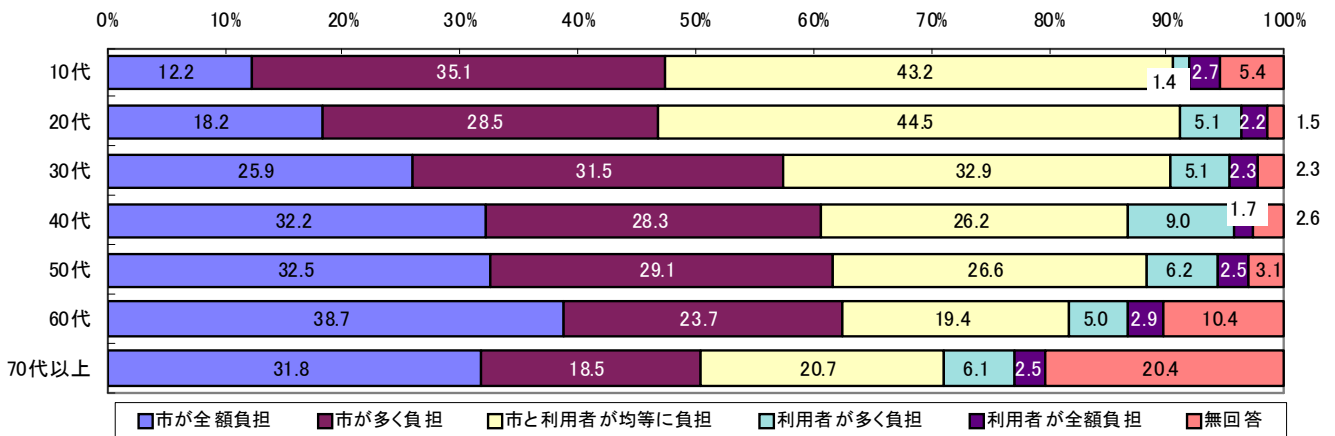
問7②-15 全体



問7②-15 居住地域別



問7②-15 年代別



## 第6節 安全安心な暮らしについて

### 1 より充実した方がよい分野（問8①）

#### 問8①（より充実した方がよい分野）

あなたが、秋田市で安全安心な生活を送るうえで、より充実した方がよいと思う分野はどれですか。次の中から5つまで選んでください。

- |                                  |                       |
|----------------------------------|-----------------------|
| 1 災害時における他自治体や県など関係機関との連携強化      |                       |
| 2 災害時における隣近所による相互避難協力など、地域防災力の強化 |                       |
| 3 鳥インフルエンザなどに対応する健康危機管理体制の整備     |                       |
| 4 効率的な道路除排雪                      | 5 地域が主体的に取り組む除排雪対策支援  |
| 6 地域による防犯活動への支援                  | 7 子どもの安全対策            |
| 8 交通安全対策の強化                      | 9 消費者問題対策             |
| 10 食品衛生監視など食の安全確保                | 11 市立病院など地域保健・医療体制の強化 |
| 12 乳幼児や生活習慣病等の検診・予防接種など疾病予防      |                       |
| 13 消防・救急・救命体制                    | 14 生活保護など社会保障制度の確保    |
| 15 その他                           |                       |

この設問では、安全安心な生活を送るうえで、より充実した方がよい分野を5つ聞いている。（集計表 P 197 参照）

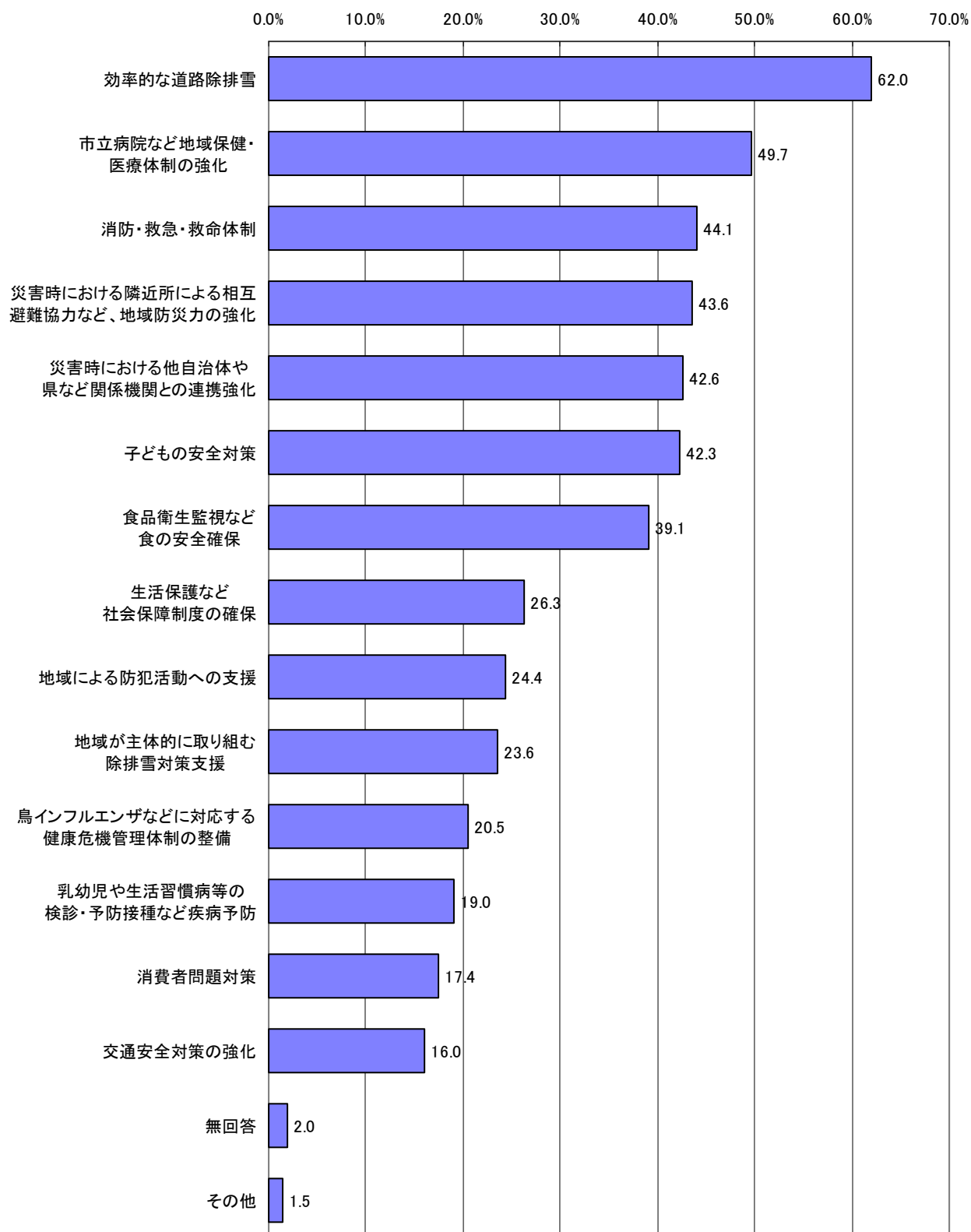
全体集計では、最も多かったのは「効率的な道路除排雪」62.0%であった。以下、「市立病院など地域保健・医療体制の強化」49.7%、「消防・救急・救命体制」44.1%、「災害時災害時における隣近所による相互避難協力など、地域防災力の強化」43.6%、「災害時における他自治体や県など関係機関との連携強化」42.6%、「子どもの安全対策」42.3%と続いている。（P103 グラフ参照）

なお、年代別、居住地域別の集計結果については、P104 からP108 のグラフで示している。

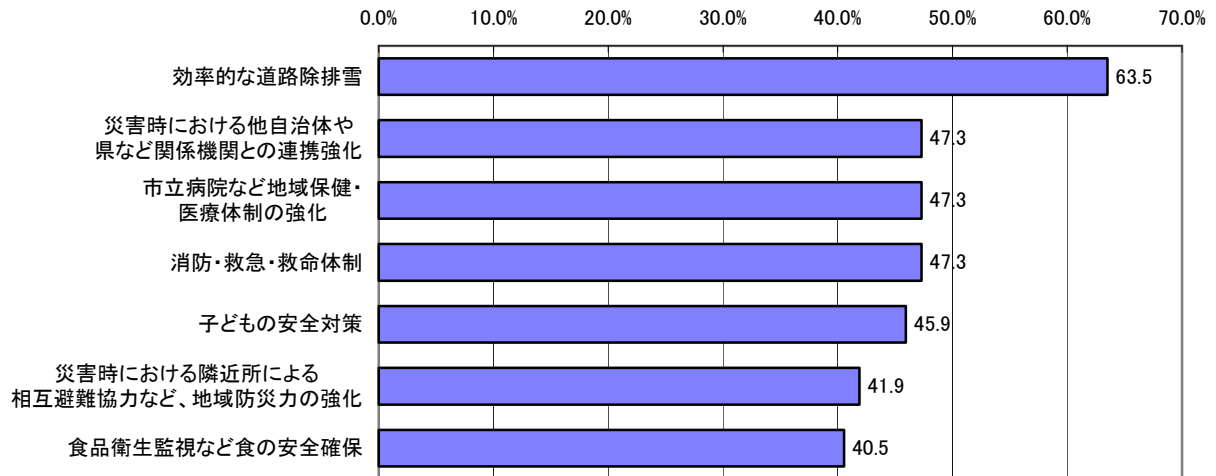
（※表記の条件として、30%以上の回答があったものを記している。）



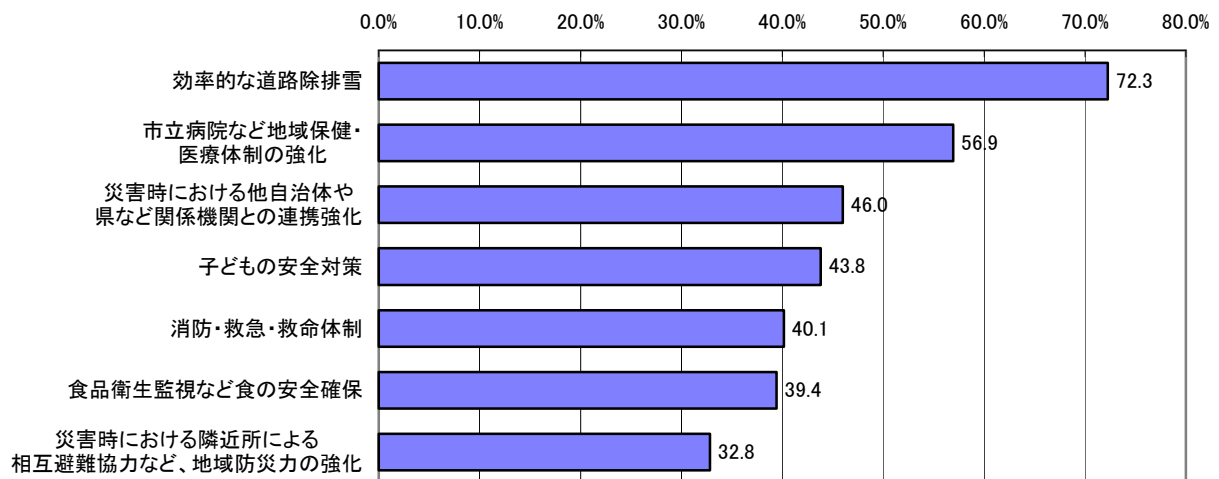
問8① 安全な暮らしについて より充実したほうがよい分野



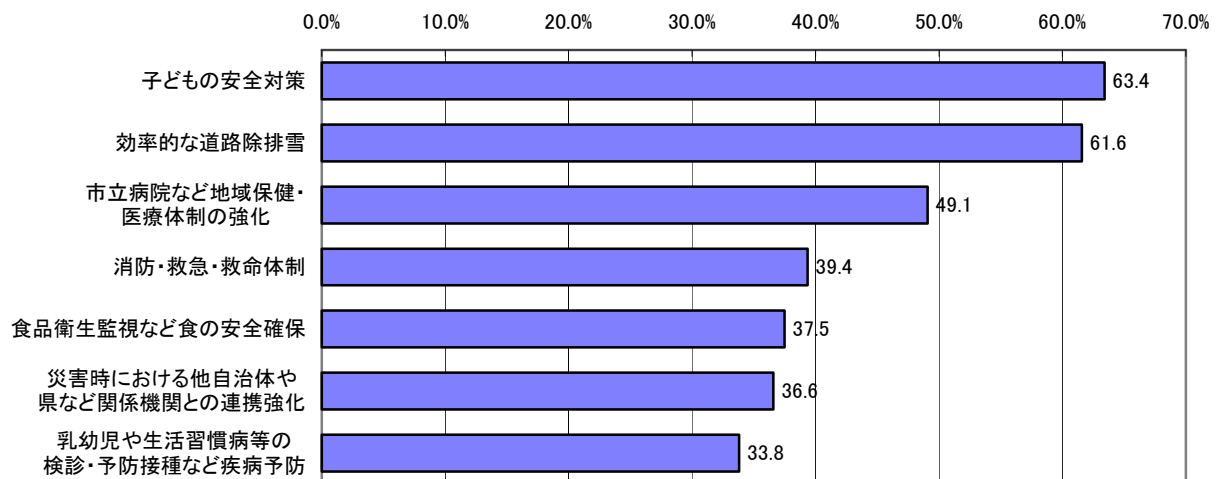
問8① 安全な暮らしについて より充実したほうがよい分野 「10代」



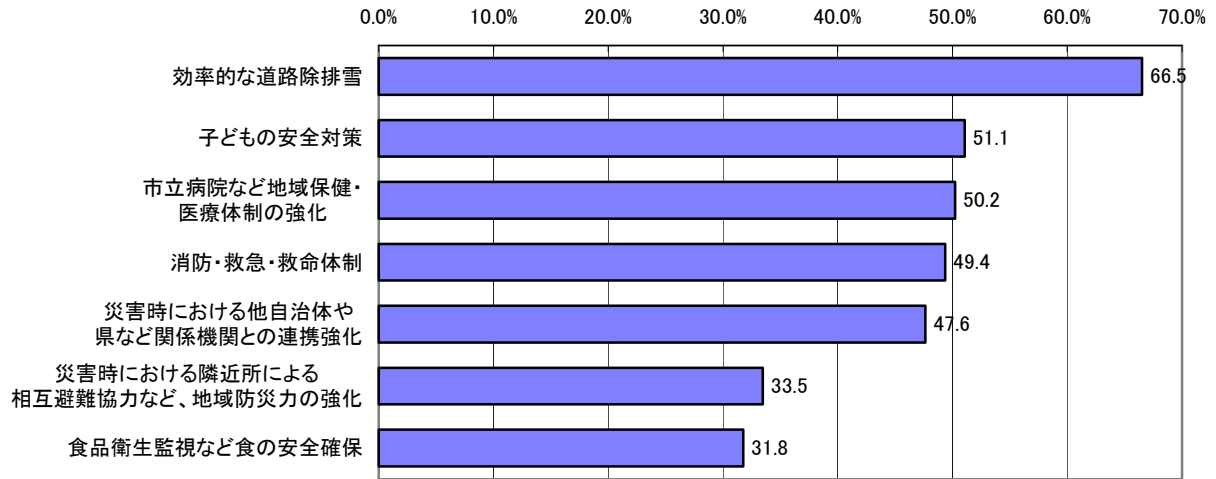
問8① 安全な暮らしについて より充実したほうがよい分野 「20代」



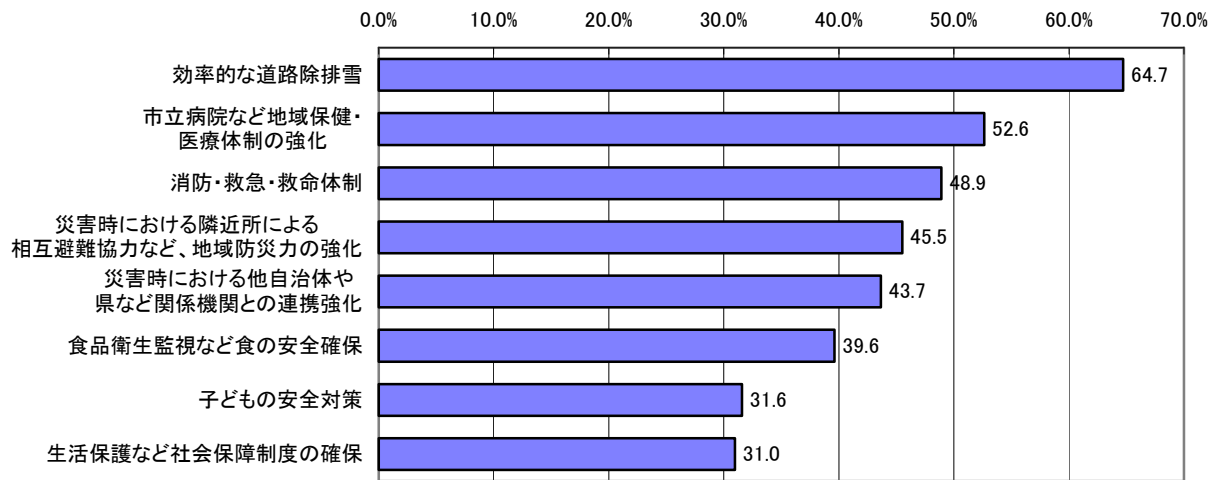
問8① 安全な暮らしについて より充実したほうがよい分野 「30代」



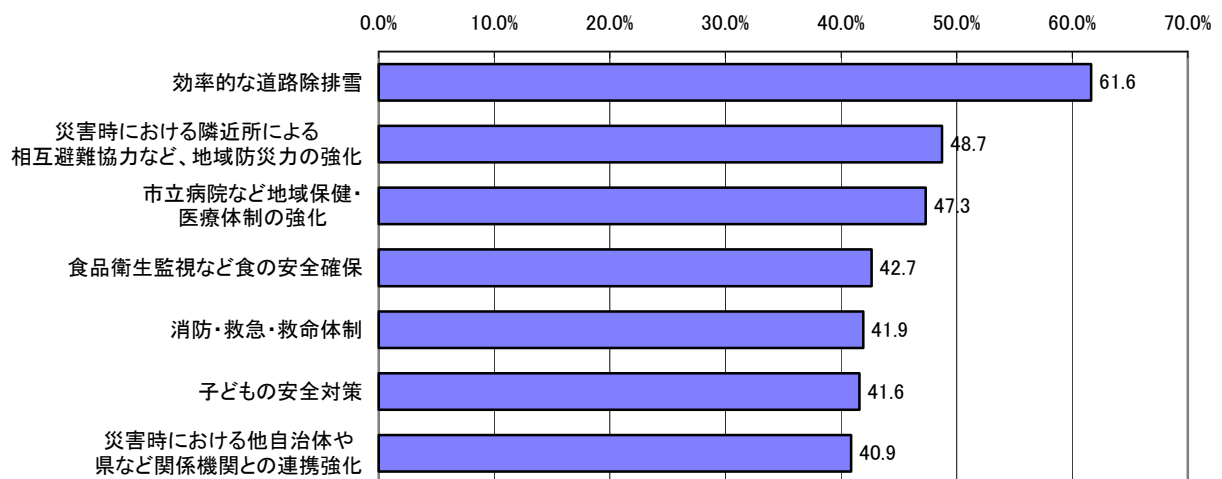
問8① 安全な暮らしについて より充実したほうがよい分野 「40代」



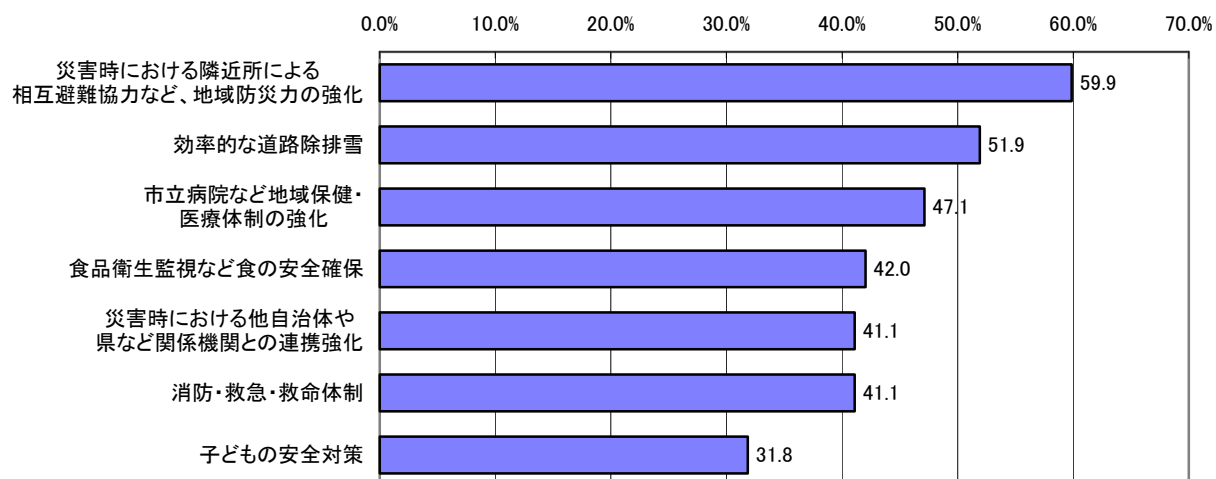
問8① 安全な暮らしについて より充実したほうがよい分野 「50代」



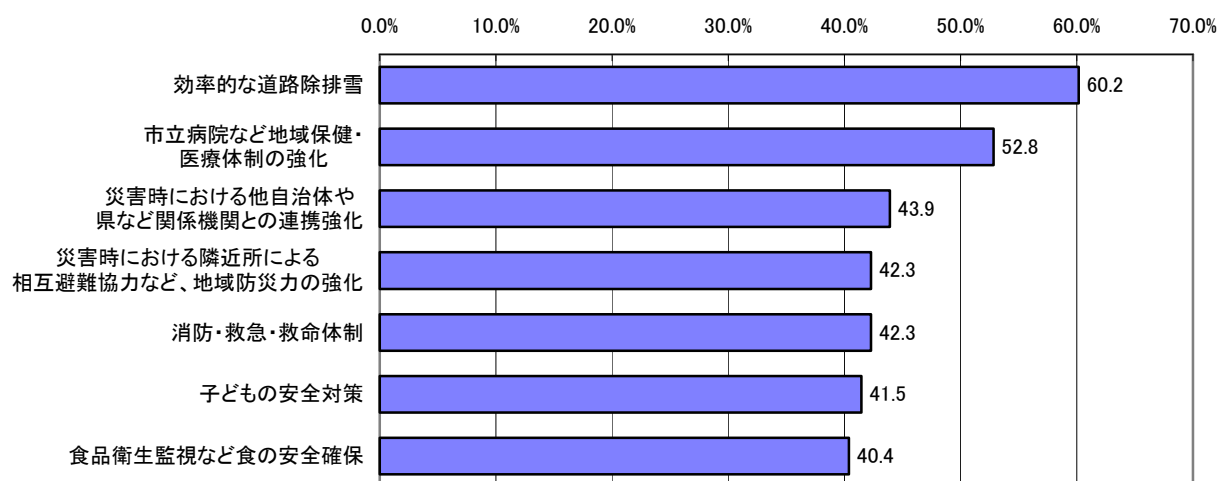
問8① 安全な暮らしについて より充実したほうがよい分野 「60代」



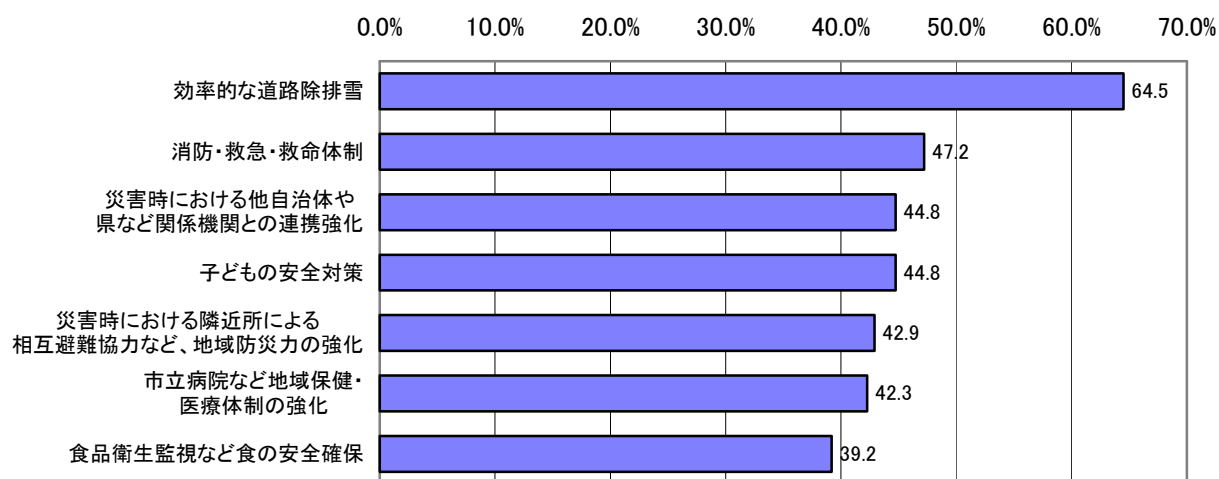
問8① 安全な暮らしについて より充実したほうがよい分野 「70代以上」



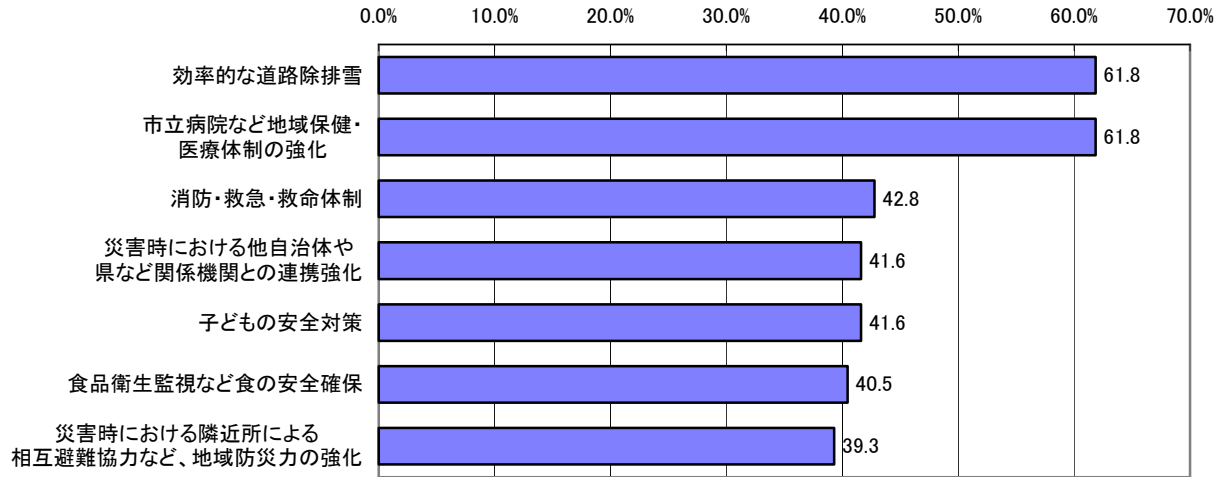
問8① 安全な暮らしについて より充実したほうがよい分野 「中央」



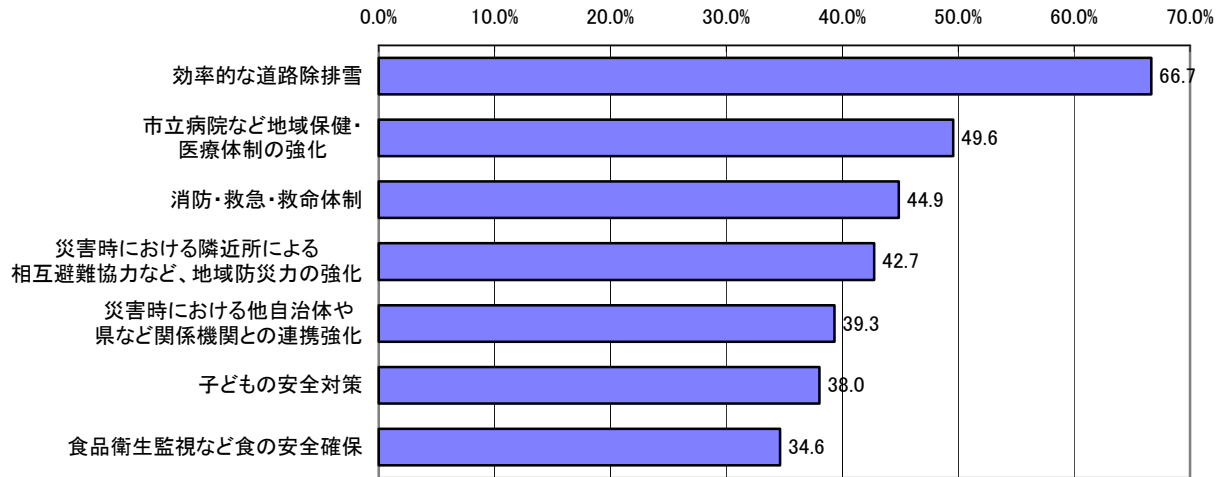
問8① 安全な暮らしについて より充実したほうがよい分野 「東部」



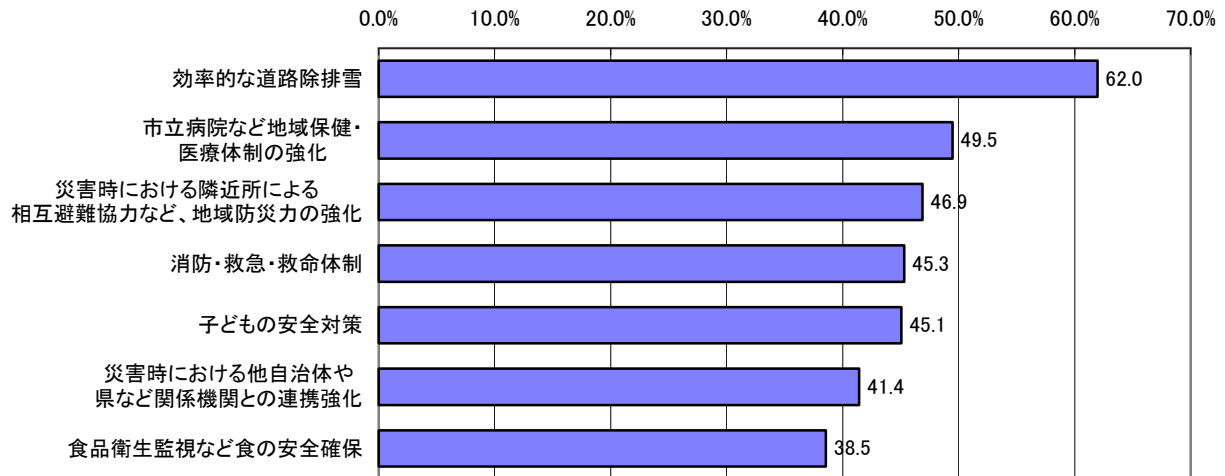
問8① 安全な暮らしについて より充実したほうがよい分野 「西部」



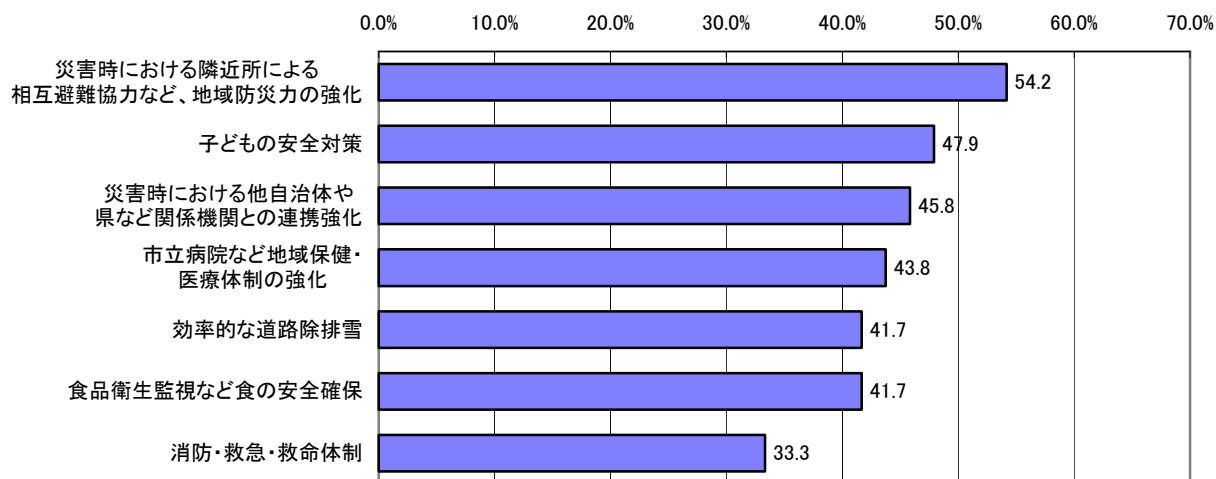
問8① 安全な暮らしについて より充実したほうがよい分野 「南部」



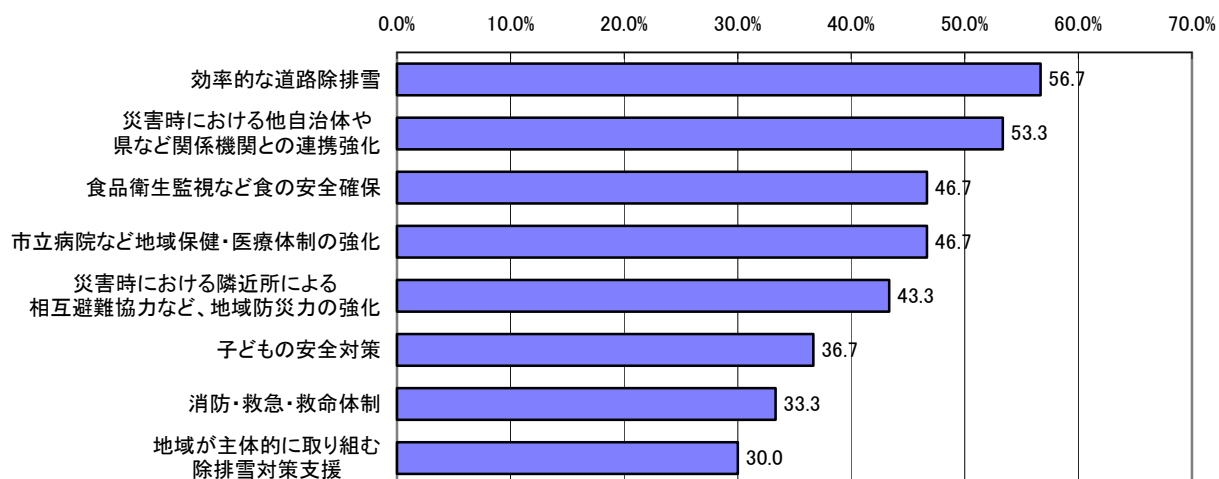
問8① 安全な暮らしについて より充実したほうがよい分野 「北部」



問8① 安全な暮らしについて より充実したほうがよい分野 「河辺」



問8① 安全な暮らしについて より充実したほうがよい分野 「雄和」



## 2 地域が積極的に行動すべきと思う分野（問8②）

### 問8②（地域が積極的に行動すべきと思う分野）

あなたをはじめとする家族や地域の方々が、安全安心な生活を送るために、あなた自らが役割を担う、あるいは地域が積極的に行動すべきと思う取り組みはどれですか。必要と思うものを、次の中から3つ選んでください。

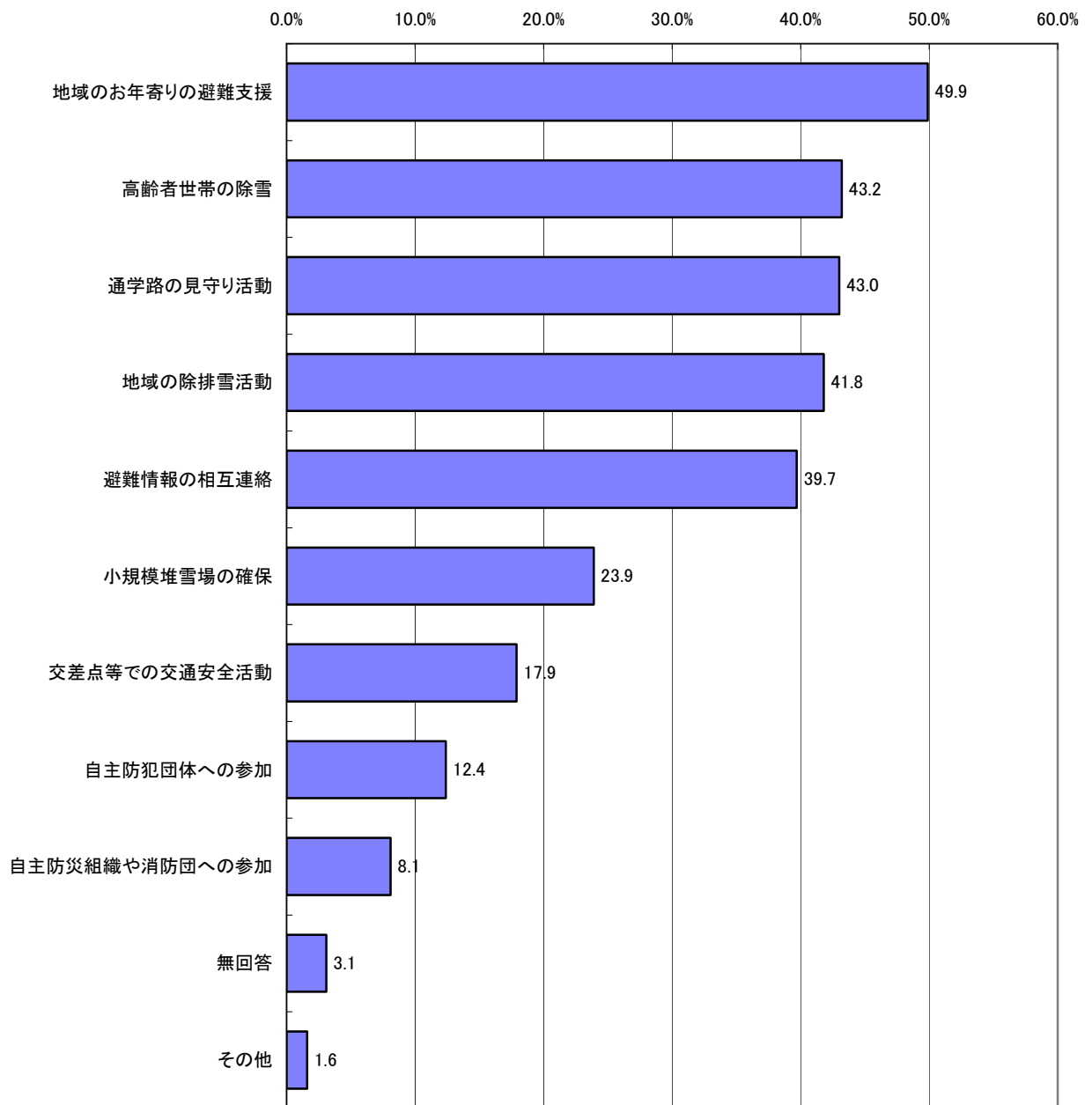
- |                |                  |
|----------------|------------------|
| 1 地域のお年寄りの避難支援 | 2 自主防災組織や消防団への参加 |
| 3 避難情報の相互連絡    | 4 高齢者世帯の除雪       |
| 5 地域の除排雪活動     | 6 小規模堆雪場の確保      |
| 7 通学路の見守り活動    | 8 交差点等での交通安全活動   |
| 9 自主防犯団体への参加   | 10 その他           |

この設問では、安全安心な生活を送るために、市民自らが役割を担う、あるいは地域が積極的に行動すべきと思う取り組みを3つ聞いている。（集計表 P198 参照）

全体集計では、最も多かったのは「地域のお年寄りの避難支援」49.9%であった。以下、「高齢者世帯の除雪」43.2%、「通学路の見守り活動」43.0%、「地域の除排雪活動」41.8%、「避難情報の相互連絡」39.7%、「小規模堆雪場の確保」23.9%と続いている。（P110 グラフ参照）

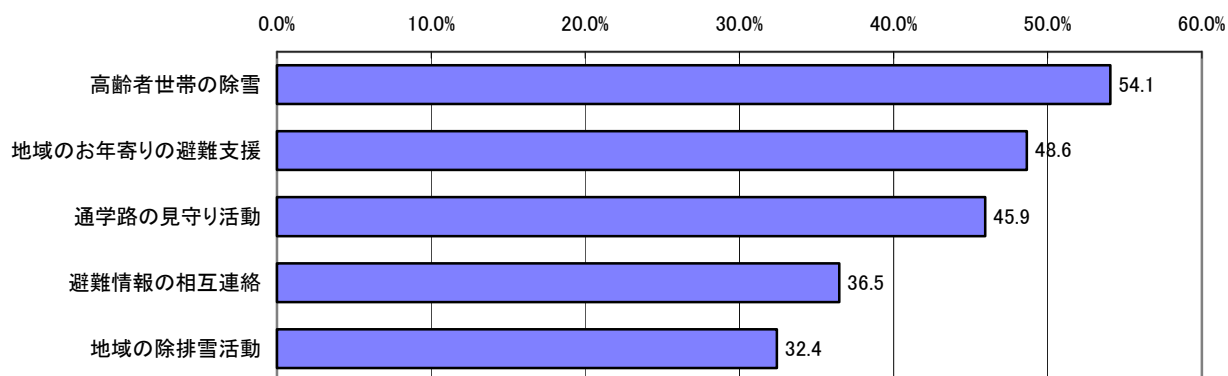
なお、年代別、居住地域別の集計結果については、P111 からP114 のグラフで示している。  
（※表記の条件として、30%以上の回答があったものを記している。）

問8② 安全な暮らしについて 積極的に行動すべきと思う分野 全体集計グラフ

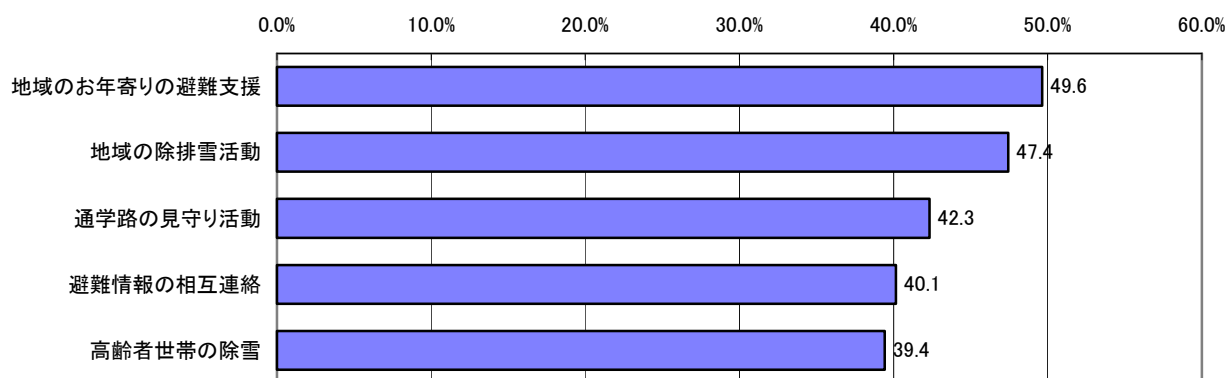




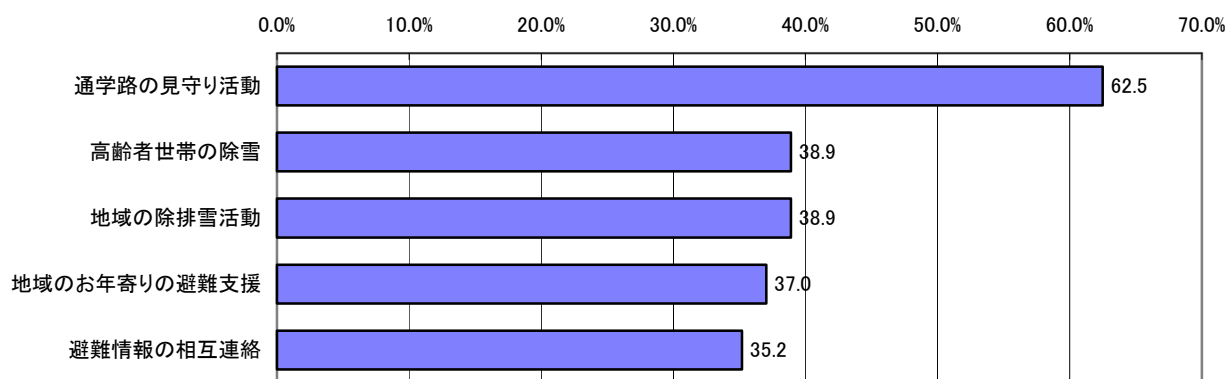
問8② 安全な暮らしについて 積極的に行動すべき取り組み「10代」



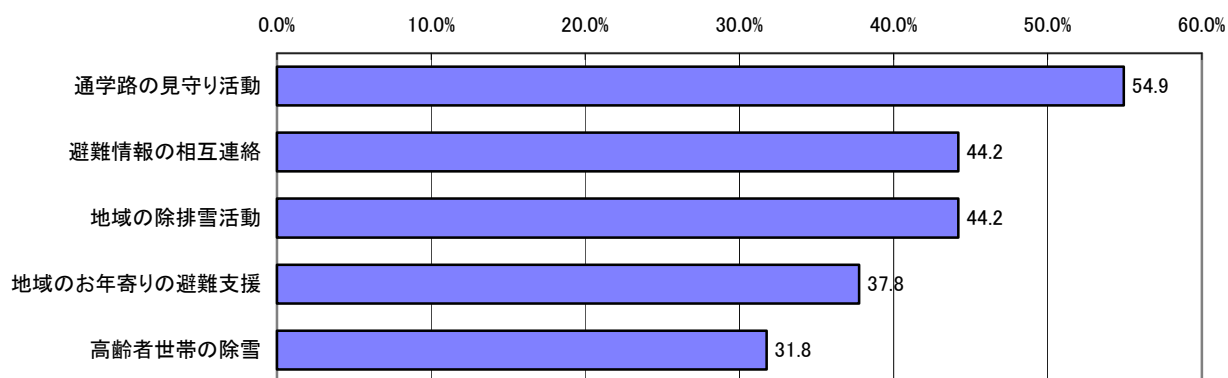
問8② 安全な暮らしについて 積極的に行動すべきと思う分野「20代」



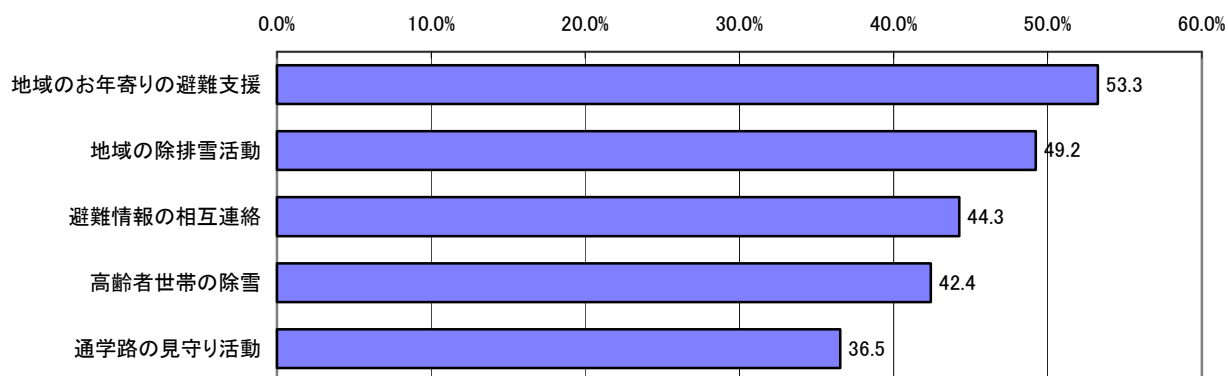
問8② 安全な暮らしについて 積極的に行動すべきと思う分野「30代」



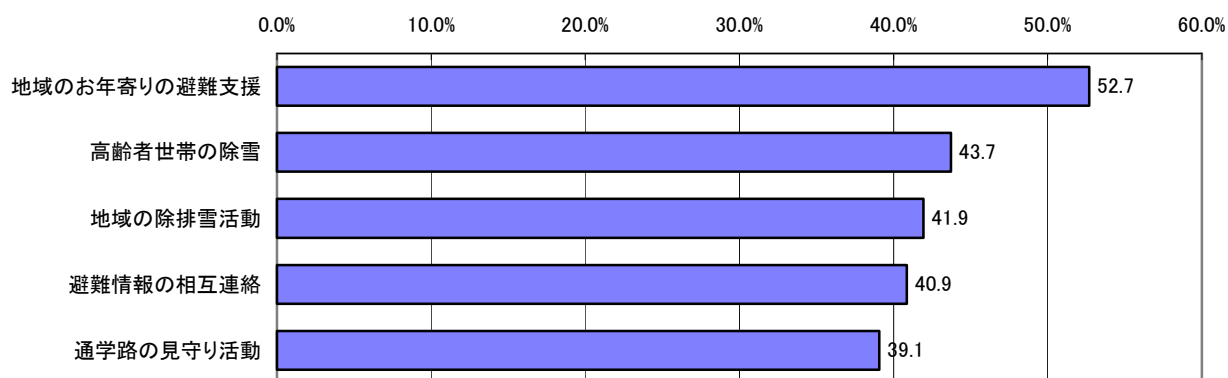
問8② 安全な暮らしについて 積極的に行動すべきと思う分野「40代」



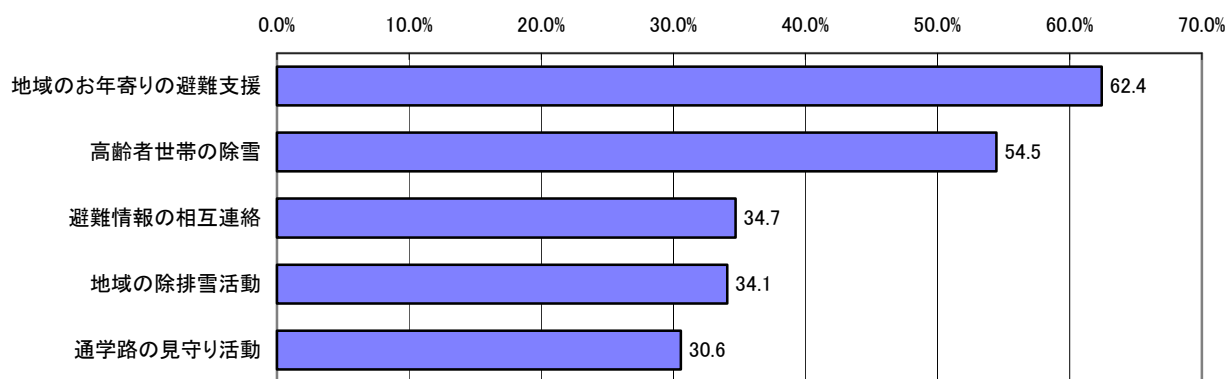
問8② 安全な暮らしについて 積極的に行動すべきと思う分野「50代」



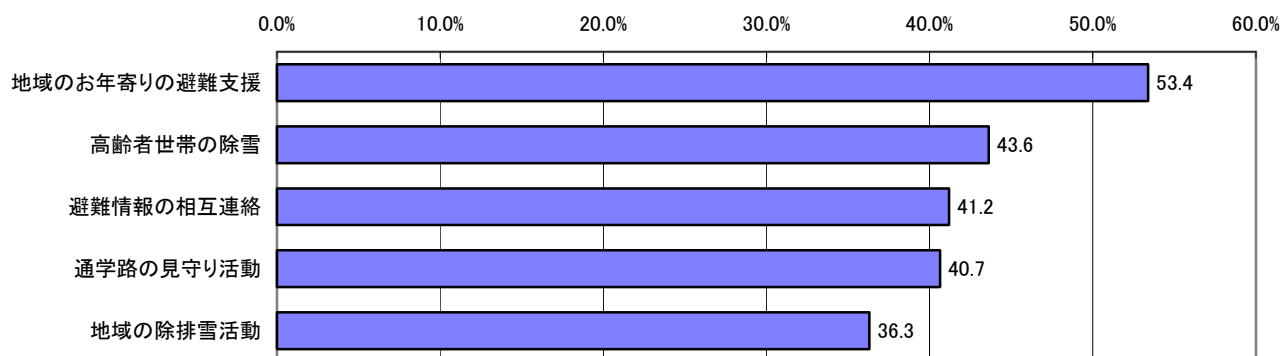
問8② 安全な暮らしについて 積極的に行動すべきと思う分野「60代」



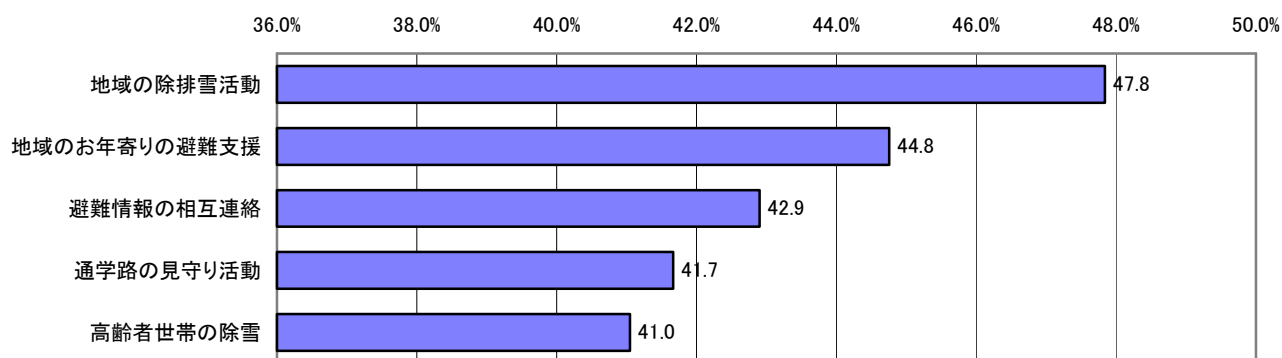
問8② 安全な暮らしについて 積極的に行動すべきと思う分野「70代以上」



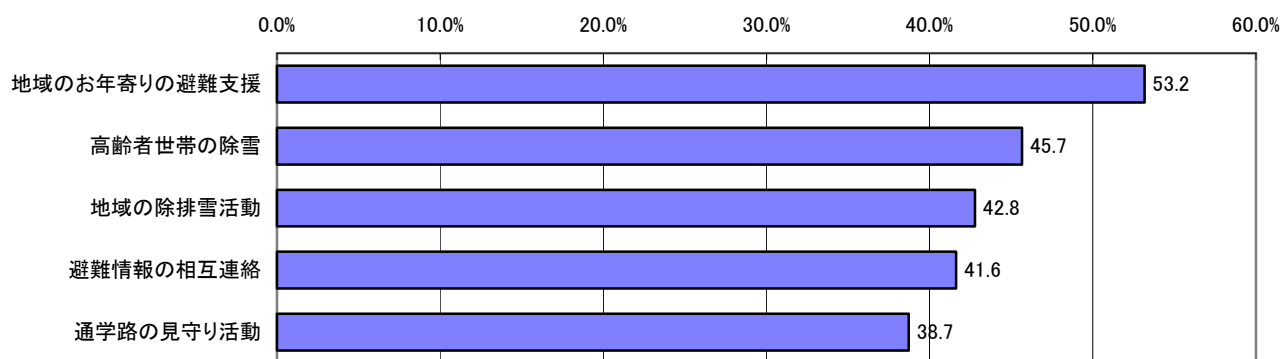
問8② 安全な暮らしについて 積極的に行動すべきと思う分野「中央」



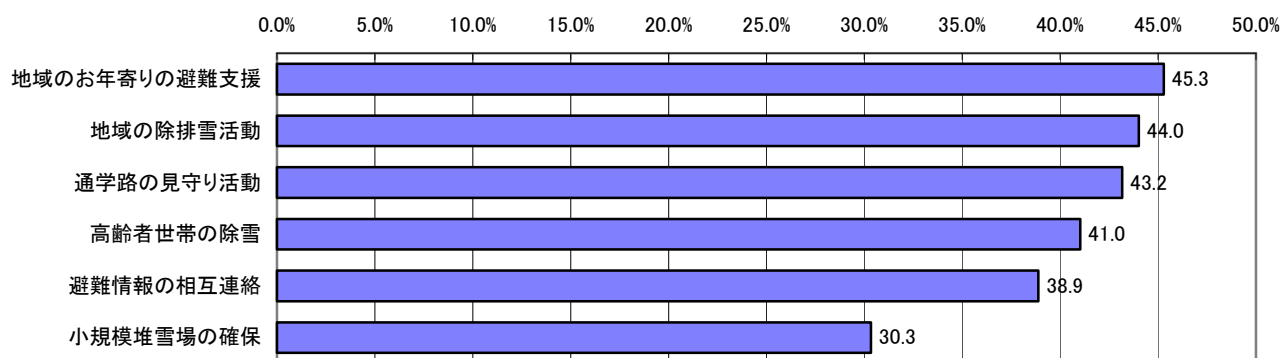
問8② 安全な暮らしについて 積極的に行動すべきと思う分野「東部」



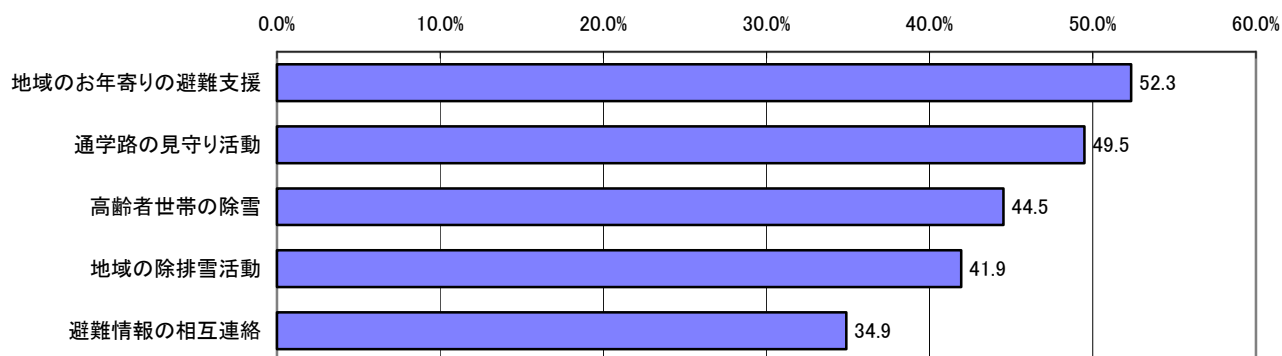
問8② 安全な暮らしについて 積極的に行動すべきと思う分野「西部」



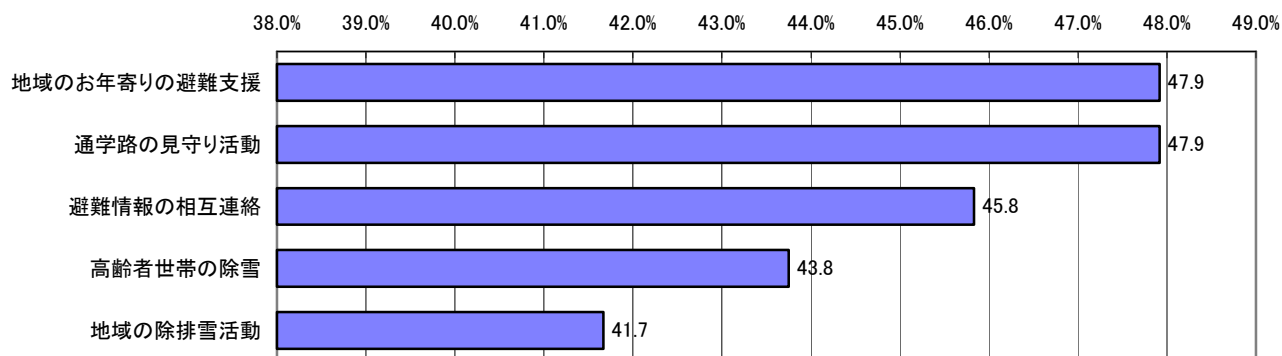
問8② 安全な暮らしについて 積極的に行動すべきと思う分野「南部」



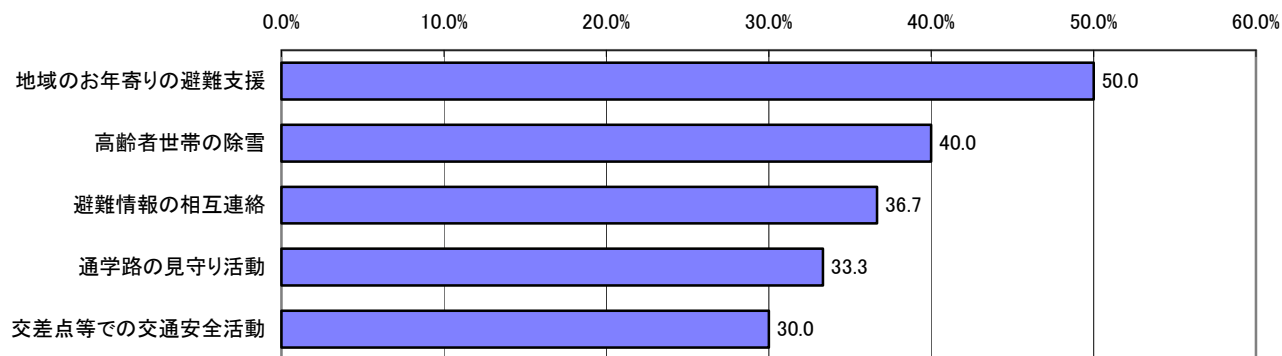
問8② 安全な暮らしについて 積極的に行動すべきと思う分野「北部」



問8② 安全な暮らしについて 積極的に行動すべきと思う分野「河辺」



問8② 安全な暮らしについて 積極的に行動すべきと思う分野「雄和」



## 第7節 食料に関する意識について

### 1 食品を購入する際の意識（問9①）

#### 問9①（食品を購入する際の意識）

食品偽装問題など「食の安全・安心」が懸念されるなかで、あなたは、食品を購入する際、日ごろ以下の点を意識していますか。1～6の各項目についてどちらかに○をつけてください。

#### 【選択肢】

- 1 意識している                      2 意識していない

#### 【項目】

- 1 食品の期限（賞味・消費期限）                      2 国産品か輸入品                      3 輸入品の原産国  
4 農産物（野菜・果物など）における農薬の使用  
5 加工食品の原材料（遺伝子組み換え食品・食品添加物の有無）                      6 県内産か県外産

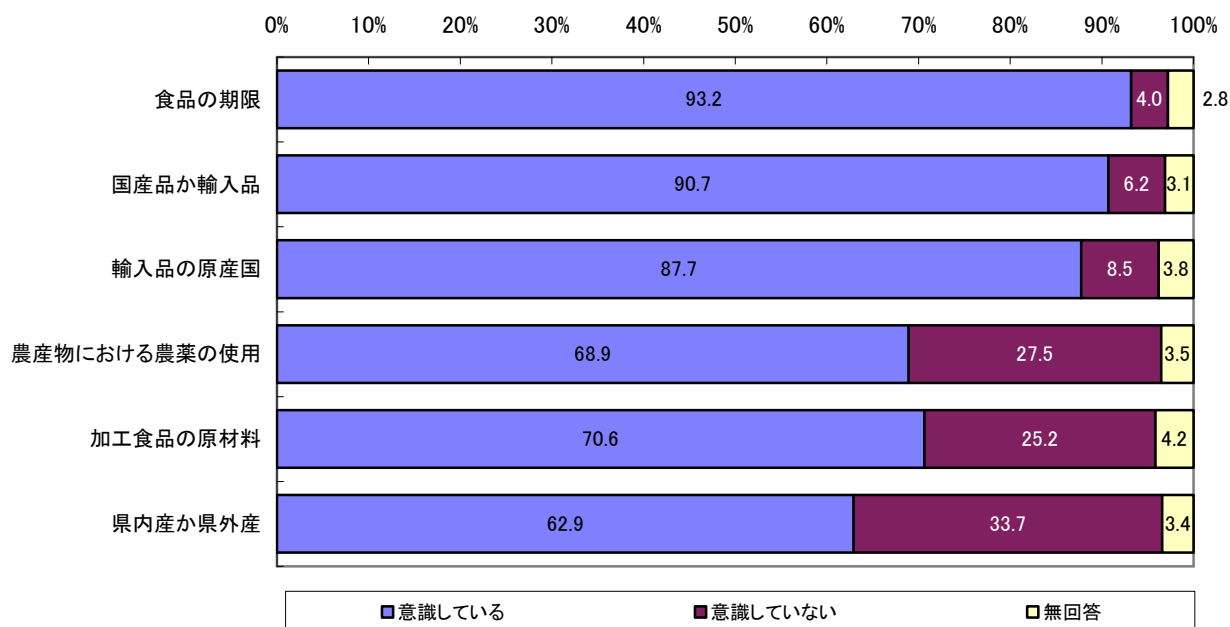
この設問では、食料に関する意識を把握するため、6の項目について、意識しているかどうかを聞いています。（集計表 P198～201 参照）

全体集計では、項目により回答結果に差が生じている。

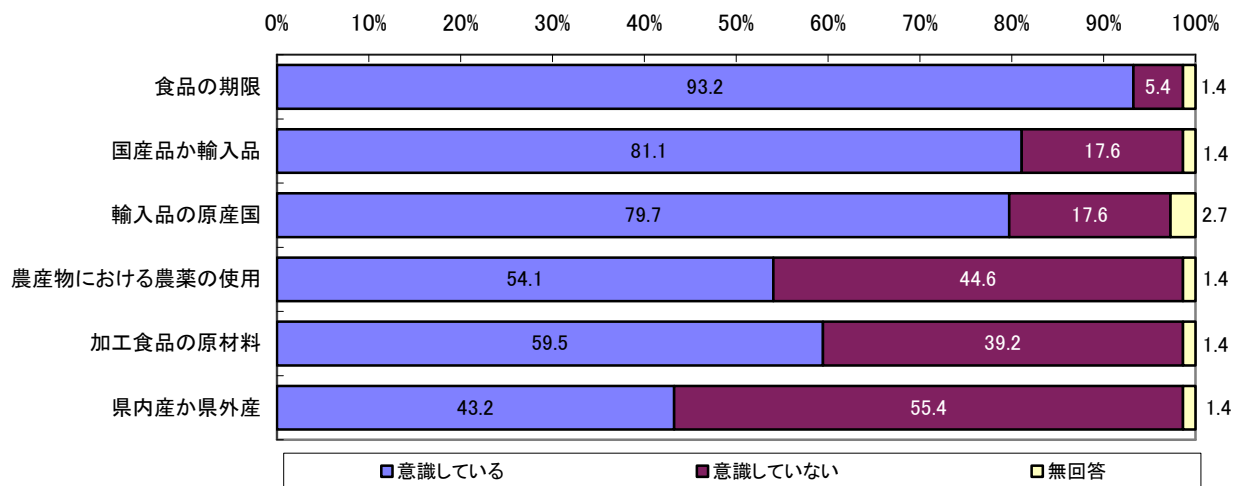
男女別集計では、「女性」の方が全ての項目で「男性」よりも「意識している」割合が高かった。

年代別集計、居住地域別集計では、顕著な差はない。

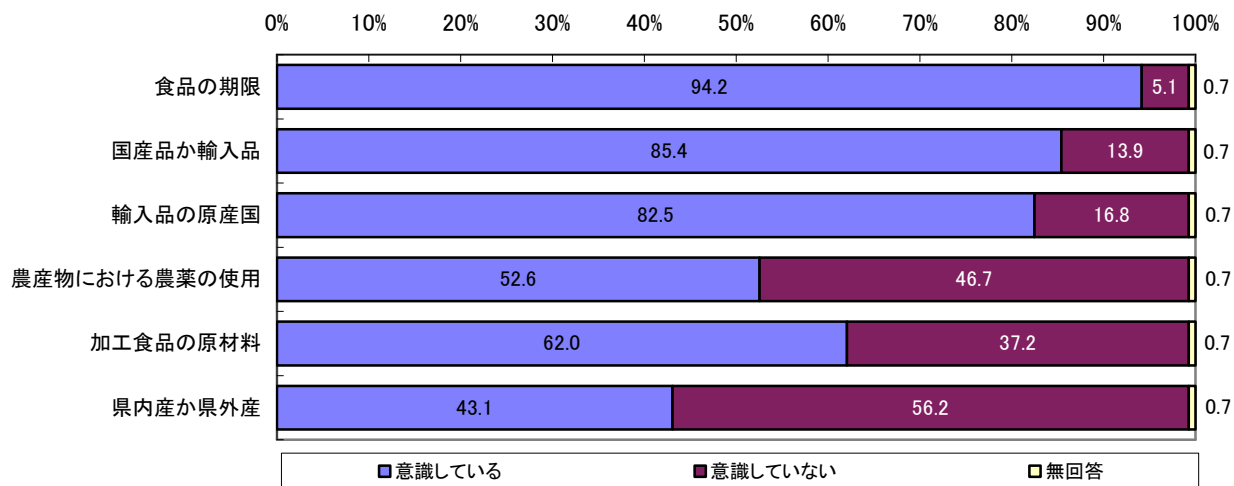
問9① 食品を購入する際の意識 全体



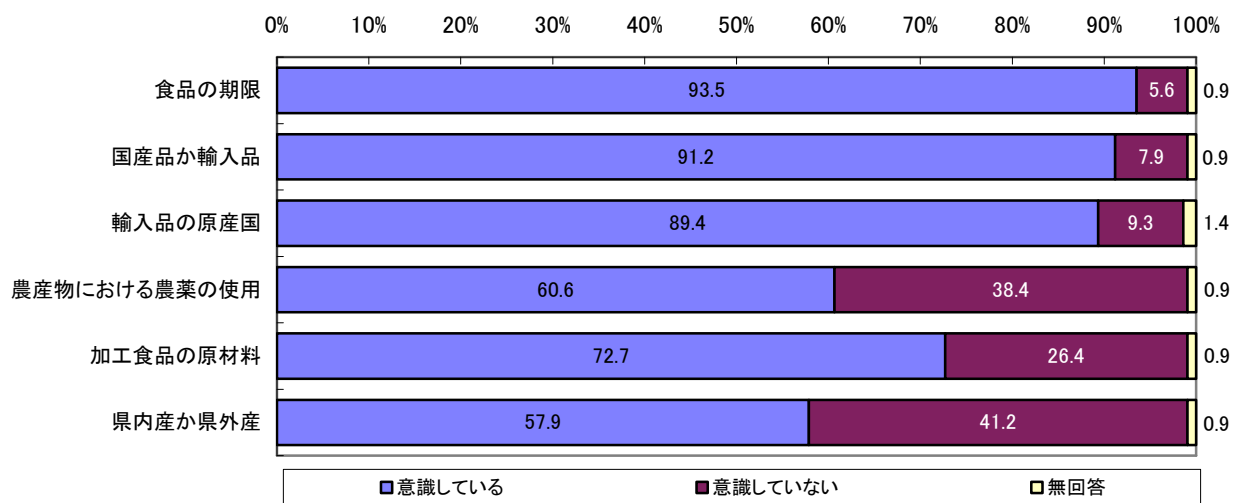
問9① 食品を購入する際の意識 「10代」



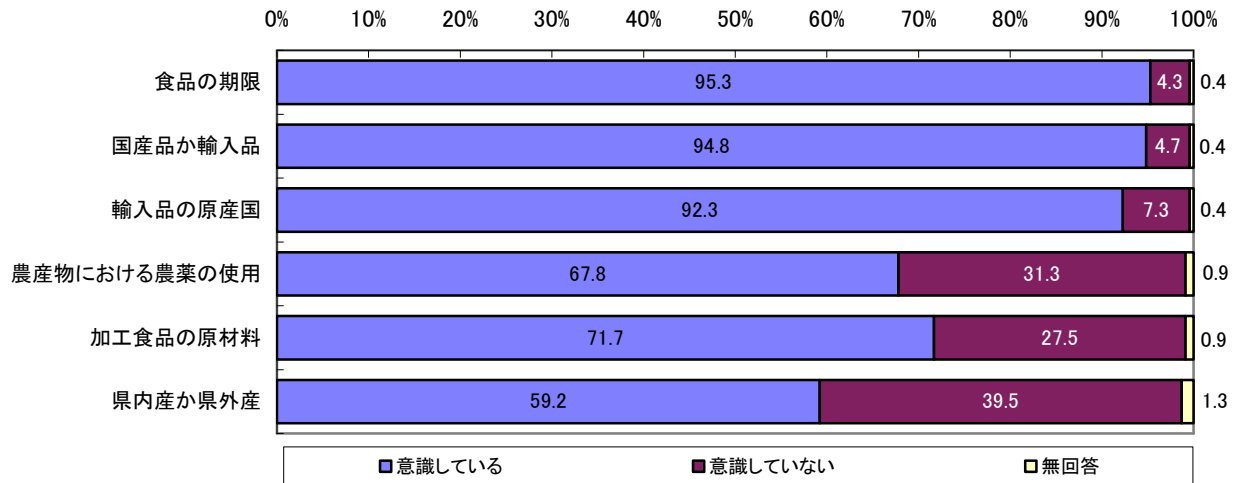
問9① 食品を購入する際の意識 「20代」



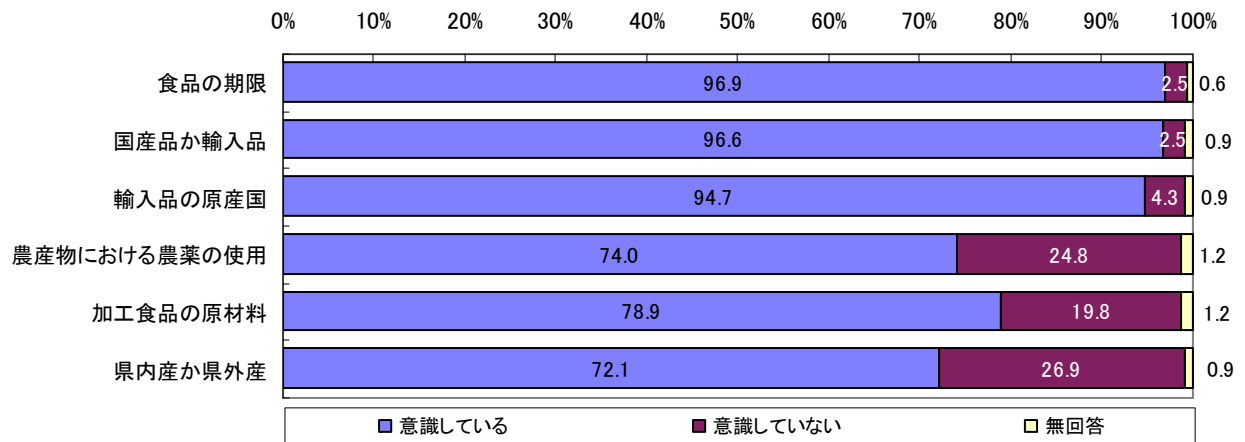
問9① 食品を購入する際の意識 「30代」



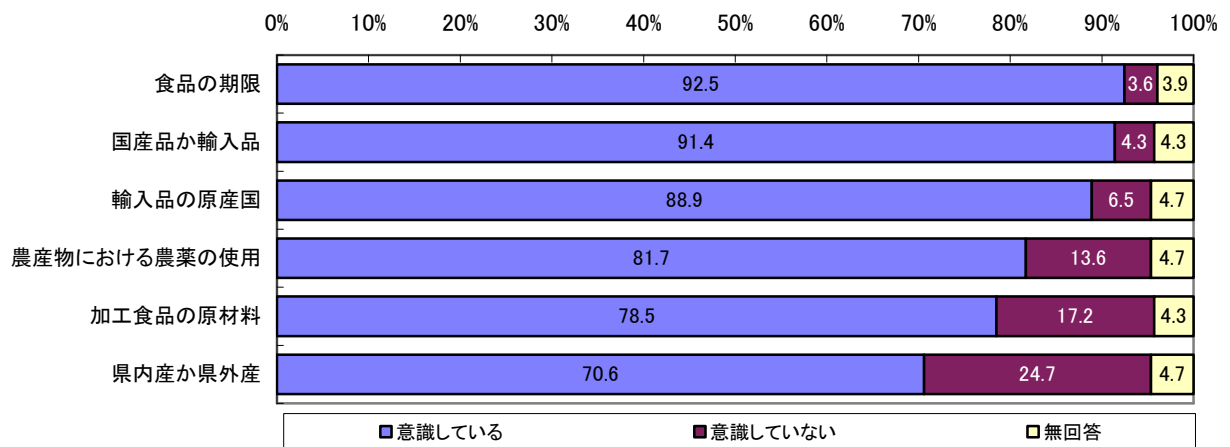
問9① 食品を購入する際の意識 「40代」



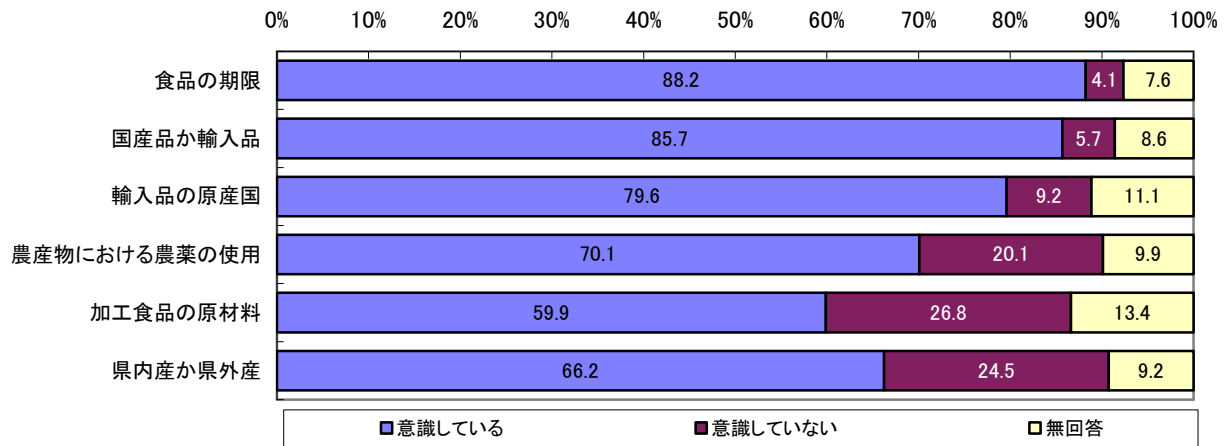
問9① 食品を購入する際の意識 「50代」



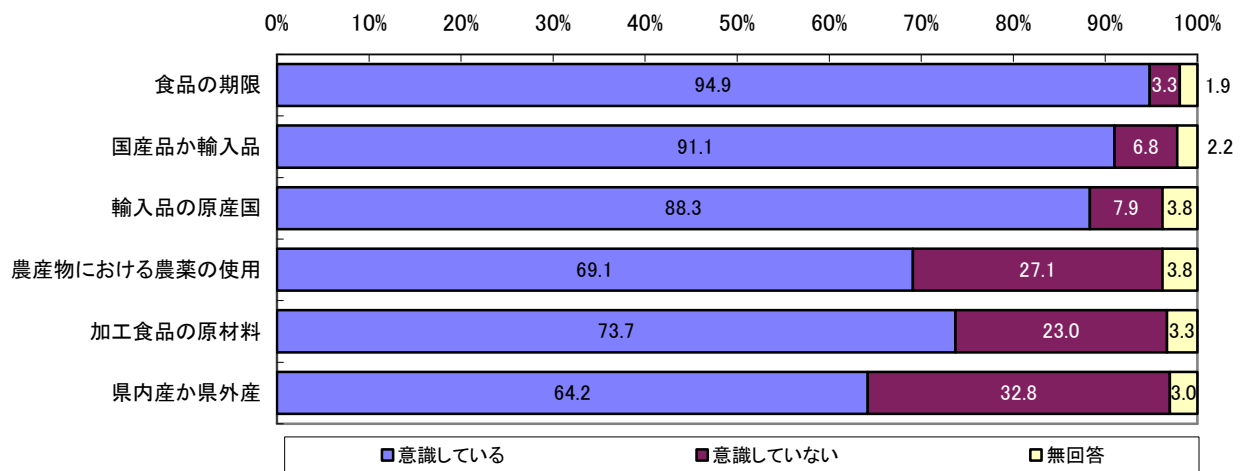
問9① 食品を購入する際の意識 「60代」



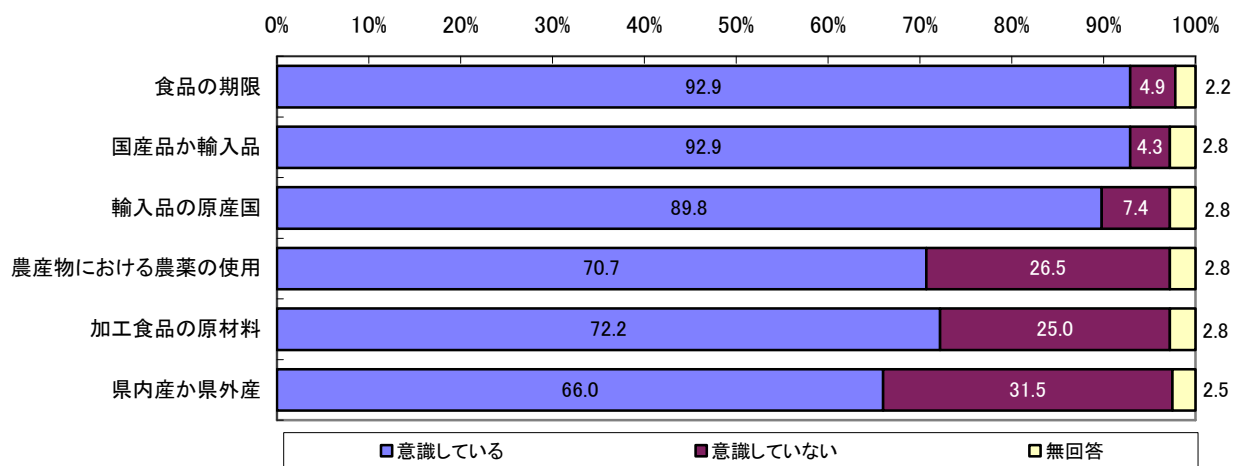
問9① 食品を購入する際の意識 「70代以上」



問9① 食品を購入する際の意識 「中央」

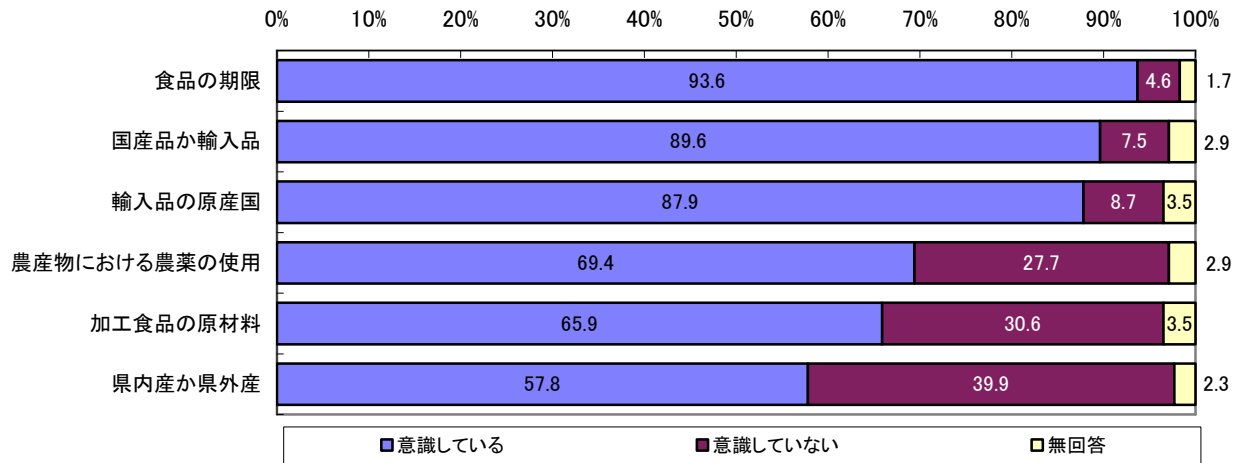


問9① 食品を購入する際の意識 「東部」

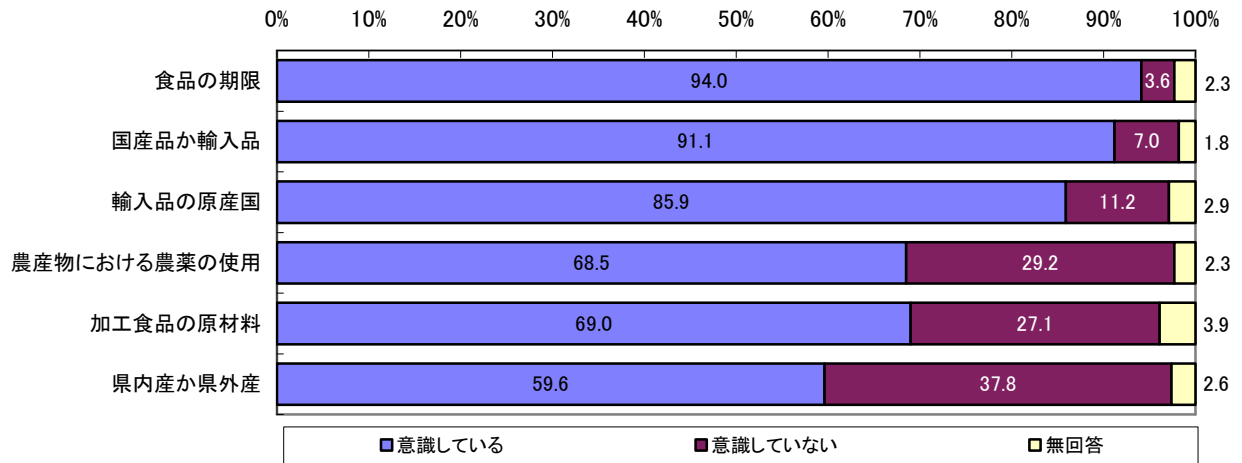




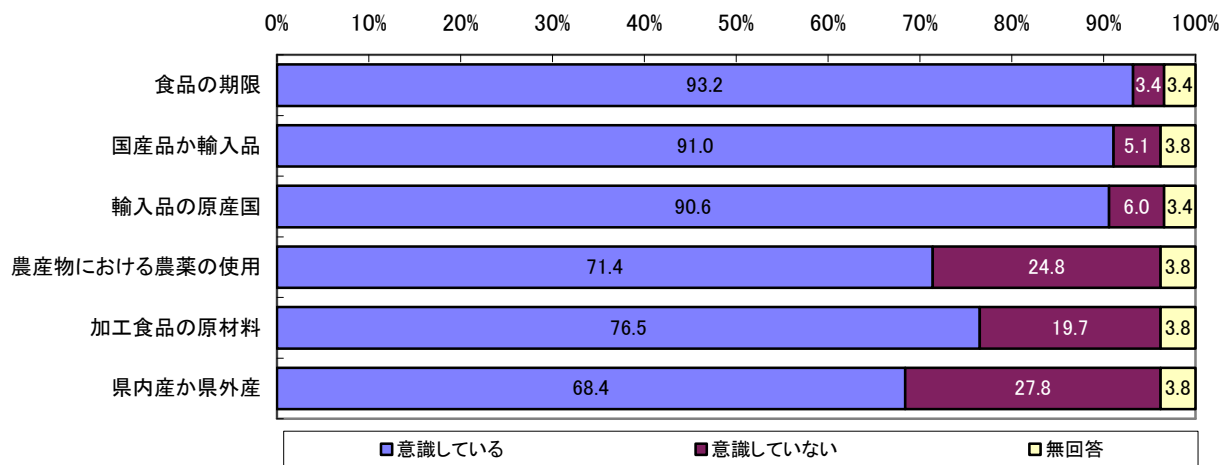
問9① 食品を購入する際の意識 「西部」



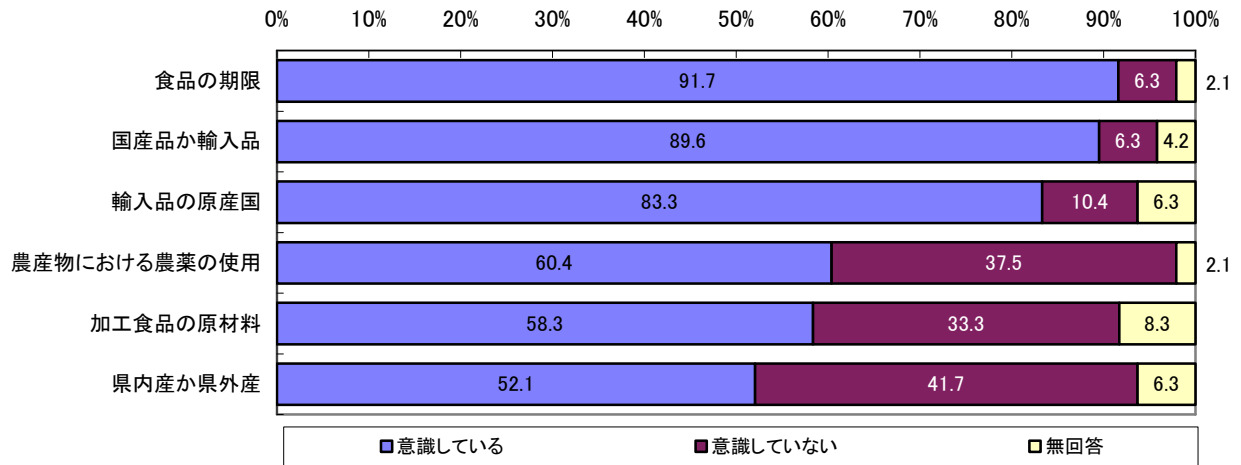
問9① 食品を購入する際の意識 「北部」



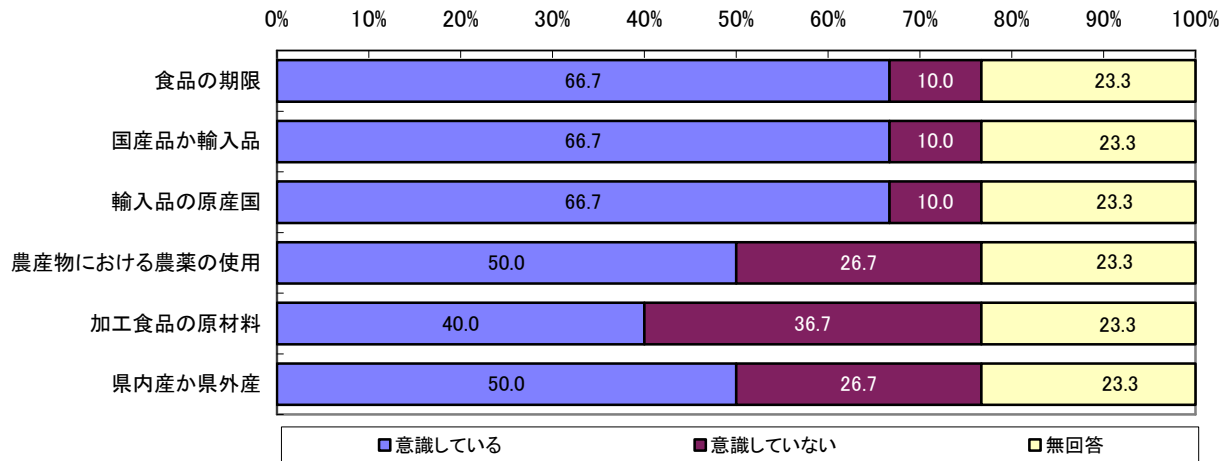
問9① 食品を購入する際の意識 「南部」



問9① 食品を購入する際の意識 「河辺」



問9① 食品を購入する際の意識 「雄和」



### 問9①-1 (食品の期限(賞味・消費期限))

食品偽装問題など「食の安全・安心」が懸念されるなかで、あなたは、食品を購入する際、日ごろ以下の点を意識していますか。次の項目(食品の期限(賞味・消費期限))についてどちらかに○をつけてください。

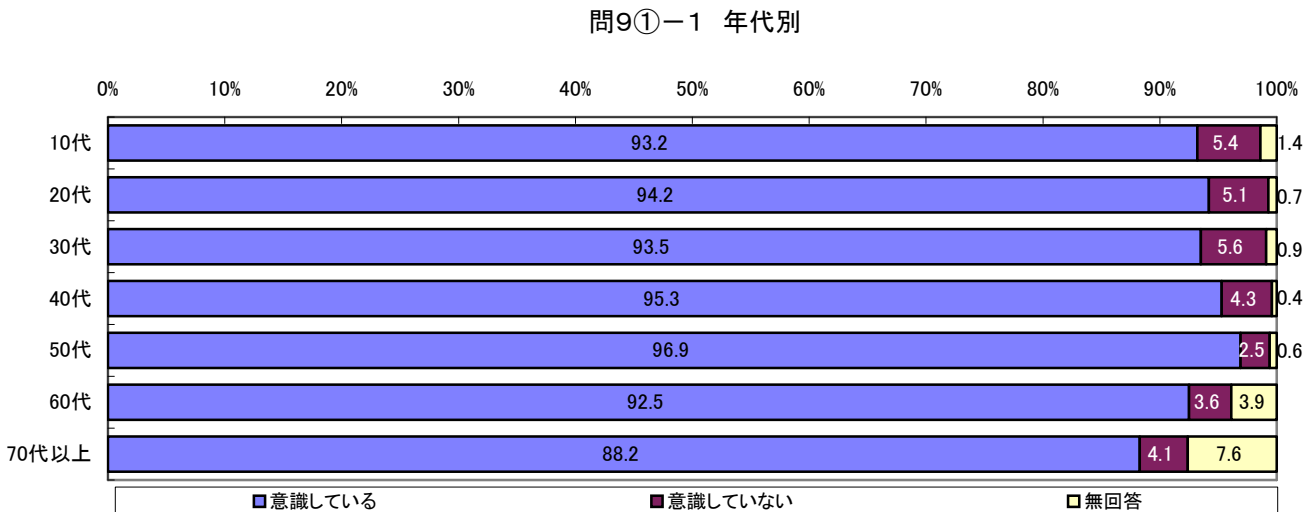
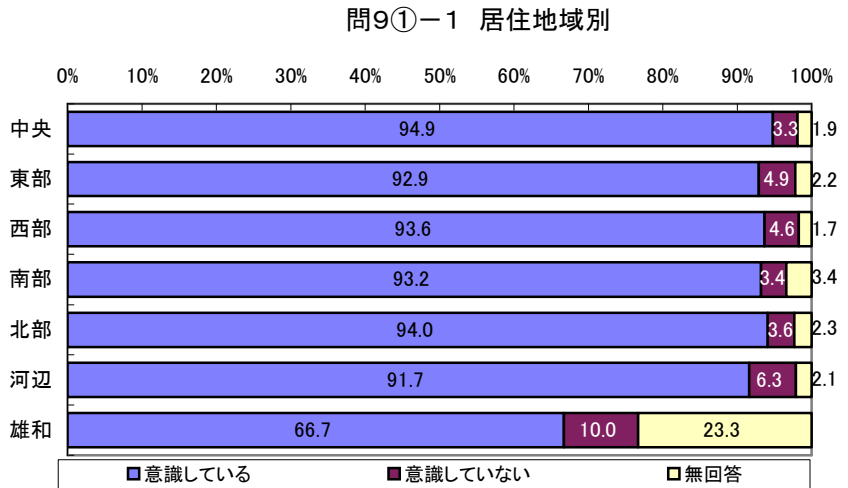
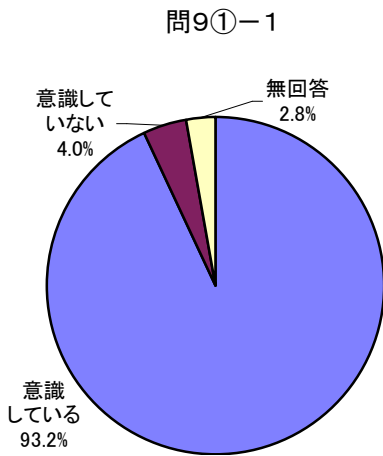
- 1 意識している                      2 意識していない

この設問では、食料に関する意識を把握するため、食品の期限(賞味・消費期限)を意識しているかどうかを聞いている。(集計表 P198 参照)

全体集計では、「意識している」が93.2%、「意識していない」が4.0%である。

年代別集計では、「10代」から「60代」までは、「意識している」が9割を超えている。

居住地域別集計では、「意識している」が、「雄和」66.7%と他の地域に比べ低くなっている。



**問9①-2 (国産品か輸入品)**

食品偽装問題など「食の安全・安心」が懸念されるなかで、あなたは、食品を購入する際、日ごろ以下の点を意識していますか。次の項目(国産品か輸入品)についてどちらかに○をつけてください。

- 1 意識している                      2 意識していない

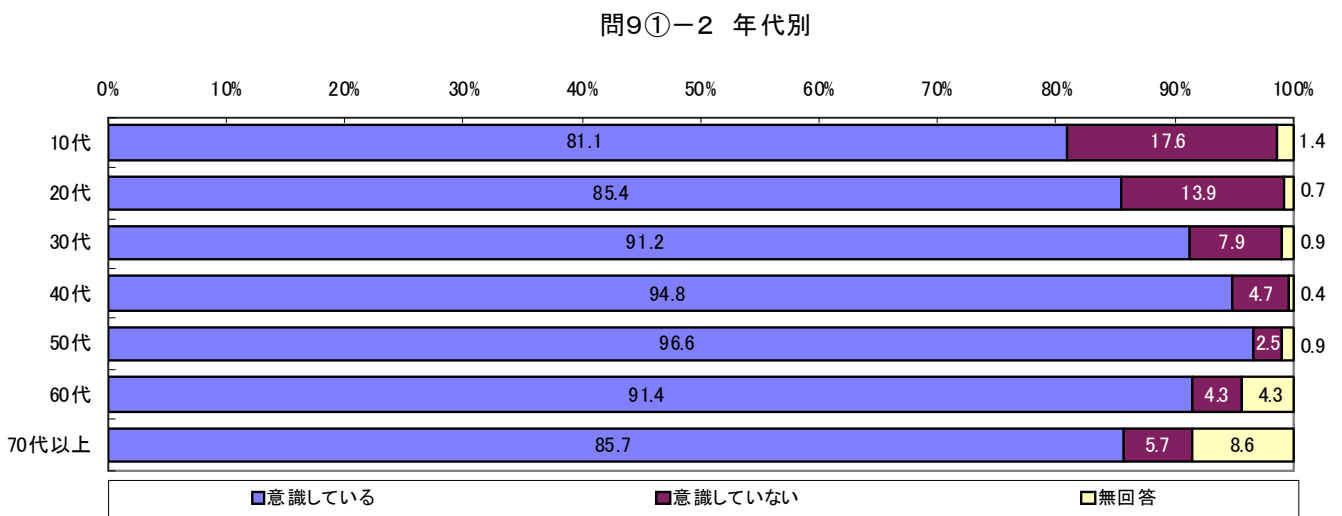
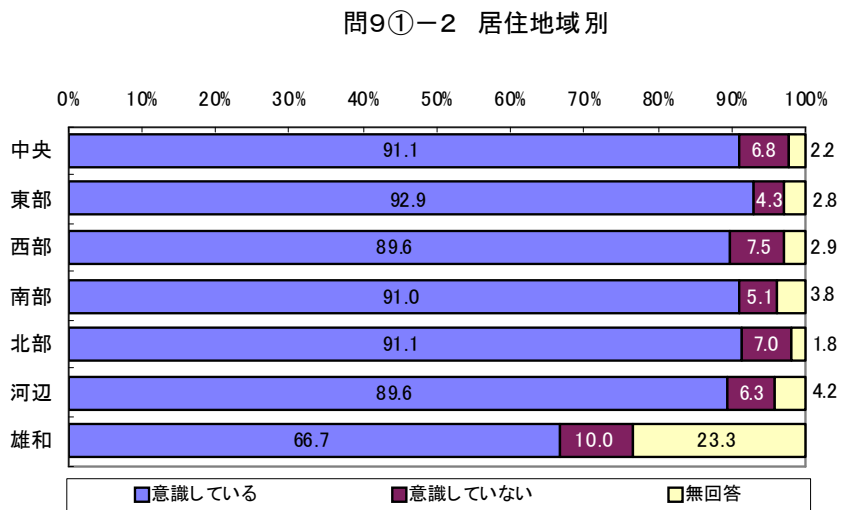
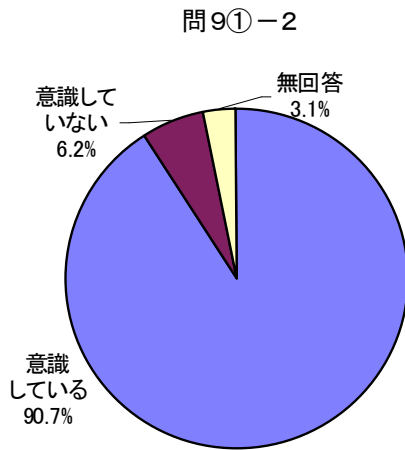
この設問では、食料に関する意識を把握するため、国産品か輸入品かを意識しているかどうかを聞いています。(集計表 P199 参照)

全体集計では、「意識している」が90.7%、「意識していない」が6.2%である。

男女別集計では、「意識している」が「女性」93.3%、「男性」87.4%で、女性の方が割合が高い。

年代別集計では、「10代」から「50代」までは、年代が上がるにつれて、「意識している」が高くなる傾向にある。

居住地域別集計では、「中央」「東部」「南部」「北部」で90%以上が「意識している」を選択している。



### 問9①-3 (輸入品の原産国)

食品偽装問題など「食の安全・安心」が懸念されるなかで、あなたは、食品を購入する際、日ごろ以下の点を意識していますか。次の項目（輸入品の原産国）についてどちらかに○をつけてください。

- 1 意識している                      2 意識していない

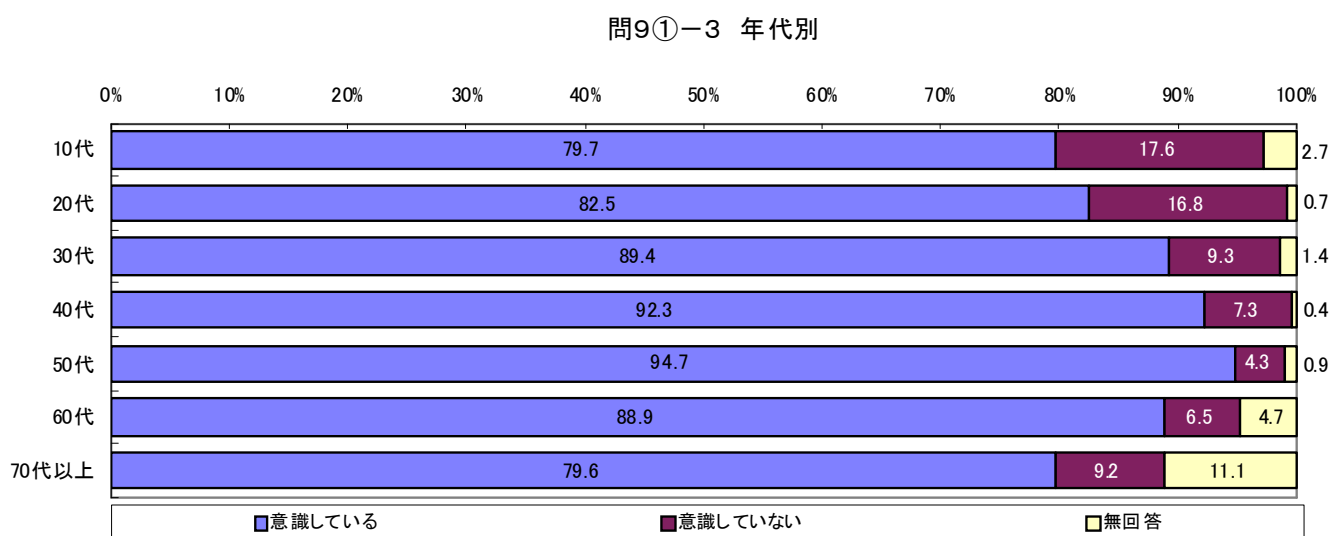
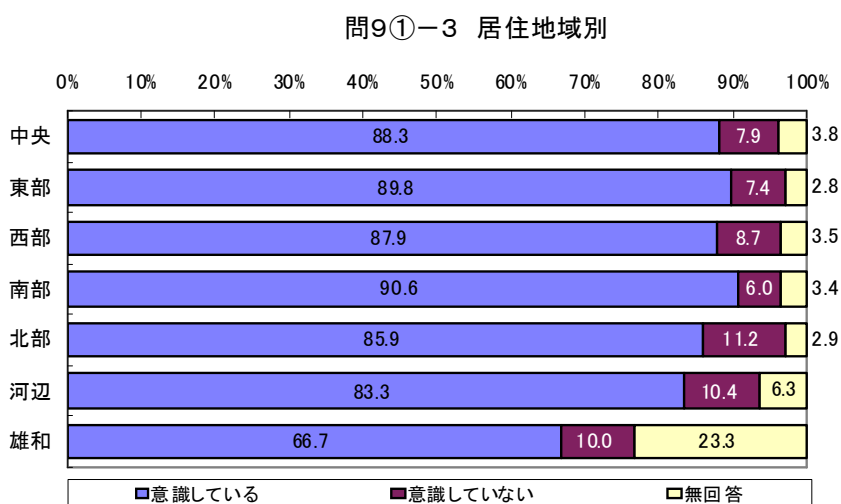
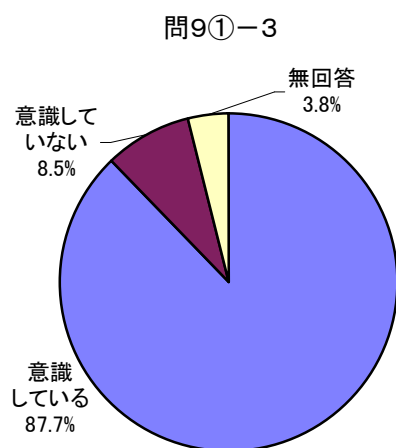
この設問では、食料に関する意識を把握するため、輸入品の原産国を意識しているかどうかを聞いている。(集計表 P199 参照)

全体集計では、「意識している」が87.7%、「意識していない」が8.5%である。

男女別集計では、「意識している」が、「女性」90.5%、「男性」84.1%と女性の方が割合が高い。

年代別集計では、「意識していない」が、「10代」17.6%、「20代」16.8%で、他の年代に比べて高くなっている。

居住地域別集計では、顕著な差はない。



**問9①-4（農産物（野菜・果物など）における農薬の使用）**

食品偽装問題など「食の安全・安心」が懸念されるなかで、あなたは、食品を購入する際、日ごろ以下の点を意識していますか。次の項目（農産物（野菜・果物など）における農薬の使用）についてどちらかに○をつけてください。

- 1 意識している                      2 意識していない

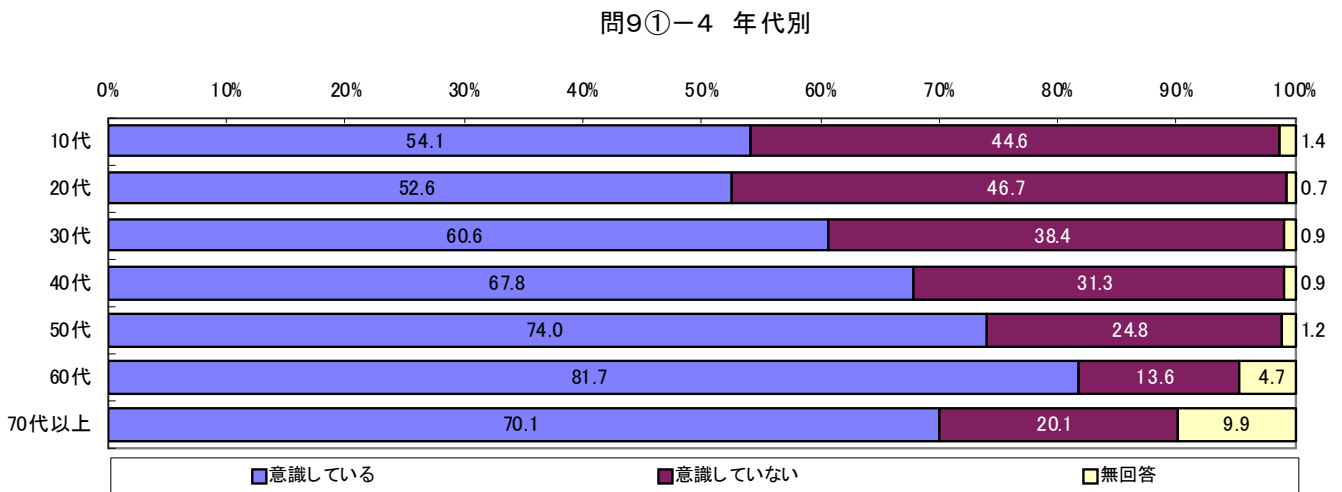
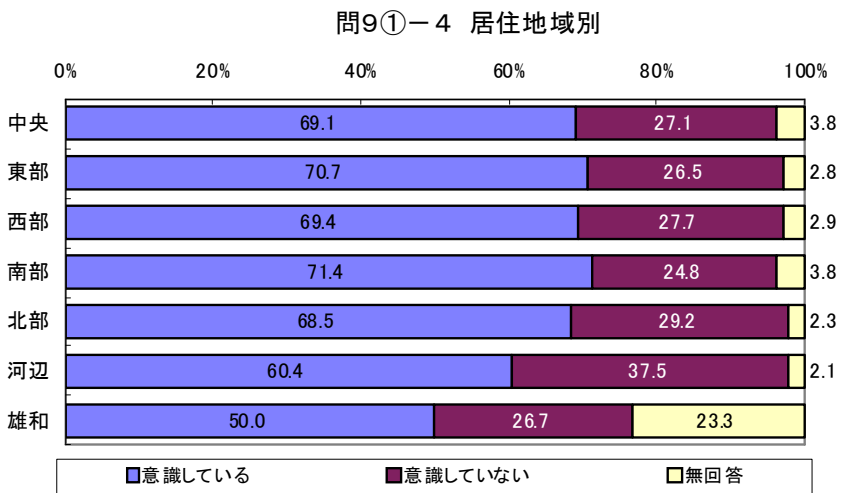
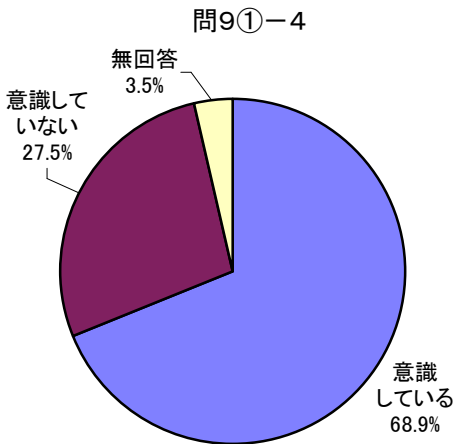
この設問では、食料に関する意識を把握するため、農産物（野菜・果物など）における農薬の使用を意識しているかどうかを聞いている。（集計表 P200 参照）

全体集計では、「意識している」が68.9%、「意識していない」が27.5%である。

男女別集計では、「意識している」が、「女性」72.0%、「男性」65.0%と女性の方が割合が高い。

年代別集計では、「意識していない」が、「10代」44.6%、「20代」46.7%で他の年代に比べ高い。

居住地域別集計では、「意識していない」が、「河辺」37.5%と他の地域に比較して高い。



**問9①-5（加工食品の原材料（遺伝子組み換え食品・食品添加物の有無））**

食品偽装問題など「食の安全・安心」が懸念されるなかで、あなたは、食品を購入する際、日ごろ以下の点を意識していますか。次の項目（加工食品の原材料（遺伝子組み換え食品・食品添加物の有無））についてどちらかに○をつけてください。

- 1 意識している                      2 意識していない

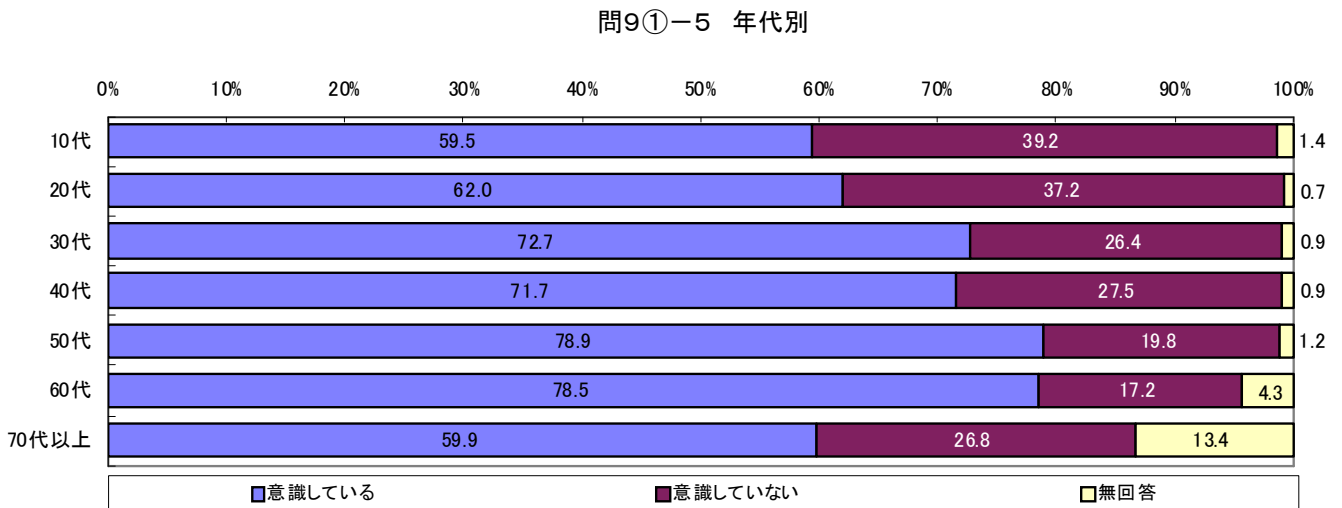
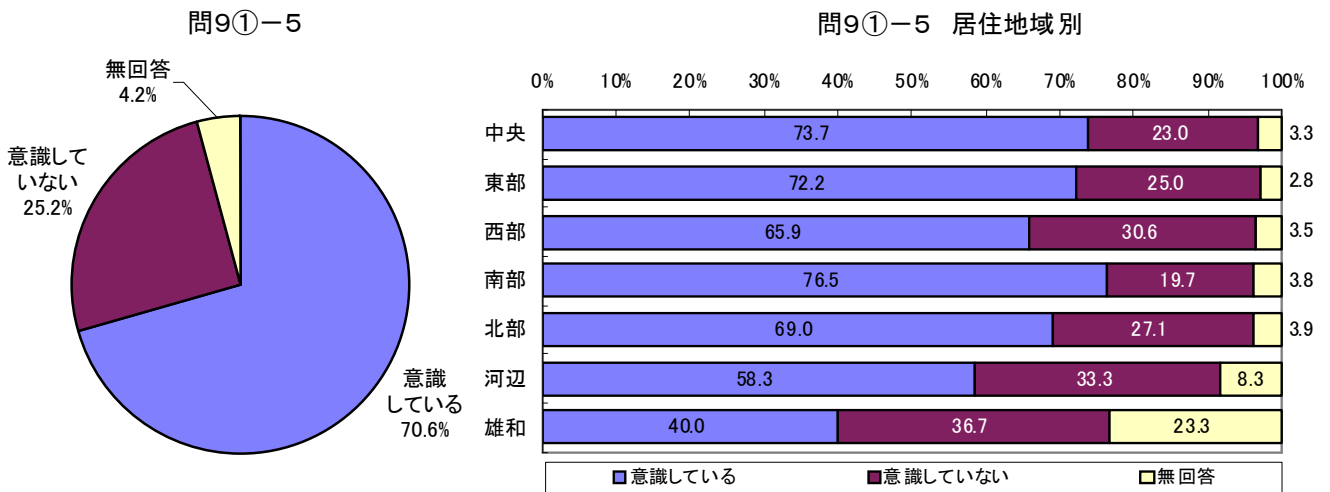
この設問では、食料に関する意識を把握するため、加工食品の原材料（遺伝子組み換え食品・食品添加物の有無）を意識しているかどうかを聞いている。（集計表 P200 参照）

全体集計では、「意識している」が70.6%、「意識していない」が25.2%である。

男女別集計では、「意識している」が、「女性」76.0%、「男性」62.9%と「女性」の方が意識している割合が高い。

年代別集計では、「意識している」が、「50代」78.9%、「60代」78.5%で他の年代よりも高くなっている。

居住地域別集計では、「意識していない」が、「西部」30.6%、「河辺」33.3%、「雄和」36.7%で、他の地域に比較して高くなっている。



**問9①-6 (県内産か県外産)**

食品偽装問題など「食の安全・安心」が懸念されるなかで、あなたは、食品を購入する際、日ごろ以下の点を意識していますか。次の項目（県内産か県外産）についてどちらかに○をつけてください。

- 1 意識している                      2 意識していない

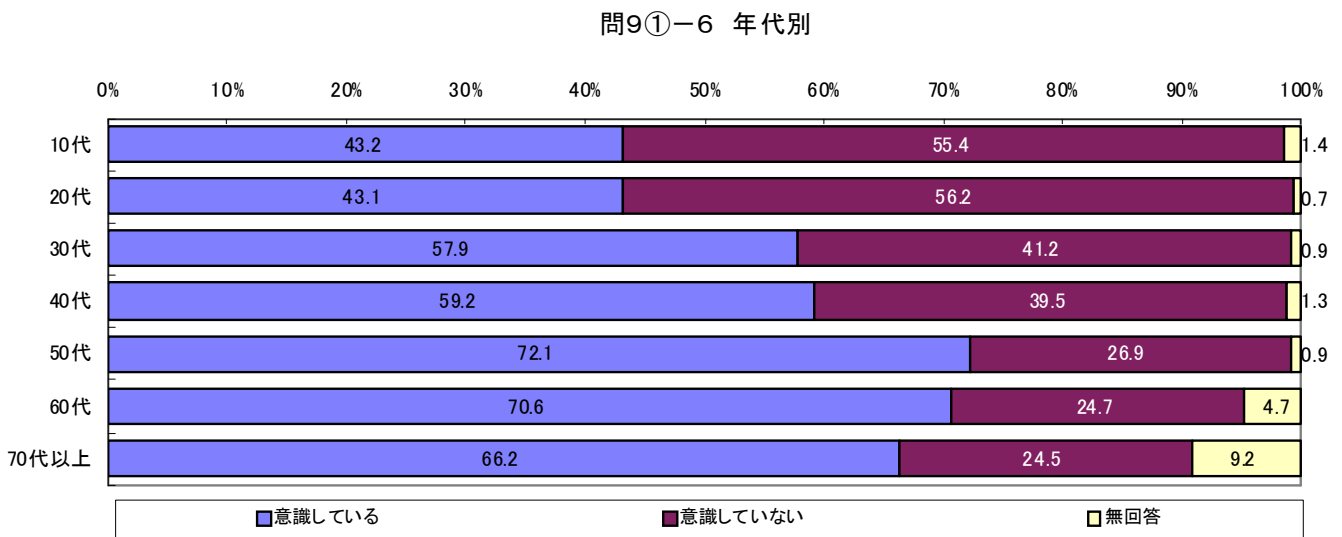
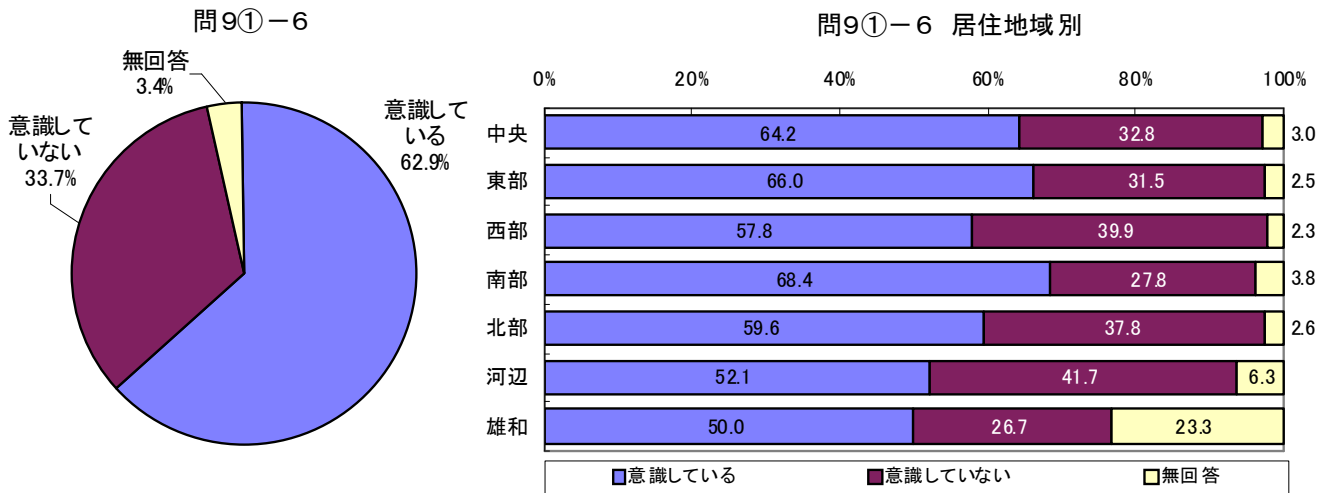
この設問では、食料に関する意識を把握するため、県内産か県外産かを意識しているかどうかを聞いています。(集計表 P201 参照)

全体集計では、「意識している」が62.9%、「意識していない」が33.7%である。

男女別集計では、「意識している」が、「女性」66.7%、「男性」57.4%と女性の方が割合が高い。

年代別集計では、「意識している」が、「50代」72.1%、「60代」70.6%で、他の年代よりも高くなっている。

居住地域別集計では、「意識している」が、「南部」68.4%と他の地域に比較して高い。





## 2 地産地消に期待すること（問9②）

### 問9②（地産地消に期待すること）

秋田市では、地域で生産された農産物を地域で消費する「地産地消」をさらに進めようとしていますが、あなたはこういったことを期待しますか。次の中から3つ選んでください。

- |                      |                   |                |
|----------------------|-------------------|----------------|
| 1 学校給食での地元農産物の利用     | 2 スーパー等での直売コーナー設置 |                |
| 3 直売所の設置             | 4 食育の推進           | 5 地元農産物加工所への支援 |
| 6 地元農産物が購入できる場所の情報提供 | 7 地元農産物の供給量の増加    |                |
| 8 その他                |                   |                |

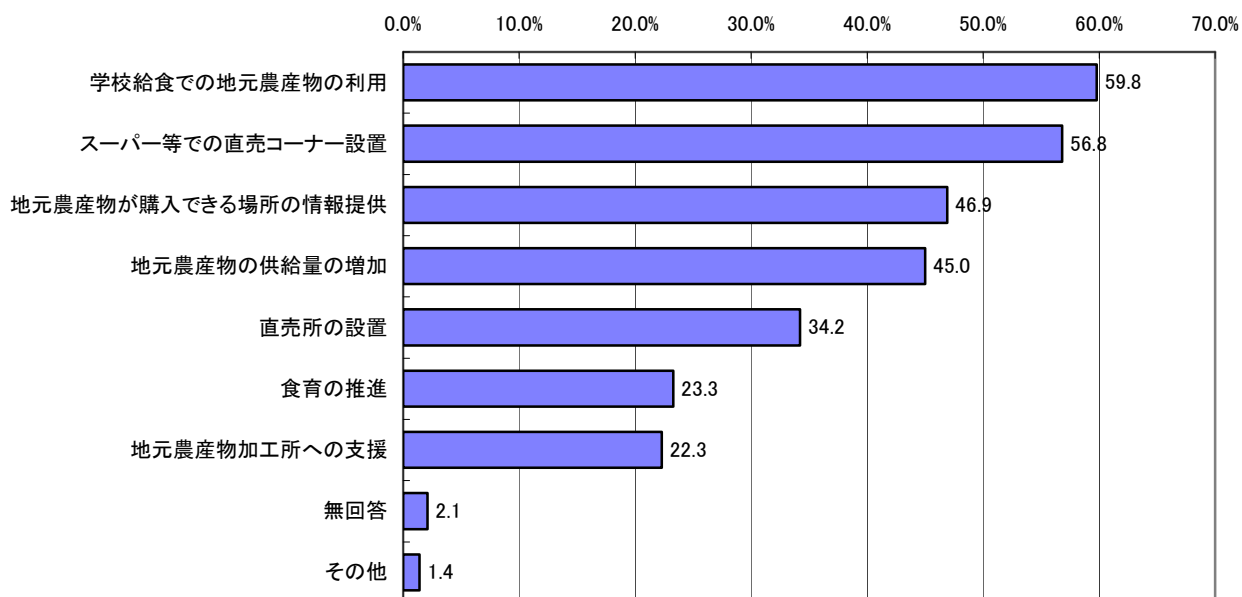
この設問では、地産地消へ期待することを3つ聞いている。（集計表 P201 参照）

全体集計では、最も高かったのは「学校給食での地元農産物の利用」59.8%であった。以下、「スーパー等での直売コーナー設置」56.8%、「地元農産物が購入できる場所の情報提供」46.9%、「地元農産物の供給量の増加」45.0%、「直売所の設置」34.2%、「食育の推進」23.3%、「地元農産物加工所への支援」22.3%と続いている。（下記グラフ参照）

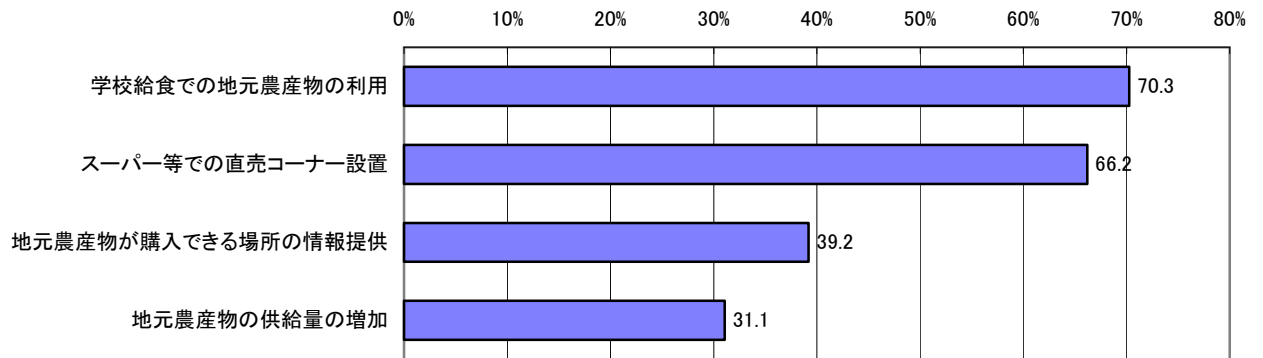
なお、年代別、居住地域別の集計結果については、P128 からP132 のグラフで示している。

（※表記の条件として、30%以上の回答があったものを記している。）

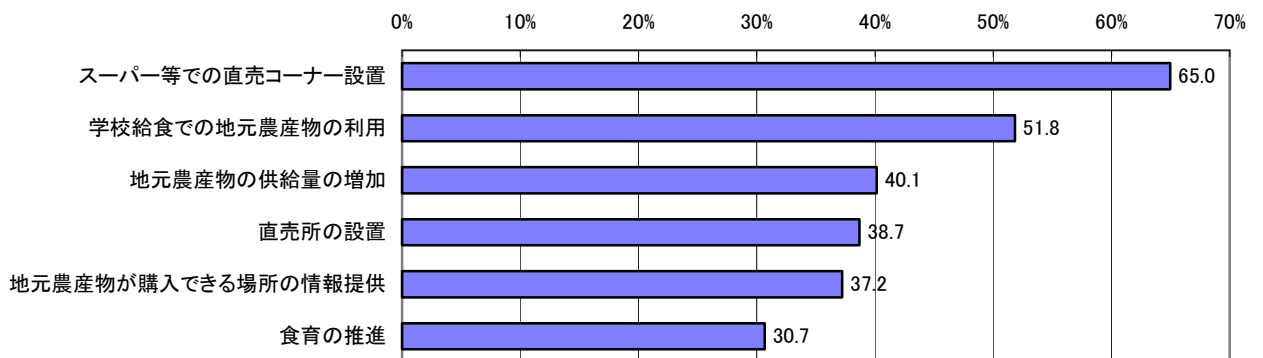
問9② 地産地消に期待すること



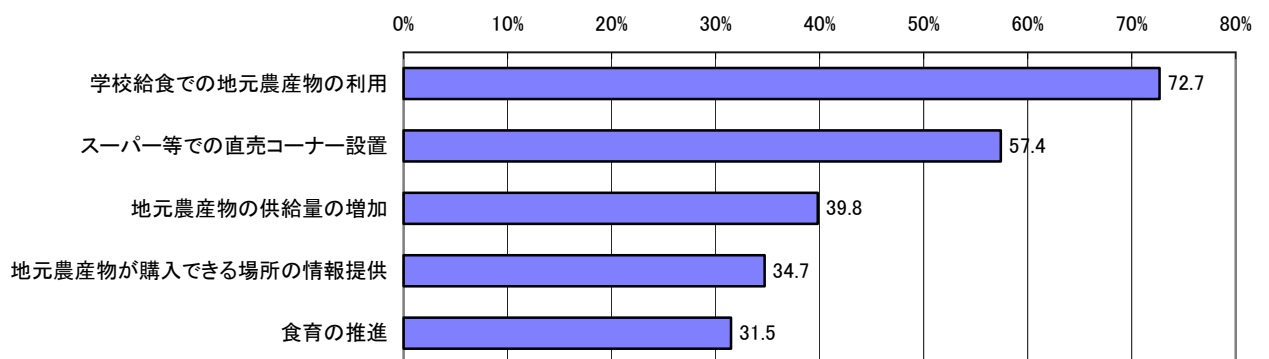
問9② 地産地消に期待すること「10代」



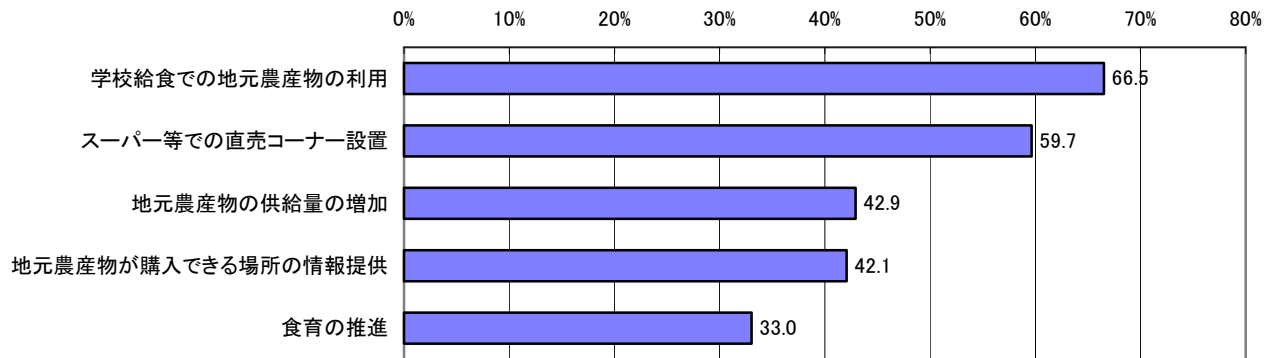
問9② 地産地消に期待すること「20代」



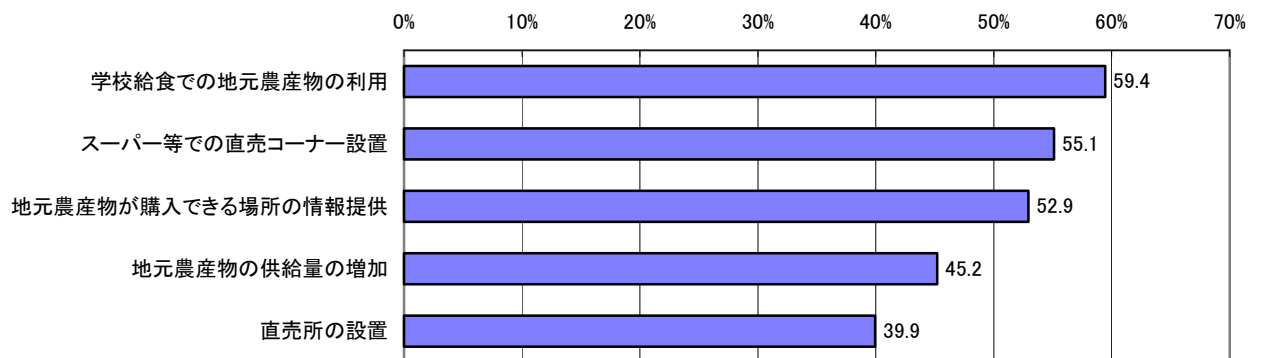
問9② 地産地消に期待すること「30代」



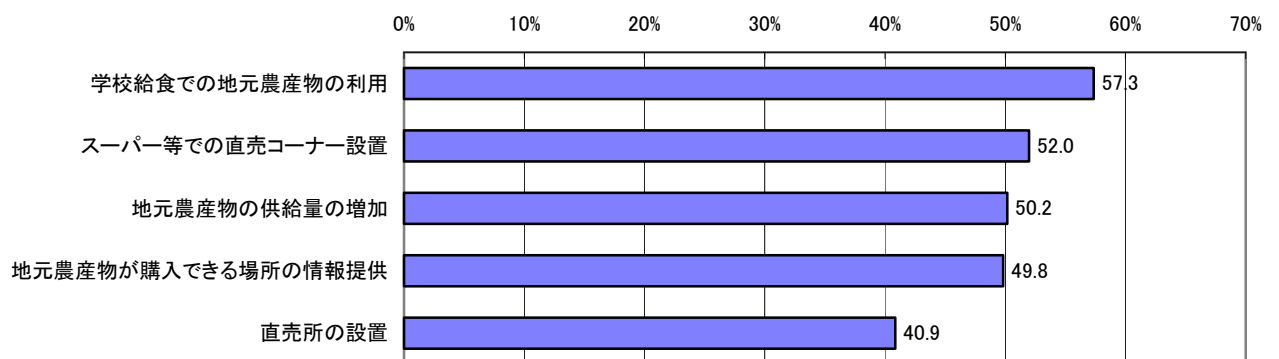
問9② 地産地消に期待すること「40代」



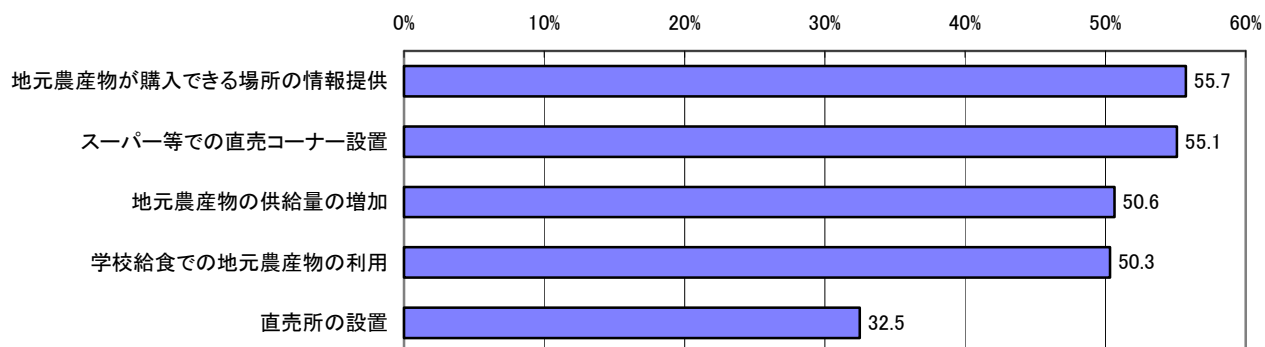
問9② 地産地消に期待すること「50代」



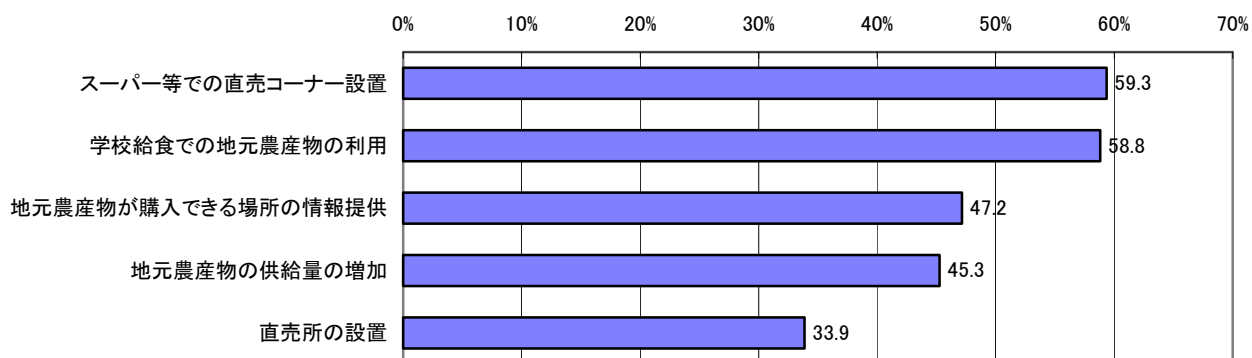
問9② 地産地消に期待すること「60代」



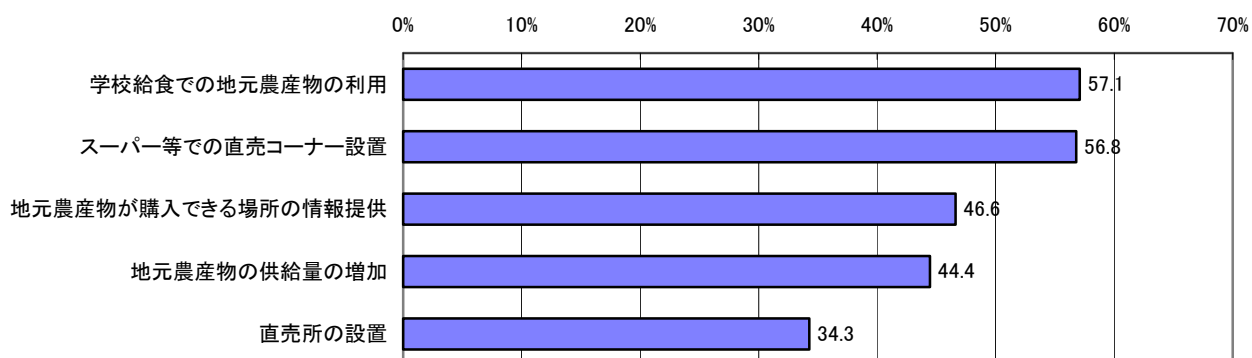
問9② 地産地消に期待すること「70代以上」



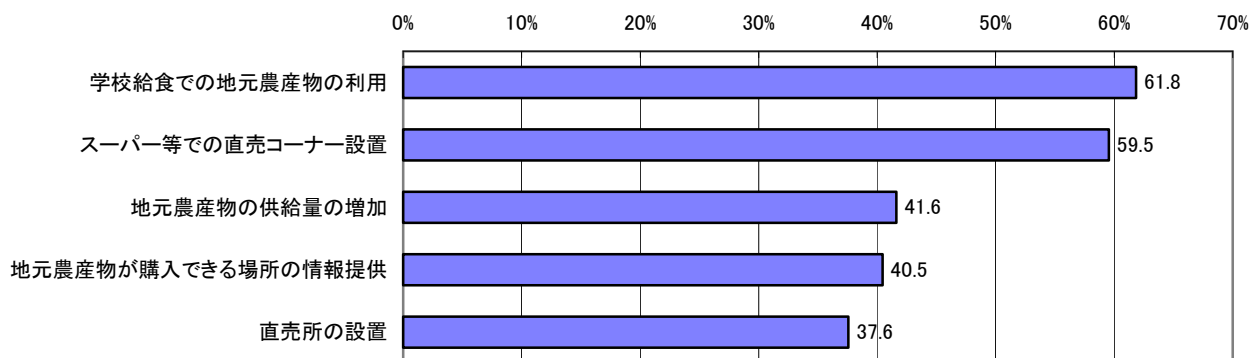
問9② 地産地消に期待すること「中央」



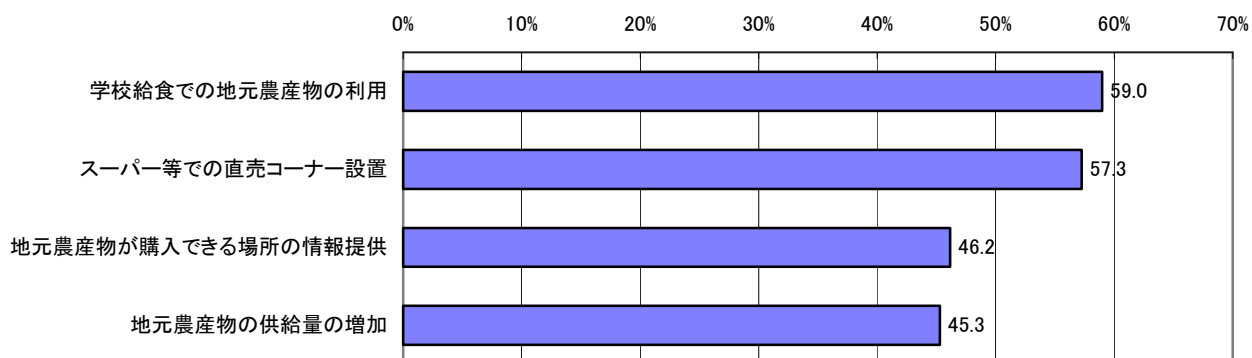
問9② 地産地消に期待すること「東部」



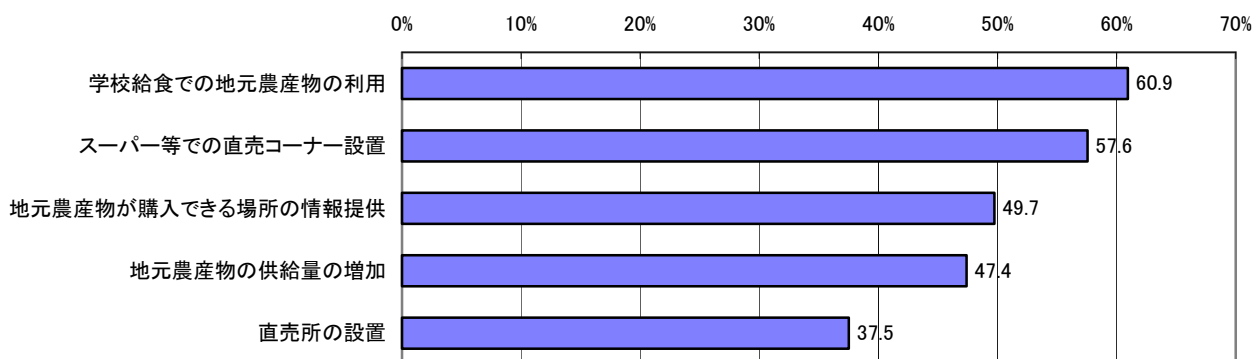
問9② 地産地消に期待すること「西部」



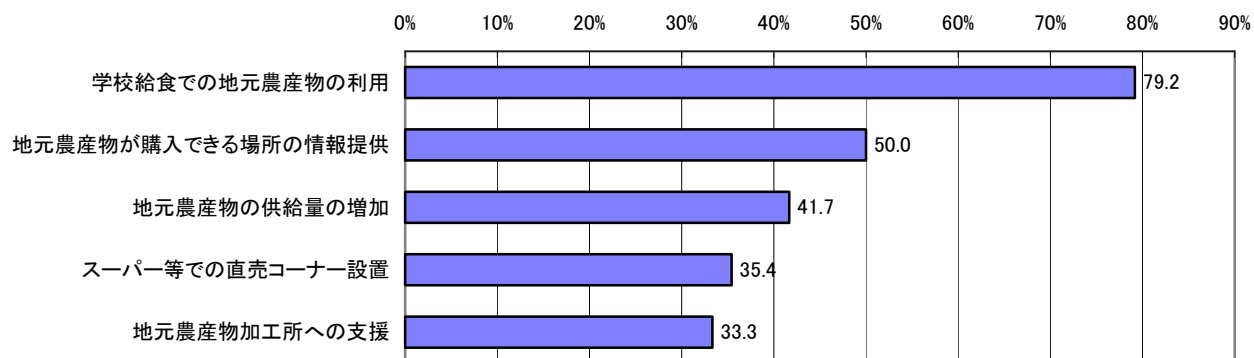
問9② 地産地消に期待すること「南部」



問9② 地産地消に期待すること「北部」



問9② 地産地消に期待すること「河辺」



問9② 地産地消に期待すること「雄和」

